幼稚部

令和8年度　幼稚部　年間指導計画　活動内容表

幼－1

活動内容		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活活動	身辺処理	「新しい生活リズムに慣れ、生活の仕方を知ろう」				「見通しを持って、身の回りのことをやってみよう」				「一人でやってみよう」		
		【着替え・したく】　衣服の着脱　／　靴の脱ぎ履き　／　衣服の片付け　／　連絡帳・カバン・タオル・エプロンの片付け　など										
		【食　事】　スプーン・フォーク・おはしの使用　／　給食当番　／　配膳　／　咀嚼　／　着席の持続　／　意思表示　／　あいさつ　／　食器の片付け　など										
		【排せつ】　トイレへの入室　／ズボンやパンツの上げ下げ　／　便座に座る　／　排せつの意識　／　意思表示　／　排尿感の理解　／　手洗い　など										
		【清　潔】　手洗い　／　歯みがき　／　うがい　／　洗面　／　口や顔をふく　／　支援の受け入れ　／　汚れへの意識　など										
	あつまり	「あつまりの流れを知ろう」			今日も元気に楽しく遊ぼう！（あさの会）	今日楽しかったこと、がんばったことをふり返ろう！（かえりの会）				「あつまりに見通しを持って参加しよう」		
		リトミック／おはようの歌／こぶたのぽんくん／誕生日なかま／こいのぼり／ゴーヤーマーチ／ねこのお医者さん／あめふりくまのこ／はらぺこあおむし／できるかな／かえるの体操／たなばた／うみ／やっほっほ夏休み／校歌　など				「あつまりの活動を楽しもう」						
						とんぼのめがね／どんぐりころころ／ラジオ体操第一／１２３どうぶつえん／おべんとうばこのうた／バスにのって／たのしいどうぶつえん／くいしんぼうのゴリラ／おいもの体操／ハッピークリスマス／森のクリスマス　など				お正月／十二支のうた／たこあげ／手をつなぎましょう／こんこんくしゃん／まめまき／おにのパンツ／ひなまつり／１年生になったら／思い出のアルバム　など		
自由遊び		好きな遊びを見つけよう　教師や友達と遊んでみよう				好きな遊びをじっくり楽しもう　一緒に遊ぼう				好きな遊びを広げよう　一緒に遊ぼう		
		【教　室】　絵本　／　パネルシアター　／　積木　／　パズル　／　お人形　／　ミニカー　／　ボール　／　ドレミファマット　／　ままごと　／　お絵かき　／　楽器　／　バランスボール　／　箱車　／　キャスターボード　など										
		【中　庭】　ブランコ　／　シーソー　／　うんてい棒　／　すべり台　／ジャングルジム　／　三輪車　など　【自立活動室】　フィットシーソー　／　スペースリング　／　ブランコ　など										
		【プレイルーム】　たいこばし　／　すべり台　／　大型積木　／　平均台　／　マット遊び　／　跳び箱　／　エアトランポリン　／　トンネル　／　シーツブランコ　／　バルーン　など										
運動遊び		楽しく体を動かそう　教師と一緒にいろいろな動きを楽しもう				伸び伸び体を動かそう　色々な動きを楽しもう				身体を思いっきり動かそう		
		・エアトランポリン	・風船遊び	・水遊び、プール	・水遊び、プール	・玉入れ	・ボウリング					
		歩く／走る／上る／下りる／転がる／跳ぶ／またぐ／はう／くぐる／滑る／浮く／前後左右に揺れる／上下や回転／仰臥位／腹臥位／座位／投げる・受ける／かけっこ／舞台で遊ぶ　など										
造形遊び		素材に触れてみよう				素材の感触を味わってみよう　つくってみよう				好きなものをつくってみよう		
		・自由画・絵の具遊び（手形、足形）・こいのぼり　・誕生表	・母の日プレゼント作り・砂・ねん土・片栗粉遊び・泡遊び	・シャボン玉遊び・新聞紙遊び・父の日プレゼント作り	・七夕飾り・色水遊び・ボディペインティング・砂遊び	・自由画・寒天遊び・敬老の日プレゼント作り・寒天遊び	・泥遊び・野菜スタンプ・ビー玉転がし	・落ち葉の貼り絵・勤労感謝の日プレゼント作り	・クリスマス飾り作り・ねん土遊び・スライム遊び	・自由画・書き初め・ふくわらい、凧	・お面作り・雪遊び・スタンプ遊び・マーブリング	・紙ふぶき・貼り絵・紙粘土・作品集作り　など
設定遊び		一緒に遊ぼう　まねしてみよう　表現してみよう										
		手遊び／ふれあい遊び／お散歩／楽器遊び／バスごっこ／絵本遊び／サーキット／玉入れ／箱遊び／紙遊び／育ててみよう（苗植え・草花・小動物）／光遊び／買い物にいこう／ままごと遊び／動植物とのふれあいなど										
交流及び共同学習		たくさんの友達がいる場所で遊ぼう				たくさんの友達がいる場所でかかわりをもって遊ぼう				たくさんの友達と自分から関わって遊ぼう		
			・交流保育	・交流保育	・交流保育	・交流保育	・交流保育	・交流保育	・交流保育	・交流保育	・交流保育	
								１年生と一緒に遊ぼう				
自立活動		個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいて実施 「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」										
行事Ⅰ（幼稚部）		みんなと一緒に楽しもう（クッキング・栽培・収穫など）										
		校外保育	校外保育	校外保育 春の遠足（バス）	校外保育	校外保育 誕生会	校外保育 秋の遠足（バス）	校外保育 誕生会	校外保育	校外保育	校外保育 お別れ遠足（バス）	校外保育
行事Ⅱ（全体）		お話を聞こう　おにいちゃんおねえちゃんといっしょにやってみよう										
		入学式　開校記念日 ハッピータイム	心電図検査 内科検診 新入生を迎える会 火災避難訓練 幼児児童生徒集会	ハッピータイム	ハッピータイム １学期終業式	２学期始業式 ハッピータイム	ハッピータイム 地震火災津波避難訓練	幼児児童生徒集会	ハッピータイム 芸術鑑賞会 ２学期終業式	３学期始業式 ハッピータイム 学習成果発表会	ハッピータイム	修了生を送る会 修了式

年間指導計画一覧表【１学期】　幼稚部

活動場面 ＼ 月		4月	5月	6月	7月
生活活動	身辺処理 題材名	○新しい生活リズムに慣れ、生活の仕方を知ろう。（朝の準備・帰りの支度・食事・着脱・排泄・清潔）			
	身辺処理 目標	①新しい環境や生活のリズムに慣れる。②生活習慣やルールに気づき教師と一緒に取り組むことができる。			
	身辺処理 内容	・日々の日課を大切にし生活の見通しを持つ。・教師の支援を受けながら行う。 ・繰り返し自分でやってみる。			
	身辺処理 環境構成と支援のポイント	・保護者との密接な連携 ・安心できる人的、物理的、空間的な環境構成 ・視覚情報の活用 ・毎日の繰り返し活動 ・興味関心に基づいた活動			
	あつまり 題材名	○あつまりの流れを知ろう			
	あつまり 目標	①所定の場所に集まり、教師と一緒に活動できる。 ②一日の始まりと終わりを理解し、活動に期待感を持つことができる。			
	あつまり 内容	・教師と一緒に集合する。 ・写真カード等を見ながら活動についての話を聞く。 ・絵本やパネルシアターなどを見る。 ・手遊びやダンスをする。			
	あつまり 環境構成と支援のポイント	・興味関心に基づいた活動 ・段階的な活動時間の延長 ・活動の始めと終わりの明確な提示			
自由遊び	題材名	○好きな遊びを見つけよう　○教師や友達と遊んでみよう			
	目標	①身近な人と関わり、親しみを持つことができる。 ②いろいろな遊びに取り組み、好きな遊びを見つけることができる。			
	内容	・興味のある遊具や用具で遊ぶ。 ・教師の誘いを受けて遊ぶ。 ・友達の遊びに興味を持つ。 ・身近な人と一緒に遊ぶ。			
	環境構成と支援のポイント	・興味関心に即した関わり遊び ・興味関心に即した用具や遊具の準備 ・安心して遊べる雰囲気作り			
造形遊び	題材名	○素材に触れてみよう			
	目標	①色々な素材に触れ、様々な感触を味わうことができる。			
	内容	・絵の具や片栗粉、のり、粘土、砂などに触れる。 ・感触や重量などの素材感を感じながら、思い思いに遊ぶ。 ・素手や用具等を用いて線を描く。 ・粘土を丸めたり、ビーズを付けたりする。			
	環境構成と支援のポイント	・興味関心に即した素材選び ・形状変化のある素材選び ・段階的な関わり			
運動遊び	題材名	○楽しく体を動かそう　○教師と一緒にいろいろな動きを楽しもう			
	目標	①健康・安全に生活するための体力をつける。 ②様々な身体の動きを獲得することができる。 ③身体活動を活発にし、心身の充実感を味わうことができる。			
	内容	・歩く、走る、上る・下りる、転がる、跳ぶ、またぐ、這う、くぐる、滑る、プールにおける歩く、浮く等の動き、前後左右に揺れる動き、上下や回転する動き、仰臥位、腹臥位、座位等多様な動きや姿勢を楽んだり、新しい動きを経験したりする。			
	環境構成と支援のポイント	・楽しい音楽や教師との関わりにより、新しい動きにもチャレンジしようとする意欲につなげる。 ・興味関心に応じた遊びを通して様々な動きを引き出せるように、教師も一緒に遊びを楽しむ。			
設定遊び	題材名	○一緒にあそぼう　○まねしてみよう　○表現してみよう			
	目標	①教師と一緒に活動する喜びを味わうことができる。 ②自分なりの方法で楽しさや喜びを表現することができる。			
	内容	・教師とのふれ合い遊びや繰り返しのあるやりとり遊び ・季節の花や野菜の栽培 ・絵本やパネルシアター、歌のごっこ遊び ・音楽に合わせた楽器やバルーン遊び			
	環境構成と支援のポイント	・安心してのびのびと意欲的に活動や表現ができるよう、教師との信頼関係づくりや興味を示す題材選定に努める。			
行事Ⅰ（幼稚部）	題材名	○みんなと一緒に楽しもう（誕生会・校外保育）			
	目標	①教師や友達と一緒に校内外における様々な活動を経験し、充実感を感じることができる。 ②非日常的な校内外における活動に期待感を持つことができる。			
	内容	・誕生会のにぎやかな雰囲気に触れる（プレゼント贈呈やろうそく吹き消し、誕生日の歌、祝いのくす玉割りなど） ・季節の花や野菜の栽培活動 ・調理活動 ・友達や教師と手をつなぎ、ルールを守って道を歩く。 ・校内では体験できない活動を体験する（公園の遊具遊び、買い物学習、広場での運動遊びや虫取り、海水浴などの自然体験など）			
	環境構成と支援のポイント	・事前の視覚的な情報提示を行い、見通しを持たせることで新しい環境でも安心して活動に取り組めるようにする。 ・自由な活動を保障しながら、段階的に集団での活動へ移行できるようにする。			
行事Ⅱ（全体）	題材名	○お話を聞こう　○おにいちゃんやおねえちゃんといっしょにやってみよう			
	目標	①学部や学校全体での行事を知り、教師と一緒に活動することができる。 ②教師や友達と一緒に多様な活動を経験し、充実感を持つことができる。 ③校外での活動に期待感を持ち、新しい環境に触れることができる。			
	内容	・大集団の雰囲気を感じ自分なりの方法で参加する。 ・新入生を迎える会等で歌やダンス、ゲームなどをする。 ・避難訓練や安全教室で安全な生活の仕方を知る。 ・学期の節目があることと夏休みを迎えることを知る。			
	環境構成と支援のポイント	・事前の伝達や場所の確認、お楽しみ活動の設定、スキンシップ等により安心感を持って参加することができる。			
交流及び共同学習	題材名	○たくさんの友達がいる場所であそぼう			
	目標	①同年代の友達のいる雰囲気に慣れ、場を共有して遊ぶことができる。			
	内容	・幼稚部教室やプレイルームでお話を聞いたり、リズム体操やうんどう遊び、プールでの水遊びなどをしたりする。 ・やえせ北保育園でのアスレチックあそびに参加する。			
	支援のポイント	・事前の予告や視覚情報等の掲示で見通しや期待感を持つことができるようにする。 ・約束を伝え、守ることができるようにする。			
自立活動	題材名	○一緒にやってみよう　◯ひとりでやってみよう			
	目標	①障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度・習慣を身につけ、心身の調和的発達の基盤を培う。			
	内容	○個別の目標及び内容、手立て、配慮事項については、個に応じて作成する「個別の指導計画」で明記する。			

年間指導計画一覧表【2学期】　幼稚部

活動場面 ＼ 月			9月	10月	11月	12月
生活に必要な活動	身辺処理	題材名	○見通しを持って、身の回りのことをやってみよう （朝の準備・帰りの支度・食事・着脱・排泄・清潔・役割）			
		目標	①基本的生活習慣や集団生活のルールを理解することができる。			
		内容	・教師の支援を受けながら一緒に行う。 ・教師の見守りの中、できることを自分で行う。			
		環境構成と支援のポイント	・保護者との密接な連携　・安心できる人的、物理的、空間的な環境構成　・視覚情報の活用　・毎日の繰り返し活動 ・興味関心に基づいた活動　・動線や関わり方の工夫　・統一した一貫性のある支援			
	あつまり	題材名	○あつまりの活動を楽しもう			
		目標	①所定の場所に集まり、活動を楽しむことができる。 ②生活の中の簡単な決まりや約束に気づき、実践しようとすることができる。 ②一日の始まりと終わりを理解し、活動に期待感や見通しを持って、自主的に行動しようとすることができる。			
		内容	・言葉かけや音楽を聴いて集合する。 ・写真カード等を見ながら話を聞く。 ・絵本やパネルシアターなどを見る。 ・手遊びやダンスをする。 ・あいさつや返事をする。			
		環境構成と支援のポイント	・興味関心に即した活動内容　・見通しの持てる活動展開　・視覚支援の活用　・意思表示のできる環境作り			
自由遊び		題材名	○好きな遊びをじっくり楽しもう　◯一緒に遊ぼう			
		目標	①好きな遊びに没頭し、心身の充実感を味うことができる。			
		内容	・好きな遊具や用具で繰り返し遊ぶ。　・教師や友達を誘って遊具や用具で遊ぶ。			
		環境構成と支援のポイント	・興味関心に即した関わり　・興味関心に即した用具や遊具の設置　・安心して遊べる雰囲気づくり　・誘いへの即応 ・子ども同士の関わりの橋渡し			
造形遊び		題材名	○素材の感触を味わってみよう　○つくってみよう			
		目標	①色々な素材に触れ、様々な感触を味わうことができる。 ②素材感を感じたり、教師と一緒に用具を扱ったりして、作品を作ることができる。			
		内容	・絵の具や片栗粉、のり、粘土、砂、毛糸、色紙、花紙などの感触や素材感を感じながら、思い思いの感触遊びを展開する。 ・色々な素材に触れ、制作道具を扱ったりして作品を作る（壁面制作、個人制作）			
		環境構成と支援のポイント	・多様な素材感や形状の変化を感じられる素材を準備し、興味を持たせながら、思考力の芽生えや主体性、創造性の高まりを引き出す。			
運動遊び		題材名	○伸び伸び体を動かそう　◯色々な動きを楽しもう			
		目標	①健康・安全に生活するための体力を付けることができる。 ②様々な身体の動きを獲得し、発展させることができる。 ③身体活動を活発し、心身の充実感を味わうことができる。			
		内容	・感覚運動遊びや粗大運動を通して、歩く、走る、上る・下りる、転がる、跳ぶ、またぐ、這う、くぐる、滑る、前後左右に揺れる動き、上下や回転する動き、仰臥位、腹臥位、座位等の多様な動きや姿勢を楽しむ。			
		環境構成と支援のポイント	・楽しい曲や教師との関わりで自主的に取り組もうとする意欲につなげる。 ・様々な動きを引き出せるように必要な遊具や用具を準備し、教師も一緒に遊びを楽しむ。			
設定遊び		題材名	○一緒にあそぼう　○まねしてみよう　○表現してみよう			
		目標	①教師や友達と一緒に活動することを楽しみ、充実感や満足感、達成感を味わうことができる。 ②自分なりの方法で表現することができる。			
		内容	・教師とのふれ合い遊びや繰り返しのあるやりとり遊び　・友達との関わりあそび　・絵本やパネルシアター、音楽に基づいたごっこ遊び ・音楽に合わせた楽器やバルーン遊び　・草花や事象から発展する遊び			
		環境構成と支援のポイント	・安心してのびのびと意欲的に活動できる信頼関係の構築、興味関心に即した題材選定や場面設定　・言語活動の充実が図れる関わり			
行事Ⅰ（幼稚部）		題材名	○みんなと一緒に楽しもう（誕生会・季節のイベント、校外保育）			
		目標	①非日常的な校内外での活動に期待感を持ち、色々な場所での活動に慣れる。 ②教師や友達と一緒に校内外における多様な活動を経験し、感動体験を言葉等で表現することができる。 ③公共施設や乗り物等でのマナーを知ることができる。			
		内容	・誕生会やお楽しみ会のにぎやかな雰囲気（プレゼント贈呈やろうそく吹き消し、誕生日の歌、祝いのくす玉割り、季節のイベントなど） ・公園の遊具遊び、買い物学習、動物とのふれ合い、ランチバイキング、公共交通機関の乗車、公共施設の利用 ・体験の振り返り　・交通ルールや公共の場におけるマナーやルールの理解と実践			
		支援のポイント	・事前の予告や視覚情報等の掲示で見通しや期待感を持つことができるようにする。 ・幼稚部での生活マナーを公共の場でも実践できるように、日常からの意図した関わりや場面設定に努める。・心を動かされる体験を計画し、主体的・対話的で深い学びにつなげられるようにする。			
行事Ⅱ（全体）		題材名	○お話を聞こう　○おにいちゃんやおねえちゃんといっしょにやってみよう			
		目標	①学部や学校全体での行事を知り、教師や友達と一緒に楽しく活動することができる。			
		内容	・大集団の雰囲気を感じ教師や友達と一緒に参加する。 ・芸術鑑賞会、集会等で歌やダンス、かけっこ、得意なことの発表などをする。 ・安全な生活の仕方を知り、避難訓練や実際の活動の中で教師の指示に従って一緒に行動する。 ・学期の節目があることと冬休みやお正月を迎えることを知る。			
		環境構成と支援のポイント	・事前の予告や視覚情報提示で見通しを持たせ、安心感を持って活動に取り組むことができるようにする。			
交流及び共同学習		題材名	○たくさんの友達がいる場所で、かかわりをもって遊ぼう ○1年生と一緒に遊ぼう			
		目標	①同年代の友達や1年生のいる雰囲気に慣れ、場や遊びを共有することができる。			
		内容	・幼稚部教室やプレイルームで話を聞いたり、リズム体操、うんどう遊び、好きな遊具や友達との遊びなどをしたりする。 ・やえせ北保育園の遊具・用具での遊び、好きな友達との関わり遊びをする。 ・1年生と一緒に体育遊びや音楽遊びをする。			
		支援のポイント	・事前の視覚的な情報提示を行い、見通しを持たせることで新しい環境または慣れない環境でも安心して活動に取り組めるようにする。 ・自由な活動を保障しつつも自然な形で段階的に集団での活動へ参加できるようにする。 ・主体的に人や物との関わりが見られるような場面設定をする。			
自立活動		題材名	○一緒にやってみよう　◯ひとりでやってみよう			
		目標	①障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度・習慣を身につけ、心身の調和的発達の基盤を培う。			
		内容	○個別の目標及び内容、手立て、配慮事項については、個に応じて作成する「個別の指導計画」で明記する。			

年間指導計画一覧表【3学期】　幼稚部

活動場面		月	1月	2月	3月
生活に必要な活動	身辺処理	題材名	○一人でやってみよう （朝の準備・帰りの支度・食事・着脱・排泄・清潔・役割）		
		目標	①見通しを持って身の回りのことができる。 ②就学に向けた基本的な生活習慣を身につけることができる。		
		内容	・朝の準備・帰りの支度・食事・着脱・排泄・清潔・役割のできることを自分で行う。必要があれば教師と一緒に行う。		
		環境構成と支援のポイント	・保護者との密接な連携 ・お楽しみ活動の確保 ・見守り支援 ・称賛や激励 ・動線や関わり方の工夫 ・統一・一貫した支援		
	あつまり	題材名	○あつまりに見通しを持って参加しよう		
		目 標	①生活の中にある簡単な決まりや約束があることを理解し、意欲的に参加することができる。		
		内 容	・言葉かけや音楽を聴いて集合する。 ・写真カード等を見ながら話を聞く。 ・絵本やパネルシアターなどを見る。 ・手遊びやダンスをする。 ・あいさつや返事をする。 ・一日のことを振り返り、明日の活動への期待感を持つ。		
		環境構成と支援のポイント	・興味関心に即した活動内容 ・見通しの持てる活動展開 ・視覚支援の活用 ・意思表示のできる環境作り		
自由遊び		題材名	○好きな遊びを広げよう ○一緒に遊ぼう		
		目 標	①好きな遊びに没頭し、喜びや満足感、開放感を味わうことができる。 ②友達と関わり、一緒に遊ぶことができる。		
		内 容	・好きな遊具や用具で繰り返し遊ぶ。 ・園庭で伸び伸びと遊ぶ。 ・教師や友達と一緒にかかわって遊ぶ。		
		環境構成と支援のポイント	・興味関心に即した遊びからの展開 ・興味関心に即した用具や遊具の設置 ・安心して遊べる雰囲気づくり ・幼児からの誘いに対する即応 ・子ども同士の関わりの橋渡し		
造形遊び		題材名	○好きなものをつくってみよう		
		目 標	①様々な素材の感触を味わい、楽しみながら自分なりに簡単な作品を作る事ができる。		
		内 容	・絵の具や片栗粉、のり、粘土、砂、雪、毛糸、色紙、花紙などの感触や素材感を感じながら、思い思いの感触遊びを展開する。 ・色々な素材に触れ、制作道具を扱ったりして作品を作る（壁面制作、個人制作）。		
		環境構成と支援のポイント	・多様な素材感や形状の変化を感じられる素材を準備し、興味を持たせながら思考力の芽生えや主体性、創造性の高まりを引き出す。		
運動遊び		題材名	○身体を思いっきり動かそう		
		目 標	①様々な遊びや活動を通して、身体各部位を伸ばし、十分に身体を動かすことができる。		
		内 容	・感覚運動遊びや粗大運動を通して、歩く、走る、上る、下りる、投げる、受ける、転がる、跳ぶ、またぐ、這う、くぐる、滑る、前後左右に揺れる動き、上下や回転する動き、仰臥位、腹臥位、座位等の多様な動きや姿勢を楽しむ。		
		環境構成と支援のポイント	・興味関心に応じて体を動かして遊べる環境を整える。・楽しい雰囲気のなかで、色々な道具や用具を使った遊びを行う事で様々な身体の動きをひきだしていくようにする。		
設定遊び		題材名	○一緒に遊ぼう ○表現してみよう ○まねしてみよう		
		目 標	①教師や友達と一緒に活動することを楽しみ、充実感や満足感、達成感を味わうことができる。 ②自分なりの方法で意欲的に表現することができる。		
		内 容	・教師とのふれ合い遊びや繰り返しのあるやりとり遊び ・友達との関わりあそび ・絵本やパネルシアター、音楽に関連したごっこ遊び ・音楽に合わせた楽器やバルーン遊び ・草花や事象から発展する遊び		
		環境構成と支援のポイント	・安心してのびのびと意欲的に活動できる信頼関係の構築、興味関心に即した題材選定や場面設定 ・言語活動の充実が図れる関わりや体験活動		
行事Ⅰ（幼稚部）		題材名	○みんなと一緒に楽しもう（季節のイベント・校外保育）		
		目 標	①非日常的な校内外での活動に期待感を持ち、色々な場所での活動に慣れる。 ②教師や友達と一緒に校内外における多様な活動を経験し、感動体験を言葉等で表現することができる。 ③公共施設や乗り物等でのマナーを知り、守ろうとすることができる。		
		内 容	・お楽しみ会のにぎやかな雰囲気（季節のイベントなど） ・公園の遊具遊び、買い物学習、動物とのふれ合い、ランチバイキング、公共交通機関の乗車、公共施設の利用 ・体験の振り返り ・交通ルールや公共の場におけるマナーやルールの理解と実践		
		環境構成と支援のポイント	・事前の予告や視覚情報などの提示で見通しや期待感を持つことができるようにする。 ・幼稚部での生活マナーを公共の場でも実践できるように、日常からの意図した関わりや場面設定に努める。 ・期待感の持てる活動内容の計画により、自己選択、自己決定の場面を設定し、主体的・対話的で深い学びにつなげられようにする。		
行事Ⅱ（全体）		題材名	○お話を聞こう ○お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒にやってみよう		
		目 標	①学部や学校全体での行事を知り、教師や友達と一緒に楽しく活動することができる。		
		内 容	・大きな集団の場で、話を聞いたり教師や友達と一緒にダンスや歌を歌ったりする。 ・学習発表会で発表することを楽しむ。 ・一年間の学びを振り返り、成長したことや進級することを喜ぶ。		
		環境構成と支援のポイント	・事前の予告や視覚情報提示で見通しを持たせ、安心感を持って活動に取り組むことができるようにする。		
交流及び共同学習		題材名	○たくさんの友達と自分から関わって遊ぼう ○1年生と一緒に遊ぼう		
		目 標	①同年代の友達や一年生に、自らかかわりながら遊ぶことができる。		
		内 容	・幼稚部教室や体育館、プレイルームで話を聞いたり、リズム体操、うんどう遊び、好きな遊具や友達との遊びなどをしたりする。 ・やえせ北保育園の遊具・用具での遊び、好きな友達との関わり遊びをする。 ・1年生と一緒に体育遊びや音楽遊びをする。		
		環境構成と支援のポイント	・事前の視覚的な情報提示を行い、見通しを持たせることで新しい環境または慣れない環境でも安心して活動に取り組めるようにする。 ・自由な活動を保障しつつも自然な形で段階的に集団での活動へ参加できるようにする。 ・主体的に人や物との関わりが見られるような場面設定をする。		
自立活動		題材名	○一緒にやってみよう ○1人でやってみよう		
		目標	①幼児が自立を目指し、障害による学習上・生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度・習慣を身につけ、心身の調和的発達の基盤を培う。		
		内容	○個別の目標及び内容、手立て、配慮事項については、個に応じて作成する「個別の指導計画」で明記する。		

小学部

１年生

Ⅱ－A課程

令和8年度　小学部１年（Ⅱ-A課程）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
170	小学部１年		文科省著作教科書　☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。
(思判表力)
自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。
(学･人)
自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して	30	(知及技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。 (学･人) 簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとすることができる。	(知・技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとしている。 (主学) 生活習慣に関わる初歩的な学習活動を通して自分のことに取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【ア 基本的生活習慣】 〇いっしょにやってみよう! 「おやすみ・おはよう」 「もちものをしまおう」 「トイレにいこう」 「たのしい きゅうしょく」	【食事】 ・食前の準備（手洗い・エプロン着用・配膳）や食後の片付けをする。 【用便】 ・尿意や便意を伝える。用便の手順に沿って用を足し、用便後は手を洗う。 【寝起き】 ・寝る前や起きた後に何をするかについて知る。 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れに気付き、洗面や歯磨きをしたり、タオルで拭いたり、着替えたりする。 【身の回りの整理】 ・持ち物の片付け方を知り決められた場所に置く。 【身なり】 ・身なりについて気付き、簡単な衣服の着脱をする。着脱後の確認をする。
	14	(知及技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人) 教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 〇みのまわりの きけんなこと 「いえのきけん」 「きょうしつのきけん」	【危険防止】 ・危険な場所を知る。 ・自分の身を守る行動に気付く。
	34	(知及技) 簡単な日課について、関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人) 簡単な日課に関心をもち、自分の生活に見通しをもって、自ら活動に向かおうとすることができる。	(知・技) 簡単な日課について、関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとしている。 (主学) 日課に沿って教師と共にする活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、見通しをもって自ら活動に向かおうとしたりしている。	【ウ 日課・予定】 〇がっこうについたら 「とうこう」 「あさのかい」 「つぎのじゅぎょうはなにかな」 「かえりのかい」 「げこう」	【日課】 ・教師と一緒に行動することにより、簡単な日課に気付き行動する。 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかを知り、できるだけ日課に沿って行動する。
	12	(知及技) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすることができる。 (学･人) 好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとすることができる。	(知・技) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとしている。 (主学) 好きな遊びをすることなどに関わる学習活動を通して、友達や身近な人々、身の回りの遊びに関心をもち、自ら周囲に働きかけようとしている。	【エ 遊び】 〇あそびがいっぱい 「あそびがいっぱい」 「こうえんであそぼう」	【いろいろな遊び】 ・教室にあるおもちゃで遊ぶ。 ・教師と一緒にまねっこ遊びをする。 ・教師と一緒にいっぽんばしなどのスキンシップ遊びをする。 ・教師と一緒に滑り台やブランコなど遊具で安全に遊ぶ。 【遊具の後片付け】 ・自分が使った遊具を教師と一緒に元の場所に片付ける。

	20	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。 (学･人) 様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学) 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を通して、集団の中で活動することに慣れ、簡単な役割を果たそうとしている。	【カ 役割】 ○いっしょにしよう 「いっしょにしよう」 ○ちいきのぎょうじ 「ごうどううんどうかい」	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部の存在に気付く。（学部間交流）
	12	(知及技) 簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとすることができる。 (学･人) 学校生活の流れに即して、簡単な手伝いや仕事を経験しながら、手伝うことの喜びを味わったり、自分で取り組んだりしようとすることができる。	(知・技) 簡単な手伝いや仕事に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 (主学) 教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を通して、活動に徐々に慣れたり、簡単なことを習慣にしたりしようとしている。	【キ 手伝い・仕事】 ○せんせいのおてつだいを しよう 「せんせいのおてつだいを しよう」	【手伝い】【戸締り】 ・日直や当番活動の内容を知る。 ・お便りを配布する。 ・当番活動（電気の点灯・消灯、机拭き、戸締り、健康観察簿の提出、牛乳の配布、ごみ捨て等）をする。 ・始業、終業の挨拶の号令をかける。
	16	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「みつけよう」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	2	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。 (学･人) 様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学) 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を通して、集団の中で活動することに慣れ、簡単な役割を果たそうとしている。	【カ 役割】 ○なかま 「がっきゅうの なかま」 「しょうがくぶのなかま」	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部の存在に気付く。（学部間交流）
	2	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「はる」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
1	2	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとすることができる。 (学･人) 生活の流れに即して，教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学) 学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自発的にきまりを守って行動したり，習慣化したりしようとしている。	【ケ きまり】 ○だれのもの? 「だれのもの?」 ○「かして」 「ありがとう」 「なまえやマークをつけよう」	【自分の物と他人の物の区別】 ・自分の持ち物と他者の物の区別が分かる。 ・自分の名前（マーク）に気付く。

学期	2	(知及技) 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思判表力) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。 (学･人) 自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。	(知・技) 身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 ○わたしと かぞく 「げんきに「はい!」」 「なまえをよばれたら」	【自分自身と家族】 ・自分の名前を呼ばれて返事をする。 【身近な人との関わり】 ・教師や友達にあいさつをしたり、手をつないだりする。
	2	(知及技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人) 教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 ○あんしん あんぜん 「どうろをあるくときのやくそく」	【交通安全】 ・信号や標識の意味を知る。 ・交通ルールに従って、安全に通行する。
	2	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○遊び つかまえる 「なつ」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
2学期	2	(知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。	(知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動を通して、身の回りにある社会の仕組みや公共施設について主体的に関わろうとしている。	【コ 社会の仕組みと公共施設】 ○わたしのかぞく 「かぞく・おとなりさん」 ○わたしの がっこう 「わたしの がっこう」	【家族・親戚・近所の人】 ・一緒に住んでいる人を知る。 ・家族を紹介する。 【学校】 ・学校の中の施設やたくさん働いている人がいることを知る。
	2	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「あき」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	2	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。”	【シ ものの仕組みと働き】 ○もののおもさ 「もののおもさ ①」 「ものの おもさ ②」	【物の重さ】 ・「重い・軽い」という感覚を経験し、生活の中にある物の重さの違いに気付く。 ・カバン、絵本、バケツ、ペットボトル等

	2	(知及技) 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思判表力) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。 (学･人) 自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。	(知・技) 身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 〇せんせい・ともだち 「わたしのせんせい」 「ぼくのともだち」 「てをつなごう」 「あいさつをしよう」	【自分自身と家族】 ・自分の名前を呼ばれて返事をする。 【身近な人との関わり】 ・教師や友達にあいさつをしたり、手をつないだりする。
	4	(知及技) 金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学･人) 買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。	(知・技) 金銭の扱い方などに関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学) 簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を通して、その価値や意味にも関心をもち、生活に生かそうとしている。	【ク 金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「かいものをしよう」	【金銭の扱い】 ・お金の大切さを知る。 金銭を取り扱う方法について知る。 【買い物】 ・簡単な買い物の手順を知る。 ・教師の支援を受けながら買い物や自動販売機を利用する。
3学期	4	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 〇かぜとあそぼう 「かぜとあそぼう」	【風の力の動き】 ・風の力によって物が動く様子を見る。 ・風の力が物を動かすことができることに気付く。 ・凧揚げ、ビニール袋、紙コップ竹とんぼ、扇風機、うちわ、紙吹雪等
	4	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「ふゆ」 「きせつの ずかん」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部１年（Ⅱ-A課程）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
170	小学部１年		国語☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。
(思判表力)
言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。
(学･人)
言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学･人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おーい ・歩く男の子 ・新幹線 ・船 ・飛行機	○歩く男の子：犬の散歩をしている男の子に女の子が「おーい」を呼び掛けている場面。絵を見て、教師や友だちと「おーい」と呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりすることを楽しむ。 ○新幹線・船・飛行機：乗り物を眺め、児童が手を挙げたり指さしたりして「おーい」と呼び掛けている場面。乗り物自体に呼び掛けたり、乗り物に乗っている人をイメージして呼び掛けたりする。対象が遠ざかることをイメージして、声や動きの大きさを変えながら呼び掛ける。
	10	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学･人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	くまさん　くまさん	○くまさんと子供が出会い、握手をしたり一緒に跳躍したりして遊び、「さようなら」と挨拶をしてお別れをする。 ○児童がくまさん役になり、教師からの呼びかけに応じたり、いろいろな動作を一緒にしたりすることで、話を楽しみながらその内容を大まかに把握する。
2学期	12	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	ぼくのいちにち ・起床・洗面 ・朝食・公園 ・雨・買い物 ・入浴・就寝	○起床、洗面、朝食、入浴、就寝：絵を見て、自分の経験を思い浮かべ、指さしや動き、言葉などで教師や友達に伝えようとする。 ○公園：絵を見て、児童それぞれが公園で遊んだ経験に照らし合わせ、経験した遊びや好きな遊びを指さしたり動作や言葉で表したりする。 ○雨、買い物：絵を見て、自分の経験を想起しながら、雨の日の場面には雨具を指さしたり言葉で表したりする。買い物の場面では、品物を指さしたり、店舗の方とのやり取りを動きや言葉で楽しみながら表現する。
	14	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	がっこうだいすき ・登校・着替え ・朝の会・学習 ・給食・遊び ・清掃・下校 ・学校図書館・プール ・運動会・学習発表会	○登校：日常で体験している登校場面を絵の中に見出すことによって、一日の学校生活の始まりだとわかるようにしている。登校時に友達や教師と行うやりとりを想起する。 ○着替え：絵に視線を向ける、着替えの様子を指差す、衣服の名称を教師と一緒に声を出すなどしてやりとりを楽しむ。 ○学習：絵を見て、はさみ、のり、クレヨンなどの道具に視線を向ける、指差しをする、名称を声に出す。 ○給食：給食の絵を楽しんで見たり、給食時の簡単なあいさつを友達や教師と声に出したりする。 ○遊び：自分の経験したことのある遊びを友達や教師に伝えたり、いろいろな遊びの名称を教師と一緒に声に出したりする。 ○清掃：掃除道具の名称や何をしているかなどについて、友達や教師と伝え合ったり、教師と一緒に声に出したりする。 ○下校：日常的に経験している下校場面を絵の中に見出すことによって、一日の学校生活の終わりを意識する。 ○学校図書館：学校図書館の利用の仕方を聞いたり、実際にどんな本があるかを見たりして、楽しんで利用できるように促す。 ○プール：水遊びや水泳の様子を表す絵を楽しんで見ることによって、関係する言葉を言ったり、簡単な話をしようとしたりする。 ○運動会：運動会の絵を見ることで、運動会について思い起こし、参加した種目や楽しかった思い出などを簡単な言葉で離そうとしたり、友達の発表を聞いたりする。 ○学習発表会：学習発表会の様子の絵を見て、知っている楽器を指差したり、その名称やそこから発せられる音を声に出したりしながら、友達や教師とのやり取りを楽しむ。

3学期	10	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・はる ・なつ ・あき ・ふゆ	○春：遠くに雪の残っている山々を臨む菜の花畑を、楽しそうに駆け抜けていく子供たちを表現した風景。 ○夏：砂浜で遊んだり海で泳いだりしている子供たちなど、夏の海を表現した風景。 ○秋：紅葉で燃えるような山々、野原で枯れ葉を舞わせて遊ぶ子供たちなどを表現した風景。 ○冬：白銀の世界の中をスキーやスノーボードで滑り降りていく子供、山の麓で雪だるまを作っている子供など、冬の山を表現した風景。 ○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。 ・毛筆を使っての書初めの体験をする。
年間を通して	44	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おはなしの世界 ・絵本 ・パネルシアター ・ペープサート　等	○様々な「おはなし」の読み聞かせに注目し、絵本、紙芝居、 ペープサート、写真等に興味をもつ。 ○「読書月間」等の機会を活用して、自分の好きな絵本を探したり見たりする。
	35	(知及技) いろいろな筆記具に触れ書くことができる。 筆記具の持ち方や正しい姿勢で書くことができる。 (思判表力) 文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) いろいろな筆記具に触れ書こうとしようとしている。 (思・判・表) 文字に興味をもち、書こうとしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	かいてみよう	○いろいろな線を書いて楽しむ。 ○書いたものに意味づけし文字を書くことにつながる興味関心を喚起する活動を行う。
	35	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことがでっきる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	がっこうだいすき	○朝の会で自分の名前を言ったり、返事をしたりする。 ○予定調べや学習の振り返りをする。

令和８年度　小学部１年（Ⅱ-A課程）算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
136	小学部１学年		算数☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技) ・具体物に気づいて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指をさしたりすることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・具体物に気づいて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしようとしている。 ・目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指をさしたりしようとしている。 (思･判･表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎ア ・ある、ない①② ・どこにかくれたかな ・どこからでるかな	【ある、ない①②】 少ない刺激の中で、目の前に具体物が「ある」のか「ない」のかを判断する。 【どこにかくれたかな】 特定のものを対象として捉え、そのものが少しずつ隠れていき、最後に見えなくなっても、そこに存在し続けることに気付く。 【どこからでるかな】 見えていたものが、見えなくなっても、それはものがなくなったわけではなく、一時的に見えなくなっているということ、再び見えるということに気付く。
	22	(知及技) ・目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指をさしたりすることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指をさしたりしようとしている。 (思･判･表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎ア ・〇〇くん，いるかな	【〇〇くん，いるかな】 混沌としているものや人の中から、指定されたものや人を特定する。
2学期	28	(知及技) ・ものの有無に気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものの有無に気付くことができる。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・ある、ない③	【ある、ない③】 ①具体物の個数が減っていくこと、②「ある」から「ない」に現象が変化することに気付く。
	28	(知及技) ・具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・形を観点に区別することができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知及技) ・具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしようとしている。 ・形を観点に区別しようとしている。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えるようとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・おもちゃを，みつけましょう ・かたちを，つくりましょう ・かたちを，あわせましょう	【おもちゃを，みつけましょう】 ①事物を対象として捉え注意を向ける。 ②直接操作したり、体験したりしながら形を区別する。 【かたちを，つくりましょう】 ①形という属性を知る。 ②形に着目して同じ形と認識する。 【かたちを，あわせましょう】 ①形を捉える。 ②二つの形の違いに着目する。 ③形が同じであるか、同じでないかを区別する。
3学期	36	(知及技) ・形が同じものを選ぶことができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・形が同じものを選ぼうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持とうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・おなじかたちを，みつけましょう ・おなじかたちを，えらびましょう	【おなじかたちを，みつけましょう】 ①形を捉える。 ②形が同じであると認識する。 【おなじかたちを，えらびましょう】 ①形を捉える。 ②形が同じであると判断する。 ③同じ形を選択する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部1年（Ⅱ-A課程）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部1年		音楽☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小1段階） (思判表力) 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。(小１段階) (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする。(小１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆ちゅうりっぷ、ことりのうた、こいのぼり、あ・い・う・え・おーっ！、かたつむり、おばけなんてないさ、たなばたさま、はなび、うみ ・学年の歌(おーい)、校歌他 【たのしいいちにち(年間を通して)】 ☆おひさまきらきら、せんせいとおともだち、はをみがきましょう、おかたづけ、さよならあしたもね他	・校歌や児童会の歌など、わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。 ・動きを模倣し、楽しみながら教師や友達と一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かしたりする。
	6	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おとあそぼう】 ☆がっきのおとあて、すずのきょく、まじっくまんぼ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	6	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【てあそびをしよう】 ☆あたま かた ひざ ぽん、むすんでひらいて、ぱんだ うさぎ こあら、まあるいたまご、のねずみ、とんとんとんとんひげじいさん、おおきなわ ちいさなわ 【むかいあってたのしく】 ☆はらぺこあおむし、ゆらゆらぼーと ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つ付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう①】 ☆はたらくくるま、おもちゃのへいたい・ひよこちゃん、いちごはどこ、まきばの合唱団、あめふりくまのこ ・月桃、いのちのリレー、ヤッホッホなつやすみ他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
2学期	6	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆どんぐりころころ、まつぼっくり、とんぼのめがね、もえろうんどうかい、おやつたーべよ ・学年の歌(おーい)、校歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	6	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おととあそぼう】 ☆すてきなはーぷ、かばさをならそう、いっしょにならそうよ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。

	6	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたって おどって①】 ☆ながぐつまーち、ふりふりだんす他 ・おーいサンタさん 【どうぶつになって】 ☆おうま、ぞうさん、くまさんくまさん 【みんななかよく】 ☆ばななのおやこ、はっぴーばーすでー、てをつなごう、ばすごっこ 【むかいあってたのしく】 ☆ぱんやさんに おかいもの ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。

	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つ付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう②】 ☆がぼっと、おどるこねこ他 ・森のクリスマス、燃えろ運動会	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
3学期	5	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆こんこんくしゃんのうた、まめまき、はなのかのん、ぱっぱっぱたらかのうた、 ・学年の歌(おーい)、校歌、卒業式の歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	5	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【がっきをならそう】 ☆がっきをならそう、へい！たんぶりん、おおきなたいこ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	5	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたっておどって②】 ☆ちぇっちぇっこり、だるまさん、はたけのぽるか、ちいさいうみ　おおきいうみ 【わらべうた】 ☆おちたおちた、なべなべそこぬけ、おちゃをのみに 【むかいあってたのしく】 ☆ぴすけっとをやきましょう ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	5	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つ付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【えをみておはなしをきこう】 ☆すてきなぼうしやさん、3びきのやぎのがらがらどん 【みみをすまそう③】 ☆うみのみえるまち、そらとぶたっきゅうびん、やさしさにつつまれたなら他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部１年（Ⅱ-B課程）図画工作科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部１年生		図画工作教科書１・２年（上）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
(知及技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとすることができる。（小1段階） (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品を見たりできる。（小1段階） (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み，つくりだすことの楽しさに気付くとともに，形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。（小1段階）	

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技) 手の平や足の裏に絵の具を付けて形を移すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付くことができる。 (思判表力) 手足で塗った色や形に更に色や形を重ねるなど活動を工夫することができる。 (学･人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 手形や足形を写してできる形に加え、それを集めると新しい形になることに気付いている。 同じ形を異なる色で写し、いろいろな色に気付いている。 (思判表力) 身辺に触れ、写した際の形のイメージを膨らませている。手や足、道具を組み合わせて新しい形をつくりだしている。 (主学) 次々に手形や足形を押すことを試したり、形ができることを喜んだりして楽しく活動に取り組もうとしている。	描画 ○描いてみよう ・好きな色、線を探そう ・ぬたくり	・マジック、クレヨン、絵の具を使って点や線を描いてみる。 ・全身に絵の具を塗ったり、手形、足形等をとってみる。 〈道具：マジック、クレヨン、絵の具等〉 〈材料：画用紙、模造紙等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P24　参考)
		(知及技) 絵の具を選び、色水をつくることができる。 つくった色水を並べたりして色々な色があることに気付くことができる。 (思判表力) 活動を通して、色の組み合わせ方や並べ方を考えながら工夫することができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 色を混ぜるとどうなるのか関心を持ったり、色の変化を確かめたりする。意図を持って色を並べながら、いろいろな色に気付いている。 (思判表力) たくさんの色をつくりながらしてみたいことを思い付いたり、次はどの色を組み合わせようかな。などのように活動を進める過程で、次にどうしようか考えたりしている。 (主学) 色を合わせる際にだんだんと色が変わっていく様子を熱心にのぞき込んで確かめたり、つくった色水を並べる際に自分の思った感じになるように、納得するまで色の並びを何度も確かめながら並べ直したりしている。	作る（造形） ○カラフルいろみず	・水の入ったペットボトルに、好きな色の絵の具を入れて色水を作る。 ・色水同士を組み合わせて、新たな色水を作る。 ・作った色水を太陽光や電気光に透かして色の変化を楽しむ。 〈道具：絵の具、水〉 〈材料：ペットボトル、ライト等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P28　参考)
		(知及技) 寒天や紙粘土に十分に慣れるとともに、型抜きをしたり穴をつくったりするなど、手の平や指先の感覚などを働かせ、活動を工夫することができる。 (思判表力) 材料を基に形や大きさを工夫して活動に取り組むことができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 手でぎゅっと握って固めたり、型取りをしたりして試しながら色々な形ができることに気付いている。 (思判表力) 道具を用いて材料をカットしたり、直に手で潰したりして取り組む方法を工夫して取り組んでいる。 (主学) 穴を空けたり、丸く丸めたりしてそれぞれのしたい造形活動を楽しもうとしている。	作る（粘土・立体） ○寒天であそぼう ○粘土であそぼう ・ニギニギ ギュッギュッ	・寒天や粘土の感触を十分に味わいながら、思いついたことを試して、色々な形や触った感じなどを捉えながら、活動を工夫して作ることを楽しむ。 ・寒天をへらで切ったり、手で握ったりして感じる感触を楽しむ。 ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する。 ・固まった紙粘土に絵の具で着色する。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：型抜き、へら、粘土板、絵の具、筆、牛乳パック等〉 〈材料：寒天、紙粘土等〉 寒天：(教科書：ずがこうさく１・２上P14　参考) 紙粘土：(教科書：ずがこうさく１・２下P12，13　参考)
		(知及技) くしゃくしゃにした紙を丸めたり再度開いて伸ばしたりすることで形が変わることが分かる。 手の平や腕、全身を使って紙をくしゃくしゃにすることができる。 (思判表力) 材料を基に形や大きさを工夫して活動に取り組むことができる。 クラフト紙と新聞紙を組み合わせるなど工夫して活動に取り組むことができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。	(知・技）くしゃくしゃに紙全体を丸めたり、一部を握るなどして紙にしわを付けたりして形を変えている。手、腕、全身を使って紙をくしゃくしゃにしている。 (思判表力)紙を丸めたり破いたりして形や大きさを変えて活動に取り組んでいる。クラフト紙や新聞紙の感触の違いに気付き、組み合わせを考えて活動に取り組んでいる。 (主学)穴を空けたり、丸く丸めたりしてそれぞれのしたい造形活動を楽しもうとしている。	作る（造形） ○新聞紙であそぼう	・新聞紙やクラフト紙を丸めたり伸ばしたりしながら触って感じる感触を楽しむ。 〈道具：ガムテープ、マジック等〉 〈材料：新聞紙、クラフト紙等〉 (教科書：ずがこうさく１・２下P20，21　参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ようとしている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・作品鑑賞 ・ぬたくり ・色水 ・粘土 ・新聞紙遊び	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。
2学期	28	(知及技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりすることができる。 (学･人) 作り出す楽しさに気付き、形や色などに関わることができる。	(知・技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりしようとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付き、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○描いてみよう 「お話の世界」	○「お話の世界」 ・いろいろな形や色に気付く。 ・絵本を読んで、テーマに沿って絵を描く。 〈道具：絵本、筆、刷毛等〉 〈材料：画用紙、絵の具、クレヨン等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P34　参考)
		(知及技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりすることができる。 (学･人) 作り出す楽しさに気付き、形や色などに関わろうとすることができる。	(知・技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりしようとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付き、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○たらし絵 ・絵の具がたらり	○「絵の具がたらり」 ・模様を考えたり想像したりしながら色を選ぶ。 ・絵の具が垂れて模様になる様子を楽しむ。 〈道具：空き箱、カップ〉 〈材料：画用紙、絵の具、洗濯のり等〉
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながらかく，切る，ぬる，はるなどすることができる。 (思判表力) 材料などから，表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 作り出す楽しさに気付き、様々な材料に触れたり音に関わろうとしたりすることができる。	(知・技) 身の回りの自然物などに触れながらかく，切る，ぬる，はるなどしようとしている。 (思判表力) 材料などから，表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付き、様々な材料に触れたり音に関わろうとしたりしている。	作る（工作） ○音づくり ・ふってたたいて	○音づくり「ふってたたいて」 ・容器に材料を入れ、音を鳴らす。 ・缶を叩いて音を鳴らす。 ・様々な材料で音を鳴らす。 〈道具：テープ〉 〈材料：廃材、ゴム、缶、ゼリーカップ、空箱、ビーズ、割り箸、お米、ラップ芯等〉 (教科書：ずがこうさく１・２下P30,31　参考)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながらかく，切る，ぬる，はるなどすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりすることができる。 (学･人) 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとすることができる。	(知・技）身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどしようとしている。 (思判表力)表したいことを思い付いたり，作品をみたりしようとしている。 (主学)作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとしている。	作る（工作） ○作ってあそぼう ・はさみでちょっきん 　のりでペタペタ ・はさみでちょっきん 　テープでぺたぺた	○「はさみでちょっきん　のりでペタペタ」 ・はさみの使い方を知り、はさみを持って、開いたり閉じたりする。 ・2cm幅の紙を1回で切る。（1回切り） ・線の上を切る。 ・印に合わせて、のりを塗る。 ・のりに同程度の力を加えて、適量をだす。 〈道具：はさみ、のり、テープ　等〉 〈材料：黒画用紙、色画用紙　等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P12、　参考) (教科書：ずがこうさく１・２下P36,37　参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ようとしている。 (巣学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・作品鑑賞 ・お話の世界 ・絵の具がたらり ・ふってたたいて ・はさみでちょっきんのりでペタペタ	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。

3学期	18	(知及技) はさみ、テープ、両面テープ、箱などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に工夫して表すことができる。 (思判表力) 材料から感じたこと、想像したことから、工夫して色を塗ったり、工夫して貼ったりすることができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技)はさみ、テープ、両面テープ、箱などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に工夫して表したりしている。 (思判表力)材料から感じたこと、想像したことから、工夫して色を塗ったり、工夫して貼ったりしている。 (主学)つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。	作る（工作） 〇作ってあそぼう ・扇、こま、的当て、獅子舞	・切った紙ややぶいた新聞紙でコラージュ作品を作る。 ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する。 ・画用紙のパーツを箱に貼り付け、獅子舞を作る。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：のり、はさみ、テープ、マジック等〉 〈材料：色画用紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物、生地等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P44　参考)
		(知及技) 手の平や足の裏に絵の具を付けて形を移すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付くことができる。 (思判表力) 手足で塗った色や形に更に色や形を重ねるなど活動を工夫することができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 手形や足形を写してできる形に加え、それを集めると新しい形になることに気付いている。 同じ形を異なる色で写し、いろいろな色に気付いている。 (思判表力) 身辺に触れ、写した際の形のイメージを膨らませている。手や足、道具を組み合わせて新しい形をつくりだしている。 (主学) 次々に手形や足形を押すことを試したり、形ができることを喜んだりして楽しく活動に取り組もうとしている。	描画 〇描いてみよう ・好きな色、線を探そう ・ぬたくり	・マジック、クレヨン、絵の具を使って点や線を描いてみる。 ・全身に絵の具を塗ったり、手形、足形等をとってみる。 〈道具：マジック、クレヨン、絵の具等〉 〈材料：画用紙、模造紙等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P24　参考)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながらかく，切る，ぬる，はるなどすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりすることができる。 (学・人) 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとすることができる。	(知・技) 身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどしようとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりしようとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとしている。	作る（工作） 〇作ってあそぼう ・はさみでちょっきん 　のりでペタペタ ・はさみでちょっきん 　テープでぺたぺた	〇「はさみでちょっきん　のりでペタペタ」 ・はさみの使い方を知り、はさみを持って、開いたり閉じたりする。 ・1回切り ・線の上を切る。 ・印に合わせて、のりを塗る。 ・のりに同程度の力を加えて、適量をだす。 〈道具：はさみ、のり、テープ　等〉 〈材料：黒画用紙、色画用紙　等〉
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学・人) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ようとしている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑賞 〇見てみよう ・作品鑑賞 ・ししまい ・ぬたくり	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。
留意点 引継ぎ等		描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）			

令和８年度　小学部１年（Ⅱ-A課程）体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部１年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。 (思判表力)体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学･人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学･人) 簡単な合図に従って、体つくり運動遊びをしようとすることができる。	(知・技）教師と一緒に、手を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かそうとしている。 (思･判･表)手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、体つくり運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	いろいろなうごきにチャレンジしよう ならんでみよう、あつまってみよう かけっこ	・這う、またぐなどの運動遊び。 ・座る、しゃがむ、階段を昇ったりする運動遊び。 ・しゃがんだり、立ったり、その場跳びをしたり、転がったりするなどの運動遊び。 ・手足を伸ばしたり脚を前後左右に開いたり腕を振ったり回したりする運動遊び。 ・離れた場所にいる教師の言葉や笛の合図を聞いて、教師のもとに集まる運動遊び。 ・一定の距離を早く走る運動遊び。 ・ポールをつないだり、カラーコーンを置いて目印をつくり、直線を走る運動遊び。 ・20mほどの直線を一人や友達と走る運動遊び。 ・20m先に置かれている小さなフープを取って戻ってくる運動遊び ・教師の合図や指示に従って、スタートする。
	5	(知及技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びができる。 (思判表力) 水の中で体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学･人) 簡単な合図に従って、水遊びをすることができる。	(知・技）教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びをしようとしている。 (思･判･表)水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	みずのなかでたのしもう	・プールの周りでじょうろなどを使って、プールに慣れるような水遊び。 ・水の抵抗を感じながら歩いたり走ったりする水遊び。 ・遊具を浮かべたり、沈めたりする遊び。 ・水をすくって自分にかけたり、友達にかけたりする水遊び。 ・プールサイドを走らないことや一人で入水しないなどの安全の心得につながるようにする。 ・教師の合図に従って、プールから出ること。
	12	(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学･人) 簡単な合図に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとすることができる。	(知・技）教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かそうとしている。 (思･判･表)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	サーキット	・個々の状態に応じた高さの跳び箱を登ったり、ジャンプして降りたりする運動遊び。 ・フープを並べ、グーパーやケンケンパーをする運動遊び。 ・トンネルをくぐる運動遊び。 ・一つのミニハードルを跳び越えたり、幾つか並べて連続して跳んだりする運動遊び。 ・キャスターボードを使って、手や腕の力で前へ進む運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、器械・器具を使っての運動遊びを始めたり止めたりする。
2学期	12	(知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学･人) 簡単な合図に従って、表現遊びをしようとすることができる。	(知・技）教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかそう ・げんきっき（リトミック）	・音楽に合わせての表現する運動遊び。 （うしろ歩き、馬歩き、トンボ、けんけん、スキップ） ・教師の言葉や笛の合図を聞いたり、曲の変化に合わせて表現する。
	13	(知及技) 教師と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学･人) 簡単な合図に従って、走・跳の運動遊びをすることができる。	(知・技）教師と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかそう ・げんきっき（５～10分間走） 記録会に参加しよう	・決まった方向に、一定の時間や距離を教師と一緒または距離を取りながら、ゆっくり走ったり、早く走ったりする運動遊び。

	5	(知及技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力) 健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えることができる。 (学･人) 健康な生活を送ることの大切さを知ることができる。	(知・技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をしようとしている。 (思・判・表)健康な生活に必要な事柄に気付き、感じたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 健康な生活を送ることの大切さを知ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	てあらい・うがいはなぜするの？ おなかやあたまがいたいときは、せんせいにはなそう	・手洗い・うがいに関心をもつように、「咳」「風邪」などのことばに触れる。 ・家庭との連携を図り、帰宅時などの手洗いを習慣化できるようにする。
3学期	11	(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学･人) 簡単な合図に従って、ボール遊びをしようとすることができる。	(知・技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	ボールとなかよくなろう ・ボール転がし ・的あて ・玉入れ	・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、友達や教師に手渡したり、転がしたり、捕まえたりする運動遊び。 ・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、的に当てる運動遊び。 ・お手玉、サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）使って、個々の状態に応じた高さや枠の大きさに適した玉入れをする運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、ボールを使った運動遊びを始めたり止めたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部１年（Ⅱ-A・B課程）　特別の教科 道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	小学部１年生		

中心目標	・人との関わりの中で、道徳的な価値に気付いたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 ・人と関わる心地よさを感じ取り、人と関わろうとする意欲をもつ。 ・認められる行動やそうでない行動を判断し、望ましい行動をしようとする意欲をもつ。など

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	・伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとする気持ちをもつ。	・伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとしている。	A【正直、誠実】 ・新しい学級	・新たな学級での学習や生活等を通して、伸び伸びと身体を動かそうとすることができるようにする。
	1	・教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとする気持ちをもつ。 ・他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとする気持ちをもつ。	・教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとしている。 ・他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとしている。	C【よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・新しい学級	・新たな学級での学習や生活等を通して、教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごしたり、他の子供の存在に気付き、興味や関心をもったりすることができるようにする。
	2	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ・みんなでなかよく①	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	2	・身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとする気持ちをもつ	・身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとしている。	A【善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことわるいこと	・身近な教師や友達との関わり等を通して、身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付くことができるようにする。
	2	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ・だいすきだよ①	・母の日や父の日に向けての学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	1	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・たいせつないのち	・慰霊の日に向けての学習等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	1	・清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	・清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 ・ここちよさをかんじよう	・着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
	1	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・しぜんとなかよく①	・野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	1	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 ・あいてのきもち	・友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近な大人の存在や他の子供の感情に気付くことができるようにする。
2学期	2	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 ・わたしのがんばったこと、したいこと①	・前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることができるようにする。
	2	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ・だいすきだよ②	・敬老の日に向けた学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	2	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・しぜんとなかよく②	・野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	2	・身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとする気持ちをもつ。	・身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとしている。	A【希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分からやってみよう	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけることができるようにする。
	3	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ・みんなでなかよく②	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。

	2	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 ・ありがとう	・勤労感謝の日に向けた学習等を通して、身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表したり、他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴したりすることができるようにする。
	1	・清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	・清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 ・ここちよさをかんじよう	・着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
3学期	2	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・しぜんとなかよく③	・野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	3	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ・みんなでなかよく③	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	3	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 ・わたしのがんばったこと、したいこと②	・1年間の振り返りや進級に向けての学習等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部1年（Ⅱ-A･B課程） 特別活動 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	小学部1年		

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価:(知･技)知識･技能　(思･判･表)思考･判断･表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	○友達や教師と一緒に活動したり、集団活動への参加の仕方を身に付けたりすることができる。 ○友達や教師と一緒に、話し合い活動をしたり、何かを決めたりすることができる。 ○集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする態度を身に付けることができる。

学期	時数	単元･題材の目標	単元･題材の評価規準	単元･題材名	単元･題材の活動内容
1学期	12	○新しい教師や友達と、仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	○新しい先生や友達と、仲良くがんばろうとしている。	【入学おめでとう】	○学級開きや学年開きを通して、新しい教師や友達を知り、仲良くがんばる気持ちを持つ。
		○学級の目標や1学期の個人目標を考えることができる。	○学級の目標や1学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○学級の目標や1学期の個人目標を立てる。
		○図書室での約束や借り方などを知り、利用することができる。	○図書室での約束や借り方などを知り、利用しようとしている。	【図書室の利用】	○図書室での約束や借り方などを知り、図書室を利用する。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ･始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ･身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ･避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ･校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習学習に関する事前事後学習】	○交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【1学期を振り返ろう】	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○夏休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○夏休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【夏休みに向けて】	○夏休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
2学期	14	○2学期の個人目標を考えることができる。	○2学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○2学期の個人目標を立てる。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ･始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ･身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ･避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ･校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習に関する事前事後学習】	○交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。

		○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【2学期を振り返ろう】	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○冬休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○冬休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【冬休みに向けて】	○冬休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
3学期	8	○3学期の個人目標を考えることができる。	○3学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○3学期の個人目標を立てる。
		○児童会について知り、活動への関心を持つことができる。	○児童会について知り、活動への関心を持とうとしている。	【みんなに紹介しよう】	○児童会について知り、活動への関心を持つ。 ○学校行事の計画の一部を担当したり、運営に協力したりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ・校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習に関する事前事後学習】	○交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【3学期を振り返ろう】	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○春休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○春休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【春休みに向けて】	○春休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
留意点 引継ぎ等					

1年生
Ⅱ－B課程

令和8年度　小学部１年（Ⅱ-B課程）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
204	小学部１年		文科省著作教科書　☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。 (学･人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して	40	(知及技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。 (学･人) 簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとすることができる。	(知・技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとしている。 (主学) 生活習慣に関わる初歩的な学習活動を通して自分のことに取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【ア 基本的生活習慣】 〇いっしょにやってみよう! 「おやすみ・おはよう」 「もちものをしまおう」 「トイレにいこう」 「たのしい きゅうしょく」	【食事】 ・食前の準備（手洗い・エプロン着用・配膳）や食後の片付けをする。 【用便】 ・尿意や便意を伝える。用便の手順に沿って用を足し、用便後は手を洗う。 【寝起き】 ・寝る前や起きた後に何をするかについて知る。 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れに気付き、洗面や歯磨きをしたり、タオルで拭いたり、着替えたりする。 【身の回りの整理】 ・持ち物の片付け方を知り決められた場所に置く。 【身なり】 ・身なりについて気付き、簡単な衣服の着脱をする。着脱後の確認をする。
	18	(知及技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人) 教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 〇みのまわりの きけんなこと 「いえのきけん」 「きょうしつのきけん」	【危険防止】 ・危険な場所を知る。 ・自分の身を守る行動に気付く。
	54	(知及技) 簡単な日課について、関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人) 簡単な日課に関心をもち、自分の生活に見通しをもって、自ら活動に向かおうとすることができる。	(知・技) 簡単な日課について、関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとしている。 (主学) 日課に沿って教師と共にする活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、見通しをもって自ら活動に向かおうとしたりしている。	【ウ 日課・予定】 〇がっこうについたら 「とうこう」 「あさのかい」 「つぎのじゅぎょうはなにかな」 「かえりのかい」 「げこう」	【日課】 ・教師と一緒に行動することにより、簡単な日課に気付き行動する。 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかを知り、できるだけ日課に沿って行動する。
	18	(知及技) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすることができる。 (学･人) 好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとすることができる。	(知・技) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとしている。 (主学) 好きな遊びをすることなどに関わる学習活動を通して、友達や身近な人々、身の回りの遊びに関心をもち、自ら周囲に働きかけようとしている。	【エ 遊び】 〇あそびがいっぱい 「あそびがいっぱい」 「こうえんであそぼう」	【いろいろな遊び】 ・教室にあるおもちゃで遊ぶ。 ・教師と一緒にまねっこ遊びをする。 ・教師と一緒にいっぽんばしなどのスキンシップ遊びをする。 ・教師と一緒に滑り台やブランコなど遊具で安全に遊ぶ。 【遊具の後片付け】 ・自分が使った遊具を教師と一緒に元の場所に片付ける。

	18	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。 (学･人) 様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学) 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を通して、集団の中で活動することに慣れ、簡単な役割を果たそうとしている。	【カ 役割】 ○いっしょにしよう 「いっしょにしよう」 ○ちいきのぎょうじ 「ごうどううんどうかい」	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部の存在に気付く。（学部間交流）
	12	(知及技) 簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとすることができる。 (学･人) 学校生活の流れに即して、簡単な手伝いや仕事を経験しながら、手伝うことの喜びを味わったり、自分で取り組んだりしようとすることができる。	(知・技) 簡単な手伝いや仕事に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 (主学) 教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を通して、活動に徐々に慣れたり、簡単なことを習慣にしたりしようとしている。	【キ 手伝い・仕事】 ○せんせいのおてつだいを しよう 「せんせいのおてつだいを しよう」	【手伝い】【戸締り】 ・日直や当番活動の内容を知る。 ・お便りを配布する。 ・当番活動（電気の点灯・消灯、机拭き、戸締り、健康観察簿の提出、牛乳の配布、ごみ捨て等）をする。 ・始業、終業の挨拶の号令をかける。
	12	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「みつけよう」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	2	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。 (学･人) 様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学) 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を通して、集団の中で活動することに慣れ、簡単な役割を果たそうとしている。	【カ 役割】 ○なかま 「がっきゅうの なかま」 「しょうがくぶのなかま」	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部の存在に気付く。（学部間交流）
	2	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「はる」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
1	2	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとすることができる。 (学･人) 生活の流れに即して，教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学) 学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自発的にきまりを守って行動したり，習慣化したりしようとしている。	【ケ きまり】 ○だれのもの? 「だれのもの?」 ○「かして」 「ありがとう」 「なまえやマークをつけよう」	【自分の物と他人の物の区別】 ・自分の持ち物と他者の物の区別が分かる。 ・自分の名前（マーク）に気付く。

学期	2	(知及技) 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思判表力) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。 (学･人) 自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。	(知・技) 身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 ○わたしと かぞく 「げんきに「はい!」」 「なまえをよばれたら」	【自分自身と家族】 ・自分の名前を呼ばれて返事をする。 【身近な人との関わり】 ・教師や友達にあいさつをしたり、手をつないだりする。
	2	(知及技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人) 教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 ○あんしん あんぜん 「どうろをあるくときのやくそく」	【交通安全】 ・信号や標識の意味を知る。 ・交通ルールに従って、安全に通行する。
	2	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○遊び つかまえる 「なつ」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
2学期	2	(知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。	(知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動を通して、身の回りにある社会の仕組みや公共施設について主体的に関わろうとしている。	【コ 社会の仕組みと公共施設】 ○わたしのかぞく 「かぞく・おとなりさん」 ○わたしの がっこう 「わたしの がっこう」	【家族・親戚・近所の人】 ・一緒に住んでいる人を知る。 ・家族を紹介する。 【学校】 ・学校の中の施設やたくさん働いている人がいることを知る。
	2	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「あき」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	2	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。”	【シ ものの仕組みと働き】 ○もののおもさ 「もののおもさ ①」 「ものの おもさ ②」	【物の重さ】 ・「重い・軽い」という感覚を経験し、生活の中にある物の重さの違いに気付く。 ・カバン、絵本、バケツ、ペットボトル等

	2	(知及技) 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思判表力) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。 (学･人) 自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。	(知・技) 身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 〇せんせい・ともだち 「わたしのせんせい」 「ぼくのともだち」 「てをつなごう」 「あいさつをしよう」	【自分自身と家族】 ・自分の名前を呼ばれて返事をする。 【身近な人との関わり】 ・教師や友達にあいさつをしたり、手をつないだりする。
	4	(知及技) 金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学･人) 買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。	(知・技) 金銭の扱い方などに関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学) 簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を通して、その価値や意味にも関心をもち、生活に生かそうとしている。	【ク 金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 〇かいもの 「かいものをしよう」	【金銭の扱い】 ・お金の大切さを知る。 金銭を取り扱う方法について知る。 【買い物】 ・簡単な買い物の手順を知る。 ・教師の支援を受けながら買い物や自動販売機を利用する。
3学期	3	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 〇かぜとあそぼう 「かぜとあそぼう」	【風の力の動き】 ・風の力によって物が動く様子を見る。 ・風の力が物を動かすことができることに気付く。 ・凧揚げ、ビニール袋、紙コップ竹とんぼ、扇風機、うちわ、紙吹雪等
	5	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「ふゆ」 「きせつの ずかん」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部１年（Ⅱ-B課程）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
136	小学部１年		国語☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。
(思判表力)
言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。
(学･人)
言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学･人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おーい ・歩く男の子 ・新幹線 ・船 ・飛行機	○歩く男の子：犬の散歩をしている男の子に女の子が「おーい」を呼び掛けている場面。絵を見て、教師や友だちと「おーい」と呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりすることを楽しむ。 ○新幹線・船・飛行機：乗り物を眺め、児童が手を挙げたり指さしたりして「おーい」と呼び掛けている場面。乗り物自体に呼び掛けたり、乗り物に乗っている人をイメージして呼び掛けたりする。対象が遠ざかることをイメージして、声や動きの大きさを変えながら呼び掛ける。
	8	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学･人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	くまさん　くまさん	○くまさんと子供が出会い、握手をしたり一緒に跳躍したりして遊び、「さようなら」と挨拶をしてお別れをする。 ○児童がくまさん役になり、教師からの呼びかけに応じたり、いろいろな動作を一緒にしたりすることで、話を楽しみながらその内容を大まかに把握する。
2学期	8	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	ぼくのいちにち ・起床・洗面 ・朝食・公園 ・雨・買い物 ・入浴・就寝	○起床、洗面、朝食、入浴、就寝：絵を見て、自分の経験を思い浮かべ、指さしや動き、言葉などで教師や友達に伝えようとする。 ○公園･絵を見て、児童それぞれが公園で遊んだ経験に照らし合わせ、経験した遊びや好きな遊びを指さしたり動作や言葉で表したりする。 ○雨、買い物：絵を見て、自分の経験を想起しながら、雨の日の場面には雨具を指さしたり言葉で表したりする。買い物の場面では、品物を指さしたり、店舗の方とのやり取りを動きや言葉で楽しみながら表現する。
	10	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	がっこうだいすき ・登校・着替え ・朝の会・学習 ・給食・遊び ・清掃・下校 ・学校図書館・プール ・運動会・学習発表会	○登校：日常で体験している登校場面を絵の中に見出すことによって、一日の学校生活の始まりだとわかるようにしている。登校時に友達や教師と行うやりとりを想起する。 ○着替え：絵に視線を向ける、着替えの様子を指差す、衣服の名称を教師と一緒に声を出すなどしてやりとりを楽しむ。 ○学習：絵を見て、はさみ、のり、クレヨンなどの道具に視線を向ける、指差しをする、名称を声に出す。 ○給食：給食の絵を楽しんで見たり、給食時の簡単なあいさつを友達や教師と声に出したりする。 ○遊び：自分の経験したことのある遊びを友達や教師に伝えたり、いろいろな遊びの名称を教師と一緒に声に出したりする。 ○清掃：掃除道具の名称や何をしているかなどについて、友達や教師と伝え合ったり、教師と一緒に声に出したりする。 ○下校：日常的に経験している下校場面を絵の中に見出すことによって、一日の学校生活の終わりを意識する。 ○学校図書館：学校図書館の利用の仕方を聞いたり、実際にどんな本があるかを見たりして、楽しんで利用できるように促す。 ○プール：水遊びや水泳の様子を表す絵を楽しんで見ることによって、関係する言葉を言ったり、簡単な話をしようとしたりする。 ○運動会：運動会の絵を見ることで、運動会について思い起こし、参加した種目や楽しかった思い出などを簡単な言葉で離そうとしたり、友達の発表を聞いたりする。 ○学習発表会：学習発表会の様子の絵を見て、知っている楽器を指差したり、その名称やそこから発せられる音を声に出したりしながら、友達や教師とのやり取りを楽しむ。

3学期	8	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・はる ・なつ ・あき ・ふゆ	○春：遠くに雪の残っている山々を臨む菜の花畑を、楽しそうに駆け抜けていく子供たちを表現した風景。 ○夏：砂浜で遊んだり海で泳いだりしている子供たちなど、夏の海を表現した風景。 ○秋：紅葉で燃えるような山々、野原で枯れ葉を舞わせて遊ぶ子供たちなどを表現した風景。 ○冬：白銀の世界の中をスキーやスノーボードで滑り降りていく子供、山の麓で雪だるまを作っている子供など、冬の山を表現した風景。 ○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。 ・毛筆を使っての書初めの体験をする。
年間を通して	34	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おはなしの世界 ・絵本 ・パネルシアター ・ペープサート　等	○様々な「おはなし」の読み聞かせに注目し、絵本、紙芝居、 ペープサート、写真等に興味をもつ。 ○「読書月間」等の機会を活用して、自分の好きな絵本を探したり見たりする。
	30	(知及技) いろいろな筆記具に触れ書くことができる。 筆記具の持ち方や正しい姿勢で書くことができる。 (思判表力) 文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) いろいろな筆記具に触れ書こうとしようとしている。 (思・判・表) 文字に興味をもち、書こうとしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	かいてみよう	○いろいろな線を書いて楽しむ。 ○書いたものに意味づけし文字を書くことにつながる興味関心を喚起する活動を行う。
	30	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことがでっきる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	がっこうだいすき	○朝の会で自分の名前を言ったり、返事をしたりする。 ○予定調べや学習の振り返りをする。

令和８年度　小学部１年（Ⅱ-B課程）算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部１学年		算数☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 　数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) ・具体物に気づいて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指をさしたりすることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・具体物に気づいて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしようとしている。 ・目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指をさしたりしようとしている。 (思･判･表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎ア ・ある、ない①② ・どこにかくれたかな ・どこからでるかな	【ある、ない①②】 　少ない刺激の中で、目の前に具体物が「ある」のか「ない」のかを判断する。 【どこにかくれたかな】 　特定のものを対象として捉え、そのものが少しずつ隠れていき、最後に見えなくなっても、そこに存在し続けることに気付く。 【どこからでるかな】 　見えていたものが、見えなくなっても、それはものがなくなったわけではなく、一時的に見えなくなっているということ、再び見えるということに気付く。
	12	(知及技) ・目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指をさしたりすることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指をさしたりしようとしている。 (思･判･表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎ア ・〇〇くん，いるかな	【〇〇くん，いるかな】 　混沌としているものや人の中から、指定されたものや人を特定する。
2学期	14	(知及技) ・ものの有無に気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものの有無に気付くことができる。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・ある、ない③	【ある、ない③】 　①具体物の個数が減っていくこと、②「ある」から「ない」に現象が変化することに気付く。
	14	(知及技) ・具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・形を観点に区別することができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知及技) ・具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしようとしている。 ・形を観点に区別しようとしている。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えるようとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・おもちゃを，みつけましょう ・かたちを，つくりましょう ・かたちを，あわせましょう	【おもちゃを，みつけましょう】 　①事物を対象として捉え注意を向ける。 　②直接操作したり、体験したりしながら形を区別する。 【かたちを，つくりましょう】 　①形という属性を知る。 　②形に着目して同じ形と認識する。 【かたちを，あわせましょう】 　①形を捉える。 　②二つの形の違いに着目する。 　③形が同じであるか、同じでないかを区別する。
3学期	16	(知及技) ・形が同じものを選ぶことができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・形が同じものを選ぼうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持とうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・おなじかたちを，みつけましょう ・おなじかたちを，えらびましょう	【おなじかたちを，みつけましょう】 　①形を捉える。 　②形が同じであると認識する。 【おなじかたちを，えらびましょう】 　①形を捉える。 　②形が同じであると判断する。 　③同じ形を選択する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部1年（Ⅱ-B課程）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部1年		音楽☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小1段階） (思判表力) 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。(小１段階) (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする。(小１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆ちゅうりっぷ、ことりのうた、こいのぼり、あ・い・う・え・おーっ！、かたつむり、おばけなんてないさ、たなばたさま、はなび、うみ ・学年の歌(おーい)、校歌他 【たのしいいちにち(年間を通して)】 ☆おひさまきらきら、せんせいとおともだち、はをみがきましょう、おかたづけ、さよならあしたもね他	・校歌や児童会の歌など、わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。 ・動きを模倣し、楽しみながら教師や友達と一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かしたりする。
	6	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おととあそぼう】 ☆がっきのおとあて、すずのきょく、まじっくまんぼ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	6	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【てあそびをしよう】 ☆あたま かた ひざ ぽん、むすんでひらいて、ぱんだ うさぎ こあら、まあるいたまご、のねずみ、とんとんとんとんひげじいさん、おおきなわ ちいさなわ 【むかいあってたのしく】 ☆はらぺこあおむし、ゆらゆらぼーと ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つけている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう①】 ☆はたらくくるま、おもちゃのへいたい・ひよこちゃん、いちごはどこ、まきばの合唱団、あめふりくまのこ ・月桃、いのちのリレー、ヤッホッホなつやすみ他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
2学期	6	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆どんぐりころころ、まつぼっくり、とんぼのめがね、もえろうんどうかい、おやつたーべよ ・学年の歌(おーい)、校歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	6	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おととあそぼう】 ☆すてきなはーぷ、かばさをならそう、いっしょにならそうよ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。

	6	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたって おどって①】 ☆ながぐつまーち、ふりふりだんす他 ・おーいサンタさん 【どうぶつになって】 ☆おうま、ぞうさん、くまさんくまさん 【みんななかよく】 ☆ばななのおやこ、はっぴーばーすでー、てをつなごう、ばすごっこ 【むかいあってたのしく】 ☆ぱんやさんに おかいもの ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。

	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つ付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう②】 ☆がぼっと、おどるこねこ他 ・森のクリスマス、燃えろ運動会	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
3学期	5	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆こんこんくしゃんのうた、まめまき、はなのかのん、ぱっぱっぱたらかのうた、 ・学年の歌(おーい)、校歌、卒業式の歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	5	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【がっきをならそう】 ☆がっきをならそう、へい！たんぶりん、おおきなたいこ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	5	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたっておどって②】 ☆ちぇっちぇっこり、だるまさん、はたけのぽるか、ちいさいうみ　おおきいうみ 【わらべうた】 ☆おちたおちた、なべなべそこぬけ、おちゃをのみに 【むかいあってたのしく】 ☆ぴすけっとをやきましょう ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	5	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つ付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【えをみておはなしをきこう】 ☆すてきなぼうしやさん、3びきのやぎのがらがらどん 【みみをすまそう③】 ☆うみのみえるまち、そらとぶたっきゅうびん、やさしさにつつまれたなら他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部１年（Ⅱ-B課程）図画工作科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部１年生		図画工作教科書１・２年（上）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
(知及技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとすることができる。（小1段階） (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品を見たりできる。（小1段階） (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み，つくりだすことの楽しさに気付くとともに，形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。（小1段階）	

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技) 手の平や足の裏に絵の具を付けて形を移すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付くことができる。 (思判表力) 手足で塗った色や形に更に色や形を重ねるなど活動を工夫することができる。 (学･人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 手形や足形を写してできる形に加え、それを集めると新しい形になることに気付いている。 同じ形を異なる色で写し、いろいろな色に気付いている。 (思判表力) 身辺に触れ、写した際の形のイメージを膨らませている。手や足、道具を組み合わせて新しい形をつくりだしている。 (主学) 次々に手形や足形を押すことを試したり、形ができることを喜んだりして楽しく活動に取り組もうとしている。	描画 ○描いてみよう ・好きな色、線を探そう ・ぬたくり	・マジック、クレヨン、絵の具を使って点や線を描いてみる。 ・全身に絵の具を塗ったり、手形、足形等をとってみる。 〈道具：マジック、クレヨン、絵の具等〉 〈材料：画用紙、模造紙等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P24　参考)
		(知及技) 絵の具を選び、色水をつくることができる。 つくった色水を並べたりして色々な色があることに気付くことができる。 (思判表力) 活動を通して、色の組み合わせ方や並べ方を考えながら工夫することができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 色を混ぜるとどうなるのか関心を持ったり、色の変化を確かめたりする。意図を持って色を並べながら、いろいろな色に気付いている。 (思判表力) たくさんの色をつくりながらしてみたいことを思い付いたり、次はどの色を組み合わせようかな。などのように活動を進める過程で、次にどうしようか考えたりしている。 (主学) 色を合わせる際にだんだんと色が変わっていく様子を熱心にのぞき込んで確かめたり、つくった色水を並べる際に自分の思った感じになるように、納得するまで色の並びを何度も確かめながら並べ直したりしている。	作る（造形） ○カラフルいろみず	・水の入ったペットボトルに、好きな色の絵の具を入れて色水を作る。 ・色水同士を組み合わせて、新たな色水を作る。 ・作った色水を太陽光や電気光に透かして色の変化を楽しむ。 〈道具：絵の具、水〉 〈材料：ペットボトル、ライト等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P28　参考)
		(知及技) 寒天や紙粘土に十分に慣れるとともに、型抜きをしたり穴をつくったりするなど、手の平や指先の感覚などを働かせ、活動を工夫することができる。 (思判表力) 材料を基に形や大きさを工夫して活動に取り組むことができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 手でぎゅっと握って固めたり、型取りをしたりして試しながら色々な形ができることに気付いている。 (思判表力) 道具を用いて材料をカットしたり、直に手で潰したりして取り組む方法を工夫して取り組んでいる。 (主学) 穴を空けたり、丸く丸めたりしてそれぞれのしたい造形活動を楽しもうとしている。	作る（粘土・立体） ○寒天であそぼう ○粘土であそぼう ・ニギニギ ギュッギュッ	・寒天や粘土の感触を十分に味わいながら、思いついたことを試して、色々な形や触った感じなどを捉えながら、活動を工夫して作ることを楽しむ。 ・寒天をへらで切ったり、手で握ったりして感じる感触を楽しむ。 ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する。 ・固まった紙粘土に絵の具で着色する。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：型抜き、へら、粘土板、絵の具、筆、牛乳パック等〉 〈材料：寒天、紙粘土等〉 寒天：(教科書：ずがこうさく１・２上P14　参考) 紙粘土：(教科書：ずがこうさく１・２下P12，13　参考)
		(知及技) くしゃくしゃにした紙を丸めたり再度開いて伸ばしたりすることで形が変わることが分かる。 手の平や腕、全身を使って紙をくしゃくしゃにすることができる。 (思判表力) 材料を基に形や大きさを工夫して活動に取り組むことができる。 クラフト紙と新聞紙を組み合わせるなど工夫して活動に取り組むことができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。	(知・技）くしゃくしゃに紙全体を丸めたり、一部を握るなどして紙にしわを付けたりして形を変えている。手、腕、全身を使って紙をくしゃくしゃにしている。 (思判表力)紙を丸めたり破いたりして形や大きさを変えて活動に取り組んでいる。クラフト紙や新聞紙の感触の違いに気付き、組み合わせを考えて活動に取り組んでいる。 (主学)穴を空けたり、丸く丸めたりしてそれぞれのしたい造形活動を楽しもうとしている。	作る（造形） ○新聞紙であそぼう	・新聞紙やクラフト紙を丸めたり伸ばしたりしながら触って感じる感触を楽しむ。 〈道具：ガムテープ、マジック等〉 〈材料：新聞紙、クラフト紙等〉 (教科書：ずがこうさく１・２下P20，21　参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ようとしている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・作品鑑賞 ・ぬたくり ・色水 ・粘土 ・新聞紙遊び	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。
2学期	28	(知及技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりすることができる。 (学･人) 作り出す楽しさに気付き、形や色などに関わることができる。	(知・技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりしようとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付き、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○描いてみよう 「お話の世界」	○「お話の世界」 ・いろいろな形や色に気付く。 ・絵本を読んで、テーマに沿って絵を描く。 〈道具：絵本、筆、刷毛等〉 〈材料：画用紙、絵の具、クレヨン等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P34　参考)
		(知及技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりすることができる。 (学･人) 作り出す楽しさに気付き、形や色などに関わろうとすることができる。	(知・技) 形や色などに気付き，材料や用具を使おうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりしようとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付き、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○たらし絵 ・絵の具がたらり	○「絵の具がたらり」 ・模様を考えたり想像したりしながら色を選ぶ。 ・絵の具が垂れて模様になる様子を楽しむ。 〈道具：空き箱、カップ〉 〈材料：画用紙、絵の具、洗濯のり等〉
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながらかく，切る，ぬる，はるなどすることができる。 (思判表力) 材料などから，表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 作り出す楽しさに気付き、様々な材料に触れたり音に関わろうとしたりすることができる。	(知・技) 身の回りの自然物などに触れながらかく，切る，ぬる，はるなどしようとしている。 (思判表力) 材料などから，表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付き、様々な材料に触れたり音に関わろうとしたりしている。	作る（工作） ○音づくり ・ふってたたいて	○音づくり「ふってたたいて」 ・容器に材料を入れ、音を鳴らす。 ・缶を叩いて音を鳴らす。 ・様々な材料で音を鳴らす。 〈道具：テープ〉 〈材料：廃材、ゴム、缶、ゼリーカップ、空箱、ビーズ、割り箸、お米、ラップ芯等〉 (教科書：ずがこうさく１・２下P30,31　参考)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながらかく，切る，ぬる，はるなどすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりすることができる。 (学･人) 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとすることができる。	(知・技）身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどしようとしている。 (思判表力)表したいことを思い付いたり，作品をみたりしようとしている。 (主学)作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとしている。	作る（工作） ○作ってあそぼう ・はさみでちょっきん 　のりでペタペタ ・はさみでちょっきん 　テープでぺたぺた	○「はさみでちょっきん　のりでペタペタ」 ・はさみの使い方を知り、はさみを持って、開いたり閉じたりする。 ・2cm幅の紙を1回で切る。（1回切り） ・線の上を切る。 ・印に合わせて、のりを塗る。 ・のりに同程度の力を加えて、適量をだす。 〈道具：はさみ、のり、テープ　等〉 〈材料：黒画用紙、色画用紙　等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P12、　参考) (教科書：ずがこうさく１・２下P36,37　参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ようとしている。 (巣学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・作品鑑賞 ・お話の世界 ・絵の具がたらり ・ふってたたいて ・はさみでちょっきんのりでペタペタ	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。

3学期	18	(知及技) はさみ、テープ、両面テープ、箱などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に工夫して表すことができる。 (思判表力) 材料から感じたこと、想像したことから、工夫して色を塗ったり、工夫して貼ったりすることができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技)はさみ、テープ、両面テープ、箱などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に工夫して表したりしている。 (思判表力)材料から感じたこと、想像したことから、工夫して色を塗ったり、工夫して貼ったりしている。 (主学)つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。	作る（工作） 〇作ってあそぼう ・扇、こま、的当て、獅子舞	・切った紙ややぶいた新聞紙でコラージュ作品を作る。 ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する。 ・画用紙のパーツを箱に貼り付け、獅子舞を作る。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：のり、はさみ、テープ、マジック等〉 〈材料：色画用紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物、生地等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P44　参考)
		(知及技) 手の平や足の裏に絵の具を付けて形を移すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付くことができる。 (思判表力) 手足で塗った色や形に更に色や形を重ねるなど活動を工夫することができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 手形や足形を写してできる形に加え、それを集めると新しい形になることに気付いている。 同じ形を異なる色で写し、いろいろな色に気付いている。 (思判表力) 身辺に触れ、写した際の形のイメージを膨らませている。手や足、道具を組み合わせて新しい形をつくりだしている。 (主学) 次々に手形や足形を押すことを試したり、形ができることを喜んだりして楽しく活動に取り組もうとしている。	描画 〇描いてみよう ・好きな色、線を探そう ・ぬたくり	・マジック、クレヨン、絵の具を使って点や線を描いてみる。 ・全身に絵の具を塗ったり、手形、足形等をとってみる。 〈道具：マジック、クレヨン、絵の具等〉 〈材料：画用紙、模造紙等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P24　参考)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながらかく，切る，ぬる，はるなどすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりすることができる。 (学・人) 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとすることができる。	(知・技) 身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどしようとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品をみたりしようとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとしている。	作る（工作） 〇作ってあそぼう ・はさみでちょっきん 　のりでペタペタ ・はさみでちょっきん 　テープでぺたぺた	〇「はさみでちょっきん　のりでペタペタ」 ・はさみの使い方を知り、はさみを持って、開いたり閉じたりする。 ・1回切り ・線の上を切る。 ・印に合わせて、のりを塗る。 ・のりに同程度の力を加えて、適量をだす。 〈道具：はさみ、のり、テープ　等〉 〈材料：黒画用紙、色画用紙　等〉
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学・人) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ようとしている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑賞 〇見てみよう ・作品鑑賞 ・ししまい ・ぬたくり	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。
留意点 引継ぎ等		描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）			

令和８年度 小学部１年（Ⅱ課程Ｂ）体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部　１学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技）教師と一緒に体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにする。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようする。（小１段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○体つくり運動	【体ほぐしの運動】 ・伸び伸びとした動作で運動を行う。 ・リズムに乗って運動を行う。 ・歩いたり走ったりする運動を行う。 ・動作や人数などの条件を整えて、歩いたり走ったりする運動
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○水の中での運動	【水に慣れる】 ・補助具や教師の補助で水に浮く・進む ・筋緊張を緩めリラックスする。 ・補助具や教師の支援で背浮き、腹浮きする。 【水中移動】 ・水中歩行（手引き歩行・教師の牽引） ・補助具や教師の支援で手・足・体全体を動かして水中移動。 ・水中活動を行う中で、その楽しさや心地よさ感じたことを自分なりに表現する。 【簡単なきまり】 ・入る・出るの約束を守る。 ・ゲームの決まりを守って楽しく遊ぶ。
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○ボールを使った運動やゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・転がす，投げる，当てる，捕る，打つ，蹴る，止めるなどの簡単なボール操作をする。 ・先生や友達にボールを転がしたり，投げたり，先生や友達が転がしたり，投げたりしたボールを止めたり，捕ったりする。
2学期	16	(知及技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。 (思判表力)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な表現運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な表現運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○表現運動	【まねっこ遊び】 ・音楽に合わせて身近な動物や車，飛行機などの乗り物等の真似を自分なりの動きで表現する。 （鳥，昆虫，恐竜，動物園の動物，飛行機，遊園地の乗り物，おもちゃなど，特徴が捉え易い動きを多く含む題材） 【バルーン遊び】 音楽に合わせてバルーンを上下左右に揺らす。寝転んで手をのばす。
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすることができる。 (思判表力)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとしている。 (思･判･表)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとしている。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○器械・器具を使っての運動	【固定施設を使った基本的な運動】 ・フープ、ミニハードル、トンネル、トランポリンなどを使った運動遊びを行う。 【マットを使った基本的な運道】 ・横転がり、ゆりかご，前転がり，後ろ転がりなどをする。
3学期	8	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○ボールを使った運動やゲーム	【ボールを使ったゲーム】 ・補助具やスイッチ教具を使い、ねらったところにボールを転がして、的に当てたり得点したりする。 ・先生や友達にボールを手渡したり投げたりしてゴールにボールを運ぶ。 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 一人鬼，手つなぎ鬼，子増やし鬼 【対戦ゲーム】 風船ゲーム・ごろ卓球・Tベースぼーる
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとしている。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現しようとしている。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○体つくり運動 ・げんきっき ・げんきっき（１０分走）	【体ほぐしの運動】 ・ストレッチ（手足、背中の緊張をほぐす） ・伸び伸びとした動作で運動を行う。 ・リズムに乗って車いすを操作、または教師と一緒に運動を行う。 ・寝返り、腹ばい、四つ這い、膝立ち、手引き歩行、歩行器移動、車いす移動

年間を通して	34	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (思判表力)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく走・跳の基本的な運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 (思･判･表)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○歩く・走る・跳ぶの運動	【歩く・走る運動】 ・10m程度のかけっこを自力や手引き、歩行器車いすで歩いたり走ったりする。 ・教師の手拍子や言葉掛けに合わせ一定の速度で動く。 【跳ぶ運動】 ・教師の支援を受けて、タイミングを計り膝を曲げて跳ぶ感覚を体験する。
		(知及技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をしようとする。 (思･判･表)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えようとする。 (主学))教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○保健	【健康な生活に必要な事柄をする】 「自分の体調を知ろう」 ・状態を伝える言葉を知る 「清潔に保とう」 ・手洗い、うがい 「体の成長を知ろう」 ・これまでの成長の変化を視覚化した教材により、過去と比較する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部１年（Ⅱ-A・B課程）　特別の教科 道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	小学部１年生		

中心目標	・人との関わりの中で、道徳的な価値に気付いたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 ・人と関わる心地よさを感じ取り、人と関わろうとする意欲をもつ。 ・認められる行動やそうでない行動を判断し、望ましい行動をしようとする意欲をもつ。など

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	・伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとする気持ちをもつ。	・伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとしている。	A【正直、誠実】 ・新しい学級	・新たな学級での学習や生活等を通して、伸び伸びと身体を動かそうとすることができるようにする。
	1	・教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとする気持ちをもつ。 ・他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとする気持ちをもつ。	・教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとしている。 ・他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとしている。	C【よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・新しい学級	・新たな学級での学習や生活等を通して、教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごしたり、他の子供の存在に気付き、興味や関心をもったりすることができるようにする。
	2	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ・みんなでなかよく①	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	2	・身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとする気持ちをもつ	・身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとしている。	A【善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことわるいこと	・身近な教師や友達との関わり等を通して、身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付くことができるようにする。
	2	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ・だいすきだよ①	・母の日や父の日に向けての学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	1	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・たいせつないのち	・慰霊の日に向けての学習等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	1	・清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	・清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 ・ここちよさをかんじよう	・着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
	1	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・しぜんとなかよく①	・野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	1	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 ・あいてのきもち	・友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近な大人の存在や他の子供の感情に気付くことができるようにする。
2学期	2	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 ・わたしのがんばったこと、したいこと①	・前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることができるようにする。
	2	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ・だいすきだよ②	・敬老の日に向けた学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	2	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・しぜんとなかよく②	・野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	2	・身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとする気持ちをもつ。	・身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとしている。	A【希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分からやってみよう	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけることができるようにする。
	3	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ・みんなでなかよく②	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。

	2	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 ・ありがとう	・勤労感謝の日に向けた学習等を通して、身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表したり、他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴したりすることができるようにする。
	1	・清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	・清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 ・ここちよさをかんじよう	・着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
3学期	2	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・しぜんとなかよく③	・野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	3	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ・みんなでなかよく③	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	3	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 ・わたしのがんばったこと、したいこと②	・1年間の振り返りや進級に向けての学習等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部1年（Ⅱ-A･B課程） 特別活動 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	小学部1年		

目標:(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価:(知･技)知識･技能　(思･判･表)思考･判断･表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	○友達や教師と一緒に活動したり、集団活動への参加の仕方を身に付けたりすることができる。 ○友達や教師と一緒に、話し合い活動をしたり、何かを決めたりすることができる。 ○集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする態度を身に付けることができる。

学期	時数	単元･題材の目標	単元･題材の評価規準	単元･題材名	単元･題材の活動内容
1学期	12	○新しい教師や友達と、仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	○新しい先生や友達と、仲良くがんばろうとしている。	【入学おめでとう】	○学級開きや学年開きを通して、新しい教師や友達を知り、仲良くがんばる気持ちを持つ。
		○学級の目標や1学期の個人目標を考えることができる。	○学級の目標や1学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○学級の目標や1学期の個人目標を立てる。
		○図書室での約束や借り方などを知り、利用することができる。	○図書室での約束や借り方などを知り、利用しようとしている。	【図書室の利用】	○図書室での約束や借り方などを知り、図書室を利用する。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ･始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ･身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ･避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ･校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習学習に関する事前事後学習】	○交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【1学期を振り返ろう】	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○夏休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○夏休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【夏休みに向けて】	○夏休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
2学期	14	○2学期の個人目標を考えることができる。	○2学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○2学期の個人目標を立てる。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ･始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ･身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ･避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ･校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習に関する事前事後学習】	○交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。

		○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【2学期を振り返ろう】	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○冬休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○冬休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【冬休みに向けて】	○冬休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
3学期	8	○3学期の個人目標を考えることができる。	○3学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○3学期の個人目標を立てる。
		○児童会について知り、活動への関心を持つことができる。	○児童会について知り、活動への関心を持とうとしている。	【みんなに紹介しよう】	○児童会について知り、活動への関心を持つ。 ○学校行事の計画の一部を担当したり、運営に協力したりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ・校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習に関する事前事後学習】	○交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【3学期を振り返ろう】	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○春休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○春休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【春休みに向けて】	○春休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
留意点 引継ぎ等					

2年生

Ⅱ－A課程

令和８年度　小学部２年（Ⅱ課程－A）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部２学年		文科省著作教科書　せいかつ☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。 (学･人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して１４０	35	(知及技)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。 (学･人)簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとすることができる。	(知・技)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとしている。 (主学)生活習慣に関わる初歩的な学習活動を通して自分のことに取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【ア 基本的生活習慣】 〇いっしょにやってみよう! 「おやすみ・おはよう」 「もちものをしまおう」 「トイレにいこう」 「たのしい きゅうしょく」	【食事】 ・食前の準備（手洗い・エプロン着用・配膳）や食後の片付けをする。 【用便】 ・尿意や便意を伝える。用便の手順に沿って用を足し、用便後は手を洗う。 【寝起き】 ・寝る前や起きた後に何をするかについて知る。 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れに気付き、洗面や歯磨きをしたり、タオルで拭いたり、着替えたりする。 【身の回りの整理】 ・持ち物の片付け方を知り決められた場所に置く。 【身なり】 ・身なりについて気付き、簡単な衣服の着脱をする。着脱後の確認をする。
	40	(知及技)簡単な日課について、関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人)簡単な日課に関心をもち、自分の生活に見通しをもって、自ら活動に向かおうとすることができる。	(知・技)簡単な日課について、関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようしている。 (主学)日課に沿って教師と共にする活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、見通しをもって自ら活動に向かおうとしたりしている。	【ウ 日課・予定】 〇がっこうについたら 「とうこう」 「あさのかい」 「つぎのじゅぎょうはなにかな」 「かえりのかい」 「げこう」	【日課】 ・教師と一緒に行動することにより、簡単な日課に気付き行動する。 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかを知り、できるだけ日課に沿って行動する。
	25	(知及技)身の回りの遊びや遊び方について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすることができる。 (学･人)好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとすることができる。	(知・技)身の回りの遊びや遊び方について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとしている。 (主学)好きな遊びをすることなどに関わる学習活動を通して、友達や身近な人々、身の回りの遊びに関心をもち、自ら周囲に働きかけようとしている。	【エ 遊び】 〇あそびがいっぱい 「あそびがいっぱい」	【いろいろな遊び】 ・教室にあるおもちゃで遊ぶ。 ・教師と一緒にまねっこ遊びをする。 ・教師と一緒にいっぽんばしなどのスキンシップ遊びをする。 ・教師と一緒に滑り台やブランコなど遊具で遊ぶ。 【遊具の後片付け】 ・自分が使った遊具を教師と一緒に元の場所に片付ける。
	14	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。 (学･人)様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学)学級等の集団における役割などに関わる学習活動を通して、集団の中で活動することに慣れ、簡単な役割を果たそうとしている。	【カ 役割】 〇いっしょにしよう 「いっしょにしよう」 〇ちいきのぎょうじ 「ごうどううんどうかい」	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部の存在に気付く。（学部間交流）
	14	(知及技)簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとすることができる。 (学･人)学校生活の流れに即して、簡単な手伝いや仕事を経験しながら、手伝うことの喜びを味わったり、自分で取り組んだりしようとすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事に関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 (主学)教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を通して、活動に徐々に慣れたり、簡単なことを習慣にしたりしようとしている。	【キ 手伝い・仕事】 〇きれいにしよう 「きれいにしよう」	【整理整頓】【後片付け】 ・身の回りの棚や机の中を整理する。 ・使用したものを元の場所に片付ける。 【掃除】 ・はき掃除や拭き掃除をすることのねらいに気付き、清掃活動をする。

	12	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「みつけよう」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
1学期12	2	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとすることができる。 (学･人)生活の流れに即して，教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学)学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自発的にきまりを守って行動したり，習慣化したりしようとしている。	【ケ きまり】 〇いろいろなあいず 「いろいろなあいず」 〇みんなでつかう ばしょのきまり 「みんなでつかう ばしょのきまり」	【学校のきまり】 ・学校のきまりを知って守る。 【日常生活のきまり】 ・日常生活における簡単なきまりを知って守る。 ・図書室の利用方法を知る。
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「はる」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 〇ひなんくんれん 「かじ」 〇わたしたちを みまもってくれる ところ 「こうばん」 「しょうぼうしょ」 〇あんしん あんぜん	【危険防止】 ・家や学校での自分の身を守る行動に気付く。 【交通安全】 ・教師と一緒に、安全に通行する。 ・信号機や安全に通行する場所があることに気付く。 【避難訓練】 ・災害（地震、火事）について知る。 ・指示に従って、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・生活を守る場所（交番、消防署）を知る。
	1	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとすることができる。 (学･人)生活の流れに即して，教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学)学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自発的にきまりを守って行動したり，習慣化したりしようとしている。	【ケ きまり】 〇どうろをあるくとき・のりものを つかうときのきまり 「どうろをあるくとき・のりものを つかうときのきまり」	【交通安全のきまり】 ・交通における簡単なきまりを知って守る。 【マナー】 ・身近で簡単なマナーに気付き、それらを守って行動しようとする。
	3	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動を通して、身の回りにある社会の仕組みや公共施設について主体的に関わろうとしている。	【コ 社会の仕組みと公共施設】 〇わたしのがっこう 「がっこうたんけんをしよう」 〇どんなおみせが あるかな 「いってみよう」	【学校】 ・教室の場所や用途に関心をもつ。 ・校内探検などを通して、自分の学級や図書室などに関心をもち、その場所や名称を知る。 【いろいろな店】 ・お店屋さんごっこを通して、いろいろなお店があることを知る。 【社会の様子】【公共施設の利用】 ・学校近隣の公園や郵便局などの公共施設があることを知り、利用する。 【交通機関の利用】
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「なつ」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思判表力)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。 (学･人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表))教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 〇ありがとう、 ごめんなさい 「ありがとう」 「ごめんなさい」	【身近な人との関わり】 ・学級の友達や小学部の友達と関わって活動する。 【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客に気付く。 【気持ちを伝える応対】 ・教師や友達に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える。
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「あき」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。

2学期14	3	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学・人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 〇ゴムであそぼう 「ゴムであそぼう」	【ゴムの力の動き】 ・ゴムの力によって物が動く様子を見る。 ・ゴムの力が物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム（紙コップ、水風船）等
	2	(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思判表力)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。 (学・人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表))教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 〇だれか きたよ 「でんわがなっているよ」 「おきゃくさんがきたよ」	【身近な人との関わり】 ・学級の友達や小学部の友達と関わって活動する。 【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客に気付く。 【気持ちを伝える応対】 ・教師や友達に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える。
	1	(知及技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 〇ひなんくんれん 「じしん」	【避難訓練】 ・災害（地震、火事）について知る。 ・指示に従って、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・生活を守る場所（交番、消防署）を知る。
	2	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学・人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動を通して、身の回りにある社会の仕組みや公共施設について主体的に関わろうとしている。	【コ 社会の仕組みと公共施設】 〇どんなおみせが あるかな 「のってみよう」	【いろいろな店】 ・お店屋さんごっこを通して、いろいろなお店があることを知る。 【社会の様子】【公共施設の利用】 ・学校近隣の公園や郵便局などの公共施設があることを知り、利用する。 【交通機関の利用】
	2	(知及技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学・人)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学)簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を通して、その価値や意味にも関心をもち、生活に生かそうとしている。	【ク 金銭の扱い】 〇かいもの 「かいものをしよう」	【買い物】 ・簡単な買い物の手順を体験する。 【自動販売機の利用】 ・自動販売機の種類や使い方を知る。 ・教師の支援を受けながら、自動販売を利用したり、買い物をしたりする。
3学期9	3	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学・人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 〇かぜとあそぼう 「かぜとあそぼう」	【風の動き】 ・風によって物が動く様子を見る。 ・風の力が物を動かすことができることに気付く。 ・凧揚げ、ビニール袋、紙コップ竹とんぼ、扇風機、うちわ、紙吹雪等
	4	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学・人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「ふゆ」 〇きせつと あそぼう 「きせつの ずかん」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学・人)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学)簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を通して、その価値や意味にも関心をもち、生活に生かそうとしている。	【ク 金銭の扱い】 〇じどうはんばいき 「せんせいとやってみよう」	【買い物】 ・簡単な買い物の手順を体験する。 【自動販売機の利用】 ・自動販売機の種類や使い方を知る。 ・教師の支援を受けながら、自動販売を利用したり、買い物をしたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度　小学部２年（Ⅱ課程A）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部２年		国語☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力) ・日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 (学･人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表) ・日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりしようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	しるし	○場面の構成：廊下に貼ってある体育館の絵カードや「→」の記号を見ながら、体育館へ移動する。体育館へ到着し、遊ぶ。絵カードに従って片づける。先生が「○」で評価する。 ○登場人物を真似て教師とやりとりをする、絵カード等を選択して自分の意思を伝える等の活動へつなげていく。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	12	(知及技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。 ・教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。 (学･人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えようとしている。 ・教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ほっとけーき	○『おいしそうに出来上がったホットケーキ』→『フライパンを用意したり、卵を割ったり、粉をかき混ぜたりしている様子』→『ホットケーキが焼きあがる様子』→『出来上がったホットケーキをテーブルに運ぶ様子』 ○絵を通して、伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表したり、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現する。
	6	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・はる ・なつ	○春：遠くに雪の残っている山々を臨む菜の花畑を、楽しそうに駆け抜けていく子供たちを表現した風景。 ○夏：砂浜で遊んだり海で泳いだりしている子供たちなど、夏の海を表現した風景。 ○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。 ・毛筆を使っての書初めの体験をする。
	12	(知及技) ・遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむことができる。 (思判表力) ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しもうとしている。 (思・判・表) ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりしようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	まほうのはこ	○魔法の箱：魔法の箱に向かって、魔法使いがステッキを持って掛け声を出すと、箱のふたが開いて、小さな子供が顔をのぞかせる。 ○りんご・バナナ・いろいろな果物：魔法の箱から小さな子供と共にりんごやバナナが現れる。箱の中には、次に出てくる果物の色の服を着た子供が顔をのぞかせている。 ○ソフトクリーム：魔法の箱から大きなソフトクリームが出てくる。 ○いろいろなお菓子：テーブルの上にたくさんのお菓子が乗っていて、魔法使いがソフトクリームをおいしそうに食べている。教師や友だちと一緒にお菓子を食べる模倣をしてみたり、「モグモグ」「おいしい」等と言葉で自由に表現する。自分の好きな食べ物を出してみたいと想像して表現したり伝えたりする。

2学期	10	(知及技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思判表力) ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	あなたはだあれ	○男の子が野原で、犬、猫、豚、あひる、牛の順に出会い、最後に皆で並んで歩いていく。 ○シルエットの動物が何であるか、絵に注目して名称を当てる。難しければ、ヒント（鳴き声など）を提示してイメージを膨らませる。
	6	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・あき ・ふゆ	○秋：紅葉で燃えるような山々、野原で枯れ葉を舞わせて遊ぶ子供たちなどを表現した風景。 ○冬：白銀の世界の中をスキーやスノーボードで滑り降りていく子供、山の麓で雪だるまを作っている子供など、冬の山を表現した風景。 ○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。 ・毛筆を使っての書初めの体験をする。
3学期	7	(知及技) ・いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 ・写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知及技) ・いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている。 ・写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思判表力) ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう ・かいてみよう１ ・かいてみよう２ ・かいてみよう３ ・かいてみよう４	文字を書くことへの興味・関心を育てつつ、筆記具の正しい持ち方を知ったり、運筆など筆記具の扱いに慣れて、いろいろな線を書いたりすることができるようになるような活動を行う。 ・かいてみよう１：黒板にいろいろな線を書いて楽しむ。画用紙にクレヨンやフェルトペンで線を引いたり、絵を描いたりして楽しむ。 ・かいてみよう２：魚、葉っぱ、いちご、みかんにフェルトペンや色鉛筆で塗り絵をする。 ・かいてみよう３：大小の雲と、大小の傘の絵。雲と傘の間に雨が降っているのを模倣して、縦方向の線をイメージして書く。 ・かいてみよう４：蛇口につながったホースとプールの絵。ホースの先からプールに向かって、横方向の線をイメージして書く。 ・児童の実態に応じて、毛筆を使っての書き初め体験をする。
	3	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・はる ・なつ ・あき ・ふゆ	○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。 ・毛筆を使っての書初めの体験をする。
年間を通して	44	(知及技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思判表力) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。 ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えようとしている。 ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりしようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	おはなしの世界 ・絵本 ・パネルシアター ・ペープサート　等	○様々な「おはなし」の読み聞かせに注目し、絵本、紙芝居、ペープサート、写真等に興味をもつ。 ○「読書月間」等の機会を活用して、自分の好きな絵本を探したり見たりする。
	30	(知及技) ・いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 ・写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知及技) ・いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている。 ・写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思判表力) ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう	○正しい鉛筆の持ち方、書くときの正しい姿勢について知る。 ○平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。
	35	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	がっこうだいすき	○朝の会で自分の名前を言ったり、返事をしたりする。 ○予定調べや学習の振り返りをする。

留意点 引継ぎ等	○児童の実態に応じて、生活科と関連付けながら暑中見舞いや年賀状に取り組む。

島尻スタンダード　　さんすう：小学部１段階

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部２学年		算数☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力，判断力，表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	35	(知及技) ・ものとものとを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものとものとを対応させて配ろうとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・おなじまーくは，どれでしょう ・じぶんのまーくは，どこでしょう	【おなじまーくは，どれでしょう／じぶんのまーくは，どこでしょう】 特別な物（自分のもの）を他と見分ける。 【みんなに くばりましょう】 一人に一つのもの，一つのものに他の一つのものを対応する。
	35	(知及技) ・分割した絵カードを組み合わせることができる。 ・関連深い絵カードを組み合わせることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・分割した絵カードを組み合わせようとしている。 ・関連深い絵カードを組み合わせようとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・あわせましょう①② ・なかまをあつめましょう	【あわせましょう①②】 切り離した絵のそれぞれの絵カードから情報を読み取り，読み取った情報を基に，一枚の絵を完成させる。 【なかまをあつめましょう】 身近でなじみのある食べ物を集める，動物を集めるなど，指定された属性の中で，関連深い絵カードを集める。
2学期	40	(知及技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表すことができる。 ・５までの範囲で数唱をすることができる。 ・３までの範囲で具体物を取ることができる。 ・対応させてものを配ることができる。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表そうとしている。 ・５までの範囲で数唱をしようとしている。 ・３までの範囲で具体物を取ろうとしている。 ・対応させてものを配ろうとしている。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・いち，に，たくさん ・いち，に，さん，し，ご ・とりましょう ・まーくに，あわせて，ならべましょう ・ぜんぶ「さん」	【いち，に，たくさん】 ①左右の手に一つずつ具体物を持ち，それでもまだ両手には持てないほどの具体物がある状況，自分の手では持てないほどの量があることを体感する。 ②「１個，２個，たくさん」と表現することに気付く。 【いち，に，さん，し，ご】 ５までの範囲で数を唱える。 【とりましょう】 ３までの数の具体物を取る。 【まーくに，あわせて，ならべましょう】 ボウリングのピンを準備する場面を捉え，マークを手掛かりに，必要な数のピンを置く（配る）。 【ぜんぶ「さん」】 様々な具体物やイラストなどを操作する，指差すなどの動きを伴う活動を通して，形や色が違う具体物でも数が変わらないこと，間隔や置き方などの位置が変わっても数が変わらないことに気付く。
	40	(知及技) ・似ている二つのものを結びつけることができる。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。 ・同じもの同士の集合作りをすることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持つことができる。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かすことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・似ている二つのものを結びつけようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせようとしている。 ・同じもの同士の集合を作ろうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持とうとしている。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かそうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・にているものを，みつけましょう ・そろえましょう ・おなじかたちを，あつめましょう	【にているものを，みつけましょう】 ①形をおおまかに捉える。 ②形が同じであるか，同じでないかを区別する。 ③似ていることを捉える。 【そろえましょう】 ①様々な刺激の中から，ものとものとを関連付けるために必要な情報として，形を取り出す。 ②仲間であることを判断する。 ③対にすることでそれを表現する。 【おなじかたちを，あつめましょう】 ①形に着目する。 ②形を捉える。 ③同じ形と認識する。 ④同じ形を選択し，一つのところに集める。
3学期	25	(知及技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別することができる。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。 (思判表力) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別しようとしている。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現しようとしている。 (思･判･表) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現しようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	D測定ア ・おなじ，ちがう ・おおきい，ちいさい①② ・おおい，すくない①② ・ながい，みじかい	【おなじ，ちがう】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。 ③「同じ」「違う」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい①】 ①児童が直接働きかける具体物を観察する。 ②具体物の大きさに注目して，それを「大きい」か「大きくない」か決める。 ③大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別する。 ④「大きい」「小さい」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい②】 ①二つの大きさの違いに注目する。 ②二つの大きさのいずれかに働きかけて同じ大きさにする。 【おおい，すくない①】 ①児童が直接働きかける対象などを観察する。 ②かさ等に注目して，それを「多い」と「少ない」に区別する。 ③かさ等の異なる二つの量を「多い」と「少ない」に区別する。 ④「多い」「少ない」という用語を用いる。 【おおい，すくない②】 ①二つのかさに注目して，それらを「多い」と「少ない」にわける。 ②「多い」「少ない」という用語を用いる。 【ながい，みじかい】 ①具体物の長さに注目する。 ②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部2年（Ⅱ課程B）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部2年　Ⅱ-B 課程		音楽☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小1段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。(小１段階) (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。(小１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆ちゅうりっぷ、ことりのうた、こいのぼり、あ・い・う・え・おーっ！、かたつむり、おばけなんてないさ、たなばたさま、はなび、うみ ・学年の歌(おーい)、校歌他 【たのしいいちにち(年間を通して)】 ☆おひさまきらきら、せんせいとおともだち、はをみがきましょう、おかたづけ、さよならあしたもね他	・校歌や児童会の歌など、わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。 ・動きを模倣し、楽しみながら教師や友達と一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かしたりする。
	5	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おととあそぼう】 ☆がっきのおとあて、すずのきょく、まじっくまんぼ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	5	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【てあそびをしよう】 ☆あたま かた ひざ ぽん、むすんでひらいて、ぱんだ うさぎ こあら、まあるいたまご、のねずみ、とんとんとんとんひげじいさん、おおきなわ ちいさなわ 【むかいあってたのしく】 ☆はらぺこあおむし、ゆらゆらぼーと ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つけている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう①】 ☆はたらくくるま、おもちゃのへいたい・ひよこちゃん、いちごはどこ、まきばの合唱団、あめふりくまのこ ・月桃、いのちのリレー、ヤッホッホなつやすみ他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
2学期	7	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆どんぐりころころ、まつぼっくり、とんぼのめがね、もえろうんどうかい、おやつたーべよ ・学年の歌(おーい)、校歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	8	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おととあそぼう】 ☆すてきなはーぷ、かばさをならそう、いっしょにならそうよ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。

	8	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたって おどって①】 ☆ながぐつまーち、ふりふりだんす他 ・おーいサンタさん 【どうぶつになって】 ☆おうま、ぞうさん、くまさんくまさん 【みんななかよく】 ☆ばななのおやこ、はっぴーばーすでー、てをつなごう、ばすごっこ 【むかいあってたのしく】 ☆ぱんやさんに おかいもの ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。

	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つ付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう②】 ☆がぼっと、おどるこねこ他 ・森のクリスマス、燃えろ運動会	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
3学期	5	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆こんこんくしゃんのうた、まめまき、はなのかのん、ぱっぱっぱたらかのうた、 ・学年の歌(おーい)、校歌、卒業式の歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	5	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【がっきをならそう】 ☆がっきをならそう、へい！たんぶりん、おおきなたいこ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	5	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたっておどって②】 ☆ちぇっちぇっこり、だるまさん、はたけのぽるか、ちいさいうみ　おおきいうみ 【わらべうた】 ☆おちたおちた、なべなべそこぬけ、おちゃをのみに 【むかいあってたのしく】 ☆ぴすけっとをやきましょう ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	4	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つ付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【えをみておはなしをきこう】 ☆すてきなぼうしやさん、3びきのやぎのがらがらどん 【みみをすまそう③】 ☆うみのみえるまち、そらとぶたっきゅうびん、やさしさにつつまれたなら他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部 2年 （Ⅱ課程A･B）図画工作 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部2年生		図画工作教科書1，2年（上下）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知･技)知識・技能　(思･判･表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

学期	時数	単元･題材の目標	単元･題材の評価規準	単元･題材名	単元･題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 形や色などに気付き、表したいことを材料や用具を使い、つくろうとしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 意欲的に表したり見たり選んだりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさを感じながら取り組もうとしている。	描画 〇ぬたくり	･道具を用いて自由にぬたくりをする。 〈道具：ローラー、はけ〉 〈材料：画用紙、色画用紙、模造紙〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上24、25 参考)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながら描く、切る、塗る、貼るなどをすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 身近な材料や用具を使い、形をつくろうとしている。 (思･判･表) 材料などから、表したいことを思い付いている。 (主学) 進んで表そうとしたり、つくりだすことの楽しさに気付いたり、形や色などに関わろうとしている。	粘土であそぼう 〇粘土で切る、こねる、伸ばす 〇にぎにぎねんど	･紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する ･自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 ※母の日、父の日等のプレゼントにつなげる 〈道具：のり、はさ見、ボンド、テープ等〉 〈材料：粘土、紙粘土〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P18、19 参考)
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことを思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 意欲的に表したり見たり選んだりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさを感じながら取り組もうとしている。	描画 〇ぐるぐる、なみなみを描いて見よう ･好きな色、線を探そう	･好きな材料を使って、ぐるぐる線や波線を描いてみる。 ･視線を確認しながらゆっくりと描いてみる。ぐるぐる、なみなみの言葉や動きなどとともに楽しく活動する。 〈道具：ペン、マジック、筆、クレヨン、絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、模造紙、新聞紙等〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P10、11 参考)
		(知及技) 紙を重ねてできる新しい色や形に気付くことができる。 (思判表力) 紙を重ねながら、見え方が変わる面白さを感じ取ることができる。 (学･人) 色や形の見え方を見つけることを楽しむことができる。	(知･技) 紙を重ねてできる新しい色や形に気付いている。 (思･判･表) 紙を重ねながら、見え方が変わる面白さを感じ取っている。 (主学) 色や形の見え方を見つけることを楽しんでいる。	鑑賞 〇いろの見え方むげんだい	･透明な折り紙を重ねて、色や形の変化を鑑賞する。 ･好みの色や形を探して楽しむ。 (道具：のり、はさみ等) 〈材料：白画用紙、ラミネートフィルム、透明折紙 (教科書：ずがこうさく1･2 下P28、29 参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しみながら学習活動に取り組むとする。	(知･技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思･判･表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	ふりかえり･鑑賞 〇見てみよう ･ぬたくり ･粘土であそぼう ･描画	･自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。 ･身近にある作品に親しむことができる。
2学期	28	(知及技) 身の回りの自然物などに触れながら描く、切る、塗る、貼るなどをすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) はさみを用いて、線の上を一回切りや連続切りしている。 (思･判･表) 形や色などを基に、自分のイメージをもっている。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	造形遊び 〇見てみよう触ってみよう ･「はさみでちょっきん」 ･「つないでつるして」	･はさみを使って連続して切ったり、線に沿って切ったりする。 ･切ったものをつなげたり、つるしたりする。 (道具：のり、はさみ、テープ等) 〈材料：新聞紙、折り紙、色画用紙等〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P12、13 下P32、33 参考)
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 揺れる形を見つけ、工夫して作ったり、試しながら揺れると楽しい飾りを考えたりすることができる。 (学･人) 風に揺れる飾りを作ることを楽しむことができる。	(知･技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思･判･表) 揺れる形を見つけ、工夫して作ったり、試しながら揺れると楽しい飾りを考えたりしている。 (主学) 風に揺れる飾りを作ることを楽しんでいる。	工作 〇ひらひら ゆれて	･風に揺れると楽しい飾りを作る。 ･揺れてきれいな色や形を探して楽しむ。 (道具：のり、はさみ、テープ、マジック等) 〈材料：透明なゴミ袋、ハンガー、画用紙、シール、カラーセロハン等〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P32、33 参考)
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現している。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 〇色々な技法で描いてみよう ･「ビー玉を転がして描いてみよう」	･段ボールを揺らしながら、転がるビー玉の動きに注目し、できる模様を楽しむ。転がるビー玉によって引かれる線や、絵の具の色を変え交じり合う様子も楽しむ。 〈道具：絵の具、ビー玉等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、段ボール箱、和紙、浅いバット等〉
		(知及技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る (工作) 〇たくさんあつめて ･「いっぱいつかってなにしよう」	･同じ形や種類の材料をたくさん集めてどんなことができるか、どんな形が見つかるか、表現する。 ･自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料：同じ形の箱等〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P38、39、P44、45 参考)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながら描く、切る、塗る、貼るなどすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 身の回りの自然物などに触れながら描く、切る、塗る、貼るなどしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る (工作) 〇見てみよう触って見よう ･「ふって、たたいて、はじいて、こすって」(楽器作り)	･材料を組み合わせて、楽器を作る。 ･自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料：空き箱、ペットボトル、ゴム、大豆等〉
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しみながら学習活動に取り組むとする。	(知･技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思･判･表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	ふりかえり･鑑賞 〇見てみよう ･色々な技法で描いてみよう ･たくさんあつめて ･見てみよう触ってみよう	･自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。 ･身近にある作品に親しむことができる。
3学期	18	(知及技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうしている。	作る(工作) いっぱい使って何しよう (身近にたくさんあるものを活用する)	･たくさんの材料に触れてあそんだり、つくったりする。 〈道具：のり、はさみ、テープ等〉 〈材料：ビニール、箱、その他〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P38、39 参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しみながら学習活動に取り組むとする。	(知･技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思･判･表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	ふりかえり･鑑賞 〇見てみよう ･作品鑑賞 ･卒業式壁面	･1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。 ･自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。

留意点 引継ぎ等	描画(絵に表す活動) 作る(立体に表す活動、工作に表す活動) 鑑賞(造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動)

令和８年度　小学部２年（ⅡA課程）体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部２年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 (思判表力) 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。 (学･人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技）教師や友達と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、体つくり運動遊びをしようとすることができる。（小１段階）	(知・技）(知・技）教師や友達と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かそうとしている。 (思･判･表)手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、体つくり運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	いろいろなうごきにチャレンジしよう ならんでみよう、あつまってみよう 体つくりの運動遊び	・這う、またぐなどの運動遊び。 ・座る、しゃがむ、階段を昇ったりする運動遊び。 ・しゃがんだり、立ったり、その場跳びをしたり、転がったりするなどの運動遊び。 ・手足を伸ばしたり脚を前後左右に開いたり腕を振ったり回したりする運動遊び。 ・離れた場所にいる教師の言葉や笛の合図を聞いて、教師のもとに集まる運動遊び。 ・一定の距離を早く走る運動遊び。 ・ポールをつないだり、カラーコーンを置いて目印をつくり、直線を走る運動遊び。 ・20mほどの直線を一人や友達と走る運動遊び。 ・20m先に置かれている小さなフープを取って戻ってくる運動遊び ・教師の合図や指示に従って、スタートする。
	7	(知及技）教師や友達と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びができる。（小１段階） (思判表力)水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、水遊びをすることができる。（小１段階）	(知・技）教師や友達と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びをしようとしている。 (思･判･表)水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	みずのなかでたのしもう 水の中での運動遊び	・プールの周りでじょうろなどを使って、プールに慣れるような水遊び。 ・水の抵抗を感じながら歩いたり走ったりする水遊び。 ・遊具を浮かべたり、沈めたりする遊び。 ・水をすくって自分にかけたり、友達にかけたりする水遊び。 ・プールサイドを走らないことや一人で入水しないなどの安全の心得につながるようにする。 ・教師の合図に従って、プールから出ること。
	12	(知及技）教師や友達と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとすることができる。（小１段階）	(知・技）教師や友達と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかそう ・リトミック 表現運動遊び	・音楽に合わせての表現する運動遊び。 （うしろ歩き、あひる歩き、馬歩き、トンボ、けんけん、くも歩きギャロップ、スキップ） ・教師の言葉や笛の合図を聞いたり、曲の変化に合わせて表現する。
2学期	12	(知及技）教師や友達と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとすることができる。（小１段階）	(知・技）(知・技）教師や友達と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かそうとしている。 (思･判･表)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	サーキット ・器具、器械を使っての運動遊び	・個々の状態に応じた高さの跳び箱を登ったり、ジャンプして降りたりする運動遊び。 ・フープを並べ、グーパーやケンケンパーをする運動遊び。 ・トンネルをくぐる運動遊び。 ・一つのミニハードルを跳び越えたり、幾つか並べて連続して跳んだりする運動遊び。 ・キャスターボードを使って、手や腕の力で前へ進む運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、器械・器具を使っての運動遊びを始めたり止めたりする。
	13	(知及技）教師や友達と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図に従って、走・跳の運動遊びをすることができる。（小１段階）	(知・技）教師や友達と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかそう ・５～１０分間走 走・跳の運動遊び	・決まった方向に、一定の時間や距離を教師と一緒または距離を取りながら、ゆっくり走ったり、早く走ったりする運動遊び。 ・記録会に参加し、教師と一緒または１人で走る。

3学期	11	(知及技）教師や友達と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとすることができる。（小１段階）	(知・技）教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	ボールとなかよくなろう ・ボール転がし ・的あて ・玉入れ ボールを使っての運動遊び	・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、友達や教師に手渡したり、転がしたり、捕まえたりする運動遊び。 ・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、的に当てる運動遊び。 ・お手玉、サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）使って、個々の状態に応じた高さや枠の大きさに適した玉入れをする運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、ボールを使った運動遊びを始めたり止めたりする。
年間を通して	5	(知及技）教師や友達と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。（小１段階） (思判表力)健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えることができる。（小１段階） (学･人）健康な生活を送ることの大切さを知ることができる。（小１段階）	(知・技）教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をしようとしている。 (思・判・表)健康な生活に必要な事柄に気付き、感じたことを他者に伝えようとしている。 (主学）健康な生活を送ることの大切さを知ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	てあらい・うがいはなぜするの？ おなかやあたまがいたいときは、せんせいにはなそう保健	・手洗い・うがいに関心をもつように、「咳」「風邪」などのことばに触れる。 ・家庭との連携を図り、帰宅時などの手洗いを習慣化できるようにする。 ・自らの体調について意識し、体調の悪いときやけがをして痛みを感じていることを教師などに知らせる。 ・体調を言葉や絵カード、サインなどを用いて確認したり伝えたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部２年（Ⅱ-A・B課程）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部２学年		

中心目標	◎人との関わりの中で、道徳的な価値に気付いたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 〇人と関わる心地よさを感じ取り、人と関わろうとする意欲をもつ。 〇認められる行動やそうでない行動を判断し、望ましい行動をしようとする意欲をもつ。など

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	①伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとする気持ちをもつ。	①伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとしている。	A【正直、誠実】 〇新しい学級	〇新たな学級での学習や生活等を通して、伸び伸びと身体を動かそうとすることができるようにする。
	2	①教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとする気持ちをもつ。 ②他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとする気持ちをもつ。	①教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとしている。 ②他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとしている。	C【よりよい学校生活、集団生活の充実】 〇新しい学級	〇新たな学級での学習や生活等を通して、教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごしたり、他の子供の存在に気付き、興味や関心をもったりすることができるようにする。
	2	①身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとする気持ちをもつ	①身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとしている。	A【善悪の判断、自律、自由と責任】 〇よいことわるいこと	〇身近な教師や友達との関わり等を通して、身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付くことができるようにする。
	2	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 〇みんなでなかよく①	〇教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	2	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 〇だいすきだよ①	〇母の日や父の日に向けての学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	1	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 〇たいせつないのち	〇慰霊の日に向けての学習等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	1	①清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	①清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 〇ここちよさをかんじよう①	〇着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
	1	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 〇しぜんとなかよく①	〇野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	2	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 〇あいてのきもち	〇友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近な大人の存在や他の子供の感情に気付くことができるようにする。
2学期	2	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 〇わたしのがんばったこと、したいこと①	〇前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることができるようにする。
	2	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 〇だいすきだよ②	〇敬老の日に向けた学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	1	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 〇しぜんとなかよく②	〇野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	2	①身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとする気持ちをもつ。	①身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとしている。	A【希望と勇気、努力と強い意志】 〇自分からやってみよう	〇教師や友達との学習や遊び等を通して、身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけることができるようにする。
	3	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 〇みんなでなかよく②	〇教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。

	2	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 〇ありがとう	〇勤労感謝の日に向けた学習等を通して、身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表したり、他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴したりすることができるようにする。
	1	①清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	①清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 〇ここちよさをかんじよう②	〇着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
3学期	2	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 〇しぜんとなかよく③	〇野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	3	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 〇みんなでなかよく③	〇教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	3	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 〇わたしのがんばったこと、したいこと②	〇1年間の振り返りや進級に向けての学習等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部2年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部2年		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	○友達や教師と一緒に活動したり、集団活動への参加の仕方を身に付けたりすることができる。 ○友達や教師と一緒に、話し合い活動をしたり、何かを決めたりすることができる。 ○集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする態度を身に付けることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	○新しい教師や友達と、仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	○新しい先生や友達と、仲良くがんばろうとしている。	【進級おめでとう】	○学級開きや学年開きを通して、新しい教師や友達を知り、仲良くがんばる気持ちを持つ。
		○学級の目標や1学期の個人目標を考えることができる。	○学級の目標や1学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○学級の目標や1学期の個人目標を立てる。
		○図書室での約束や借り方などを知り、利用することができる。	○図書室での約束や借り方などを知り、利用しようとしている。	【図書室の利用】	○図書室での約束や借り方などを知り、図書室を利用する。
		○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めることができる。	○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めようとしている。	【ハッピータイム】	○静かに集会に参加し、見たり聞いたりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに向けて見通しを持ち、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ・身体測定や各種の検診等の事前事後学習を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動することができる。	○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習をしよう】	○交流学習を通して、異学年や他学部の児童生徒と一緒に活動する。
		○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【1学期を振り返ろう】	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○夏休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○夏休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【夏休みに向けて】	○夏休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
2学期	13	○2学期の個人目標を考えることができる。	○2学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○2学期の個人目標を立てる。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ・避難訓練の事前事後学習を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めることができる。	○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めようとしている。	【ハッピータイム】	○静かに集会に参加し、見たり聞いたりする。
		○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動することができる。	○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習をしよう】	○交流学習を通して、異学年や他学部の児童生徒と一緒に活動する。
		○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【2学期を振り返ろう】	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○冬休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○冬休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【冬休みに向けて】	○冬休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。

3学期	9	○3学期の個人目標を考えることができる。	○3学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○3学期の個人目標を立てる。
		○児童会について知り、活動への関心を持つことができる。	○児童会について知り、活動への関心を持とうとしている。	【みんなに紹介しよう】	○児童会について知り、活動への関心を持つ。 ○学校行事の計画の一部を担当したり、運営に協力したりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○学芸的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに見通しを持ち、厳粛で清新な気分を味わう。 ○学芸的行事 ・学習成果発表会に向けての活動に取り組み、日頃の学習の成果をまとめる。
		○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めることができる。	○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めている。	【ハッピータイム】	○静かに集会に参加し、見たり聞いたりする。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動することができる。	○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習をしよう】	○交流学習を通して、異学年や他学部の児童生徒と一緒に活動する。
		○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【3学期を振り返ろう】	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○春休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○春休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【春休みに向けて】	○春休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。

2年生

Ⅱ－B課程

令和８年度　小学部２年（Ⅱ課程ーB）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小学部２学年		文科省著作教科書　せいかつ☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。 (学･人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して175	45	(知及技)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。 (学･人)簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとすることができる。	(知・技)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとしている。 (主学)生活習慣に関わる初歩的な学習活動を通して自分のことに取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【ア 基本的生活習慣】 〇いっしょにやってみよう! 「おやすみ・おはよう」 「もちものをしまおう」 「トイレにいこう」 「たのしい きゅうしょく」	【食事】 ・食前の準備（手洗い・エプロン着用・配膳）や食後の片付けをする。 【用便】 ・尿意や便意を伝える。用便の手順に沿って用を足し、用便後は手を洗う。 【寝起き】 ・寝る前や起きた後に何をするかについて知る。 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れに気付き、洗面や歯磨きをしたり、タオルで拭いたり、着替えたりする。 【身の回りの整理】 ・持ち物の片付け方を知り決められた場所に置く。 【身なり】 ・身なりについて気付き、簡単な衣服の着脱をする。着脱後の確認をする。
	65	(知及技)簡単な日課について、関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人)簡単な日課に関心をもち、自分の生活に見通しをもって、自ら活動に向かおうとすることができる。	(知・技)簡単な日課について、関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようしている。 (主学)日課に沿って教師と共にする活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、見通しをもって自ら活動に向かおうとしたりしている。	【ウ 日課・予定】 〇がっこうについたら 「とうこう」 「あさのかい」 「つぎのじゅぎょうはなにかな」 「かえりのかい」 「げこう」	【日課】 ・教師と一緒に行動することにより、簡単な日課に気付き行動する。 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかを知り、できるだけ日課に沿って行動する。
	25	(知及技)身の回りの遊びや遊び方について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすることができる。 (学･人)好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとすることができる。	(知・技)身の回りの遊びや遊び方について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとしている。 (主学)好きな遊びをすることなどに関わる学習活動を通して、友達や身近な人々、身の回りの遊びに関心をもち、自ら周囲に働きかけようとしている。	【エ 遊び】 〇あそびがいっぱい 「あそびがいっぱい」	【いろいろな遊び】 ・教室にあるおもちゃで遊ぶ。 ・教師と一緒にまねっこ遊びをする。 ・教師と一緒にいっぽんばしなどのスキンシップ遊びをする。 ・教師と一緒に滑り台やブランコなど遊具で遊ぶ。 【遊具の後片付け】 ・自分が使った遊具を教師と一緒に元の場所に片付ける。
	14	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。 (学･人)様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学)学級等の集団における役割などに関わる学習活動を通して、集団の中で活動することに慣れ、簡単な役割を果たそうとしている。	【カ 役割】 〇いっしょにしよう 「いっしょにしよう」 〇ちいきのぎょうじ 「ごうどううんどうかい」	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部の存在に気付く。（学部間交流）
	14	(知及技)簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとすることができる。 (学･人)学校生活の流れに即して、簡単な手伝いや仕事を経験しながら、手伝うことの喜びを味わったり、自分で取り組んだりしようとすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事に関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 (主学)教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を通して、活動に徐々に慣れたり、簡単なことを習慣にしたりしようとしている。	【キ 手伝い・仕事】 〇きれいにしよう 「きれいにしよう」	【整理整頓】【後片付け】 ・身の回りの棚や机の中を整理する。 ・使用したものを元の場所に片付ける。 【掃除】 ・はき掃除や拭き掃除をすることのねらいに気付き、清掃活動をする。

	12	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「みつけよう」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
1学期12	2	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとすることができる。 (学･人)生活の流れに即して，教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学)学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自発的にきまりを守って行動したり，習慣化したりしようとしている。	【ケ きまり】 〇いろいろなあいず 「いろいろなあいず」 〇みんなでつかう ばしょのきまり 「みんなでつかう ばしょのきまり」	【学校のきまり】 ・学校のきまりを知って守る。 【日常生活のきまり】 ・日常生活における簡単なきまりを知って守る。 ・図書室の利用方法を知る。
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「はる」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 〇ひなんくんれん 「かじ」 〇わたしたちを みまもってくれる ところ 「こうばん」 「しょうぼうしょ」 〇あんしん あんぜん	【危険防止】 ・家や学校での自分の身を守る行動に気付く。 【交通安全】 ・教師と一緒に、安全に通行する。 ・信号機や安全に通行する場所があることに気付く。 【避難訓練】 ・災害（地震、火事）について知る。 ・指示に従って、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・生活を守る場所（交番、消防署）を知る。
	1	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとすることができる。 (学･人)生活の流れに即して，教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学)学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自発的にきまりを守って行動したり，習慣化したりしようとしている。	【ケ きまり】 〇どうろをあるくとき・のりものを つかうときのきまり 「どうろをあるくとき・のりものを つかうときのきまり」	【交通安全のきまり】 ・交通における簡単なきまりを知って守る。 【マナー】 ・身近で簡単なマナーに気付き、それらを守って行動しようとする。
	3	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動を通して、身の回りにある社会の仕組みや公共施設について主体的に関わろうとしている。	【コ 社会の仕組みと公共施設】 〇わたしのがっこう 「がっこうたんけんをしよう」 〇どんなおみせが あるかな 「いってみよう」	【学校】 ・教室の場所や用途に関心をもつ。 ・校内探検などを通して、自分の学級や図書室などに関心をもち、その場所や名称を知る。 【いろいろな店】 ・お店屋さんごっこを通して、いろいろなお店があることを知る。 【社会の様子】【公共施設の利用】 ・学校近隣の公園や郵便局などの公共施設があることを知り、利用する。 【交通機関の利用】
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「なつ」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思判表力)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。 (学･人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表))教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 〇ありがとう、 ごめんなさい 「ありがとう」 「ごめんなさい」	【身近な人との関わり】 ・学級の友達や小学部の友達と関わって活動する。 【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客に気付く。 【気持ちを伝える応対】 ・教師や友達に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える。
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「あき」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。

2学期14	3	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学・人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 〇ゴムであそぼう 「ゴムであそぼう」	【ゴムの力の動き】 ・ゴムの力によって物が動く様子を見る。 ・ゴムの力が物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム（紙コップ、水風船）等
	2	(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思判表力)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。 (学・人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表))教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 〇だれか きたよ 「でんわがなっているよ」 「おきゃくさんがきたよ」	【身近な人との関わり】 ・学級の友達や小学部の友達と関わって活動する。 【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客に気付く。 【気持ちを伝える応対】 ・教師や友達に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える。
	1	(知及技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 〇ひなんくんれん 「じしん」	【避難訓練】 ・災害（地震、火事）について知る。 ・指示に従って、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・生活を守る場所（交番、消防署）を知る。
	2	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学・人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動を通して、身の回りにある社会の仕組みや公共施設について主体的に関わろうとしている。	【コ 社会の仕組みと公共施設】 〇どんなおみせが あるかな 「のってみよう」	【いろいろな店】 ・お店屋さんごっこを通して、いろいろなお店があることを知る。 【社会の様子】【公共施設の利用】 ・学校近隣の公園や郵便局などの公共施設があることを知り、利用する。 【交通機関の利用】
	2	(知及技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学・人)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学)簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を通して、その価値や意味にも関心をもち、生活に生かそうとしている。	【ク 金銭の扱い】 〇かいもの 「かいものをしよう」	【買い物】 ・簡単な買い物の手順を体験する。 【自動販売機の利用】 ・自動販売機の種類や使い方を知る。 ・教師の支援を受けながら、自動販売を利用したり、買い物をしたりする。
3学期9	3	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学・人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 〇かぜとあそぼう 「かぜとあそぼう」	【風の動き】 ・風によって物が動く様子を見る。 ・風の力が物を動かすことができることに気付く。 ・凧揚げ、ビニール袋、紙コップ竹とんぼ、扇風機、うちわ、紙吹雪等
	4	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学・人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 〇きせつと あそぼう 「ふゆ」 〇きせつと あそぼう 「きせつの ずかん」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学・人)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学)簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を通して、その価値や意味にも関心をもち、生活に生かそうとしている。	【ク 金銭の扱い】 〇じどうはんばいき 「せんせいとやってみよう」	【買い物】 ・簡単な買い物の手順を体験する。 【自動販売機の利用】 ・自動販売機の種類や使い方を知る。 ・教師の支援を受けながら、自動販売を利用したり、買い物をしたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部２年（Ⅱ課程－B）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	小学部２年		国語☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力) ・日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 (学･人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表) ・日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりしようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	しるし	○場面の構成：廊下に貼ってある体育館の絵カードや「→」の記号を見ながら、体育館へ移動する。体育館へ到着し、遊ぶ。絵カードに従って片づける。先生が「○」で評価する。 ○登場人物を真似て教師とやりとりをする、絵カード等を選択して自分の意思を伝える等の活動へつなげていく。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	8	(知及技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。 ・教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。 (学･人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えようとしている。 ・教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ほっとけーき	○『おいしそうに出来上がったホットケーキ』→『フライパンを用意したり、卵を割ったり、粉をかき混ぜたりしている様子』→『ホットケーキが焼きあがる様子』→『出来上がったホットケーキをテーブルに運ぶ様子』 ○絵を通して、伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表したり、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現する。
	6	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・はる ・なつ	○春：遠くに雪の残っている山々を臨む菜の花畑を、楽しそうに駆け抜けていく子供たちを表現した風景。 ○夏：砂浜で遊んだり海で泳いだりしている子供たちなど、夏の海を表現した風景。 ○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。 ・毛筆を使っての書初めの体験をする。
	8	(知及技) ・遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむことができる。 (思判表力) ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しもうとしている。 (思・判・表) ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりしようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	まほうのはこ	○魔法の箱：魔法の箱に向かって、魔法使いがステッキを持って掛け声を出すと、箱のふたが開いて、小さな子供が顔をのぞかせる。 ○りんご・バナナ・いろいろな果物：魔法の箱から小さな子供と共にりんごやバナナが現れる。箱の中には、次に出てくる果物の色の服を着た子供が顔をのぞかせている。 ○ソフトクリーム：魔法の箱から大きなソフトクリームが出てくる。 ○いろいろなお菓子：テーブルの上にたくさんのお菓子が乗っていて、魔法使いがソフトクリームをおいしそうに食べている。教師や友だちと一緒にお菓子を食べる模倣をしてみたり、「モグモグ」「おいしい」等と言葉で自由に表現する。自分の好きな食べ物を出してみたいと想像して表現したり伝えたりする。

2学期	8	(知及技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思判表力) ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	あなたはだあれ	○男の子が野原で、犬、猫、豚、あひる、牛の順に出会い、最後に皆で並んで歩いていく。 ○シルエットの動物が何であるか、絵に注目して名称を当てる。難しければ、ヒント（鳴き声など）を提示してイメージを膨らませる。
	6	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・あき ・ふゆ	○秋：紅葉で燃えるような山々、野原で枯れ葉を舞わせて遊ぶ子供たちなどを表現した風景。 ○冬：白銀の世界の中をスキーやスノーボードで滑り降りていく子供、山の麓で雪だるまを作っている子供など、冬の山を表現した風景。 ○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。 ・毛筆を使っての書初めの体験をする。
3学期	7	(知及技) ・いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 ・写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知及技) ・いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている。 ・写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思判表力) ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう ・かいてみよう１ ・かいてみよう２ ・かいてみよう３ ・かいてみよう４	文字を書くことへの興味・関心を育てつつ、筆記具の正しい持ち方を知ったり、運筆など筆記具の扱いに慣れて、いろいろな線を書いたりすることができるようになるような活動を行う。 ・かいてみよう１：黒板にいろいろな線を書いて楽しむ。画用紙にクレヨンやフェルトペンで線を引いたり、絵を描いたりして楽しむ。 ・かいてみよう２：魚、葉っぱ、いちご、みかんにフェルトペンや色鉛筆で塗り絵をする。 ・かいてみよう３：大小の雲と、大小の傘の絵。雲と傘の間に雨が降っているのを模倣して、縦方向の線をイメージして書く。 ・かいてみよう４：蛇口につながったホースとプールの絵。ホースの先からプールに向かって、横方向の線をイメージして書く。 ・児童の実態に応じて、毛筆を使っての書き初め体験をする。
	3	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・はる ・なつ ・あき ・ふゆ	○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。 ・毛筆を使っての書初めの体験をする。
年間を通して	36	(知及技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思判表力) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。 ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えようとしている。 ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりしようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	おはなしの世界 ・絵本 ・パネルシアター ・ペープサート　等	○様々な「おはなし」の読み聞かせに注目し、絵本、紙芝居、ペープサート、写真等に興味をもつ。 ○「読書月間」等の機会を活用して、自分の好きな絵本を探したり見たりする。
	25	(知及技) ・いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 ・写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力) ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知及技) ・いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている。 ・写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思判表力) ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう	○正しい鉛筆の持ち方、書くときの正しい姿勢について知る。 ○平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。
	25	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	がっこうだいすき	○朝の会で自分の名前を言ったり、返事をしたりする。 ○予定調べや学習の振り返りをする。

留意点 引継ぎ等	○児童の実態に応じて、生活科と関連付けながら暑中見舞いや年賀状に取り組む。

令和８年度　小学部２年（Ⅱ課程－B）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	小学部２年		算数☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力，判断力，表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。
(思判表力)
　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。
(学･人)
　数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	17	(知及技) ・ものとものとを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものとものとを対応させて配ろうとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・おなじまーくは，どれでしょう ・じぶんのまーくは，どこでしょう	【おなじまーくは，どれでしょう／じぶんのまーくは，どこでしょう】 　特別な物（自分のもの）を他と見分ける。 【みんなに　くばりましょう】 　一人に一つのもの，一つのものに他の一つのものを対応する。
	18	(知及技) ・分割した絵カードを組み合わせることができる。 ・関連深い絵カードを組み合わせることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・分割した絵カードを組み合わせようとしている。 ・関連深い絵カードを組み合わせようとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・あわせましょう①② ・なかまをあつめましょう	【あわせましょう①②】 　切り離した絵のそれぞれの絵カードから情報を読み取り，読み取った情報を基に，一枚の絵を完成させる。 【なかまをあつめましょう】 　身近でなじみのある食べ物を集める，動物を集めるなど，指定された属性の中で，関連深い絵カードを集める。
2学期	24	(知及技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表すことができる。 ・５までの範囲で数唱をすることができる。 ・３までの範囲で具体物を取ることができる。 ・対応させてものを配ることができる。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表そうとしている。 ・５までの範囲で数唱をしようとしている。 ・３までの範囲で具体物を取ろうとしている。 ・対応させてものを配ろうとしている。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・いち，に，たくさん ・いち，に，さん，し，ご ・とりましょう ・まーくに，あわせて，ならべましょう ・ぜんぶ「さん」	【いち，に，たくさん】 　①左右の手に一つずつ具体物を持ち，それでもまだ両手には持てないほどの具体物がある状況，自分の手では持てないほどの量があることを体感する。 　②「１個，２個，たくさん」と表現することに気付く。 【いち，に，さん，し，ご】 　５までの範囲で数を唱える。 【とりましょう】 　３までの数の具体物を取る。 【まーくに，あわせて，ならべましょう】 　ボウリングのピンを準備する場面を捉え，マークを手掛かりに，必要な数のピンを置く（配る）。 【ぜんぶ「さん」】 　様々な具体物やイラストなどを操作する，指差すなどの動きを伴う活動を通して，形や色が違う具体物でも数が変わらないこと，間隔や置き方などの位置が変わっても数が変わらないことに気付く。
	24	(知及技) ・似ている二つのものを結びつけることができる。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。 ・同じもの同士の集合作りをすることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持つことができる。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かすことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・似ている二つのものを結びつけようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせようとしている。 ・同じもの同士の集合を作ろうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持とうとしている。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かそうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・にているものを，みつけましょう ・そろえましょう ・おなじかたちを，あつめましょう	【にているものを，みつけましょう】 　①形をおおまかに捉える。 　②形が同じであるか，同じでないかを区別する。 　③似ていることを捉える。 【そろえましょう】 　①様々な刺激の中から，ものとものとを関連付けるために必要な情報として，形を取り出す。 　②仲間であることを判断する。 　③対にすることでそれを表現する。 【おなじかたちを，あつめましょう】 　①形に着目する。 　②形を捉える。 　③同じ形と認識する。 　④同じ形を選択し，一つのところに集める。
3学期	22	(知及技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別することができる。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。 (思判表力) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・大きさや長さなどを，基準に対して同じか違うかによって区別しようとしている。 ・ある・ない，大きい・小さい，多い・少ないなどの用語に注目して表現しようとしている。 (思･判･表) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち，量の大きさを表す用語に注目して表現しようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	D測定ア ・おなじ，ちがう ・おおきい，ちいさい①② ・おおい，すくない①② ・ながい，みじかい	【おなじ，ちがう】 　①児童が直接働きかける具体物を観察する。 　②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。 　③「同じ」「違う」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい①】 　①児童が直接働きかける具体物を観察する。 　②具体物の大きさに注目して，それを「大きい」か「大きくない」か決める。 　③大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別する。 　④「大きい」「小さい」という用語を用いる。 【おおきい，ちいさい②】 　①二つの大きさの違いに注目する。 　②二つの大きさのいずれかに働きかけて同じ大きさにする。 【おおい，すくない①】 　①児童が直接働きかける対象などを観察する。 　②かさ等に注目して，それを「多い」と「少ない」に区別する。 　③かさ等の異なる二つの量を「多い」と「少ない」に区別する。 　④「多い」「少ない」という用語を用いる。 【おおい，すくない②】 　①二つのかさに注目して，それらを「多い」と「少ない」にわける。 　②「多い」「少ない」という用語を用いる。 【ながい，みじかい】 　①具体物の長さに注目する。 　②基準に対して，同じであるか，同じでないかを区別する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部2年（Ⅱ課程B）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部2年　Ⅱ-B 課程		音楽☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小1段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。(小１段階) (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。(小１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆ちゅうりっぷ、ことりのうた、こいのぼり、あ・い・う・え・おーっ！、かたつむり、おばけなんてないさ、たなばたさま、はなび、うみ ・学年の歌(おーい)、校歌他 【たのしいいちにち(年間を通して)】 ☆おひさまきらきら、せんせいとおともだち、はをみがきましょう、おかたづけ、さよならあしたもね他	・校歌や児童会の歌など、わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。 ・動きを模倣し、楽しみながら教師や友達と一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かしたりする。
	5	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おととあそぼう】 ☆がっきのおとあて、すずのきょく、まじっくまんぼ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	5	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【てあそびをしよう】 ☆あたま かた ひざ ぽん、むすんでひらいて、ぱんだ うさぎ こあら、まあるいたまご、のねずみ、とんとんとんとんひげじいさん、おおきなわ ちいさなわ 【むかいあってたのしく】 ☆はらぺこあおむし、ゆらゆらぼーと ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つけている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう①】 ☆はたらくくるま、おもちゃのへいたい・ひよこちゃん、いちごはどこ、まきばの合唱団、あめふりくまのこ ・月桃、いのちのリレー、ヤッホッホなつやすみ他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
2学期	7	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆どんぐりころころ、まつぼっくり、とんぼのめがね、もえろうんどうかい、おやつたーべよ ・学年の歌(おーい)、校歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	8	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おととあそぼう】 ☆すてきなはーぷ、かばさをならそう、いっしょにならそうよ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。

	8	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたって おどって①】 ☆ながぐつまーち、ふりふりだんす他 ・おーいサンタさん 【どうぶつになって】 ☆おうま、ぞうさん、くまさんくまさん 【みんななかよく】 ☆ばななのおやこ、はっぴーばーすでー、てをつなごう、ばすごっこ 【むかいあってたのしく】 ☆ぱんやさんに おかいもの ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。

	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つ付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう②】 ☆がぼっと、おどるこねこ他 ・森のクリスマス、燃えろ運動会	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
3学期	5	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆こんこんくしゃんのうた、まめまき、はなのかのん、ぱっぱっぱたらかのうた、 ・学年の歌(おーい)、校歌、卒業式の歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	5	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【がっきをならそう】 ☆がっきをならそう、へい！たんぶりん、おおきなたいこ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	5	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学･人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたっておどって②】 ☆ちぇっちぇっこり、だるまさん、はたけのぽるか、ちいさいうみ　おおきいうみ 【わらべうた】 ☆おちたおちた、なべなべそこぬけ、おちゃをのみに 【むかいあってたのしく】 ☆ぴすけっとをやきましょう ・ミュージック･ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	4	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つ付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【えをみておはなしをきこう】 ☆すてきなぼうしやさん、3びきのやぎのがらがらどん 【みみをすまそう③】 ☆うみのみえるまち、そらとぶたっきゅうびん、やさしさにつつまれたなら他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部 2年 （Ⅱ課程A･B）図画工作 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部2年生		図画工作教科書1，2年（上下）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知･技)知識・技能　(思･判･表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

学期	時数	単元･題材の目標	単元･題材の評価規準	単元･題材名	単元･題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 形や色などに気付き、表したいことを材料や用具を使い、つくろうとしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 意欲的に表したり見たり選んだりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさを感じながら取り組もうとしている。	描画 〇ぬたくり	･道具を用いて自由にぬたくりをする。 〈道具：ローラー、はけ〉 〈材料：画用紙、色画用紙、模造紙〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上24、25 参考)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながら描く、切る、塗る、貼るなどをすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 身近な材料や用具を使い、形をつくろうとしている。 (思･判･表) 材料などから、表したいことを思い付いている。 (主学) 進んで表そうとしたり、つくりだすことの楽しさに気付いたり、形や色などに関わろうとしている。	粘土であそぼう 〇粘土で切る、こねる、伸ばす 〇にぎにぎねんど	･紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する ･自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 ※母の日、父の日等のプレゼントにつなげる 〈道具：のり、はさ見、ボンド、テープ等〉 〈材料：粘土、紙粘土〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P18、19 参考)
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことを思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 意欲的に表したり見たり選んだりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさを感じながら取り組もうとしている。	描画 〇ぐるぐる、なみなみを描いて見よう ･好きな色、線を探そう	･好きな材料を使って、ぐるぐる線や波線を描いてみる。 ･視線を確認しながらゆっくりと描いてみる。ぐるぐる、なみなみの言葉や動きなどとともに楽しく活動する。 〈道具：ペン、マジック、筆、クレヨン、絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、模造紙、新聞紙等〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P10、11 参考)
		(知及技) 紙を重ねてできる新しい色や形に気付くことができる。 (思判表力) 紙を重ねながら、見え方が変わる面白さを感じ取ることができる。 (学･人) 色や形の見え方を見つけることを楽しむことができる。	(知･技) 紙を重ねてできる新しい色や形に気付いている。 (思･判･表) 紙を重ねながら、見え方が変わる面白さを感じ取っている。 (主学) 色や形の見え方を見つけることを楽しんでいる。	鑑賞 〇いろの見え方むげんだい	･透明な折り紙を重ねて、色や形の変化を鑑賞する。 ･好みの色や形を探して楽しむ。 (道具：のり、はさみ等) 〈材料：白画用紙、ラミネートフィルム、透明折紙 (教科書：ずがこうさく1･2 下P28、29 参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しみながら学習活動に取り組むとする。	(知･技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思･判･表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	ふりかえり･鑑賞 〇見てみよう ･ぬたくり ･粘土であそぼう ･描画	･自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。 ･身近にある作品に親しむことができる。
2学期	28	(知及技) 身の回りの自然物などに触れながら描く、切る、塗る、貼るなどをすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) はさみを用いて、線の上を一回切りや連続切りしている。 (思･判･表) 形や色などを基に、自分のイメージをもっている。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	造形遊び 〇見てみよう触ってみよう ･「はさみでちょっきん」 ･「つないでつるして」	･はさみを使って連続して切ったり、線に沿って切ったりする。 ･切ったものをつなげたり、つるしたりする。 (道具：のり、はさみ、テープ等) 〈材料：新聞紙、折り紙、色画用紙等〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P12、13 下P32、33 参考)
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 揺れる形を見つけ、工夫して作ったり、試しながら揺れると楽しい飾りを考えたりすることができる。 (学･人) 風に揺れる飾りを作ることを楽しむことができる。	(知･技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思･判･表) 揺れる形を見つけ、工夫して作ったり、試しながら揺れると楽しい飾りを考えたりしている。 (主学) 風に揺れる飾りを作ることを楽しんでいる。	工作 〇ひらひら ゆれて	･風に揺れると楽しい飾りを作る。 ･揺れてきれいな色や形を探して楽しむ。 (道具：のり、はさみ、テープ、マジック等) 〈材料：透明なゴミ袋、ハンガー、画用紙、シール、カラーセロハン等〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P32、33 参考)
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現している。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 〇色々な技法で描いてみよう ･「ビー玉を転がして描いてみよう」	･段ボールを揺らしながら、転がるビー玉の動きに注目し、できる模様を楽しむ。転がるビー玉によって引かれる線や、絵の具の色を変え交じり合う様子も楽しむ。 〈道具：絵の具、ビー玉等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、段ボール箱、和紙、浅いバット等〉
		(知及技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る (工作) 〇たくさんあつめて ･「いっぱいつかってなにしよう」	･同じ形や種類の材料をたくさん集めてどんなことができるか、どんな形が見つかるか、表現する。 ･自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料：同じ形の箱等〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P38、39、P44、45 参考)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながら描く、切る、塗る、貼るなどすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 身の回りの自然物などに触れながら描く、切る、塗る、貼るなどしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る (工作) 〇見てみよう触って見よう ･「ふって、たたいて、はじいて、こすって」(楽器作り)	･材料を組み合わせて、楽器を作る。 ･自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料：空き箱、ペットボトル、ゴム、大豆等〉
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しみながら学習活動に取り組むとする。	(知･技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思･判･表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	ふりかえり･鑑賞 〇見てみよう ･色々な技法で描いてみよう ･たくさんあつめて ･見てみよう触ってみよう	･自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。 ･身近にある作品に親しむことができる。
3学期	18	(知及技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学･人) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとする。	(知･技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりしている。 (思･判･表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうしている。	作る(工作) いっぱい使って何しよう (身近にたくさんあるものを活用する)	･たくさんの材料に触れてあそんだり、つくったりする。 〈道具：のり、はさみ、テープ等〉 〈材料：ビニール、箱、その他〉 (教科書：ずがこうさく1･2 上P38、39 参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学･人) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しみながら学習活動に取り組むとする。	(知･技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思･判･表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	ふりかえり･鑑賞 〇見てみよう ･作品鑑賞 ･卒業式壁面	･1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。 ･自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。

留意点 引継ぎ等	描画(絵に表す活動) 作る(立体に表す活動、工作に表す活動) 鑑賞(造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動)

令和８年度　小学部２年（ⅡB課程）体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部２年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 (思判表力) 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。 (学･人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）教師や友達と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、体つくり運動遊びをしようとすることができる。　(小１段階)	(知・技）(知・技）教師や友達と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かそうとしている。 (思･判･表)手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、体つくり運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	○体つくりの運動遊び いろいろなうごきにチャレンジしよう ならんでみよう、あつまってみよう	・這う、またぐなどの運動遊び。 ・座る、しゃがむ、階段を昇ったりする運動遊び。 ・しゃがんだり、立ったり、その場跳びをしたり、転がったりするなどの運動遊び。 ・手足を伸ばしたり脚を前後左右に開いたり腕を振ったり回したりする運動遊び。 ・離れた場所にいる教師の言葉や笛の合図を聞いて、教師のもとに集まる運動遊び。 ・一定の距離を早く走る運動遊び。 ・ボールをつないだり、カラーコーンを置いて目印をつくり、直線を走る運動遊び。 ・20mほどの直線を一人や友達と走る運動遊び。 ・20m先に置かれている小さなフープを取って戻ってくる運動遊び ・教師の合図や指示に従って、スタートする。
		(知及技）教師や友達と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びができる。（小１段階） (思判表力)水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、水遊びをすることができる。（小１段階）	(知・技）教師や友達と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びをしようとしている。 (思･判･表)水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	○水の中での運動遊び みずのなかでたのしもう	・プールの周りでじょうろなどを使って、プールに慣れるような水遊び。 ・水の抵抗を感じながら歩いたり走ったりする水遊び。 ・遊具を浮かべたり、沈めたりする遊び。 ・水をすくって自分にかけたり、友達にかけたりする水遊び。 ・プールサイドを走らないことや一人で入水しないなどの安全の心得につながるようにする。 ・教師の合図に従って、プールから出ること。
		(知及技）教師や友達と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとすることができる。（小１段階）	(知・技）教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	ボールとなかよくなろう ・ボール転がし ・的あて ・玉入れ ボールを使っての運動遊び	・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、友達や教師に手渡したり、転がしたり、捕まえたりする運動遊び。 ・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、的に当てる運動遊び。 ・お手玉、サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）使って、個々の状態に応じた高さや枠の大きさに適した玉入れをする運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、ボールを使った運動遊びを始めたり止めたりする。
2学期	16	(知及技）教師や友達と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとすることができる。（小１段階）	(知・技）教師や友達と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかそう ・リトミック 表現運動遊び	・音楽に合わせての表現する運動遊び。 （うしろ歩き、あひる歩き、馬歩き、トンボ、けんけん、くも歩きギャロップ、スキップ） ・教師の言葉や笛の合図を聞いたり、曲の変化に合わせて表現する。
		(知及技）教師や友達と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとすることができる。　(小１段階)	(知・技）(知・技）教師や友達と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かそうとしている。 (思･判･表)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	サーキット ・器具、器械を使っての運動遊び	・個々の状態に応じた高さの跳び箱を登ったり、ジャンプして降りたりする運動遊び。 ・フープを並べ、グーパーやケンケンパーをする運動遊び。 ・トンネルをくぐる運動遊び。 ・一つのミニハードルを跳び越えたり、幾つか並べて連続して跳んだりする運動遊び。 ・キャスターボードを使って、手や腕の力で前へ進む運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、器械・器具を使っての運動遊びを始めたり止めたりする。

3学期	8	(知及技）教師や友達と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとすることができる。（小１段階）	(知・技）教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	ボールとなかよくなろう ・ボール転がし ・的あて ・玉入れ ボールを使っての運動遊び	・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、友達や教師に手渡したり、転がしたり、捕まえたりする運動遊び。 ・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、的に当てる運動遊び。 ・お手玉、サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）使って、個々の状態に応じた高さや枠の大きさに適した玉入れをする運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、ボールを使った運動遊びを始めたり止めたりする。
年間を通して	34	(知及技）教師や友達と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。（小１段階） (思判表力)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさを表現することができる。（小１段階） (学･人)簡単な合図に従って、走・跳の運動遊びをすることができる。（小１段階）	(知・技）教師や友達と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかそう ・５～１０分間走 走・跳の運動遊び	・決まった方向に、一定の時間や距離を教師と一緒または距離を取りながら、ゆっくり走ったり、早く走ったりする運動遊び。 ・記録会に参加し、教師と一緒または１人で走る。
		(知及技）教師や友達と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。（小１段階） (思判表力)健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えることができる。（小１段階） (学･人）健康な生活を送ることの大切さを知ることができる。（小１段階）	(知・技）教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をしようとしている。 (思・判・表)健康な生活に必要な事柄に気付き、感じたことを他者に伝えようとしている。 (主学）健康な生活を送ることの大切さを知ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	てあらい・うがいはなぜするの？ おなかやあたまがいたいときは、せんせいにはなそう 保健	・手洗い・うがいに関心をもつように、「咳」「風邪」などのことばに触れる。 ・家庭との連携を図り、帰宅時などの手洗いを習慣化できるようにする。 ・自らの体調について意識し、体調の悪いときやけがをして痛みを感じていることを教師などに知らせる。 ・体調を言葉や絵カード、サインなどを用いて確認したり伝えたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部２年（Ⅱ-A・B課程）　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部２学年		

中心目標	◎人との関わりの中で、道徳的な価値に気付いたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 〇人と関わる心地よさを感じ取り、人と関わろうとする意欲をもつ。 〇認められる行動やそうでない行動を判断し、望ましい行動をしようとする意欲をもつ。など

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	①伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとする気持ちをもつ。	①伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとしている。	A【正直、誠実】 〇新しい学級	〇新たな学級での学習や生活等を通して、伸び伸びと身体を動かそうとすることができるようにする。
	2	①教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとする気持ちをもつ。 ②他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとする気持ちをもつ。	①教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとしている。 ②他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとしている。	C【よりよい学校生活、集団生活の充実】 〇新しい学級	〇新たな学級での学習や生活等を通して、教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごしたり、他の子供の存在に気付き、興味や関心をもったりすることができるようにする。
	2	①身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとする気持ちをもつ	①身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとしている。	A【善悪の判断、自律、自由と責任】 〇よいことわるいこと	〇身近な教師や友達との関わり等を通して、身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付くことができるようにする。
	2	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 〇みんなでなかよく①	〇教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	2	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 〇だいすきだよ①	〇母の日や父の日に向けての学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	1	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 〇たいせつないのち	〇慰霊の日に向けての学習等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	1	①清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	①清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 〇ここちよさをかんじよう①	〇着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
	1	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 〇しぜんとなかよく①	〇野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	2	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 〇あいてのきもち	〇友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近な大人の存在や他の子供の感情に気付くことができるようにする。
2学期	2	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 〇わたしのがんばったこと、したいこと①	〇前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることができるようにする。
	2	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 〇だいすきだよ②	〇敬老の日に向けた学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	1	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 〇しぜんとなかよく②	〇野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	2	①身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとする気持ちをもつ。	①身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとしている。	A【希望と勇気、努力と強い意志】 〇自分からやってみよう	〇教師や友達との学習や遊び等を通して、身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけることができるようにする。
	3	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 〇みんなでなかよく②	〇教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。

	2	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 〇ありがとう	〇勤労感謝の日に向けた学習等を通して、身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表したり、他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴したりすることができるようにする。
	1	①清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	①清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 〇ここちよさをかんじよう②	〇着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
3学期	2	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 〇しぜんとなかよく③	〇野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	3	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 〇みんなでなかよく③	〇教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	3	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 〇わたしのがんばったこと、したいこと②	〇1年間の振り返りや進級に向けての学習等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部2年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部2年		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	○友達や教師と一緒に活動したり、集団活動への参加の仕方を身に付けたりすることができる。 ○友達や教師と一緒に、話し合い活動をしたり、何かを決めたりすることができる。 ○集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする態度を身に付けることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	○新しい教師や友達と、仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	○新しい先生や友達と、仲良くがんばろうとしている。	【進級おめでとう】	○学級開きや学年開きを通して、新しい教師や友達を知り、仲良くがんばる気持ちを持つ。
		○学級の目標や1学期の個人目標を考えることができる。	○学級の目標や1学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○学級の目標や1学期の個人目標を立てる。
		○図書室での約束や借り方などを知り、利用することができる。	○図書室での約束や借り方などを知り、利用しようとしている。	【図書室の利用】	○図書室での約束や借り方などを知り、図書室を利用する。
		○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めることができる。	○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めようとしている。	【ハッピータイム】	○静かに集会に参加し、見たり聞いたりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに向けて見通しを持ち、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ・身体測定や各種の検診等の事前事後学習を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動することができる。	○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習をしよう】	○交流学習を通して、異学年や他学部の児童生徒と一緒に活動する。
		○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【1学期を振り返ろう】	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○夏休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○夏休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【夏休みに向けて】	○夏休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
2学期	13	○2学期の個人目標を考えることができる。	○2学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○2学期の個人目標を立てる。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ・避難訓練の事前事後学習を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めることができる。	○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めようとしている。	【ハッピータイム】	○静かに集会に参加し、見たり聞いたりする。
		○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動することができる。	○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習をしよう】	○交流学習を通して、異学年や他学部の児童生徒と一緒に活動する。
		○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【2学期を振り返ろう】	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○冬休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○冬休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【冬休みに向けて】	○冬休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。

3学期	9	○3学期の個人目標を考えることができる。	○3学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○3学期の個人目標を立てる。
		○児童会について知り、活動への関心を持つことができる。	○児童会について知り、活動への関心を持とうとしている。	【みんなに紹介しよう】	○児童会について知り、活動への関心を持つ。 ○学校行事の計画の一部を担当したり、運営に協力したりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○学芸的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに見通しを持ち、厳粛で清新な気分を味わう。 ○学芸的行事 ・学習成果発表会に向けての活動に取り組み、日頃の学習の成果をまとめる。
		○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めることができる。	○児童集会（ハッピータイム）を通して、児童間の関わりを深めている。	【ハッピータイム】	○静かに集会に参加し、見たり聞いたりする。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動することができる。	○異学年や他学部の児童生徒と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習をしよう】	○交流学習を通して、異学年や他学部の児童生徒と一緒に活動する。
		○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【3学期を振り返ろう】	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○春休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○春休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【春休みに向けて】	○春休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。

3年生
Ⅱ－A課程

令和8年度　　小学部３年（Ⅱ課程A）生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小学部　３年		せいかつ☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。 (学･人）自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇あんぜんにつかおう ・つくろう ・あそぼう	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。
	2	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々やに積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々やに積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ ・じぶんのものとともだちのもの ・きまったばしょ	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。
	4	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇がっこうのきまり ・みんなでまもるときもちがいいね ・じかんのきまり 〇せいかつのきまり ・あそんでもよいばしょ	【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。
	5	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会、自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇きをつけてあるこう ・おうだんほどう ・ふみきり 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう ・かじになったら ・わたしたちをまもってくれるところ ・こんなときどうする	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。
	2	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇いきものとなかよし ・どうぶつにあいにいこう ・どうぶつのおせわをしよう	【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等）
	4	(知及技)身近な人との接し方などについて知ることができる。 (思判表力)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な人との接し方などについて知っている。 (思・判・表)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇ありがとう、ごめんなさい ・ありがとうをみつけよう ・ごめんなさいをつたえよう 〇せんせい・ともだち ・あいさつをしよう ・つたえよう	【身近な人との関わり】 ・担任教師や友達の名前を言ったり、自分から「おはようございます」、「さようなら」などの挨拶をしたりする。 ・教師等に見聞きしたことや遊んだことを話す。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。

2学期	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇ちいきのぎょうじ ・おまつりにいこう ・おまつりであそぼう	【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	1	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)身近にあるものや自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近にあるものや自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇もののおもさ ・おもさくらべ（もつ）	【物と重さ】 ・物には重い物と軽い物があることに気付く。 ・身近にある物を実際に持って比べる。（例：水の入ったバケツ、厚さの違う本、机と椅子、量の違うビー玉等）
	1	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ク　金銭の扱い 〇おかねはたいせつ ・おこづかいをもらったら	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。
	4	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇わたしのまわりのひとたち ・あいにいこう ・なにをするじかんかな 〇いってみよう ・としょかん	【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。
	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう ・じしんがきたら	【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇かかりのしごと ・いろいろなかかりをやってみよう 〇いっしょにしよう ・かかりをきめておたのしみかいをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	3	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ク　金銭の扱い 〇かいもの ・れんしゅうをしてみよう ・おみせにいってみよう ・なんていえばいいかな	【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。
3学期	3	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇かぜやゴムのちから ・かぜのちから	【風の力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・風車、風鈴、凧、おもちゃのヨット等
	3	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇かぜやゴムのちから ・ゴムのちから	【ゴムの力の働き】 ・ゴムの力は、物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム、筒ロケット、風船、トランポリン等
	4	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇いっしょにしよう ・おみせやさんのじゅんびをしよう ・おみせやさんごっこをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。

年間通して	45	(知及技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思･判･表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ア　基本的生活習慣 〇じぶんでもやってみよう ・はやね・はやおき ・かたづけをしよう ・きれいにしよう ・しょくじのやくそく ・トイレのやくそく	【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど）
	30	(知及技)身近な日課・予定について知ることができる。 (思判表力)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な日課・予定について知っている。 (思・判・表)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ウ　日課・予定 〇つぎのじゅぎょうはなにかな ・よていのかくにん ・つぎのよてい ・あしたのよてい	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	30	(知及技)簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりのある遊びについて知っている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	エ　遊び 〇いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。（エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。（おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	10	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 〇せんせいのおてつだいをしよう	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。
	10	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 〇そうじをしよう ・そうじ ・せいりせいとん ・あとかたづけ	【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
	13	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇しょくじのマナー	【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。
	13	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。
	15	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇そらとてんき ・きょうのてんき・あしたのてんき ・ひる・よる	【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部３年（Ⅱ課程A）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部３学年　Ⅱ課程A		国語☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに，いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。 (思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合い，自分の思いをもつことができる。 (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力）身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じようとしている。 (思・判・表）身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	がっこうせいかつ ・あさのかい ・かかり ・こくご ・たいいく ・きゅうしょく ・そうじ	・あさのかい：言葉の学習、学級の日課や予定の確認、挨拶等 ・かかり：言葉の学習、やり取り、話し合い等 ・こくご：図書室、挨拶、絵本、話し合い等 ・たいいく：言葉の学習、やり取り、運動遊びやスポーツの種類等 ・きゅうしょく：言葉の学習、献立名、挨拶、会話等 ・そうじ：清掃用具の名前、言葉と行動の結び付け、言葉の学習等
	16	(知及技））身近な人との会話を通して，物の名前や動作など，いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思判表力)簡単な指示や説明を聞き，その指示等に応じた行動をすることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）身近な人との会話を通して，物の名前や動作など，いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 (思・判・表)簡単な指示や説明を聞き，その指示等に応じた行動をしようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	おはなしできるかな ・おでかけ ・かいもの ・あそび ・たまご	・おでかけ：母親と一緒に電車に乗って外出する様子。どこに出かけたのかを想像を膨らませて考える。 ・かいもの：保護者から頼まれた品物を買ってくる様子。お店で買ったものを想像し言葉にする。 ・あそび：児童が友達と一緒に遊ぶ様子。したい遊びを選んだり日頃楽しんでいる遊びを伝えたりする。 ・たまご：卵を使った調理。何ができるか想像する。
	21	(知及技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ひらがなをよんでみよう ・ごじゅうおん ・あいうえお～わをん	・ごじゅうおん：あいうえお五十音。 ・あいうえお～わをん：各文字を冒頭にもつ身近なものの名前を絵と平仮名によって示している。
2学期	8	(知及技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ，言葉が，気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力）体験したことなどについて，伝えたいことを考えることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ，言葉が，気持ちや要求を表していることを感じている。 (思・判・表）体験したことなどについて，伝えたいことを考えている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	どんなきもちかな ・ぶれぜんと ・ころんだ	・ぶれぜんと：プレゼントを「わたすーもらう」場面。場面において想起した気持ちを言葉で伝える。 ・ころんだ：「走るー転ぶ」場面。言葉と気持ち、表情記号。
	35	(知及技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	なまえなあんだ ・あいうえお ・じぶんのなまえともだちのなまえ ・どうぶつ ・おかし ・のりもの ・やさい ・せいかつ ・かお ・からだ ・かげえ	・あいうえお：母音を正しい口形での発音。口形と平仮名、発音。 ・じぶんのなまえともだちのなまえ：僕、私。友達の名前を正しい発音で発音する。 ・どうぶつ：テレビや絵本などで見ることが多い動物。 ・おかし：食べた経験があると思われるお菓子。横書きで表記。 ・のりもの：生活の中で利用したり絵本の中で見たりする身近なん乗り物。 ・やさい：給食や買い物などで見たり食べたりすることが多い野菜。 ・せいかつ：家庭等において見たり使ったりしている家電。 ・かお：人の顔の名称。 ・からだ：人の体の各部の名称。 ・かげえ：実物や絵本等でみたことがあるであろう動物や昆虫、魚を題材にした影絵。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。

	10	(知及技）いろいろな筆記具を用いて，書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより，筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など，書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り，簡単な平仮名をなぞったり，書いたりすることができる。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）いろいろな筆記具を用いて，書くことに親しもうとしている 写し書きやなぞり書きなどにより，筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など，書写の基本を身に付けようとしている。 (思・判・表）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り，簡単な平仮名をなぞったり，書いたりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう① ・なぞる ・むすぶ	・なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。 ・むすぶ：平仮名を構成している基本的な直線や曲線の動きを、言葉にしながら指や筆記具でなぞって練習する。
3学期	25	(知及技））身近な人との会話を通して，物の名前や動作など，いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思判表力）身近な人の話に慣れ，簡単な事柄と語句などを結び付けたり，語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技））身近な人との会話を通して，物の名前や動作など，いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 (思・判・表）身近な人の話に慣れ，簡単な事柄と語句などを結び付けたり，語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	くわしくはなそう ・いろ ・はんたいことば ・だれのなに ・なにをするのかな① ・なにをするのかな② ・「わ」と「は」	・いろ：青、黄、赤、緑を取り上げ、色の名称をしること、物の名称を知ること、そして「○○い△△」という表現方法を知る。 ・はんたいことば：対語になった形容詞「大きい、小さい」「多い、少ない」「長い、短い」「重い、軽い」など。 ・だれのなに：動物の一部を○で囲って示し。「○○の△△」という所有を表す助詞の表現方法に慣れる。 ・なにをするのかな①：ものの名称や用途を考えたり、動作を表す言葉とつなげて表現したりする。 ・なにをするのかな②：日常生活で行っている動作を分かりやすい絵で表現し、その動作を動詞と一致させることで知っている言葉の数を増やす。 ・「わ」と「は」：「わ」と「は」の違いに気がついて、会話の中で聞いたり話したりできるようにすること、扱える助詞の種類を増やすこと。
	13	(知及技）いろいろな筆記具を用いて，書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより，筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など，書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り，簡単な平仮名をなぞったり，書いたりすることができる。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）いろいろな筆記具を用いて，書くことに親しもうとしている 写し書きやなぞり書きなどにより，筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など，書写の基本を身に付けようとしている。 (思・判・表）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り，簡単な平仮名をなぞったり，書いたりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう② ・なぞる ・むすぶ	・なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。 ・むすぶ：平仮名を構成している基本的な直線や曲線の動きを、言葉にしながら指や筆記具でなぞって練習する。 ・写し書きやなぞり書きで、暑中見舞いや年賀状に取り組む。 ・毛筆を使っての書き初め体験をする。
年間を通して	35	(知及技）読み聞かせに親しんだり，文字を拾い読みしたりして，いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）読み聞かせに親しんだり，文字を拾い読みしたりして，いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て，時間の経過などの大体を捉えようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本やタブレット等での読み聞かせでいろいろなお話にふれる。 ・「読書月間」等の機会を活用して、自分の好きな絵本を探したり見たりする。
留意点 引継ぎ等					

島尻スタンダード さんすう：小学部２段階①

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	3学年		算数☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	(知及技）色や形、大きさに着目して分類することができる。・身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。 (思判表力)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。 (学･人)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）色や形、大きさに着目して分類しようとしている・身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類しようとしている。 (思･判･表)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かそうとしている。 (主学)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形アイ：なかまあつめ①②③④ ・なかまあつめ⑤⑥	・なかまあつめ①：ものを「色」の違いに着目して分類する。 ・なかまあつめ②：ものを「形」に着目して分類する。 ・なかまあつめ③：ものを「大きさ」に着目して分類する。 ・なかまあつめ④⑤：ものを「目的」「用途」「機能」に着目して分類する。 ・なかまあつめ⑥：ものを「用途」や「色」や「大きさ」に着目して分類する。
	15	(知及技）身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や△、四角という名称を知ることができる。・縦や横の線、十字、△や□をかくことができる。 (思判表力）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学･人)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や△、四角という名称を知ろうとしている・縦や横の線、十字、△や□をかこうとしている (思・判・表）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりしようとしている。 (主学)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ：まる、さんかく、しかく① ・はたをつくろう	・まる、さんかく、しかく①：丸、三角、四角を見た目の違いや周りを触った感触の違いなどによる弁別を通して、形のみに着目して違いに気づく。
	15	(知及技）ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べ同等・多少がわかる。 (思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学･人）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べ同等・多少を理解しようとしている。 (思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：くみあわせ①②③	・くみあわせ①②：ものとものとを対応させることによってものの個数を比べ、同等がわかる。 ・くみあわせ③：ものともものとを対応させることによってものの個数を比べ、多少がわかる。
2学期	30	(知及技）ものの集まりと対応して、数詞が分かる。ものの集まりや数詞と対応して数字が分かる。 (思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学･人）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）・ものの集まりと対応して、数詞を理解しようとしている。・ものの集まりや数詞と対応して数字を理解しようとしている。 (思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア： ・10までのかず　かぞえましょう①②③④ ・10までのかず	・10までのかずかぞえましょう①：１～10の数唱 ・10までのかずかぞえましょう②：（１～５）数唱とものとを対応して数える。 ・10までのかずかぞえましょう③：（１～10）数唱とものとを対応して数える。 ・10までのかずかぞえましょう④：具体物を半具体物（おはじき）に置き換えて数える。 ・10までのかず：挿絵を見て１から10までの数を唱えながら数える。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	30	(知及技）長さ、高さなどの量の大きさが分かる。・長い・短い、高い・低いなどの用語が分かる。 (思判表力）長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）長さ、高さなどの量の大きさを理解しようとしている・長い・短い、高い・低いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表）長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア：ながい、みじかい ・たかい、ひくい	・ながい、みじかい：二つのものの具体物を感覚的に比較して「長い」「短い」がわかる。 ・たかい、ひくい：直感的に「高いなあ」という感覚をもつことで「高い」「低い」を捉える。

	30	(知及技）二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。・長い・短い、高い・低いなどの用語が分かる。 (思判表力）長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べようとしている。・長い・短い、高い・低いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表）長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア：どっちがおおきい、どっちがちいさい ・どっちがながい、どっちがみじかい ・どっちがたかい、どっちがひくい	・どっちがおおきい、どっちがちいさい：二つの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「大きい」「小さい」が分かる。 ・どっちがながい、どっちがみじかい：二つの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「長い」「短い」が分かる。 ・どっちがたかい、どっちがひくい：「高さ」という属性に着目して二つの量の関係について「こっちが高い」「こっちが低い」等と比べたり判断したりする。
３学期	20	(知及技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類することができる。 (思判表力）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類することができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類しようとしている。 (思判表力）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類しようとしている。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用ア：わけてみよう①②	・わけてみよう①：色に着目してボールを分類する。 ・わけてみよう②：目的、用途、機能から共通点や相違点による仲間分けを考える。
	20	(知及技）ものとものとを対応させることによって、ものの同等や多少が分かる。 (思判表力）身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現することができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）ものとものとを対応させることによって、ものの同等や多少を理解しようとしている。 (思・判・表）身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用イ：かつのはどっち	・かつのはどっち：生活の中にあるものとものとを対応する。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 小学部　３年（Ⅱ課程Ａ・Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部３学年		おんがく☆☆、他

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身につけるようにする。 (思判表力) 　音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。 (学･人) 　音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けようとしている。 (思･判･表)　歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ・校歌 ・学年の歌 ☆はるのおがわ ☆みなみのしまのはめはめはだいおう ☆ひらいたひらいた (おんがく☆☆他)	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表）器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学)　音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆あまだれ ☆ぶんぶんぶん ☆おもちゃのちゃちゃちゃ ☆いろいろなだがっき (おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆いろいろなおと ☆あめのおとをならしてみよう ・天気予報をお知らせします (おんがく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。

		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(ウ)㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。(ウ)㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技)示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆さあみんなで ・のーののせる ☆いっぽんばしこちょこちょ ☆ぷーるでちゃっぷん ☆せんたく ・やっほっほ夏休み (おんがく☆、☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(イ) (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。(ア) (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	知・技)身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆あめふりくまのこ ・こいのぼり ・おかあさん ・月桃 ・たなばた (おんがく☆、☆☆他)	・音楽に合わせて、身体を揺らしたり手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。
		(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技)教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けようとしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ☆こぶたぬきつねこ ・ふしぎなぽけっと ・いぬのおまわりさん (おんがく☆、☆☆他)	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技)拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表)器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆てをたたきましょう ☆とけいのうた ☆やまのおんがくか ・じゃんけんぽん (おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。

2学期	28	(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ・りずむをくみあわせよう ☆いろいろなだがっき ☆いろいろなおと （おんがく☆、☆☆他）	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。（ウ）㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。（ウ）㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。（ア） (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆さぁみんなで ☆どうぶつになって ☆きのこ （おんがく☆、☆☆他）	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（イ） (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。（ア） (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	知・技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆おおきなかぶ ☆くらりねっとぽるか （おんがく☆、☆☆他）	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
		(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けようとしている。 (思･判･表)　歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ☆しゃぼんだまとばせ ・学年の歌 ☆ふしぎなぽけっと ☆いぬのおまわりさん ・やぎさんゆうびん ・ゆき ・卒業式の歌 （おんがく☆、☆☆他）	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。

3学期	18	(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表）器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆もちつき （おんがく☆、☆☆他）	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆いろいろなおと （おんがく☆、☆☆他）	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。（ウ）㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。（ウ）㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。（ア） (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆どれみのうた ☆かもつれっしゃ ☆じぇっとこーすたー ☆よーいやさ ☆じゃんけんぽん	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（イ） (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。（ア） (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	知・技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆はくちょう ☆ほしにねがいを ・あめふりくまのこ ☆おおきなかぶ ☆君が代 （おんがく☆、☆☆他）	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部3年（Ⅱ課程A・B）図画工作科 年間指導計画

単位数/配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部 3学年		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。
(思判表力)
表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。
(学・人)
進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
Ⅰ学期	25	(知及技) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じ、進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとすることができる。	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	造形 〇うつしてみよう ・ぺったんコロコロ	・いろいろな形や色を見つけ工夫して表す、描きたいものを思いつく、思いついたものを楽しく描く。 ・ぬたくり遊びや、道具を使っての絵の具遊び 〈道具：絵の具、筆、ローラー、芯、カップ、毛糸等〉 〈材料：模造紙、画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール、プチプチ、毛糸、トイレットペーパーの芯、果物ネット等〉 （教科書：ずがこうさくⅠ・2上P24-25参考）
		(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとすることができる。	(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしている。 (思判表力) 表したいことを思いついたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりできるようにする。 (主学) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	工作 〇おって たてたら ・紙を折って立ててみよう	・切ったり、描いたりしながら紙を折って立てて遊ぶ。 ・折って立つ形を見つけたり、立てた形から作りたいものを思いたりして楽しむ。 〈道具：ハサミ、クレヨン、マジック等〉 〈材料：折紙、画用紙、厚紙、段ボール等〉 （教科書：ずがこうさくⅠ・2上P22-23参考）
		(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとすることができる。	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 〇いろいろな方法で描こう ・スパッタリング ・バチック技法 ・デカルコマニー	・霧吹きや網でこすり出した模様の様子を楽しむ。 ・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 ・半分に折った紙に絵の具をのせ、残り半分の紙を閉じ、開いた模様を楽しむ。 〈道具：紙、クレヨン、絵の具、ビー玉、網、ブラシ、霧吹き、ロウ、マーブリング液、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール箱、竹串、和紙、浅いバット等〉

		(知及技) 形や色などについて気付き、身の回りの自然物などに触れることができる。 (思判表力) 材料や形や色などを基に、自分のイメージをもち、表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとすることができる。	(知及技) 形や色などについて気付き、身の回りの自然物などに触れている。 (思判表力) 材料や形や色などを基に、自分のイメージをもち、表したいことを思い付いている。 (学・人) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	造形 〇ねばねば とろとろ ・スライムや片栗粉で遊ぼう	・スライム、片栗粉を水で溶かしたものなど触ってヌルヌル感を感じ取りながら遊ぶ。 ・容器に移したり、ガラスのようなつるつるした板の上に塗りつけたりして感触を味わう。 ・感触を感じ、水を加えると感触が変わること、食紅を加えると色が変わることを楽しむ。 ・感触を感じ、固まったり冷たくなったりする感触の違いも楽しむ。 (道具:洗面器、たらい、ブルーシート、絵の具、食紅等) (材料:洗濯のり、ホウ砂、ラメ、片栗粉等)
2学期	25	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとすることができる。	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 表したいことを思いついたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりできるようにする。 (主学) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 〇おはなしからうまれたよ 〇読書感想画 ・好きな絵本を読んで絵を描こう	・好きな絵本を読んだり、読み聞かせを聞いて、絵本の好きな場面の様子を鉛筆やペン、絵の具やクレヨンなどを使って描く。 〈道具:ペン、筆、クレヨン、絵の具等〉 〈材料:画用紙等〉 (教科書:ずがこうさく1・2上P34-35参考)
		(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとすることができる。	(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしている。 (思判表力) 表したいことを思いついたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりできるようにする。 (主学) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	工作 〇かみざらコロコロ	・空き箱や筒に紙皿をつけて転がる形を作る、装飾する。 ・転がる形を見つけ工夫して作る。 ・転がる動きを試しながら作りたいものを考える。 ・転がしたり飾ったりしながら作ることを楽しむ。 〈道具:はさみ、のり、セロテープ、、ビニールテープ、クレヨン等〉 〈材料:空き箱、紙筒、折り紙、紙皿、紙コップ、紙テープ、色画用紙等〉 (教科書:ずがこうさく1・2上P50-51参照)
		(知及技) ・身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。	(知及技) ・身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくろうとしている。 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 形や色などを基に、自分のイメージをもとうとしている。 (主学) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画(版画) 〇うつしてみよう 〇たのしくうつして ・型紙を使って ・紙版画 ・スチレン版画	・型紙を作って、好きな色で形をうつすことを楽しむ。 ・画用紙や厚紙を貼り重ねて紙版をつくり、刷って形をうつすことを楽しむ。 ・スチレン版に棒等を使って好きな絵を描き、インクをのせ、紙をのせ、刷って出来上がる版画体験をする。 (道具:棒、ローラー、絵の具、筆等) (材料:ステンシル版、版画用紙、新聞紙、段ボール、自然物等) (教科書:ずがこうさく1・2下P52-53参考)
		(知及技) 身近な材料や用具を使い、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとすることができる。	(知及技) 身近な材料や用具を使い、形をつくったりしている。 (思判表力) 表したいことを思いついたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしている。 (主学) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	粘土・立体 〇ごちそうパーティーはじめよう ・食べ物をねんどでつくろう。 ・みんなでパーティーをしよう。	・作り方を工夫して、思いに合う形を見つける ・形を考えて作り、みんなでごちそうを見合う ・好きな食べ物を作ってみんなで見ることを楽しむ。 〈道具:(油・紙・小麦粉)粘土、粘土ベラ、粘土板、絵の具、筆等〉 〈材料:紙皿、紙コップ、ストロー、おかずカップ、スプーン、フォーク等〉 (教科書:ずがこうさく1・2上P26-27参考)

3学期	20	(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしている。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付いている。 (主学) つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る(工作) 〇作ってあそぼう、使おう ・凧、こま、福笑い	・ビニール袋地に好きな絵を描いて、凧を作ったり、CDディスクの穴にビー玉を入れて止め、こまを作ったり、目隠しで顔のパーツを貼って遊ぶ福笑いをしたりと、正月遊びを楽しむ。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具:のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料:色画用紙、新聞紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、糸、竹ひご、CDディスク、ビー玉、シール、自然物等〉
		(知及技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとする。	(知及技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) つくりだす喜びを味わい、進んで鑑賞活動に取り組もうとしている。	描画 〇協力して描こう ・卒業式の壁面を作ろう	・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。卒業式をイメージした絵を描いたり、花などのイラストの塗り絵をしたりして張り付ける。 ・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。友達と決めた学級を絵の具やクレヨンなどを使って描く。 〈道具:ペン、筆、クレヨン、絵の具、スタンプ、ローラー、のり、はさみ等〉 〈材料:画用紙、色画用紙、模造紙、新聞紙等〉
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学・人) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、楽しみながら学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思・判・表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。	ふりかえり・鑑賞 〇見てみよう ・作品鑑賞 ・卒業式壁画	・1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。 ・自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。
留意点 引継ぎ等		描画(絵に表す活動) 作る(立体に表す活動、工作に表す活動) 鑑賞(造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動)			

令和８年度　小学部３年（Ⅱ課程-A）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部　３学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができる。（小2段階） (思判表力)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できる。（小2段階） (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようする態度を養う。（小2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・体つくり運動 ・決まりを守って行動しよう	【体ほぐしの運動】 ・伸び伸びとした動作で運動を行う。 ・リズムに乗って運動を行う。 ・歩いたり走ったりする運動を行う。 ・動作や人数などの条件を整えて、歩いたり走ったりする運動
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。【評価資料】活動の様子で評価する。	・水の中での運動	【水につかっての水かけっこやまねっこ遊び】 ・水につかって様々な動物（アヒル、カニ、カエル、ワニなど）の真似をしながら、腰やひざを伸ばした一直線の姿勢になり手を使って歩いたりする運動をする。 ・自ら水を頭や顔にかけたり、お互いにかけ合ったりする運動をする。 ・基本的な運動を行う中で、その楽しさや心地よく感じたことを言葉や表情、ジェスチャーなどで教師に知らせたり、友達に伝えたりする。 【簡単なきまり】 ・約束を踏まえ、友達と一緒にけがをしないよう注意して活動する。
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすることができる。 (思判表力)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとする。 (思･判･表)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・器械・器具を使っての運動	【固定施設を使った基本的な運動】 ・低い平均台，フープ，ミニハードル，トンネル，トランポリンなどを使った運動遊びをする。 【マットを使った基本的な運動】 ・ゆりかご，前転がり，後ろ転がりなどをする。
2学期	16	(知及技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。 (思判表力)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な表現運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な表現運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・表現運動	【題材と動き】 ・身近な動物や車，飛行機などの乗り物等の真似をする。 （鳥，昆虫，恐竜，動物園の動物，飛行機，遊園地の乗り物，おもちゃなど，特徴が捉え易い動きを多く含む題材）
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (思判表力)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく走・跳の基本的な運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 (思･判･表)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・走・跳の運動	【走る運動】 ・30m程度のかけっこやトラックなど緩やかなカーブを蛇行して走ったり，教師の手拍子や言葉掛けに合わせ一定の速度で走ったりする。 【跳ぶ運動】 ・教師の言葉掛けなどでタイミングを計りながら，一人で片足や両足で連続して上方に跳んだり，前方に跳んだりする。
3学期	8	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・ボールを使った運動やゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・つく，転がす，投げる，当てる，捕る，打つ，蹴る，止めるなどの簡単なボール操作をする。 ・先生や友達にボールを転がしたり，投げたり，先生や友達が転がしたり，投げたりしたボールを止めたり，捕ったりする。 【ボールを使ったゲーム】 ・ねらったところにボールを転がして、的に当てたり得点したりする。 ・先生や友達にボールを手渡したり投げたりしてゴールにボールを運ぶ。 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 一人鬼，手つなぎ鬼，子増やし鬼
年間を通して	34	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとしている。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現しようとしている。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○体つくり運動 ・げんきっき ・げんきっき（１０分走）	【体つくり運動】 ・伸び伸びとした動作で運動を行う。 ・リズムに乗って運動を行う。 ・決まった方向に、一定の時間や距離を教師と一緒または距離を取りながら、ゆっくり走ったり、早く走ったりする運動遊び。 ・記録会に参加し、教師と一緒または１人で走る。
		(知及技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をしようとする。 (思･判･表)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えようとする。 (主学))教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・保健	【健康な生活に必要な事柄をする】 「自分の体調を知ろう」 ・状態を伝える言葉を知る 「清潔に保とう」 ・手洗い、うがい 「体の成長を知ろう」 ・これまでの成長の変化を視覚化した教材により、過去と比較する。

留意点 引継ぎ等				

令和８年度　小学部３年　（Ⅱ課程A・B）　道徳科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部　３学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解に基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとする。	・気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・礼儀	・気持ちの良い挨拶や言葉遣い、話の聞き方、食事の所作など具体的なふるまい方を学ぶ。
	4	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする。	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・希望と勇気、努力と強い意志。	・日常生活にある役割や仕事にどのようなものがあるか学ぶ。
	4	・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にする。	・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとしている。 【評価資料】 活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・生命の尊さ。	・「生きている証」に気づき、自分の生誕を心待ちにしていた家族の思いを知り、生命の大切さ、自分の生命そのもののかけがえのなさを学ぶ。 ・植物を育てる中で、育てる事の難しさや生命の尊さを学ぶ。
2学期	7	・友達と仲良くし、助け合おうとする。	・友達と仲良くし、助け合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・友情、信頼	・自分の良さや、友達の良さに気づき、一緒に仲良く活動する事の良さや、楽しさを学ぶ。
	7	・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。	・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にしようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・規則の尊重	・身の回りの公共物や公共の場所の使い方、過ごし方について学ぶ。 ・身近約束や決まりについて学ぶ。
3学期	4	・働くことのよさを知り、みんなのために働く。	・働くことのよさを知り、みんなのために働くこうとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・勤労、公共の精神。	・皆のためにできる行動を知り、行うことのやりがいや役にたつことの嬉しさを学ぶ。
	5	・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする。	・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する	・親切、思いやり。	・身近にいる人に気づき、優しい言葉や態度を学ぶ。 ・自分と相手の気持ちの違いについて気づくことができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部　３年（Ⅱ課程A・B）　外国語活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部３学年		Let's try!1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気づき、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う素地を養う。 (学･人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 (学･人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	(知・技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	・あいさつをして友だちになろう Hello I'm … Goodbye See you.	①歌・表現 あいさつをしよう Hello song,Goobye. ②語彙等 あいさつの言葉を知ろう！ ・「Hello」や「Hi」等の挨拶の言葉を絵カード等を使って知る。 ③会話を使った活動等 友達や先生に自己紹介してみよう！ ・教師と一緒に挨拶や自己紹介をしようとしたりして、外国語に親しむ。
	2	(知及技) 表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しむことができる。。 (思判表力) 表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合うことができる。 (学・人) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとする。	(知・技) 表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合おうとしている。 (主・学) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとしている。	・ごきげんいかが？ How are you？ I' m happy.	①歌・表現 かいわをしよう Hello,How are you ・「調子はどう？」等の会話の仕方を知る。 ②語彙等 すきなものを伝えよう ・好きなものの英単語を知る。 ③会話を使った活動等 自己紹介をしよう ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	(知及技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	(知・技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	・数えてあそぼう How many…? (Ten)(apples)./Yes. That's right. No. Sorry.	①歌・表現 英語の歌をうたおう ・数字や日付、曜日等の英語を聞き、親しむ。 ②語彙等 One two three ・数字や日付など身近なものから、数字の英単語について知る。 ③会話を使った活動等 英語でゲームをしよう How many...? ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	(知及技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	(知・技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思・判・表) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	・すきなものをつたえようI like …. Do you like…? Yes,I do. No,I don't. I don't like...	①歌・表現 身近なものの名前 ・歌やダンスで、身の回りのものの英単語に親しむ。 ②語彙等 身の回りのもの 身体の部位 ・身の回りのものの英語を知る。 ③会話を使った活動等 これなあに？ What is this? すきなものをつたえよう I like,I don't like... ・友達や先生に身の回りのものや好きなものについての会話を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。

2学期	4	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・何がすき？ What do you like? I like … What (sports) do you like? I like (soccer).	①歌・表現 英語の歌をうたおう ・歌やダンスで、好きなものを尋ねたり答えたりする表現に親しむ。 ②語彙等 すきなものをつたえよう ・絵カードや写真等を使用し、すきなものを伝える。 ③会話を使った活動等 なにがすき？ What do you like? 英語でゲームをしよう
	4	（知及技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 （学・人） 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	（知・技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 （主・学） 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	・アルファベットとなかよし (The A caard),please. Here you are. Thank you. You're wslcome.	①歌・表現 アルファベットの歌をきこう 外国の文化を知ろう（ハロウィン、クリスマス等） ・歌やダンスで、アルファベットや外国の文化に触れる ②語彙等 アルファベットをしろう ・絵カード、写真等でアルファベットを知る ③会話を使った活動等 外国の文化をしろう ゲームをしよう ・英語を使ったゲームを通して、外国の文化に慣れ親しむ。
	5	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （思判表力） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （思・判・表） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	・カードをおくろう What do you want? (A star),please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.	①歌・表現 えいごのうたをきこう ・歌やダンスで、ほしいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 カードをつくろう ②語彙等 あれがほしい！ ・形や色など、ほしいものを表す言葉について知る。 ③会話を使った活動等 カードをしょうかいしよう ・自分の作ったカードを、簡単な英単語を使い、相手に伝わるように、簡単な英文を作る。
3学期	5	（知及技） 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） クイズを出したり答えたりし合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	（知・技） 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） クイズを出したり答えたりし合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	・これなあに？ What's this? Hints please. It's (a fruit). It's(green). It's(a lemon). That's right.	①歌・表現 英語のうたをきこう 「What is this?」 ②語彙等 これなあに？ ・絵カード等で、身の回りのもの名前を知る。 ・ものの名前の単語を発音する。 ③会話を使った活動等 ゲームをしよう ・シルエットクイズや神経衰弱ゲームを通して、身の回りのものの英語に親しむ。
	5	（知及技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 （学・人） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	（知・技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 （主・学） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	・きみはだれ？ Are you (a dog)? Yes,I am. No,I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please.	①歌・表現 あなたはだあれ？ 「Who are you?」 ②語彙等 ものがたりをきこう ・絵本や動画などの読み聞かせを聞いて、家族や動物の英単語に親しむ。 ③会話を使った活動等 きみはだあれ？ ゲームをしよう ・家族や友達、動物の英単語を使ったゲームを通して、人物を表す言葉について親しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　小学部　３年（Ⅱ課程Ａ・Ｂ）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部３学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	○友達や教師と一緒に活動したり、集団活動への参加の仕方を身に付けたりすることができる。 ○友達や教師と一緒に、話し合い活動をしたり、何かを決めたりすることができる。 ○集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする態度を身に付けることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	○新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持とうとしている。	【今日から3年生】 （学年・学級開き） （１学期頑張ろう会）	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		○学級目標や１学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と２学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		○図書室での約束や借り方などを知り、利用することができる。の仕方を知ることができる。	・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知り、利用しようとしている。	【図書室オリエンレーション】	・図書室の決まりや使い方ついて知り、図書室を利用する。
		○学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	【係活動を決めよう】	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		○他学年他学部との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	【他学年、他学部と交流しよう】	・他学年、他学部との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		○新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	【ようこそ島尻へ】 （新転入生おめでとう）	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	・友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事	○儀式的行事 ･始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ･身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ･避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	・自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
		○１学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・１学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【１学習を振り返ろう】 （キャリアパスポート） ・１学期頑張った会	・１学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて振り返る。
		○夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	【夏休みの過ごし方】	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
		○２学期の個人目標を考えることができる。	・２学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	・２学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	・ 友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事	○儀式的行事 ･始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ･身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ･避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		○他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	【他学年と遊ぼう】	・他学年や他学部との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。

2学期	13	○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	・地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習に関する事前事後学習】	・交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	・校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちをもつことができる。	・自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちをもとうとしている。	【誕生会】	・誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちをもつ。
		○２学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・２学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【２学習を振り返ろう】 （キャリアパスポート） ・２学期頑張った会	・２学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		○冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	【冬休みの過ごし方】	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
3学期	8	○３学期の個人目標を考えることができる。	・３学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	・友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○儀式的行事	〈儀式的行事〉 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 〈健康安全的行事〉 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 〈学芸的行事〉 発表会の日程や内容について知り、期待感をもつ。 ・発表会を振り返り頑張ったことや感想を発表したり書いたりする。
		○他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	【他学年と遊ぼう】	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		○児童会について知り、活動への関心をもつことができる。	・児童会について知り、活動への関心を持とうとしている。	【児童会役員について知ろう】	・児童会について知り、活動への関心をもつ。 ・児童会役員の演説を聞いて投票する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	・校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組もうとしていた。	【卒業おめでとう】	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組む。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	・自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	・誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
		○３学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・３学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【３学習を振り返ろう】 （キャリアパスポート）	・目標を振り返り、できたか振り返る。
		○１年間を振り返り、次の学年への期待を持つことができる。	・１年間を振り返りながら、次の学年への期待を持とうとしている。	【もうすぐ４年生】	・１年間の学習や行事を振り返り、次の学年への期待を持つ。
		○春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	【春休みに向けて】	・春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。
留意点 引継ぎ等		評価方法 ＜授業態度＞ ・発表、発言　・表情、視線　・模倣　・取り組みへの姿勢　・行動の様子　・友達との関わり、協働 ＜学習記録＞ ・学習カード　・学習プリント　・文字、絵等			

3年生
Ⅱ－B課程

令和8年度　　小学部３年（Ⅱ課程B）生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部　３年		せいかつ☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。 (学･人）自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇あんぜんにつかおう ・つくろう ・あそぼう	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。
	2	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々やに積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々やに積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ ・じぶんのものとともだちのもの ・きまったばしょ	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。
	4	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇がっこうのきまり ・みんなでまもるときもちがいいね ・じかんのきまり 〇せいかつのきまり ・あそんでもよいばしょ	【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。
	5	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会、自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇きをつけてあるこう ・おうだんほどう ・ふみきり 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう ・かじになったら ・わたしたちをまもってくれるところ ・こんなときどうする	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方（横断歩道、歩道、手を上げる）が分かる。
	2	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇いきものとなかよし ・どうぶつにあいにいこう ・どうぶつのおせわをしよう	【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等（子どもの国等）で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等）
	4	(知及技)身近な人との接し方などについて知ることができる。 (思判表力)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な人との接し方などについて知っている。 (思・判・表)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇ありがとう、ごめんなさい ・ありがとうをみつけよう ・ごめんなさいをつたえよう 〇せんせい・ともだち ・あいさつをしよう ・つたえよう	【身近な人との関わり】 ・担任教師や友達の名前を言ったり、自分から「おはようございます」、「さようなら」などの挨拶をしたりする。 ・教師等に見聞きしたことや遊んだことを話す。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。

2学期	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇ちいきのぎょうじ ・おまつりにいこう ・おまつりであそぼう	【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	1	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)身近にあるものや自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近にあるものや自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇もののおもさ ・おもさくらべ（もつ）	【物と重さ】 ・物には重い物と軽い物があることに気付く。 ・身近にある物を実際に持って比べる。（例：水の入ったバケツ、厚さの違う本、机と椅子、量の違うビー玉等）
	1	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ク　金銭の扱い 〇おかねはたいせつ ・おこづかいをもらったら	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。
	4	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇わたしのまわりのひとたち ・あいにいこう ・なにをするじかんかな 〇いってみよう ・としょかん	【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。
	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう ・じしんがきたら	【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害（地震、火事）時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所（交番、消防署、こども110番、地域パトロール等）があることを知る。
	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇かかりのしごと ・いろいろなかかりをやってみよう 〇いっしょにしよう ・かかりをきめておたのしみかいをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	3	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ク　金銭の扱い 〇かいもの ・れんしゅうをしてみよう ・おみせにいってみよう ・なんていえばいいかな	【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。
3学期	3	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇かぜやゴムのちから ・かぜのちから	【風の力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・風車、風鈴、凧、おもちゃのヨット等
	3	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇かぜやゴムのちから ・ゴムのちから	【ゴムの力の働き】 ・ゴムの力は、物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム、筒ロケット、風船、トランポリン等

	4	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 ○いっしょにしよう ・おみせやさんのじゅんびをしよう ・おみせやさんごっこをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
年間通して	60	(知及技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思･判･表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ア　基本的生活習慣 ○じぶんでもやってみよう ・はやね・はやおき ・かたづけをしよう ・きれいにしよう ・しょくじのやくそく ・トイレのやくそく	【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど）
	45	(知及技)身近な日課・予定について知ることができる。 (思判表力)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な日課・予定について知っている。 (思・判・表)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ウ　日課・予定 ○つぎのじゅぎょうはなにかな ・よていのかくにん ・つぎのよてい ・あしたのよてい	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	35	(知及技)簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりのある遊びについて知っている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	エ　遊び ○いっしょにあそぼう ○あそびがいっぱい ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな	【いろいろな遊び】 ・教室にあるおもちゃで遊ぶ。 ・教師と一緒にいっぽんばしなどのスキンシップ遊びをする。 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。（エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。（おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	10	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 ○せんせいのおてつだいをしよう	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。
	10	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 ○そうじをしよう ・そうじ ・せいりせいとん ・あとかたづけ	【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
	13	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり ○しょくじのマナー	【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。
	13	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 ○みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。

	15	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇そらとてんき ・きょうのてんき・あしたのてんき ・ひる・よる	【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部3年（Ⅱ課程B）国語　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	小学部3年 Ⅱ課程B		国語☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。 (思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	35	(知及技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本やタブレット等での読み聞かせでいろいろなお話にふれる。 ・「読書月間」等の機会を活用して、自分の好きな絵本を探したり見たりする。
1学期	8	(知及技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力）身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じようとしている。 (思・判・表）身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	がっこうせいかつ ・あさのかい ・かかり ・こくご ・たいいく ・きゅうしょく ・そうじ	・あさのかい：言葉の学習、学級の日課や予定の確認、挨拶等 ・かかり：言葉の学習、やり取り、話し合い等 ・こくご：図書室、挨拶、絵本、話し合い等 ・たいいく：言葉の学習、やり取り、運動遊びやスポーツの種類等 ・きゅうしょく：言葉の学習、献立名、挨拶、会話等 ・そうじ：清掃用具の名前、言葉と行動の結び付け、言葉の学習等
	12	(知及技））身近な人との会話を通して，物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思判表力)簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）身近な人との会話を通して，物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 (思・判・表)簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をしようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	おはなしできるかな ・おでかけ ・かいもの ・あそび ・たまご	・おでかけ：母親と一緒に電車に乗って外出する様子。どこに出かけたのかを想像を膨らませて考える。 ・かいもの：保護者から頼まれた品物を買ってくる様子。お店で買ったものを想像し言葉にする。 ・あそび：児童が友達と一緒に遊ぶ様子。したい遊びを選んだり日頃楽しんでいる遊びを伝えたりする。 ・たまご：卵を使った調理。何ができるか想像する。
	18	(知及技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ひらがなをよんでみよう ・ごじゅうおん ・あいうえお～わをん	・ごじゅうおん：あいうえお五十音。 ・あいうえお～わをん：各文字を冒頭にもつ身近なものの名前を絵と平仮名によって示している。
	6	(知及技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力）体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じている。 (思・判・表）体験したことなどについて、伝えたいことを考えている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	どんなきもちかな ・ぷれぜんと ・ころんだ	・ぷれぜんと：プレゼントを「わたすーもらう」場面。場面において想起した気持ちを言葉で伝える。 ・ころんだ：「走るー転ぶ」場面。言葉と気持ち、表情記号。

2学期	28	(知及技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	なまえなあんだ ・あいうえお ・じぶんのなまえともだちのなまえ ・どうぶつ ・おかし ・のりもの ・やさい ・せいかつ ・かお ・からだ ・かげえ	・あいうえお：母音を正しい口形での発音。口形と平仮名、発音。 ・じぶんのなまえともだちのなまえ：僕、私。友達の名前を正しい発音で発音する。 ・どうぶつ：テレビや絵本などで見ることが多い動物。 ・おかし：食べた経験があると思われるお菓子。横書きで表記。 ・のりもの：生活の中で利用したり絵本の中で見たりする身近なん乗り物。 ・やさい：給食や買い物などで見たり食べたりすることが多い野菜。 ・せいかつ：家庭等において見たり使ったりしている家電。 ・かお：人の顔の名称。 ・からだ：人の体の各部の名称。 ・かげえ：実物や絵本等でみたことがあるであろう動物や昆虫、魚を題材にした影絵。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	5	(知及技）いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思・判・表）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう① ・なぞる ・むすぶ	・なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。 ・むすぶ：平仮名を構成している基本的な直線や曲線の動きを、言葉にしながら指や筆記具でなぞって練習する。
3学期	20	(知及技））身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思判表力）身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技））身近な人との会話を通して，物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 (思・判・表）身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	くわしくはなそう ・いろ ・はんたいことば ・だれのなに ・なにをするのかな① ・なにをするのかな② ・「わ」と「は」	・いろ：青、黄、赤、緑を取り上げ、色の名称をしること、物の名称を知ること、そして「〇〇い△△」という表現方法を知る。 ・はんたいことば：対語になった形容詞「大きい、小さい」「多い、少ない」「長い、短い」「重い、軽い」など。 ・だれのなに：動物の一部を〇で囲って示し。「〇〇の△△」という所有を表す助詞の表現方法に慣れる。 ・なにをするのかな①：ものの名称や用途を考えたり、動作を表す言葉とつなげて表現したりする。 ・なにをするのかな②：日常生活で行っている動作を分かりやすい絵で表現し、その動作を動詞と一致させることで知っている言葉の数を増やす。 ・「わ」と「は」：「わ」と「は」の違いに気がついて、会話の中で聞いたり話したりできるようにすること、扱える助詞の種類を増やすこと。
	8	(知及技）いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）いろいろな筆記具を用いて，書くことに親しもうとしている 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思・判・表）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう② ・なぞる ・むすぶ	・なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。 ・むすぶ：平仮名を構成している基本的な直線や曲線の動きを、言葉にしながら指や筆記具でなぞって練習する。 ・写し書きやなぞり書きで、暑中見舞いや年賀状に取り組む。 ・毛筆を使っての書き初め体験をする。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部３年（Ⅱ課程B）算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	３学年		算数☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 　数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）色や形、大きさに着目して分類することができる。・教師と一緒に身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。 (思判表力)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。 (学･人)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）色や形、大きさに着目して分類しようとしている・身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類しようとしている。 (思･判･表)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かそうとしている。 (主学)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形アイ ・なかまあつめ① ・なかまあつめ② ・なかまあつめ③ ・なかまあつめ④⑤ ・なかまあつめ⑥	○なかまあつめ① ・ものを「色」の違いに着目して分類する。 ○なかまあつめ② ・ものを「形」に着目して分類する。 ○なかまあつめ③ ・ものを「大きさ」に着目して分類する。 ○なかまあつめ④⑤ ・ものを「目的」「用途」「機能」に着目して分類する。 ○なかまあつめ⑥ ・ものを「用途」や「色」や「大きさ」に着目して分類する。
	12	(知及技）身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。・縦や横の線、十字、△や□をかくことができる。 (思判表力）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学･人)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ろうとしている・縦や横の線、十字、△や□をかこうとしている (思・判・表）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりしようとしている。 (主学)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ ・まる、さんかく、しかく① ・はたをつくろう	○まる、さんかく、しかく① ・丸、三角、四角を見た目の違いや周りを触った感触の違いなどによる弁別を通して、形のみに着目して違いに気付く。 ○はたをつくろう ・縦、横、縦、横の線を引いて囲むことで四角になることや、縦、横、斜めで囲むことで三角になることに気付く。
	11	(知及技）ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べ同等・多少がわかる。 (思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学･人）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べ同等・多少を理解しようとしている。 (思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア ・くみあわせ①② ・くみあわせ③	○くみあわせ①② ・ものとものとを対応させることによってものの個数を比べ、同等がわかる。 ○くみあわせ③ ・ものとものとを対応させることによってものの個数を比べ、多少がわかる。
2学期	20	(知及技）ものの集まりと対応して、数詞が分かる。ものの集まりや数詞と対応して数字が分かる。 (思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学･人）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）ものの集まりと対応して、数詞を理解しようとしている。・ものの集まりや数詞と対応して数字を理解しようとしている。 (思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア ・10までのかずかぞえましょう① ・10までのかずかぞえましょう② ・10までのかずかぞえましょう③ ・10までのかずかぞえましょう④ ・10までのかず	○10までのかずかぞえましょう① ・１～10の数唱 ○10までのかずかぞえましょう② ・（１～５）数唱とものとを対応して数える。 ○10までのかずかぞえましょう③ ・（１～10）数唱とものとを対応して数える。 ○10までのかずかぞえましょう④ ・具体物を半具体物（おはじき）に置き換えて数える。 ○10までのかず ・挿絵を見て１から10までの数を唱えながら数える。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	10	(知及技）長さ、高さなどの量の大きさが分かる。・長い・短い、高い・低いなどの用語が分かる。 (思判表力）長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）長さ、高さなどの量の大きさを理解しようとしている・長い・短い、高い・低いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表）長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア ・ながい、みじかい ・たかい、ひくい	○ながい、みじかい ・二つのものの具体物を感覚的に比較して「長い」「短い」がわかる。 ○たかい、ひくい ・直感的に「高いなあ」という感覚をもつことで「高い」「低い」を捉える。

	20	(知及技）二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。・長い・短い、高い・低いなどの用語が分かる。 (思判表力）長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べようとしている。・長い・短い、高い・低いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表）長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア ・どっちがおおきい、どっちがちいさい ・どっちがながい、どっちがみじかい ・どっちがたかい、どっちがひくい	○どっちがおおきい、どっちがちいさい ・二つの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「大きい」「小さい」が分かる。 ○どっちがながい、どっちがみじかい ・二つの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「長い」「短い」が分かる。 ○どっちがたかい、どっちがひくい ・「高さ」という属性に着目して二つの量の関係について「こっちが高い」「こっちが低い」等と比べたり判断したりする。
3学期	10	(知及技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類することができる。 (思判表力）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類することができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類しようとしている。 (思判表力）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類しようとしている。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用ア ・わけてみよう① ・わけてみよう②	○わけてみよう① ・色に着目してボールを分類する。 ○わけてみよう② ・目的、用途、機能から共通点や相違点による仲間分けを考える。
	10	(知及技）ものとものとを対応させることによって、ものの同等や多少が分かる。 (思判表力）身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現することができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）ものとものとを対応させることによって、ものの同等や多少を理解しようとしている。 (思・判・表）身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用イ ・かつのはどっち	○かつのはどっち ・生活の中にあるものとものとを対応する。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 小学部　３年（Ⅱ課程Ａ・Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部３学年		おんがく☆☆、他

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身につけるようにする。 (思判表力) 　音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。 (学･人) 　音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けようとしている。 (思･判･表)　歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ・校歌 ・学年の歌 ☆はるのおがわ ☆みなみのしまのはめはめはだいおう ☆ひらいたひらいた (おんがく☆☆他)	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表）器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学)　音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆あまだれ ☆ぶんぶんぶん ☆おもちゃのちゃちゃちゃ ☆いろいろなだがっき (おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆いろいろなおと ☆あめのおとをならしてみよう ・天気予報をお知らせします (おんがく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。

		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(ウ)㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。(ウ)㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技)示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆さあみんなで ・のーののせる ☆いっぽんばしこちょこちょ ☆ぷーるでちゃっぷん ☆せんたく ・やっほっほ夏休み (おんがく☆、☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(イ) (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。(ア) (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	知・技)身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆あめふりくまのこ ・こいのぼり ・おかあさん ・月桃 ・たなばた (おんがく☆、☆☆他)	・音楽に合わせて、身体を揺らしたり手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。
		(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技)教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けようとしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ☆こぶたぬきつねこ ・ふしぎなぽけっと ・いぬのおまわりさん (おんがく☆、☆☆他)	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技)拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表)器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆てをたたきましょう ☆とけいのうた ☆やまのおんがくか ・じゃんけんぽん (おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。

2学期	28	(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ・りずむをくみあわせよう ☆いろいろなだがっき ☆いろいろなおと （おんがく☆、☆☆他）	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。（ウ）㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。（ウ）㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。（ア） (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆さぁみんなで ☆どうぶつになって ☆きのこ （おんがく☆、☆☆他）	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（イ） (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。（ア） (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	知・技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆おおきなかぶ ☆くらりねっとぽるか （おんがく☆、☆☆他）	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
		(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けようとしている。 (思･判･表)　歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ☆しゃぼんだまとばせ ・学年の歌 ☆ふしぎなぽけっと ☆いぬのおまわりさん ・やぎさんゆうびん ・ゆき ・卒業式の歌 （おんがく☆、☆☆他）	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。

3学期	18	(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表）器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆もちつき （おんがく☆、☆☆他）	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆いろいろなおと （おんがく☆、☆☆他）	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。（ウ）㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。（ウ）㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。（ア） (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆どれみのうた ☆かもつれっしゃ ☆じぇっとこーすたー ☆よーいやさ ☆じゃんけんぽん	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（イ） (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。（ア） (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	知・技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆はくちょう ☆ほしにねがいを ・あめふりくまのこ ☆おおきなかぶ ☆君が代 （おんがく☆、☆☆他）	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部３年（Ⅱ課程Ｂ）体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部　３学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができる。（小2段階） (思判表力)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できる。（小2段階） (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようする態度を養う。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○体つくり運動	【体ほぐしの運動】 ・伸び伸びとした動作で運動を行う。 ・リズムに乗って運動を行う。 ・歩いたり走ったりする運動を行う。 ・動作や人数などの条件を整えて、歩いたり走ったりする運動
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○水の中での運動	【水に慣れる】 ・補助具や教師の補助で水に浮く・進む ・筋緊張を緩めリラックスする。 ・補助具や教師の支援で背浮き、腹浮きする。 【水中移動】 ・水中歩行（手引き歩行・教師の牽引） ・補助具や教師の支援で手・足・体全体を動かして水中移動。 ・水中活動を行う中で、その楽しさや心地よさ感じたことを自分なりに表現する。 【簡単なきまり】 ・入る・出るの約束を守る。 ・ゲームの決まりを守って楽しく遊ぶ。
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○ボールを使った運動やゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・転がす，投げる，当てる，捕る，打つ，蹴る，止めるなどの簡単なボール操作をする。 ・先生や友達にボールを転がしたり，投げたり，先生や友達が転がしたり，投げたりしたボールを止めたり，捕ったりする。
2学期	16	(知及技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。 (思判表力)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な表現運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な表現運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○表現運動	【まねっこ遊び】 ・音楽に合わせて身近な動物や車，飛行機などの乗り物等の真似を自分なりの動きで表現する。 （鳥，昆虫，恐竜，動物園の動物，飛行機，遊園地の乗り物，おもちゃなど，特徴が捉え易い動きを多く含む題材） 【バルーン遊び】 音楽に合わせてバルーンを上下左右に揺らす。寝転んで手をのばす。
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすることができる。 (思判表力)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとしている。 (思･判･表)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとしている。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○器械・器具を使っての運動	【固定施設を使った基本的な運動】 ・フープ、ミニハードル、トンネル、トランポリンなどを使った運動遊びを行う。 【マットを使った基本的な運道】 ・横転がり、ゆりかご，前転がり，後ろ転がりなどをする。
3学期	8	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○ボールを使った運動やゲーム	【ボールを使ったゲーム】 ・補助具やスイッチ教具を使い、ねらったところにボールを転がして、的に当てたり得点したりする。 ・先生や友達にボールを手渡したり投げたりしてゴールにボールを運ぶ。 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 一人鬼，手つなぎ鬼，子増やし鬼 【対戦ゲーム】 風船ゲーム・ごろ卓球・Tベースぼーる
		(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとしている。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさを表現しようとしている。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体つくり運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○体つくり運動 ・げんきっき ・げんきっき（１０分走）	【体ほぐしの運動】 ・ストレッチ（手足、背中の緊張をほぐす） ・伸び伸びとした動作で運動を行う。 ・リズムに乗って車いすを操作、または教師と一緒に運動を行う。 ・寝返り、腹ばい、四つ這い、膝立ち、手引き歩行、歩行器移動、車いす移動

年間を通して	34	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (思判表力)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく走・跳の基本的な運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 (思･判･表)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○歩く・走る・跳ぶの運動	【歩く・走る運動】 ・10m程度のかけっこを自力や手引き、歩行器車いすで歩いたり走ったりする。 ・教師の手拍子や言葉掛けに合わせ一定の速度で動く。 【跳ぶ運動】 ・教師の支援を受けて、タイミングを計り膝を曲げて跳ぶ感覚を体験する。
		(知及技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をしようとする。 (思･判･表)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えようとする。 (主学))教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	○保健	【健康な生活に必要な事柄をする】 「自分の体調を知ろう」 ・状態を伝える言葉を知る 「清潔に保とう」 ・手洗い、うがい 「体の成長を知ろう」 ・これまでの成長の変化を視覚化した教材により、過去と比較する。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部３年　（Ⅱ課程A・B）　道徳科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部　３学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解に基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとする。	・気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・礼儀	・気持ちの良い挨拶や言葉遣い、話の聞き方、食事の所作など具体的なふるまい方を学ぶ。
	4	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする。	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・希望と勇気、努力と強い意志。	・日常生活にある役割や仕事にどのようなものがあるか学ぶ。
	4	・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にする。	・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとしている。 【評価資料】 活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・生命の尊さ。	・「生きている証」に気づき、自分の生誕を心待ちにしていた家族の思いを知り、生命の大切さ、自分の生命そのもののかけがえのなさを学ぶ。 ・植物を育てる中で、育てる事の難しさや生命の尊さを学ぶ。
2学期	7	・友達と仲良くし、助け合おうとする。	・友達と仲良くし、助け合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・友情、信頼	・自分の良さや、友達の良さに気づき、一緒に仲良く活動する事の良さや、楽しさを学ぶ。
	7	・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。	・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にしようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・規則の尊重	・身の回りの公共物や公共の場所の使い方、過ごし方について学ぶ。 ・身近約束や決まりについて学ぶ。
3学期	4	・働くことのよさを知り、みんなのために働く。	・働くことのよさを知り、みんなのために働くこうとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・勤労、公共の精神。	・皆のためにできる行動を知り、行うことのやりがいや役にたつことの嬉しさを学ぶ。
	5	・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする。	・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する	・親切、思いやり。	・身近にいる人に気づき、優しい言葉や態度を学ぶ。 ・自分と相手の気持ちの違いについて気づくことができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部　３年（Ⅱ課程A・B）　外国語活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部３学年		Let's try!1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気づき、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う素地を養う。 (学･人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 (学･人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	(知・技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	・あいさつをして友だちになろう Hello I'm … Goodbye See you.	①歌・表現 あいさつをしよう Hello song,Goobye. ②語彙等 あいさつの言葉を知ろう！ ・「Hello」や「Hi」等の挨拶の言葉を絵カード等を使って知る。 ③会話を使った活動等 友達や先生に自己紹介してみよう！ ・教師と一緒に挨拶や自己紹介をしようとしたりして、外国語に親しむ。
	2	(知及技) 表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しむことができる。。 (思判表力) 表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合うことができる。 (学・人) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとする。	(知・技) 表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合おうとしている。 (主・学) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとしている。	・ごきげんいかが？ How are you？ I' m happy.	①歌・表現 かいわをしよう Hello,How are you ・「調子はどう？」等の会話の仕方を知る。 ②語彙等 すきなものを伝えよう ・好きなものの英単語を知る。 ③会話を使った活動等 自己紹介をしよう ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	(知及技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	(知・技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	・数えてあそぼう How many…? (Ten)(apples)./Yes. That's right. No. Sorry.	①歌・表現 英語の歌をうたおう ・数字や日付、曜日等の英語を聞き、親しむ。 ②語彙等 One two three ・数字や日付など身近なものから、数字の英単語について知る。 ③会話を使った活動等 英語でゲームをしよう How many...? ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	(知及技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	(知・技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思・判・表) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	・すきなものをつたえようI like …. Do you like…? Yes,I do. No,I don't. I don't like...	①歌・表現 身近なものの名前 ・歌やダンスで、身の回りのものの英単語に親しむ。 ②語彙等 身の回りのもの 身体の部位 ・身の回りのものの英語を知る。 ③会話を使った活動等 これなあに？ What is this? すきなものをつたえよう I like,I don't like... ・友達や先生に身の回りのものや好きなものについての会話を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。

2学期	4	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・何がすき？ What do you like? I like … What (sports) do you like? I like (soccer).	①歌・表現 英語の歌をうたおう ・歌やダンスで、好きなものを尋ねたり答えたりする表現に親しむ。 ②語彙等 すきなものをつたえよう ・絵カードや写真等を使用し、すきなものを伝える。 ③会話を使った活動等 なにがすき？ What do you like? 英語でゲームをしよう
	4	（知及技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 （学・人） 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	（知・技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 （主・学） 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	・アルファベットとなかよし (The A caard),please. Here you are. Thank you. You're wslcome.	①歌・表現 アルファベットの歌をきこう 外国の文化を知ろう（ハロウィン、クリスマス等） ・歌やダンスで、アルファベットや外国の文化に触れる ②語彙等 アルファベットをしろう ・絵カード、写真等でアルファベットを知る ③会話を使った活動等 外国の文化をしろう ゲームをしよう ・英語を使ったゲームを通して、外国の文化に慣れ親しむ。
	5	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （思判表力） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （思・判・表） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	・カードをおくろう What do you want? (A star),please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.	①歌・表現 えいごのうたをきこう ・歌やダンスで、ほしいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 カードをつくろう ②語彙等 あれがほしい！ ・形や色など、ほしいものを表す言葉について知る。 ③会話を使った活動等 カードをしょうかいしよう ・自分の作ったカードを、簡単な英単語を使い、相手に伝わるように、簡単な英文を作る。
3学期	5	（知及技） 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） クイズを出したり答えたりし合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	（知・技） 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） クイズを出したり答えたりし合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	・これなあに？ What's this? Hints please. It's (a fruit). It's(green). It's(a lemon). That's right.	①歌・表現 英語のうたをきこう 「What is this?」 ②語彙等 これなあに？ ・絵カード等で、身の回りのもの名前を知る。 ・ものの名前の単語を発音する。 ③会話を使った活動等 ゲームをしよう ・シルエットクイズや神経衰弱ゲームを通して、身の回りのものの英語に親しむ。
	5	（知及技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 （学・人） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	（知・技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 （主・学） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	・きみはだれ？ Are you (a dog)? Yes,I am. No,I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please.	①歌・表現 あなたはだあれ？ 「Who are you?」 ②語彙等 ものがたりをきこう ・絵本や動画などの読み聞かせを聞いて、家族や動物の英単語に親しむ。 ③会話を使った活動等 きみはだあれ？ ゲームをしよう ・家族や友達、動物の英単語を使ったゲームを通して、人物を表す言葉について親しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　小学部　３年（Ⅱ課程Ａ・Ｂ）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部３学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	○友達や教師と一緒に活動したり、集団活動への参加の仕方を身に付けたりすることができる。 ○友達や教師と一緒に、話し合い活動をしたり、何かを決めたりすることができる。 ○集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする態度を身に付けることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	○新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持とうとしている。	【今日から3年生】 （学年・学級開き） （１学期頑張ろう会）	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		○学級目標や１学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と２学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		○図書室での約束や借り方などを知り、利用することができる。の仕方を知ることができる。	・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知り、利用しようとしている。	【図書室オリエンレーション】	・図書室の決まりや使い方ついて知り、図書室を利用する。
		○学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	【係活動を決めよう】	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		○他学年他学部との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	【他学年、他学部と交流しよう】	・他学年、他学部との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		○新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	【ようこそ島尻へ】 （新転入生おめでとう）	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	・友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事	○儀式的行事 ･始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ･身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ･避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	・自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
		○１学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・１学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【１学習を振り返ろう】 （キャリアパスポート） ・１学期頑張った会	・１学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて振り返る。
		○夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	【夏休みの過ごし方】	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
		○２学期の個人目標を考えることができる。	・２学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	・２学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	・ 友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事	○儀式的行事 ･始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全的行事 ･身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ･避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		○他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	【他学年と遊ぼう】	・他学年や他学部との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。

2学期	13	○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	・地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習に関する事前事後学習】	・交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	・校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちをもつことができる。	・自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちをもとうとしている。	【誕生会】	・誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちをもつ。
		○２学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・２学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【２学習を振り返ろう】 （キャリアパスポート） ・２学期頑張った会	・２学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		○冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	【冬休みの過ごし方】	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
3学期	8	○３学期の個人目標を考えることができる。	・３学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	・友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○儀式的行事	〈儀式的行事〉 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 〈健康安全的行事〉 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 〈学芸的行事〉 発表会の日程や内容について知り、期待感をもつ。 ・発表会を振り返り頑張ったことや感想を発表したり書いたりする。
		○他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	【他学年と遊ぼう】	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		○児童会について知り、活動への関心をもつことができる。	・児童会について知り、活動への関心を持とうとしている。	【児童会役員について知ろう】	・児童会について知り、活動への関心をもつ。 ・児童会役員の演説を聞いて投票する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	・校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組もうとしていた。	【卒業おめでとう】	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組む。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	・自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	・誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
		○３学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・３学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【３学習を振り返ろう】 （キャリアパスポート）	・目標を振り返り、できたか振り返る。
		○１年間を振り返り、次の学年への期待を持つことができる。	・１年間を振り返りながら、次の学年への期待を持とうとしている。	【もうすぐ４年生】	・１年間の学習や行事を振り返り、次の学年への期待を持つ。
		○春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	【春休みに向けて】	・春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。
留意点 引継ぎ等		評価方法 ＜授業態度＞ ・発表、発言　・表情、視線　・模倣　・取り組みへの姿勢　・行動の様子　・友達との関わり、協働 ＜学習記録＞ ・学習カード　・学習プリント　・文字、絵等			

4年生

Ⅱ－A課程

令和８年度　小学部　４年（Ⅱ課程A・B）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部　４学年		文科省著作教科書　☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。 (学･人）自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇あんぜんにつかおう ・つくろう ・あそぼう	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）を安全に使う。
	2	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ ・じぶんのものとともだちのもの ・きまったばしょ	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。
	4	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇がっこうのきまり ・みんなでまもるときもちがいいね ・じかんのきまり 〇せいかつのきまり ・あそんでもよいばしょ ・どうろをあるくとき・のりものをつかうときのきまり	【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。
	4	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇きをつけてあるこう ・おうだんほどう ・ふみきり 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう ・かじになったら ・わたしたちをまもってくれるところ ・こんなときどうする	【交通安全】 ・安全な歩行の仕方が分かり、歩道を通行したり自動車や自転車に注意して横断したりする。 【避難訓練】 ・災害（地震、火事）時に適切な行動をとり、安全に避難する。 【防災】 ・生活の中の危険な状況（雷、夜道等）を知り、自分の身を守るための適切な行動を知る。
	3	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇いきものとなかよし ・どうぶつにあいにいこう ・どうぶつのおせわをしよう ・そだてかたずかん	【動物の飼育・植物の栽培】 ・蝶の飼育や身近な小動物や動物園等の動物を観察し興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等）
	2	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇わたしたちのまち ・なにをうっているおみせかな	【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。

2学期	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇わたしとかぞく ・おとうさん・おかあさん ・きょうだいのなまえ	【自分自身と家族】 ・家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする。
	2	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇もののおもさ ・おもさくらべ（てんびん） ・いろいろなはかり	【物と重さ】 ・天秤を使って重さを比べる。 ・いろいろなはかりを使って重さを量る。
	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇ちいきのぎょうじ ・おまつりにいこう ・おまつりであそぼう	【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	2	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇のってみよう ・でんしゃ・バス ・いろいろなのりもの	【交通機関の利用】 ・モノレールなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れるとともに、いろいろな交通機関があることを知る。
	4	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇おきゃくさんだよ ・でんわがなっていることをつたえよう ・おきゃくさんがきたことをつたえよう 〇ありがとう、ごめんなさい ・ありがとうをみつけよう ・ごめんなさいをつたえよう	【電話や来客の取次ぎ】 ・人の来訪を伝えたり、電話の取次ぎをしたりする。 ・初歩的な伝言の経験を積み重ねる。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。
	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう	【避難訓練】 ・災害（地震、火事）時に適切な行動をとり、安全に避難する。 【防災】 ・生活の中の危険な状況（雷、夜道等）を知り、自分の身を守るための適切な行動を知る。
	4	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ク　金銭の扱い 〇なにをかおうかな ・どうやってかうのかな 〇かいもの ・れんしゅうをしてみよう ・おみせにいってみよう ・なんていえばいいかな	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 【買い物】 ・できるだけ自分で買い物をし、「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと、決まった額の買い物をすること、商店などで品物を選んで買うことができる。
	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇かかりのしごと ・いろいろなかかりをやってみよう 〇いっしょにしよう ・かかりをきめておたのしみかいをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	2	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇かぜやゴムのちから ・かぜでうごかそう	【風の力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・凧、落下傘 ・筒ロケット、とことこぐるま

3学期	2	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 ○わたしのまわりのひとたち ・かぞくのやくわり ・ちいきではたらくひと	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。
	2	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き ○かぜやゴムのちから ・ゴムでうごかそう	【風やゴムの力の働き】 ・ゴムの力は、物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム、筒ロケット、風船、トランポリン等
	4	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 ○いっしょにしよう ・おみせやさんのじゅんびをしよう ・おみせやさんごっこをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
年間通して	60	(知及技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ア　基本的生活習慣 ○じぶんでもやってみよう ・はやね・はやおき ・かたづけをしよう ・きれいにしよう ・しょくじのやくそく ・トイレのやくそく	【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど）
	45	(知及技)身近な日課・予定について知ることができる。 (思判表力)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な日課・予定について知っている。 (思・判・表)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ウ　日課・予定 ○つぎのじゅぎょうはなにかな ・よていのかくにん ・つぎのよてい ・あしたのよてい	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	35	(知及技)簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりのある遊びについて知っている。 (思・判・表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	エ　遊び ○いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな	【いろいろな遊び】 ・友達と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。（エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールを考えて遊ぶ。（おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、だるまさんが転んだ、おもちゃ遊びなど） 【遊具の後片付け】 ・友達と協力して、大きな物を運び元の場所に片付ける。
	10	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学・人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 ○せんせいのおてつだいをしよう	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。
	10	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学・人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 ○そうじをしよう ・そうじ ・せいりせいとん ・あとかたづけ	【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
	12	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり ○しょくじのマナー	【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。

	12	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。
	14	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇そらとてんき ・きょうのてんき・あしたのてんき ・ひる・よる	【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れは明るい、くもりと雨は暗いなど） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部４年（Ⅱ課程A）国語（グループ①）年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	学年　名前等		文科省著作教科書　☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。 (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。 (学･人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技）図書を用いた調べ方を理解し使うことができる。・読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学･人))言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）図書を用いた調べ方を理解し使おうとしている。・読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	(読む 本をさがそう	【図書の活用】（図書に親しむ） ・利用方法や図書室に置いてある本について知る。 ・興味関心のある本を図書室で探す。 ・図書を用いた調べ方を理解することができるようにする。（本には目次があることなど） ※行事（読書月間など）や季節等に関する内容については随時取り扱う。
	10	(知及技）昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力)絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ることができる。・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思判表力)絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ろうとしている。・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	(読む おじいさんとねずみのはなし	【絵本の読解】【おおよそを捉え、あらましを話す】 【時間や手順に沿って、順序立てて話す】 【感じたことや経験したことを話す】【音読や劇】 ・挿絵を示しながら、読み聞かせを行う。 ・言葉を一緒に読んだり、動きを併せて読んだりして、言葉の響きやリズムに親しめるようにする。 ・場面ごとに挿絵を提示し、気付いたことを伝え合い、話の大体を理解する。 ・文と挿絵を基に、おじいさんの行動を読み取る。また、表情から気持ちを考えたりする。
	15	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 (思判表力)日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学･人))言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (思判表力)日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動ししようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	(読む ひらがなをよもう	【文字・文を読む】 ・挿絵とひらがなを合わせて提示するなど、声に出す活動を行う。 ・長音、拗音、促音などが含まれている語句を読む。 ・「おもち」と「おもちゃ」の文字を並べて示し、違う部分に着目できるようにし、文字と読み方の関係を理解する。 ・言葉集め（拗音・長音・促音などの入った言葉）やかるた取りなどを行う。
	10	(知及技）身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。 (思判表力)経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考える事ができる。・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすることができる。・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。・相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付こうとしている。 (思判表力)経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えようとしている。・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりしようとしている。・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 ・相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりしようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く話す たのしかった遠足	【感じたことや経験したことを話す】【おおよそを捉え、あらましを話す】 ・行事等の動画や写真を見て、経験したことを思い浮かべる。 ・思い出や伝えたいことを発表する。 ※行事（読書月間など）や季節等に関する内容については随時取り扱う。

	15	(知及技）言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学･人))言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこうとしている。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く ひらがなをかこう	【文字を書く】 ・平仮名カードを並べて単語をつくる。 ・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。 ・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。 ・かるた取りの札を作成する。（相手が読めるように丁寧に書く） ・署中見舞いを書いてみよう。
	10	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思判表力)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む わらべうた	【絵本の読解】【感じたことや経験したことを話す】 ・絵をみながら、言葉が表している内容を理解する。 ・わらべ歌遊びをする。
2学期	15	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力)日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。 (思判表力)日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む かたかなをよもう	**【文字・文を読む】** ・挿絵を手がかりに、表記している片仮名を読む。 ・似ている文字の違いに気付けるようにする。 ・長音や拗音の表記の特徴に気付けるようにする。
	13	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。・正しい姿勢で音読することができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づこうとしている。・正しい姿勢で音読しようとしている。 (思判表力)絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む かたかなをさがそう	【文字・文を読む】 ・本文の読み聞かせを聞き、片仮名で書かれているものが、挿絵のどこにあるか探す。 ・教師の範音に続けて、音読する。 ・校内や図書資料から片仮名で表す語句を探す。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	15	(知及技）言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学･人))言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書こうとしている。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く かたかなをかこう	【文字を書く】 ・絵の名称を確認し、五十音表から読みと対応する片仮名を探したり、片仮名カードを並べて単語をつくる。 ・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。 ・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。 ・かるた取りの札を作成する。（相手が読めるように丁寧に書く） ・年賀状を書いてみよう。
	12	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。 (思判表力)登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (思判表力))登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む パーティーをしよう	【おおよそを捉え、あらましを話す】【音読や劇】 ・読み聞かせを聞く。 ・登場人物になったつもりで音読する。 ・同じ行で始まる言葉集めを行う。
	25	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。・出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力)見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。・書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。・出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思判表力)見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとしている。・書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 文をかこう	【簡単な文の記述・構成】 ・文節ごとに区切ったカードを並び替えて文を作ったり、完成した文を見本にして書く。 ・身近な事柄を表す絵や写真を見て、簡単な文章を作る。 ・文を書き、相互に発表し合う。・助詞を抜いた文を読んで、当てはまる助詞を考える。 ・文を読んで、絵や写真を選択する。 ・文を書き、相互に発表し合う。 ・主語や述語など、一部が抜けた文に入る語句を考え、文を完成させる。 ・毛筆を使っての書初めを体験する。

3学期	13	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学･人))言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む のりもの	【物語の時間経過・文章の内容のまとまりを捉える】 （図書に親しむ・図書の活用） ・読み聞かせを行う ・内容の大体を捉える。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方、漢字の読み方を知る。 ・身近な乗り物を調べ、発表する。
	7	(知及技）姿勢や口形に気を付けて話すことができる。 (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。 ・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。 (学･人）)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技））姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使おうとしている。 ・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す でんわ	・電話の受け方や掛け方を知る。 ・電話を受けたり掛けたりする。
年間を通して	40	(知及技）読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思判表力）絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本や易しい読みもの、タブレット等で読み聞かせを聞き、様々なお話にふれる。 ・「読書月間」等の機会を活用して、図書室を利用したり、本に親しむ機会を設定する。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部　４年（Ⅱ課程A）　算数科①　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	４学年　Ⅱ課程A①		さんすう☆☆・さんすう☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 　数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	(知及技)二つの数を比べて数の大小が分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)二つの数を比べて数の大小を理解しようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：くらべてみよう②③④	・くらべてみよう②：５までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう③：10までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう④：数詞や数字だけで数の大小を判断する。
	8	(知及技)個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。０の意味について分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)個数を正しく数えたり書き表そうとしている。０の意味について分かろうとしている。 (思･判･表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：かーどづくり①②③ 10までのかずみえないものをかぞえる 10までのかずうごきをかぞえる ・10までのかず０のりかい	・かーどづくり①：１～10までの数字の正しい読み方を身に付ける。指でなぞり書きをする。数字を書く。 ・かーどづくり②：動物の数を数字で書き入れていく。 ・カードづくり③：数字カードを見て、カードに書かれた数字の数だけおはじきを並べる。 ・10までのかずみえないものをかぞえる：太鼓の音を鳴らした回数を数える。 ・10までのかずうごきをかぞえる：縄跳びを跳んだ数を数える。 ・10までのかず０のりかい：空位を理解する初期段階。一つも「ない」が分かり、それを「０」と表記する。
	10	(知及技)身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。 (思判表力)身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学･人)図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や△、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めようとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。 (主学)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ：まるさんかくしかく②③④	・身の回りにある物の様々な形を取り上げ、色や大きさ、材質など属性の異なるものであっても、形のみに着目して「丸の仲間」、「三角の仲間」、「四角の仲間」で分類する。
	10	(知及技)数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：なんばんめ①②③	・なんばんめ①：順序数としての数詞や数詞を使った表現（○ばんめ）を理解する。 ・なんばんめ②：10までの数で、順序数としての数詞や数詞を使った表現（○ばんめ）を理解する。 ・なんばんめ③：物の位置など方向性がきまっていない場合、場面に合わせて基準を決め、その物の位置を表す表現を理解する。
	10	(知及技)ものとものとを対応させることによって、ものの同等や多少が分かる。 (思判表力)身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現することができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)ものとものとを対応させることによって、ものの同等や多少を理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用イ：かつのはどっち	・かつのはどっち：生活の中にあるものとものとを対応する。
	15	A数と計算ア ・10までのかずみえないものをかぞえる ・10までのかずうごきをかぞえる B図形イ ・まるさんかくしかく			

2学期	10	(知及技)重さ、広さなどの量の大きさが分かる。・重い・広い・狭いなどの用語が分かる。 (思判表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学・人)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)重さ、広さなどの量の大きさを理解しようとしている。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア：おもい、かるい ひろい、せまい	・おもい、かるい：物を持ち上げたり、運んだり、引っ張ったりする体験の中で感覚により「重い」「軽い」を捉える。 ・ひろい、せまい：広さの異なるシートに座ったり荷物を広げたりして「広い」「狭い」を感覚的に捉える。
	10	(知及技)二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語が分かる。 (思判表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学・人)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べようとしている・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア： どっちがおもい、どっちがかるい どっちがひろい、どっちがせまい どっちがあつい、どっちがうすい どっちがふかい、どっちがあさい くらべてみよう	・どっちがおもい、どっちがかるい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「軽い」「重い」が分かる。 ・どっちがひろい、どっちがせまい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「広い」「狭い」が分かる。 ・どっちがあつい、どっちがうすい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「厚い」「薄い」が分かる。 ・どっちがふかい、どっちがあさい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「深い」「浅い」が分かる。 ・くらべてみよう：積み木を並べたり積み上げたりする活動の中で、長さや高さ、広さなどの適切な用語を使って積み木で作った形を表現したり、なぜ高いのか、短いのかなどその理由に気づく。
	10	(知及技)身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。 (思判表力)身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学・人)図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めようとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。 (主学)図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ：いろいろなかたち①②	・いろいろなかたち①：学校や家庭、実際に体験した身近な出来事や風景の中に、様々な形が存在していることに気づき、形に着目して分類できるようにする。 ・いろいろなかたち②：丸、三角、四角の色板で、形の属性に着目して分類したり集めたりする。
	17	(知及技)一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてみることができる。・10の補数が分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表そうとしている。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてようとしている。・10の補数を理解しようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：いくつといくつ①②③④ ・いくつといくつ⑤⑥ ・10はいくつといくつ まとめ	・いくつといくつ①：（1～4の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ②③④：（5～7の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ⑤⑥：今ある数が目的の数になるためにはいくつ加えるかを考える。 ・10はいくつといくつ：10の補数について調べ、理解する。 ・まとめ：２段階「数と計算」のまとめ。
	18	年間を通して指導 A数と計算ア ・なんばんめ			
3学期	6	(知及技)身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成することができる。簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かる。 (思判表力)身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現することができる。 (学・人)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。	(知・技)身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成しようとしている。簡単な表で使用する○×の記号の意味を理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現しようとしている。 (主学)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとしている。	Dデータの活用ウ：あたったらはずれたら	・あたったらはずれたら：身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成し、使用する記号の意味が分かる。
	14	(知及技)20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かすことができる。 (学・人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする。	(知・技)20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしようとしている。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 20までの整数の表し方	・10より大きいかず：10より大きい数の読み方を知る。 ・10といくつ①：10進位取り記数法の基礎となる10のまとまりと「そのほかにあといくつ」に分ける。 ・10といくつ②：10より大きい数の読み書き。 ・10より大きい数：10より大きい数を書く。
	19	(知及技) 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 (思判表力)身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。 (学・人)図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技) 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表そうとしている。 (思判表力)身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えようとしている。 (主学)図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 ものの位置を表す言葉	・まえとうしろ①②：自分を中心とした位置について理解する。 ・上と下：基準となる物の「上」と「下」について理解する。 ・中とそと：中と外の位置関係に気づく。 ・右、左：右と左を理解する。
	11	学期を通して指導 B図形イ ・いろいろなかたち A数と計算ア ・10はいくつといくつ まとめ			

留意点 引継ぎ等	

令和８年度 小学部　４年（Ⅱ課程Ａ・Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部　４学年		音楽☆☆、他

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身につけるようにする。 (思判表力) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。 (学･人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けるようとしている。 (思･判･表)　歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ・校歌 ・学年の歌 ☆はるのおがわ ☆みなみのしまのはめはめはだいおう ☆ひらいたひらいた (おんがく☆☆他)	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表）器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学)　音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆あまだれ ☆ぶんぶんぶん ☆おもちゃのちゃちゃちゃ ☆いろいろなだがっき (おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付くこうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆いろいろなおと ☆あめのおとをならしてみよう ・天気予報をお知らせします (おんがく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。

		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。（ウ）㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。（ウ）㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。（ア） (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ・校歌 ・学年の歌 ☆さあみんなで ・のーののせる ☆いっぽんばしこちょこちょ ☆ぷーるでちゃっぷん ☆せんたく ・やっほっほ夏休み (おんがく☆、☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（イ） (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。（ア） (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	知・技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆あめふりくまのこ ・こいのぼり ・おかあさん ・月桃 ・たなばた （おんがく☆、☆☆他）	・音楽に合わせて、身体を揺らしたり手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。
		(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けるようとしている。 (思･判･表） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ☆こぶたぬきつねこ ☆あいあい ☆おはようくれよん ☆てをたたきましょう ☆ふしぎなぽけっと ☆いぬのおまわりさん （おんがく☆、☆☆他）	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表）器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆とけいのうた ☆じゃんけんぽん ☆やまのおんがくか （おんがく☆、☆☆他）	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。

2学期	28	(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆りずむをくみあわせよう ☆いろいろなおと （おんがく☆、☆☆他）	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。（ウ）㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。（ウ）㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。（ア） (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆どうぶつになって ☆おんまはみんな ☆えびかにくす ☆やきいもぐーちーぱー ☆きのこ （おんがく☆☆他）	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（イ） (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。（ア） (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	知・技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆くらりねっとぼるか ☆たぬきのたいこ ☆こぞうのこうしん ☆おおきなかぶ （おんがく☆、☆☆他）	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
		(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けるようとしている。 (思･判･表)　歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ・学年の歌 ☆かれーらいす ☆ゆき ☆ふしぎなぽけっと ☆いぬのおまわりさん ☆やぎさんゆうびん ☆ひらいたひらいた ☆卒業式の歌 ☆きみがよ （おんがく☆、☆☆他）	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。

3学期	18	(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学・人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう (もちつき、いろいろなだがっき、卒業式の歌、国歌、おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器(カスタネット、タンバリン、鈴など)や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。(ウ)㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(ア)㋐㋑ (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 音遊びを通して、音の面白さに気付くこうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ・校歌 ・みんなでならすがっきのうた ・卒業式の歌 ・きみがよ (おんがく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(ウ)㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。(ウ)㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(ア) (学・人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ・校歌 ☆じゃんけんぽん ☆どれみのうた ☆かもつれっしゃ ☆じぇっとこーすたー ☆よーいやさ ・卒業式の歌 ☆きみがよ (おんがく☆、☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(イ) (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。(ア) (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ・あかたすんどぅんちー ☆はくちょう ☆ほしにねがいを ☆あめふりくまのこ ☆すけーたーずわるつ ☆おおきなかぶ ・校歌 ・卒業式の歌 ☆きみがよ (おんがく☆、☆☆他)	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　小学部４年　図画工作（Ⅱ課程A・B）　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学･人) つくりだす喜びを感じ、進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとすることができる。	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	描画 ○いろいろな方法で描こう ・おりぞめ ・霧吹き（スパッタリング） ・はじき絵（パチック） ・にじみえ　など	・霧吹きや網でこすり出した模様の様子を楽しむ。 ・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 ・折った和紙を染め、色水のにじみ方や表れる模様の違いを楽しむ。 ・作ったもので、学級目標や鯉のぼり、母の日・父の日などのプレゼントにアレンジする 〈道具：クレヨン､絵の具、ブラシ、霧吹き、ロウ、折り染液、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、竹串、和紙、浅いバット等〉
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすることができる。 (思判表力)材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (学･人) 進んで表現活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとする。	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	描画 ○描いてみよう ・かきたいものなあに ・とろとろ絵の具で描く ○感じたこと、見たことを描こう ・みてみてあのね	・いろいろな形や色を見つけ工夫して表す、描きたいものを思いつく、思いついたものを楽しく描く。 ・指や手で描いて形を見つけ工夫して表す、指や手で試しながら表したいことを考える、指や手で描くことを楽しむ。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具、カップ、液体粘土等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール等〉 (教科書：ずがこうさく１・２下P22～23参考)
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすることができる。 (思判表力) ・形や色などを基に，自分のイメージをもつことができる。 ・材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす楽しみを感じながら，形や色などに関わろうとする。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくろうとしている。 (思判表力) ・形や色などを基に、自分のイメージをもつことができている。 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす楽しみを感じながら，形や色などに関わろうとしている。	作る（立体） ・粘土で遊ぼう ・ごちそうパーティー ！！	・作り方を工夫して､思いに合う形を見つける。 ・形を考えて作り、みんなでごちそうを見合う。 ・好きな食べ物を作ってみんなで見ることを楽しむ。 ・自分のイメージをもちながら、握った粘土の感触や形から感じたこと、想像したことからどのように表すか考える。 ・作り出す喜びを味わい楽しく握った粘土の形から思い付いたものを表す学習活動に取り組む。 〈道具：粘土ベラ、割りばし、ぞうきん等〉 〈材料：粘土　〉 (教科書：ずがこうさく１・２下P26～27参考)
2学期	25	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	描画 ○読書感想画 ・好きな絵本の絵を描こう	・好きな絵本を読んだり、読み聞かせを聞いて、絵本の好きな場面の様子を鉛筆やペン、絵の具やクレヨンなどを使って描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：画用紙等〉
		(知及技) ・身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすることができる。 ・自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 形や色などを基に，自分のイメージをもつことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。	(知及技) ・身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくろうとしている。 ・自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 形や色などを基に，自分のイメージをもとうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	版画 ○うつしてみよう ・スチレン版画 ・こすりだし	・スチレンボードにマジックや、クッキー型等で線や模様を付ける ・葉っぱやコイン、段ボール等凹凸のある素材に紙を当て、クレヨンや鉛筆などでこすって、形を浮かび上がらせる 〈道具：マジック、クッキー型、竹串、ペットボトルキャップ、コーラー等〉 〈材料：スチレンボード、インク、紙、自然物等〉
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくろうとしている (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	作る（工作） ○やぶいて・はって ・やぶいた かたちから うまれたよ	・切った紙ややぶいた新聞紙でコラージュ作品を作る ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料：色画用紙、新聞紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P16～17参考)
3学期	20	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	作る（工作） ○作ってあそぼう ・凧、こま、紙けん玉	・身近な材料や用具を使って、おもちゃを作る。 ・作りたいおもちゃを選び、制作して遊ぶ。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：カラービニール、牛乳パック、ペットボトルキャップ、紙皿、棒、凧糸等〉
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりして、形や色などの違いに気付くことができる。 思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じ、進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとすることができる。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりして、形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを考えようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	作る（造形） ○いろいろな素材 ・コラージュ	・いろいろな素材の組み合わせを楽しむ 〈道具〉はさみ、のり、木工用ボンド、 〈材料〉ボール紙（台紙）、布、包装紙、折り紙、千代紙、毛糸、ボタン、スパンコール、アイスの棒　など
		(知及技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り，自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学･人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとする。	(知及技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り，自分の見方や感じ方を広げることができる。 (主学) つくりだす喜びを味わい、進んで鑑賞活動に取り組もうとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・ふりかえり ・作品集づくり	・1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。作った作品集を発表し、自分や友だちの作品の良さ伝え合う。 ・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分の友だちの作品の良さを感じる。
		(知及技) 形や色などの違いに気付くことができる。身近な材料や用具を使って描くことができる。 (思判表力）形や色などに、自分なりのイメージを持つことができる。 (学・人) 友達と声を掛け合ったり協力したりして、一緒に造形活動を行うことができる。	(知及技) 形や色などの違いに気付くことができている。身近な材料や用具を使って描くことができている。 (思判表力) 形や色などに、自分なりのイメージを持つことができている。 (主学) 友達と声を掛け合ったり協力したりして、一緒に造形活動を行うことができている。	描画 ○協力して描こう ・卒業式の壁面を作ろう	・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。卒業式をイメージした絵を描いたり、花などのイラストの塗り絵をしたりして張り付ける。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具、スタンプ、ローラー、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、模造紙､新聞紙等〉
留意点	描画（絵に表す活動）			
引継ぎ等	作る（立体に表す活動、工作に表す活動）			

令和8年度　小学部４年（ⅡA課程）　体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部４年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。 (思判表力)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	5	(知及技) 教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をしようとする。 (思･判･表)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えようとする。 (主学))教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・保健	【健康な生活に必要な事柄に慣れる】 「進んで行動をしよう」 ・授業に必要な事柄を自ら行う 「落ち着いて身体測定や健康診断を受けよう」 ・事前学習、練習 【感じたことを他者に伝える】 「自分の体調を伝えよう」 言葉や絵カード、サイン等を利用して、痛い部位を伝える。
1学期	6	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・体つくり運動	【多様な動きをつくる運動遊び】 ・片足を軸にして右回り・左回りに回転すること ・片足立ちでバランスを保つ運動 ・大また小また歩き、直線上を歩く、一列に並んで歩くなど ・大きな円を右回り左回りに這ったり、歩いたり、走ったりすること ・無理のない速さで続けてかけ足をすること ・大きな重さの異なるボールを両手でつかんで持ち上げたり、下ろしたりすること ・長なわでの大波・小波 ・なわを引きながら力比べをすること
	8	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしようとしている。 (思･判･表)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとしている。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・水の中での運動	【水につかっての水かけっこやまねっこ遊び】 ・水につかって様々な動物（アヒル、カニ、カエル、ワニなど）の真似をしながら、腰やひざを伸ばした一直線の姿勢になり手を使って歩いたりする運動をする。 ・自ら水を頭や顔にかけたり、お互いにかけ合ったりする運動をする。 ・基本的な運動を行う中で、その楽しさや心地よく感じたことを言葉や表情、ジェスチャーなどで教師に知らせたり、友達に伝えたりする。 【簡単なきまり】 ・約束を踏まえ、友達と一緒にけがをしないよう注意して活動する。
	8	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすることができる。 (思判表力)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとする。 (思･判･表)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っての基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・器械・器具を使っての運動	【固定施設を使った基本的な運道】 ・ジャンピングボードやトランポリンを使った基本的な運動を行う。 ・低い平均台を使った運動遊びをする。 【マットを使った基本的な運道】 ・ゆりかご，前転がり，後ろ転がりなどをする。 【低鉄棒を使った基本的な運動】 ・跳び上がりや跳び下りをする。 【跳び箱を使った基本的な運動】 ・またぎ乗りやまたぎ下りをする。
2学期	12	(知及技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。（小2段階） (思判表力)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（小2段階） (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとすることができる。（小2段階）	(知・技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・表現運動	【リズムと動き】 ・弾む，回る，ねじるなどの動きで自由に踊ること。 ・音楽やリズムに合わせて歩く，走る，弾む，回る，ねじるなどの運動をする。（軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲）

	12	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (思判表力)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 (思･判･表)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・走・跳の運動	【走る運動】 ・折り返しのリレーなどで，教師や友達と手のひらを向けてタッチするなどをする。 【跳ぶ運動】 ・低い障害物などを使って，歩いたり走ったりしながらまたいだり，跳び越えたりする。
3学期	19	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・ボールを使った運動 ・ゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・つく，転がす，投げる，当てる，捕る，打つ，蹴る，止めるなどの簡単なボール操作をする。 ・先生や友達にボールを転がしたり，投げたり，先生や友達が転がしたり，投げたりしたボールを止めたり，捕ったりする。 ・先生や友達とボールの蹴り合いをする。 【ボールを使ったゲーム】 ・ねらったところにボールを転がしたり，投げたり，蹴ったりして的に当てたり得点したりする。 ・先生や友達にボールを手渡したり投げたりしてゴールにボールを運ぶ。 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 一人鬼，手つなぎ鬼，子増やし鬼
留意点引継ぎ等					

令和８年度 小学部４年　道徳科（Ⅱ課程A） 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	４学年　Ⅱ課程A		

中心目標	◎人と関わりながら生活するために必要な道徳的価値の存在に気付き、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 〇自分なりにしてみたいことを見つけ、活動に取り組もうとする意欲をもつ。 〇よいこととよくないことがあることに気付き、よいとされることをしようとする意欲をもつ。など

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	①自分なりにしたいことに取り組み、自分でできたと実感したり達成感を味わったりすること。	①自分なりにしたいことに取り組み、自分でできたと実感したり達成感を味わおうとしている。	A【個性の伸長】 ①がっこうだいすき	①好きな活動ややってみたい活動が十分できる機会を設ける。できないことであっても自分でやりたいという気持ちを大切にし、必要な支援を行って自分でできたという達成感や喜びを味わえるようにする。
		②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしたりすること。	②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしたりしている。	B【友情，信頼】 ②みんなでなかよく	②身近な大人である教師との信頼関係を築き、教師を介して他の子供と関わる場面を設ける。同じものに興味を示した子供同士がものを介してやり取りが生じるよう場面を設定する。
		①経験を通して思い通りにいかない場合やよいことよくないことがあることに気付くこと。	①経験を通して思い通りにいかない場合やよいことよくないことがあることに気付こうとしている。	A【善悪の判断、自律、自由と責任】 ①よいこととわるいこと	①不安定な感情の表出も受け止め、子供なりに取り組んでいる姿を認めたり、励ましたりする。よい、悪いと毅然として伝える。悪いことをしてしまった際には、傷ついた相手の気持ちを教師が代弁するなど、相手の痛みを感じられるようにする。
		②挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとすること。	②挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとしている。	B【礼儀】 ②あいさつ	②教師が笑顔で温かく迎えることを通して、挨拶を通して人と関わることの心地よさや楽しさを感じられるようにする。
		③自分の気持ちに気付き、相手に伝えること。	③自分の気持ちに気付き、相手に伝えようとすること。	B【相互理解、寛容】 ③平和教育	③身近に起こったこと（喧嘩など）を題材にしながら「ごめんなさい」や「ありがとう」を一緒に伝える。
		①身近な生き物に気付き、親しみをもつこと。	①身近な生き物に気付き、親しみをもとうとしている。	D【生命の尊さ】 ①たんじょうび、身近な生き物	①誕生会を通して、人はそれぞれ大切な命をもっていること、多くの人に祝福されていることを知る。
2学期	13	①他者の気持ちに共感したり、慰めたり助けたりしようとすること。	①他者の気持ちに共感したり、慰めたり助けたりしようとしている。	B【親切、思いやり】 ①おもいやり	①機会をつくり繰り返し相手の気持ちに気付くような言葉かけを行う。
		②自分と他者の気持ちの違いに気付き、人と過ごすために約束やきまりがあることや、その大切さに気付くこと。	②自分と他者の気持ちの違いに気付き、人と過ごすために約束やきまりがあることや、その大切さに気付こうとしている。	C【規則の尊重】 ②きまりをまもろう	②自他の思いの違いに気付けるような場面設定や約束やきまりがあることで心地良く過ごせることに気付けるようにする。
		①周りの人の支援や親切な行為を心地よいものとして受け入れ親切な行為の背景にある温かい気持ちに気付くこと。	①家族など日頃世話になっている人々に感謝しようとしている。	B【感謝】 ①いつもありがとう	①スクールバスの運転手や介助の先生、給食の調理員等の仕事を知り、感謝の気持ちを持つ。
		②家族との関わりに心地よさや喜び、楽しさを感じ、安心感をもって過ごすこと。	②家族との関わりに心地よさや喜び、楽しさを感じ、安心感をもって過ごそうとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ②だいすきだよ	②敬老の日を通して、祖父母に対する感謝の気持ちや大好きな気持ちを伝える。
		①身近な生き物に気付き、親しみをもつこと。	①身近な生き物に気付き、親しみをもとうとしている。	D【自然愛護】 ①しぜんとなかよく	①動植物を実際に見たり、触ったりして様々な感覚を直接的に体験できるようにする。また生き物を飼うことで、その世話を手伝ったりしながら慣れ親しむようにする。子供が乱暴な扱いをしてしまう場合には、生命の尊さに触れる機会と捉え、根気強く丁寧に対応ことが求められる。
		②健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとしたり、思い通りにいかない時に立ち直ったり、感情をコントロールしたりすること。	②健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとしたり、思い通りにいかない時に立ち直ったり、感情をコントロールしたりしようとしている。	A【節度、節制】 ②わがままをしない	②子供の思いやペースを尊重して丁寧に関わる。自分でできた時の達成感や心地よさを味わえるようにする。
3学期	9	①自分なりにしたいことを見つけ、自分の力でしてみようとすること。	①自分なりにしたいことを見つけ、自分の力でしようとしている。	A【希望と勇気、努力と強い意志】 ①さいごまでがんばる	①自分のことはできるだけ自分でやろうとする。最後までやりぬき、成功の満足感を味わう。
		②教師や友達との触れ合いや関わりに心地よさや楽しさを感じ、安心感をもって過ごすこと。	②教師や友達との触れ合いや関わりに心地よさや楽しさを感じ、安心感をもって過ごそうとしている。	C【よりよい学校生活、集団生活の充実】 ②ともだちととあそぼう	②子供が学校生活の何に心地よさを感じるのか、誰と関わると安定するのか把握する。他の子供の存在に気付けるよう場を共有する。
		③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみを持つこと。	③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみを持とうとしている。	C【伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】 お正月、節分など	③お正月遊びや節分などの遊びを楽しめるように教材や場の工夫をする。

留意点引継ぎ等	

令和８年度　小学部　４年（Ⅱ課程A）　外国語活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部４学年		Let's try!1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気づき、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う素地を養う。 (学･人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 (学･人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	(知・技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	・あいさつをして友だちになろう Hello I'm … Goodbye See you.	①歌・表現 あいさつをしよう 『Hello song』、『Goodbye song』 ②語彙等 あいさつの言葉を知ろう ・「Hello」や「Hi」等の挨拶の言葉を絵カード等を使って知る。 ③会話を使った活動等 友達や先生に自己紹介してみよう ・教師と一緒に挨拶や自己紹介をして、外国語に親しむ。
	2	(知及技) 表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合うことができる。 (学・人) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとする。	(知・技) 表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合おうとしている。 (主学) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとしている。	・ごきげんいかが？ How are you ? I' m happy.	①歌・表現 会話をしよう Hello,How are you ? ・「調子はどう？」等の会話の仕方を知る。 ②語彙等 すきなものを伝えよう ・好きなものの英単語を知る。 ③会話を使った活動等 自己紹介をしよう ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	(知及技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	(知・技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	・数えてあそぼう How many… ? (Ten)(apples)./Yes. That's right. No. Sorry.	①歌・表現 英語の歌を歌おう ・数字や日付、曜日等の英語を聞き、親しむ。 ②語彙等 One two three ・数字や日付など身近なものから、数字の英単語について知る。 ③会話を使った活動等 英語でゲームをしよう How many … ? ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	(知及技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	(知・技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思・判・表) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	・すきなものをつたえよう I like …. Do you like…? Yes,I do. No,I don't. I don't like …	①歌・表現 身近なものの名前 ・歌やダンスで、身の回りのものの英単語に親しむ。 ②語彙等 身の回りのもの 身体の部位 ・身の回りのものの英語を知る。 ③会話を使った活動等 これなあに？ What is this ? すきなものをつたえよう I like ….　I don't like…. ・友達や先生に身の回りのものや好きなものについての会話を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。
2学期	4	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・何がすき？ What do you like? I like … What (sports) do you like? I like (soccer).	①歌・表現 英語の歌を歌おう ・歌やダンスで、好きなものを尋ねたり答えたりする表現に親しむ。 ②語彙等 好きなものをつたえよう ・絵カードや写真等を使用し、すきなものを伝える。 ③会話を使った活動等 なにがすき？ What do you like ? 英語でゲームをしよう ・フルーツバスケット等

2学期	4	（知及技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 （学・人） 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	（知・技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 （主・学） 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	・アルファベットとなかよし (The A caard),please. Here you are. Thank you. You're welcome.	①歌・表現 アルファベットの歌を歌おう 外国の文化を知ろう（ハロウィン、クリスマス等） ・歌やダンスで、アルファベットや外国の文化に触れる ②語彙等 アルファベットを知ろう ・絵カード、写真等でアルファベットを知る ③会話を使った活動等 外国の文化をしろう ゲームをしよう ・英語を使ったゲームを通して、外国の文化に慣れ親しむ。
	5	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （思判表力） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （思・判・表） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主学） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	・カードをおくろう What do you want? (A star),please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.	①歌・表現 英語の歌を歌おう ・歌やダンスで、ほしいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 カードをつくろう ②語彙等 あれがほしい！ ・形や色など、ほしいものを表す言葉について知る。 ③会話を使った活動等 カードを紹介しよう ・自分の作ったカードを、簡単な英単語を使い、相手に伝わるように、簡単な英文を作る。
2学期・3学期	3・2	（知及技） 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） クイズを出したり答えたりし合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	（知・技） 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） クイズを出したり答えたりし合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	・これなあに？ What's this ? Hints please. It's (a fruit). It's(green). It's(a lemon). That's right. ・年始のあいさつ 「Happy new year」	①歌・表現 英語のうたを歌おう 「What is this ?」 ②語彙等 これなあに？ ・絵カード等で、身の回りのもの名前を知る。 ・ものの名前の単語を発音する。 ③会話を使った活動等 ゲームをしよう ・シルエットクイズや神経衰弱ゲームを通して、身の回りのものの英語に親しむ。
3学期	5	（知及技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 （学・人） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	（知・技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 （主学） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	・きみはだれ ? Are you (a dog)? Yes,I am. No,I'm not. Who are you ? I'm (a dog). Who am I ? Hint, please. ・英語で物語の読み聞かせ	①歌・表現 きみはだれ？ 「Who are you ?」 ②語彙等 物語をきこう ・絵本や動画などの読み聞かせを聞いて、家族や動物の英単語に親しむ。 ③会話を使った活動等 きみはだれ？ ゲームをしよう ・家族や友達、動物の英単語を使ったゲームを通して、人物を表す言葉について親しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　４年（Ⅱ課程AB）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部４年(Ⅱ課程AB)		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	・多様な他者と活動する意義や必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けることができたか。 ・課題解決に向けて、話し合い、合意形成を図ったり、意志決定したりすることができたか。 ・自主的、実践的な集団活動を通して、よりよい学校生活を築いていこうとする態度が見られたか。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持とうとしている。	・今日から４年生！！ （学年・学級開き） ・１学期頑張ろう会	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		・学級目標と１学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		・学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	・係活動を決めよう	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げることができる。	・地域の自然に触れたり、公共施設を利用しようとしている。	・校外学習	・公園や公共施設を利用する上でのルールや決まりを確認し、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりする。
		・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・ようこそ島尻へ	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・近隣校等の友達と交流することができる。	・近隣校等の友達と交流しようとしている。	・交流学習（白川小）	・交流学習を通して、近隣校等の友達と交流する。
		・１学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・１学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・１学期頑張った会	・１学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりしようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えるたり準備したりする。
2学期	10	・夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
		・２学期の個人目標を考えることができる。	・２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・２学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりしようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備したりする。
		・２学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・２学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・２学期頑張った会	・２学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・冬休みの過ごし方	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
		・３学期の個人目標を考えることができる。	・３学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達と関わる。

3学期	11	・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶことができる。	・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぼうとしている。	・児童会について ・児童会役員を選ぼう （学年選挙）	・児童会の取り組みを知り、立候補や演説をしたり、応援したい友達を投票で選んだりする。
		・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・卒業おめでとう	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・３学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・３学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート）	・目標を振り返り、できたか評価する。
		・１年間を振り返り、次の学年への期待を持つことができる。	・１年間を振り返りながら、次の学年への期待を持とうとしている。	・もうすぐ５年生	・１年間の学習や行事を振り返り、次の学年への期待を持つ。
留意点 引継ぎ等		・春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・春休みに向けて	・春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。

4年生
Ⅱ－B課程

令和８年度　小学部　４年（Ⅱ課程A・B）　生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部　４学年		文科省著作教科書　☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。 (学･人）自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇あんぜんにつかおう ・つくろう ・あそぼう	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具（はさみ、穴開けパンチ等）を安全に使う。
	2	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ ・じぶんのものとともだちのもの ・きまったばしょ	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。
	4	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇がっこうのきまり ・みんなでまもるときもちがいいね ・じかんのきまり 〇せいかつのきまり ・あそんでもよいばしょ ・どうろをあるくとき・のりものをつかうときのきまり	【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。
	4	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇きをつけてあるこう ・おうだんほどう ・ふみきり 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう ・かじになったら ・わたしたちをまもってくれるところ ・こんなときどうする	【交通安全】 ・安全な歩行の仕方が分かり、歩道を通行したり自動車や自転車に注意して横断したりする。 【避難訓練】 ・災害（地震、火事）時に適切な行動をとり、安全に避難する。 【防災】 ・生活の中の危険な状況（雷、夜道等）を知り、自分の身を守るための適切な行動を知る。
	3	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇いきものとなかよし ・どうぶつにあいにいこう ・どうぶつのおせわをしよう ・そだてかたずかん	【動物の飼育・植物の栽培】 ・蝶の飼育や身近な小動物や動物園等の動物を観察し興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。（キャベツ、あさがお等）
	2	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇わたしたちのまち ・なにをうっているおみせかな	【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。

2学期	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇わたしとかぞく ・おとうさん・おかあさん ・きょうだいのなまえ	【自分自身と家族】 ・家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする。
	2	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇もののおもさ ・おもさくらべ（てんびん） ・いろいろなはかり	【物と重さ】 ・天秤を使って重さを比べる。 ・いろいろなはかりを使って重さを量る。
	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇ちいきのぎょうじ ・おまつりにいこう ・おまつりであそぼう	【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	2	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇のってみよう ・でんしゃ・バス ・いろいろなのりもの	【交通機関の利用】 ・モノレールなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れるとともに、いろいろな交通機関があることを知る。
	4	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇おきゃくさんだよ ・でんわがなっていることをつたえよう ・おきゃくさんがきたことをつたえよう 〇ありがとう、ごめんなさい ・ありがとうをみつけよう ・ごめんなさいをつたえよう	【電話や来客の取次ぎ】 ・人の来訪を伝えたり、電話の取次ぎをしたりする。 ・初歩的な伝言の経験を積み重ねる。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。
	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇さいがいや　じこから　じぶんをまもろう	【避難訓練】 ・災害（地震、火事）時に適切な行動をとり、安全に避難する。 【防災】 ・生活の中の危険な状況（雷、夜道等）を知り、自分の身を守るための適切な行動を知る。
	4	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ク　金銭の扱い 〇なにをかおうかな ・どうやってかうのかな 〇かいもの ・れんしゅうをしてみよう ・おみせにいってみよう ・なんていえばいいかな	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 【買い物】 ・できるだけ自分で買い物をし、「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと、決まった額の買い物をすること、商店などで品物を選んで買うことができる。
	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学･人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇かかりのしごと ・いろいろなかかりをやってみよう 〇いっしょにしよう ・かかりをきめておたのしみかいをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	2	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇かぜやゴムのちから ・かぜでうごかそう	【風の力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・凧、落下傘 ・筒ロケット、とことこぐるま

3学期	2	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 ○わたしのまわりのひとたち ・かぞくのやくわり ・ちいきではたらくひと	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。
	2	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き ○かぜやゴムのちから ・ゴムでうごかそう	【風やゴムの力の働き】 ・ゴムの力は、物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム、筒ロケット、風船、トランポリン等
	4	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ　役割 ○いっしょにしよう ・おみせやさんのじゅんびをしよう ・おみせやさんごっこをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
年間通して	60	(知及技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ア　基本的生活習慣 ○じぶんでもやってみよう ・はやね・はやおき ・かたづけをしよう ・きれいにしよう ・しょくじのやくそく ・トイレのやくそく	【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど）
	45	(知及技)身近な日課・予定について知ることができる。 (思判表力)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な日課・予定について知っている。 (思・判・表)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ウ　日課・予定 ○つぎのじゅぎょうはなにかな ・よていのかくにん ・つぎのよてい ・あしたのよてい	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	35	(知及技)簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりのある遊びについて知っている。 (思・判・表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	エ　遊び ○いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな	【いろいろな遊び】 ・友達と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。（エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールを考えて遊ぶ。（おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、だるまさんが転んだ、おもちゃ遊びなど） 【遊具の後片付け】 ・友達と協力して、大きな物を運び元の場所に片付ける。
	10	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学・人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 ○せんせいのおてつだいをしよう	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。
	10	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 (学・人)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 ○そうじをしよう ・そうじ ・せいりせいとん ・あとかたづけ	【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
	12	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 (学・人)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ　きまり ○しょくじのマナー	【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。

	12	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。
	14	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇そらとてんき ・きょうのてんき・あしたのてんき ・ひる・よる	【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。（晴れは明るい、くもりと雨は暗いなど） ・昼と夜の違いに気づく。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部　4年（Ⅱ課程Ｂ）　国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	小学部　４学年		こくご☆、こくご☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。 (思判表力) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。 (学･人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	(知及技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力）絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動することができる。 (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表）絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動しようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	しるし	○場面の構成：廊下に貼ってある体育館の絵カードや「→」の記号を見ながら、体育館へ移動する。体育館へ到着し、遊ぶ。絵カードに従って片づける。先生が「○」で評価する。 ○登場人物を真似て教師とやりとりをする、絵カード等を選択して自分の意思を伝える等の活動へつなげていく。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	15	(知及技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	ほっとけーき	○『おいしそうに出来上がったホットケーキ』→『フライパンを用意したり、卵を割ったり、粉をかき混ぜたりしている様子』→『ホットケーキが焼きあがる様子』→『出来上がったホットケーキをテーブルに運ぶ様子』 ○絵を通して、伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表したり、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現する。
2学期	15	(知及技）昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力）教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表）教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	くまさんくまさん	○くまさんと子供が出会い、握手をしたり一緒に跳躍したりして遊び、「さようなら」と挨拶をしてお別れをする。 ○児童がくまさん役になり、教師からの呼びかけに応じたり、いろいろな動作を一緒にしたりすることで、話を楽しみながらその内容を大まかに把握する。
	15	(知及技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	あなたはだあれ	○男の子が野原で、犬、猫、豚、あひる、牛の順に出会い、最後に皆で並んで歩いていく。 ○シルエットの動物が何であるか、絵に注目して名称を当てる。難しければ、ヒント（鳴き声など）を提示してイメージを膨らませる。
3学期	10	(知及技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力）文字に興味をもち、書こうとすること。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知及技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ろうとしている。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ろうとしている。 (思判表力）文字に興味をもち、書こうとしている。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	かいてみよう	○書いて表現することへの興味・関心を高めながら、書くことに親しみ、運筆への基本動作を身に着けていく。 ○伝え合う手段として文字があることに気付き、教師が文字を書く様子を見ようとしたり、身の回りにある様々な文字に対して指差しをしたりして、児童の文字への興味が徐々に高まっていく。 ○なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。

学期	10	(知及技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力）身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じようとしている。 (思・判・表）身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	がっこうせいかつ ・あさのかい ・かかり ・こくご ・たいいく ・きゅうしょく ・そうじ	○あさのかい：言葉の学習、学級の日課や予定の確認、挨拶等 ○かかり：言葉の学習、やり取り、話し合い等 ○こくご：図書室、挨拶、絵本、話し合い等 ○たいいく：言葉の学習、やり取り、運動遊びやスポーツの種類等 ○きゅうしょく：言葉の学習、献立名、挨拶、会話等 ○そうじ：清掃用具の名前、言葉と行動の結び付け、言葉の学習等
年間を通して	60	(知及技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おはなしの世界 ・絵本 ・パネルシアター ・ペープサート　等	○様々な「おはなし」の読み聞かせに注目し、絵本、紙芝居、 ペープサート、写真等に興味をもつ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部４年（Ⅱ課程Ｂ）算数科　年間指導計画			
単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	４学年　Ⅱ課程Ｂ		算数☆☆・さんすう関係絵本

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	16	(知及技）二つの数を比べて数の大小が分かる。 (思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）二つの数を比べて数の大小を理解しようとしている。 (思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：くらべてみよう①②③④	・くらべてみよう①：身近にあるものの数を比べる。3までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう②：５までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう③：10までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう④：数詞や数字だけで数の大小を判断する。
	16	(知及技）個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。・０の意味について分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人）数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）個数を正しく数えたり書き表そうとしている。・０の意味について分かろうとしている。 (思･判･表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：かーどづくり①②③ 10までのかずみえないものをかぞえる 10までのかずうごきをかぞえる ・10までのかず０のりかい	・かーどづくり①：１～10までの数字の正しい読み方を身に付ける。指でなぞり書きをする。数字を書く。 ・かーどづくり②：動物の数を数字で書き入れていく。 ・カードづくり③：数字カードを見て、カードに書かれた数字の数だけおはじきを並べる。 ・10までのかずみえないものをかぞえる：太鼓の音を鳴らした回数を数える。 ・10までのかずうごきをかぞえる：縄跳びを跳んだ数を数える。 ・10までのかず０のりかい：空位を理解する初期段階。一つも「ない」が分かり、それを「０」と表記する。
	16	(知及技）身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や△、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。 (思判表力）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学･人)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や△、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めようとしている。 (思・判・表）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。 (主学)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ：まるさんかくしかく②③④	・身の回りにある物の様々な形を取り上げ、色や大きさ、材質など属性の異なるものであっても、形のみに着目して「丸の仲間」、「三角の仲間」、「四角の仲間」で分類する。
2学期	18	(知及技）数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：なんばんめ①②③	・なんばんめ①：順序数としての数詞や数詞を使った表現（○ばんめ）を理解する。 ・なんばんめ②：10までの数で、順序数としての数詞や数詞を使った表現（○ばんめ）を理解する。 ・なんばんめ③：物の位置など方向性がきまっていない場合、場面に合わせて基準を決め、その物の位置を表す表現を理解する。
	18	(知及技）重さ、広さなどの量の大きさが分かる。・重い・広い・狭いなどの用語が分かる。 (思判表力）重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学･人)数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）重さ、広さなどの量の大きさを理解しようとしている。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表）重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア：おもい、かるい ひろい、せまい	・おもい、かるい：物を持ち上げたり、運んだり、引っ張ったりする体験の中で感覚により「重い」「軽い」を捉える。 ・ひろい、せまい：広さの異なるシートに座ったり荷物を広げたりして「広い」「狭い」を感覚的に捉える。

	20	(知及技）二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語が分かる。 (思判表力）重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学･人)数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べようとしている・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表）重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア： どっちがおもい、どっちがかるい どっちがひろい、どっちがせまい どっちがあつい、どっちがうすい どっちがふかい、どっちがあさい くらべてみよう	・どっちがおもい、どっちがかるい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「軽い」「重い」が分かる。 ・どっちがひろい、どっちがせまい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「広い」「狭い」が分かる。 ・どっちがあつい、どっちがうすい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「厚い」「薄い」が分かる。 ・どっちがふかい、どっちがあさい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「深い」「浅い」が分かる。 ・くらべてみよう：積み木を並べたり積み上げたりする活動の中で、長さや高さ、広さなどの適切な用語を使って積み木で作った形を表現したり、なぜ高いのか、短いのかなどその理由に気づく。
3学期	12	(知及技）身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や△、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。 (思判表力）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学･人)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や△、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めようとしている。 (思・判・表）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。 (主学)図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ：いろいろなかたち①②	・いろいろなかたち①：学校や家庭、実際に体験した身近な出来事や風景の中に、様々な形が存在していることに気づき、形に着目して分類できるようにする。 ・いろいろなかたち②：丸、三角、四角の色板で、形の属性に着目して分類したり集めたりする。
	12	(知及技）一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてみることができる。・10の補数が分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表そうとしている。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてようとしている。・10の補数を理解しようとしている。 (思・判・表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学）数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：いくつといくつ①②③④ ・いくつといくつ⑤⑥ ・10はいくつといくつ まとめ	・いくつといくつ①：（１～４の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ②③④：（５～７の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ⑤⑥：今ある数が目的の数になるためにはいくつ加えるかを考える。 ・10はいくつといくつ：10の補数について調べ、理解する。 ・まとめ：２段階「数と計算」のまとめ。
	12	(知及技）身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成することができる。簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かる。 (思判表力）身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現することができる。 (学･人)数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成しようとしている。簡単な表で使用する○×の記号の意味を理解しようとしている。 (思・判・表）身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現しようとしている。 (主学)数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとしている。	Dデータの活用ウ：あたったらはずれたら	・あたったらはずれたら：身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成し、使用する記号の意味が分かる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　４年（Ⅱ課程Ａ・Ｂ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部　４学年		音楽☆☆、他

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身につけるようにする。 (思判表力) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。 (学･人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けるようとしている。 (思･判･表)　歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ・校歌 ・学年の歌 ☆はるのおがわ ☆みなみのしまのはめはめはだいおう ☆ひらいたひらいた (おんがく☆☆他)	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表）器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学)　音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆あまだれ ☆ぶんぶんぶん ☆おもちゃのちゃちゃちゃ ☆いろいろなだがっき (おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付くこうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆いろいろなおと ☆あめのおとをならしてみよう ・天気予報をお知らせします (おんがく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。

		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。（ウ）㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。（ウ）㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。（ア） (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ・校歌 ・学年の歌 ☆さあみんなで ・のーののせる ☆いっぽんばしこちょこちょ ☆ぷーるでちゃっぷん ☆せんたく ・やっほっほ夏休み (おんがく☆、☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（イ） (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。（ア） (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	知・技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆あめふりくまのこ ・こいのぼり ・おかあさん ・月桃 ・たなばた （おんがく☆、☆☆他）	・音楽に合わせて、身体を揺らしたり手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。
		(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けるようとしている。 (思･判･表） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ☆こぶたぬきつねこ ☆あいあい ☆おはようくれよん ☆てをたたきましょう ☆ふしぎなぽけっと ☆いぬのおまわりさん （おんがく☆、☆☆他）	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表）器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆とけいのうた ☆じゃんけんぽん ☆やまのおんがくか （おんがく☆、☆☆他）	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。

2学期	28	(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㋐㋑ (学･人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表）音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆りずむをくみあわせよう ☆いろいろなおと （おんがく☆、☆☆他）	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。（ウ）㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。（ウ）㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。（ア） (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆どうぶつになって ☆おんまはみんな ☆えびかにくす ☆やきいもぐーちーぱー ☆きのこ （おんがく☆☆他）	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（イ） (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。（ア） (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	知・技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学)　音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆くらりねっとぼるか ☆たぬきのたいこ ☆こぞうのこうしん ☆おおきなかぶ （おんがく☆、☆☆他）	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
		(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㋑ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりことができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学･人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。	(知・技）教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けるようとしている。 (思･判･表)　歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ・学年の歌 ☆かれーらいす ☆ゆき ☆ふしぎなぽけっと ☆いぬのおまわりさん ☆やぎさんゆうびん ☆ひらいたひらいた ☆卒業式の歌 ☆きみがよ （おんがく☆、☆☆他）	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。

3学期	18	(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㋑ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㋐㋑㋒ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学・人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう (もちつき、いろいろなだがっき、卒業式の歌、国歌、おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器(カスタネット、タンバリン、鈴など)や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		(知及技) ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㋐ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㋑ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。(ウ)㋐㋑ (思判表力) ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(ア)㋐㋑ (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 音遊びを通して、音の面白さに気付くこうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ・校歌 ・みんなでならすがっきのうた ・卒業式の歌 ・きみがよ (おんがく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㋐ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㋑ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(ウ)㋐ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。(ウ)㋑㋒ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(ア) (学・人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ・校歌 ☆じゃんけんぽん ☆どれみのうた ☆かもつれっしゃ ☆じぇっとこーすたー ☆よーいやさ ・卒業式の歌 ☆きみがよ (おんがく☆、☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(イ) (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。(ア) (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器を音を見つけようとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ・あかたすんどぅんちー ☆はくちょう ☆ほしにねがいを ☆あめふりくまのこ ☆すけーたーずわるつ ☆おおきなかぶ ・校歌 ・卒業式の歌 ☆きみがよ (おんがく☆、☆☆他)	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　　小学部４年　図画工作（Ⅱ課程A・B）　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学･人) つくりだす喜びを感じ、進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとすることができる。	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	描画 ○いろいろな方法で描こう ・おりぞめ ・霧吹き（スパッタリング） ・はじき絵（パチック） ・にじみえ　など	・霧吹きや網でこすり出した模様の様子を楽しむ。 ・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 ・折った和紙を染め、色水のにじみ方や表れる模様の違いを楽しむ。 ・作ったもので、学級目標や鯉のぼり、母の日・父の日などのプレゼントにアレンジする 〈道具：クレヨン､絵の具、ブラシ、霧吹き、ロウ、折り染液、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、竹串、和紙、浅いバット等〉
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすることができる。 (思判表力)材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (学･人) 進んで表現活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとする。	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	描画 ○描いてみよう ・かきたいものなあに ・とろとろ絵の具で描く ○感じたこと、見たことを描こう ・みてみてあのね	・いろいろな形や色を見つけ工夫して表す、描きたいものを思いつく、思いついたものを楽しく描く。 ・指や手で描いて形を見つけ工夫して表す、指や手で試しながら表したいことを考える、指や手で描くことを楽しむ。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具、カップ、液体粘土等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール等〉 (教科書：ずがこうさく１・２下P22～23参考)
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすることができる。 (思判表力) ・形や色などを基に，自分のイメージをもつことができる。 ・材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす楽しみを感じながら，形や色などに関わろうとする。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくろうとしている。 (思判表力) ・形や色などを基に、自分のイメージをもつことができている。 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす楽しみを感じながら，形や色などに関わろうとしている。	作る（立体） ・粘土で遊ぼう ・ごちそうパーティー ！！	・作り方を工夫して､思いに合う形を見つける。 ・形を考えて作り、みんなでごちそうを見合う。 ・好きな食べ物を作ってみんなで見ることを楽しむ。 ・自分のイメージをもちながら、握った粘土の感触や形から感じたこと、想像したことからどのように表すか考える。 ・作り出す喜びを味わい楽しく握った粘土の形から思い付いたものを表す学習活動に取り組む。 〈道具：粘土ベラ、割りばし、ぞうきん等〉 〈材料：粘土　〉 (教科書：ずがこうさく１・２下P26～27参考)
2学期	25	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。	(知及技) 形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	描画 ○読書感想画 ・好きな絵本の絵を描こう	・好きな絵本を読んだり、読み聞かせを聞いて、絵本の好きな場面の様子を鉛筆やペン、絵の具やクレヨンなどを使って描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：画用紙等〉
		(知及技) ・身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすることができる。 ・自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 形や色などを基に，自分のイメージをもつことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。	(知及技) ・身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくろうとしている。 ・自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 形や色などを基に，自分のイメージをもとうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	版画 ○うつしてみよう ・スチレン版画 ・こすりだし	・スチレンボードにマジックや、クッキー型等で線や模様を付ける ・葉っぱやコイン、段ボール等凹凸のある素材に紙を当て、クレヨンや鉛筆などでこすって、形を浮かび上がらせる 〈道具：マジック、クッキー型、竹串、ペットボトルキャップ、コーラー等〉 〈材料：スチレンボード、インク、紙、自然物等〉
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくろうとしている (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	作る（工作） ○やぶいて・はって ・やぶいた かたちから うまれたよ	・切った紙ややぶいた新聞紙でコラージュ作品を作る ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料：色画用紙、新聞紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物等〉 (教科書：ずがこうさく１・２上P16～17参考)
3学期	20	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	作る（工作） ○作ってあそぼう ・凧、こま、紙けん玉	・身近な材料や用具を使って、おもちゃを作る。 ・作りたいおもちゃを選び、制作して遊ぶ。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：カラービニール、牛乳パック、ペットボトルキャップ、紙皿、棒、凧糸等〉
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりして、形や色などの違いに気付くことができる。 思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じ、進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとすることができる。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりして、形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを考えようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わろうとしている。	作る（造形） ○いろいろな素材 ・コラージュ	・いろいろな素材の組み合わせを楽しむ 〈道具〉はさみ、のり、木工用ボンド、 〈材料〉ボール紙（台紙）、布、包装紙、折り紙、千代紙、毛糸、ボタン、スパンコール、アイスの棒　など
		(知及技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り，自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学･人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとする。	(知及技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り，自分の見方や感じ方を広げることができる。 (主学) つくりだす喜びを味わい、進んで鑑賞活動に取り組もうとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・ふりかえり ・作品集づくり	・1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。作った作品集を発表し、自分や友だちの作品の良さ伝え合う。 ・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分の友だちの作品の良さを感じる。
		(知及技) 形や色などの違いに気付くことができる。身近な材料や用具を使って描くことができる。 (思判表力）形や色などに、自分なりのイメージを持つことができる。 (学・人) 友達と声を掛け合ったり協力したりして、一緒に造形活動を行うことができる。	(知及技) 形や色などの違いに気付くことができている。身近な材料や用具を使って描くことができている。 (思判表力) 形や色などに、自分なりのイメージを持つことができている。 (主学) 友達と声を掛け合ったり協力したりして、一緒に造形活動を行うことができている。	描画 ○協力して描こう ・卒業式の壁面を作ろう	・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。卒業式をイメージした絵を描いたり、花などのイラストの塗り絵をしたりして張り付ける。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具、スタンプ、ローラー、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、模造紙､新聞紙等〉
留意点	描画（絵に表す活動）			
引継ぎ等	作る（立体に表す活動、工作に表す活動）			

令和８年度　小学部４年（Ⅱ課程B）　体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。 (思判表力)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	（知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・体つくり運動	【多様な動きをつくる運動遊び】 ・車イスの動きを生かし、その場で右回り・左回りに方向転換をする. ・車イスを操作しながら、ゆっくり進む・速く進むなどスピードに変化をつけて移動したり、決められたラインの上をまっすぐ進んだりする。 ・コース上に描かれた大きな円に沿って、右回り・左回りにこいだり、進んだり、止まったりする。 ・大きさや重さの異なるボールを、両手で持ち上げたり、ひざの上で支えたり、前に押し出したりする。
	8	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしようとしている。 (思･判･表)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとしている。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・水の中での運動	【水につかっての水かけっこやまねっこ遊び】 ・水につかって様々な動物（アヒル、カニ、カエル、ワニなど）の真似をしながら、腰やひざを伸ばして一直線の姿勢になり手足を使って進む運動をする。 ・自ら水を頭や顔にかけたり、お互いにかけ合ったりする運動をする。 ・基本的な運動を行う中で、その楽しさや心地よく感じたことを言葉や表情、ジェスチャーなどで教師に知らせたり、友達に伝えたりする。 【簡単なきまり】 ・約束を踏まえ、友達と一緒にけがをしないよう注意して活動する。
	8	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・ボールを使った運動 ・ゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・転がす，投げる，当てる，捕る，打つ，蹴る，止めるなどの簡単なボール操作をする。 ・先生や友達にボールを転がしたり，投げたり，先生や友達が転がしたり，投げたりしたボールを止めたり，捕ったりする。 ・先生や友達とボールの蹴り合いをする。 【ボールを使ったゲーム】 ・ねらったところにボールを転がしたり，投げたり，蹴ったりして的に当てたり得点したりする。 ・先生や友達にボールを手渡したり投げたりしてゴールにボールを運ぶ。 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】
	12	(知及技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。（小2段階） (思判表力)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（小2段階） (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとすることができる。（小2段階）	(知・技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・表現運動	【リズムと動き】 ・手足を曲げ伸ばししたり、上下に動かしたりして自由に踊ること。 ・音楽やリズムに合わせて体を揺らしたり、体をねじるなどの運動をする。（軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲）

2学期	12	(知及技）教師の支援を受けながら、車いすでの前進・方向転換・速度調整など、基本的な移動の運動に楽しく取り組むことができる。 (思判表力)車いすでの移動に慣れ、スピードの変化・動き方の違い・コース取りなどで感じた楽しさや気づきを、言葉・表情・合図などで表現することができる。 (学･人)安全に参加できる簡単なきまりを守り、友だちと順番を守ったり、合図で動いたりしながら、車いすでの移動運動に進んで参加しようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、車いすでの前進・方向転換・速度調整など、基本的な移動の運動をしようとする。 (思･判･表)車いすでの移動に慣れ、スピードの変化・動き方の違い・コース取りなどで感じた楽しさや気づきを、言葉・表情・合図などで表現しようとする。 (主学)安全に参加できる簡単なきまりを守り、友だちと順番を守ったり、合図で動いたりしながら、車いすでの移動運動に進んで参加しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・走・跳の運動	【走る運動】 ・折り返しのリレーなどで，教師や友達と手のひらを向けてタッチするなどをする。 ・一定距離の走行、コーン回避、ゆるやかなスロープを使った移動、軽い段差越えの練習 など） ・スタートの合図を待つ、停止線で止まる、友だちの動きを見て協力する。 【乗り越える運動】 ・低い障害物や凸凹などを使い、車イスで乗り越えて障害物を通過する。
3学期	19	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・ボールを使った運動 ・ゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・転がす，投げる，当てる，捕る，打つ，蹴る，止めるなどの簡単なボール操作をする。 ・先生や友達にボールを転がしたり，投げたり，先生や友達が転がしたり，投げたりしたボールを止めたり，捕ったりする。 ・先生や友達とボールの蹴り合いをする。 【ボールを使ったゲーム】 ・ねらったところにボールを転がしたり，投げたり，蹴ったりして的に当てたり得点したりする。 ・先生や友達にボールを手渡したり投げたりしてゴールにボールを運ぶ。 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 一人鬼，手つなぎ鬼，子増やし鬼
年間を通して	5	(知及技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をしようとする。 (思･判･表)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えようとする。 (主学))教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・保健	【健康な生活に必要な事柄に慣れる】 「進んで行動をしよう」 ・授業に必要な事柄を自ら行う 「落ち着いて身体測定や健康診断を受けよう」 ・事前学習、練習 【感じたことを他者に伝える】 「自分の体調を伝えよう」 言葉や絵カード、サイン等を利用して、痛い部位を伝える。
留意点引継ぎ等					

令和８年度 小学部４年　道徳科（Ⅱ課程A） 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	４学年　Ⅱ課程A		

中心目標	◎人と関わりながら生活するために必要な道徳的価値の存在に気付き、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 〇自分なりにしてみたいことを見つけ、活動に取り組もうとする意欲をもつ。 〇よいこととよくないことがあることに気付き、よいとされることをしようとする意欲をもつ。など

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	①自分なりにしたいことに取り組み、自分でできたと実感したり達成感を味わったりすること。	①自分なりにしたいことに取り組み、自分でできたと実感したり達成感を味わおうとしている。	A【個性の伸長】 ①がっこうだいすき	①好きな活動ややってみたい活動が十分できる機会を設ける。できないことであっても自分でやりたいという気持ちを大切にし、必要な支援を行って自分でできたという達成感や喜びを味わえるようにする。
		②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしたりすること。	②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしたりしている。	B【友情，信頼】 ②みんなでなかよく	②身近な大人である教師との信頼関係を築き、教師を介して他の子供と関わる場面を設ける。同じものに興味を示した子供同士がものを介してやり取りが生じるよう場面を設定する。
		①経験を通して思い通りにいかない場合やよいことよくないことがあることに気付くこと。	①経験を通して思い通りにいかない場合やよいことよくないことがあることに気付こうとしている。	A【善悪の判断、自律、自由と責任】 ①よいこととわるいこと	①不安定な感情の表出も受け止め、子供なりに取り組んでいる姿を認めたり、励ましたりする。よい、悪いと毅然として伝える。悪いことをしてしまった際には、傷ついた相手の気持ちを教師が代弁するなど、相手の痛みを感じられるようにする。
		②挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとすること。	②挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとしている。	B【礼儀】 ②あいさつ	②教師が笑顔で温かく迎えることを通して、挨拶を通して人と関わることの心地よさや楽しさを感じられるようにする。
		③自分の気持ちに気付き、相手に伝えること。	③自分の気持ちに気付き、相手に伝えようとすること。	B【相互理解、寛容】 ③平和教育	③身近に起こったこと（喧嘩など）を題材にしながら「ごめんなさい」や「ありがとう」を一緒に伝える。
		①身近な生き物に気付き、親しみをもつこと。	①身近な生き物に気付き、親しみをもとうとしている。	D【生命の尊さ】 ①たんじょうび、身近な生き物	①誕生会を通して、人はそれぞれ大切な命をもっていること、多くの人に祝福されていることを知る。
2学期	13	①他者の気持ちに共感したり、慰めたり助けたりしようとすること。	①他者の気持ちに共感したり、慰めたり助けたりしようとしている。	B【親切、思いやり】 ①おもいやり	①機会をつくり繰り返し相手の気持ちに気付くような言葉かけを行う。
		②自分と他者の気持ちの違いに気付き、人と過ごすために約束やきまりがあることや、その大切さに気付くこと。	②自分と他者の気持ちの違いに気付き、人と過ごすために約束やきまりがあることや、その大切さに気付こうとしている。	C【規則の尊重】 ②きまりをまもろう	②自他の思いの違いに気付けるような場面設定や約束やきまりがあることで心地良く過ごせることに気付けるようにする。
		①周りの人の支援や親切な行為を心地よいものとして受け入れ親切な行為の背景にある温かい気持ちに気付くこと。	①家族など日頃世話になっている人々に感謝しようとしている。	B【感謝】 ①いつもありがとう	①スクールバスの運転手や介助の先生、給食の調理員等の仕事を知り、感謝の気持ちを持つ。
		②家族との関わりに心地よさや喜び、楽しさを感じ、安心感をもって過ごすこと。	②家族との関わりに心地よさや喜び、楽しさを感じ、安心感をもって過ごそうとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ②だいすきだよ	②敬老の日を通して、祖父母に対する感謝の気持ちや大好きな気持ちを伝える。
		①身近な生き物に気付き、親しみをもつこと。	①身近な生き物に気付き、親しみをもとうとしている。	D【自然愛護】 ①しぜんとなかよく	①動植物を実際に見たり、触ったりして様々な感覚を直接的に体験できるようにする。また生き物を飼うことで、その世話を手伝ったりしながら慣れ親しむようにする。子供が乱暴な扱いをしてしまう場合には、生命の尊さに触れる機会と捉え、根気強く丁寧に対応ことが求められる。
		②健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとしたり、思い通りにいかない時に立ち直ったり、感情をコントロールしたりすること。	②健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとしたり、思い通りにいかない時に立ち直ったり、感情をコントロールしたりしようとしている。	A【節度、節制】 ②わがままをしない	②子供の思いやペースを尊重して丁寧に関わる。自分でできた時の達成感や心地よさを味わえるようにする。
3学期	9	①自分なりにしたいことを見つけ、自分の力でしてみようとすること。	①自分なりにしたいことを見つけ、自分の力でしようとしている。	A【希望と勇気、努力と強い意志】 ①さいごまでがんばる	①自分のことはできるだけ自分でやろうとする。最後までやりぬき、成功の満足感を味わう。
		②教師や友達との触れ合いや関わりに心地よさや楽しさを感じ、安心感をもって過ごすこと。	②教師や友達との触れ合いや関わりに心地よさや楽しさを感じ、安心感をもって過ごそうとしている。	C【よりよい学校生活、集団生活の充実】 ②ともだちととあそぼう	②子供が学校生活の何に心地よさを感じるのか、誰と関わると安定するのか把握する。他の子供の存在に気付けるよう場を共有する。
		③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみを持つこと。	③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみを持とうとしている。	C【伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】 お正月、節分など	③お正月遊びや節分などの遊びを楽しめるように教材や場の工夫をする。

留意点引継ぎ等	

令和８年度　小学部　４年（Ⅱ課程A）　外国語活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部４学年		Let's try!1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気づき、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う素地を養う。 (学･人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 (学･人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	(知・技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	・あいさつをして友だちになろう Hello I'm … Goodbye See you.	①歌・表現 あいさつをしよう 『Hello song』、『Goodbye song』 ②語彙等 あいさつの言葉を知ろう ・「Hello」や「Hi」等の挨拶の言葉を絵カード等を使って知る。 ③会話を使った活動等 友達や先生に自己紹介してみよう ・教師と一緒に挨拶や自己紹介をして、外国語に親しむ。
	2	(知及技) 表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合うことができる。 (学・人) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとする。	(知・技) 表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合おうとしている。 (主学) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとしている。	・ごきげんいかが？ How are you ? I' m happy.	①歌・表現 会話をしよう Hello,How are you ? ・「調子はどう？」等の会話の仕方を知る。 ②語彙等 すきなものを伝えよう ・好きなものの英単語を知る。 ③会話を使った活動等 自己紹介をしよう ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	(知及技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	(知・技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	・数えてあそぼう How many… ? (Ten)(apples)./Yes. That's right. No. Sorry.	①歌・表現 英語の歌を歌おう ・数字や日付、曜日等の英語を聞き、親しむ。 ②語彙等 One two three ・数字や日付など身近なものから、数字の英単語について知る。 ③会話を使った活動等 英語でゲームをしよう How many … ? ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	(知及技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	(知・技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思・判・表) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	・すきなものをつたえよう I like …. Do you like…? Yes,I do. No,I don't. I don't like …	①歌・表現 身近なものの名前 ・歌やダンスで、身の回りのものの英単語に親しむ。 ②語彙等 身の回りのもの 身体の部位 ・身の回りのものの英語を知る。 ③会話を使った活動等 これなあに？ What is this ? すきなものをつたえよう I like ….　I don't like…. ・友達や先生に身の回りのものや好きなものについての会話を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。
2学期	4	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・何がすき？ What do you like? I like … What (sports) do you like? I like (soccer).	①歌・表現 英語の歌を歌おう ・歌やダンスで、好きなものを尋ねたり答えたりする表現に親しむ。 ②語彙等 好きなものをつたえよう ・絵カードや写真等を使用し、すきなものを伝える。 ③会話を使った活動等 なにがすき？ What do you like ? 英語でゲームをしよう ・フルーツバスケット等

2学期	4	（知及技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 （学・人） 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	（知・技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 （主・学） 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	・アルファベットとなかよし (The A caard),please. Here you are. Thank you. You're welcome.	①歌・表現 アルファベットの歌を歌おう 外国の文化を知ろう（ハロウィン、クリスマス等） ・歌やダンスで、アルファベットや外国の文化に触れる ②語彙等 アルファベットを知ろう ・絵カード、写真等でアルファベットを知る ③会話を使った活動等 外国の文化をしろう ゲームをしよう ・英語を使ったゲームを通して、外国の文化に慣れ親しむ。
	5	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （思判表力） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （思・判・表） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主学） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	・カードをおくろう What do you want? (A star),please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.	①歌・表現 英語の歌を歌おう ・歌やダンスで、ほしいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 カードをつくろう ②語彙等 あれがほしい！ ・形や色など、ほしいものを表す言葉について知る。 ③会話を使った活動等 カードを紹介しよう ・自分の作ったカードを、簡単な英単語を使い、相手に伝わるように、簡単な英文を作る。
2学期・3学期	3・2	（知及技） 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） クイズを出したり答えたりし合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	（知・技） 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） クイズを出したり答えたりし合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	・これなあに？ What's this ? Hints please. It's (a fruit). It's(green). It's(a lemon). That's right. ・年始のあいさつ 「Happy new year」	①歌・表現 英語のうたを歌おう 「What is this ?」 ②語彙等 これなあに？ ・絵カード等で、身の回りのもの名前を知る。 ・ものの名前の単語を発音する。 ③会話を使った活動等 ゲームをしよう ・シルエットクイズや神経衰弱ゲームを通して、身の回りのものの英語に親しむ。
3学期	5	（知及技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 （学・人） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	（知・技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 （主学） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	・きみはだれ ? Are you (a dog)? Yes,I am. No,I'm not. Who are you ? I'm (a dog). Who am I ? Hint, please. ・英語で物語の読み聞かせ	①歌・表現 きみはだれ？ 「Who are you ?」 ②語彙等 物語をきこう ・絵本や動画などの読み聞かせを聞いて、家族や動物の英単語に親しむ。 ③会話を使った活動等 きみはだれ？ ゲームをしよう ・家族や友達、動物の英単語を使ったゲームを通して、人物を表す言葉について親しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　４年（Ⅱ課程AB）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部４年(Ⅱ課程AB)		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	・多様な他者と活動する意義や必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けることができたか。 ・課題解決に向けて、話し合い、合意形成を図ったり、意志決定したりすることができたか。 ・自主的、実践的な集団活動を通して、よりよい学校生活を築いていこうとする態度が見られたか。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持とうとしている。	・今日から４年生！！ （学年・学級開き） ・１学期頑張ろう会	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		・学級目標と１学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		・学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	・係活動を決めよう	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げることができる。	・地域の自然に触れたり、公共施設を利用しようとしている。	・校外学習	・公園や公共施設を利用する上でのルールや決まりを確認し、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりする。
		・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・ようこそ島尻へ	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・近隣校等の友達と交流することができる。	・近隣校等の友達と交流しようとしている。	・交流学習（白川小）	・交流学習を通して、近隣校等の友達と交流する。
		・１学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・１学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・１学期頑張った会	・１学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりしようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えるたり準備したりする。
2学期	10	・夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
		・２学期の個人目標を考えることができる。	・２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・２学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりしようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備したりする。
		・２学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・２学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・２学期頑張った会	・２学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・冬休みの過ごし方	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
		・３学期の個人目標を考えることができる。	・３学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達と関わる。

3学期	11	・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶことができる。	・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぼうとしている。	・児童会について ・児童会役員を選ぼう （学年選挙）	・児童会の取り組みを知り、立候補や演説をしたり、応援したい友達を投票で選んだりする。
		・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・卒業おめでとう	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・３学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・３学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート）	・目標を振り返り、できたか評価する。
		・１年間を振り返り、次の学年への期待を持つことができる。	・１年間を振り返りながら、次の学年への期待を持とうとしている。	・もうすぐ５年生	・１年間の学習や行事を振り返り、次の学年への期待を持つ。
留意点 引継ぎ等		・春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・春休みに向けて	・春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。

5年生

Ⅱ－A課程

令和７年度　小学部５年（Ⅱ課程）　生活科

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部５学年		文科省著作教科書　☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇かかりのしごと ・きゅうしょくをくばろう ・ポスターをはろう	【集団参加や集団内での役割】 ・積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。様々な役割があることを知り、他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。
	7	(知及技)日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力)日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技)日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表)日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇めざせ！生きものはかせ ・生きものをさがそう・かんさつしよう ・生きもののひみつはっ見！ ・生きものずかん ・つたえよう 〇草花や木のはであそぼう ・はる・なつ	【動物の飼育】 ・身近にいる昆虫、魚等を飼育し、観察をする。外敵の防止や気温の変化等に十分配慮する。 【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉を集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	3	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 〇おてつだいをしよう 〇そうじをしよう	【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【戸締まり】 ・窓の開閉や鍵の開け閉めが、いつ、どのようなときに必要なのか理解する。開閉の意味やタイミングなどを聞き、手伝いを習慣化させる。 【掃除】 ・分担された場所の掃除をする。それぞれの場所に適した掃除の方法や手順、用具の使い方などを身に付ける。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇あんぜんにくらそう ・あっ！あぶない！ 〇じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう ・「こんなときどうする？」 ～火じになったら～	【危険防止】 ･火事になったなったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・火災避難訓練 ※訓練と連携し取り組む

	4	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇しらべてみよう ・わたしたちのまち ・しょうひんはどこからきたかな	【いろいろな店】 ・絵や文字、写真などを使って地図上に表現する地域マップづくり。教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ。 【社会の様子】 ・絵や文字、写真などを使って地図上に表現する地域マップづくり。教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ。 ・自分が住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもち、およその名称などを知るとともに、自分の生活との関連について知る。
	3	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇わたしとかぞく ・かぞくをしょうかいしよう	【自分自身と家族】 ・自分自身や祖父母について、仕事や関係などにも触れて簡単に話したり紹介したりする。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇あんぜんに　くらそう ・気をつけてちょうりきぐをつかおう	【危険防止】 ･実際の道具を見たり触ったりしながら、正しい使用の仕方と誤った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気を付けるべき部分などについて考え、意見を出し合う。
	2	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 〇ホットケーキづくりをてつだおう	【手伝い】 ・簡単な調理を通して、準備、片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。
	6	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとすることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ア　基本的生活習慣 〇一人でやってみよう ・ねるときのじゅんびかたづけ ・おふろ	【ねるときのじゅんび・かたづけ】 ・就寝前や起床後に行う活動（布団を敷く、布団を畳む）。 ・就寝前（起床後）の活動を家庭における役割として位置づけ、毎日継続的に取り組むことで習慣化を図る。 【おふろ】 ・入浴の際の身体を洗う手順。体の汚れを知る。体の洗い方を知り、動きを模倣する。
	3	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学･人) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動している。 (主学) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇じぶんのものひとのもの ・ものをかりるとき ・おとしものをひろったとき	【自分の物と他人の物の区別】 ・物を適切な方法で貸し借りする。落とし物を拾ったときの対処。
	3	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇わたしのまわりの人 ・わたしのかぞく、きんじょの人	【家族・親戚・近所の人】 ・家族や親戚、近所の人々の名前を言ったり、家族の職業や身近に見られる職業がわかったりする。

学期	25	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇しょくぶつをそだてよう ・たねをまこう ・そだてよう	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。
	3	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学・人) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動している。 (主学) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇せいかつのなかのきまり ・としょかんやこうえんなどをつかうときのきまり ・のりものをつかうときのきまり	【日常生活のきまり】 ・公共施設や公共機関を利用する際のきまり守る。非常用設備について、使用法や役割を理解する。 【マナー】 ・バスやモノレール、病院や図書館など公共の場では静かにする等のマナーを理由とともに知る。
	3	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう ・「こんなとき、どうする？」～じしんがおきたら～	【危険防止】 ・地震になったなったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・地震火災津波避難訓練 ※訓練と連携し取り組む
	3	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学・人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇きもちをつたえよう ・いろいろな気持ち ・気持ちを込めて	【気持ちを伝える対応】 ・御礼や謝罪などの気持ちを相手に理解してもらえるよう、気持ちを込めて言う。
	3	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇草木や木のはであそぼう ・あき・ふゆ	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
3学	3	(知及技) 金銭の扱い方などの知識や技能ををを身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れることができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能ををを身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れている。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ク　金銭の扱い 〇かいもの ・どこでなにをうっているかな ・かいものにちょうせんしよう	【買い物】 ・自分で目的に応じて買い物をする。買い物に必要な言葉を使う、簡単なおつりのある買い物をする、値札を見て買い物をする、レジの場所が分かり、代金を支払う。 【自動販売機の利用】 ・簡単な自動券売機などを自分で利用する。
	4	(知及技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇かぜやゴムの力でうごかそう ・かぜの力でうごかそう ・ゴムの力でうごかそう	【風やゴムの力の働き】 ・風の大きさを変えると物が動く様子も変わることに気づく。（風で動く車） 【ゴムの力の働き】 ・ゴムの力の大きさを変えると物が動く様子も変わることに気づく。（発射装置とゴムの力で動く車）

学期	4	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇町ではたらく人にあいにいこう ・町のあんぜんをまもるために ・はたらく人たち	【公共施設の利用】 ・警察署や消防署、郵便局などを実際に訪問したり、見学したりして、おおよその意味を分かる。
	2	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇でんわやおきゃくさまへのたいおう ・でんわのとりつぎ ・おきゃくさまへのたいおう	【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客時に、適切に取り次ぎする。構内に設置してある電話を活用し、児童が率先して取り次ぐ。
年間を通して	60	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとすることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ア　基本的生活習慣 〇一人でやってみよう！ ・みだしなみ ・せいりせいとん ・きゅうしょくのじゅんび・かたづけ ・せんたく ・いろいろなトイレ	【身なり】袖口や襟もと、すそ等、身だしなみを整える。 【身の回りの整理】 ・靴や衣服、カバンや文具などの収納方法がわかり、整理整頓をする。 【食事】 ・給食の準備や片付けなど友達と協力して行う。 【清潔】 ・簡単な洗濯をする。 【用便】 ・いろいろな種類のトイレの鍵の使用法を知り、自分で用を足す。
	35	(知及技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動することができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動している。 (主学) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ウ　日課・予定 〇よていのかくにん ・一週間の予定 ・予定がかわったよ ・カレンダーでかくにんしよう ・いろいろなカレンダー	【日課・予定】 ・一週間程度の予定が分かり、カレンダーや予定表を見て学校や家庭の予定などに従って行動する。 ・都合により予定が変更する場合に対応する。
	35	(知及技)きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊ぶことができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技)きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊んでいる。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	エ　遊び 〇なかよくあそぼう ・なにしてあそぶ？ ・ルールをまもってあそぼう ・あそびがおわったら ・もっとたのしくできるかな	【いろいろな遊び】 ・友達を誘って何をして遊びたいか話し合う。 ・ルールのある遊びを通して、約束や勝ち負け、役割などを友達と共有する。 ・道具やルールを工夫、改善しながら、遊びをふくらませていく。 （的あてゲーム、お店屋さんごっこ、縄跳び、ボッチャ、ボウリング、椅子取りゲーム、しっぽ取りゲーム、ボール運びゲーム、玉入れなど） ・昔の文化や遊びにふれたり、遊びを通して豊かなコミュニケーションを築いたりする。 （はないちもんめ、とうりゃんせなど） 【遊具の後片付け】 ・自分から進んで準備や後片付けをし、友達を手伝う。
	28	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇しょくぶつをそだてよう ・たねをまこう ・そだてよう	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。

島尻スタンダード 小学部　5年　国語科 （小学部3段階）

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小学部５学年（①グループ）		文科省著作教科書　☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。 (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。 (学･人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (知及技)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (知及技)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む わらべうた	【絵本の読解】【感じたことや経験したことを話す】 ・絵をみながら、言葉が表している内容を理解する。 ・わらべ歌遊びをする。
	15	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。・出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力)見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。・書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。・出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思判表力)見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとしている。・書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 文をかこう	【簡単な文の記述・構成】 ・文節ごとに区切ったカードを並び替えて文を作ったり、完成した文を見本にして書く。 ・身近な事柄を表す絵や写真を見て、簡単な文章を作る。 ・文を書き、相互に発表し合う。・助詞を抜いた文を読んで、当てはまる助詞を考える。 ・文を読んで、絵や写真を選択する。 ・文を書き、相互に発表し合う。 ・主語や述語など、一部が抜けた文に入る語句を考え、文を完成させる。 ※年間を通して指導
	10	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学･人))言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む のりもの	【物語の時間経過・文章の内容のまとまりを捉える】 （図書に親しむ・図書の活用） ・読み聞かせを行う ・内容の大体を捉える。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方、漢字の読み方を知る。 ・身近な乗り物を調べ、発表する。
	15	(知及技）身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。 (思判表力)経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考える事ができる。・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすることができる。・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。・相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付こうとしている。 (思判表力)経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えようとしている。・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりしようとしている。・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 ・相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりしようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く話す たのしかった遠足	【感じたことや経験したことを話す】【おおよそを捉え、あらましを話す】 ・行事等の動画や写真を見て、経験したことを思い浮かべる。 ・思い出や伝えたいことを発表する。 ※行事（読書月間など）や季節等に関する内容については随時取り扱う。 ※年間をとして指導 GW、夏休み後、冬休み後、連休明けなど
	10	1学期の復習 （わらべうた、文をかこう、のりもの、たのしかった遠足） 年間を通して指導 （平仮名・片仮名・漢字の読み書き、言葉で伝えよう）			

2学期	8	(知及技）姿勢や口形に気を付けて話すことができる。 (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。 ・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。 (学･人）)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）)姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使おうとしている。 ・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す でんわ	・電話の受け方や掛け方を知る。 ・電話を受けたり掛けたりする。
	8	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。 (思判表力)登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (思判表力))登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む パーティーをしよう	【おおよそを捉え、あらましを話す】【音読や劇】 ・読み聞かせを聞く。 ・登場人物になったつもりで音読する。 ・同じ行で始まる言葉集めを行う。
	19	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。 ・物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 ・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 ・目的に合った筆記具を選び、書くことができる。 (思判表力)身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めることができる。 ・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えることができる。 ・見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 ・文などに対して感じたことを伝えることができる。 (学･人)	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 ・物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 ・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 ・目的にあった筆記具を選び、書こうとしている。 (思判表力)身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めようとしている。 ・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えようとしている。 ・見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとしている。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 ・文などに対して感じたことを伝えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 手がみをかこう	【文字を書く】 ・行事等の中で手紙を通して事柄や思いを書き表す機会がないか考える。 ・手紙に書く内容や具体的な書き方を考える。 ・下書きをする。 ・清書をする。 ・暑中見舞いを書く。 ※行事や季節等に関する内容については随時取り扱う。 ※年間をとして指導 母の日・父の日・勤労感謝・交流会など
	14	(知及技）姿勢や口形に気を付けて話すことができる。 (思判表力)相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。 ・登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思判表力)相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 ・登場人物になったつもりで、音読したり演じようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む 三びきの子ぶた	【音読や劇】【絵本の読解】 【感じたことや経験したことを話す】 【おおよそを捉え、あらましを話す】 ・読み聞かせを聞く。 ・場面ごとに演じる。 ・役に分かれて音読する。 ・劇遊びをする。
	13	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）)日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書こうとしている。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く かん字をよもう・かこう	【文字・文を書く】 ・書くときの姿勢や筆記具の持ち方を確かめる。 ・漢字を書写する。また、見本と比較し誤りがある場合は修正する。 ・毛筆を使っての書初めを体験する。 ※年間を通して指導 各単元で漢字の学習に取り組む。
	10	２学期の復習 （でんわ、パーティーをしよう、手がみをかこう、かん字をよもう・かこう、三びきの子ぶた） 年間を通して指導 （平仮名・片仮名・漢字の読み書き、言葉で伝えよう）			

3学期	15	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。 ・物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 ・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力)身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めることができる。 ・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えることができる。 ・見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 ・文などに対して感じたことを伝えることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 ・物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 ・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思判表力)身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めようとしている。 ・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えようとしている。 ・見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとしている。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 ・文などに対して感じたことを伝えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く えにっきをかこう	【簡単な文章の記述・構成】 ・学校生活等を振り返り、絵日記の題材を決める。 ・書きたい内容の具体的な出来事を詳しく思い出す。 ・具体的な出来事の中から、伝えたい出来事を選ぶ。 ・「始め→中→終わり」等の構成になるように整理する。 ・下書きをする。 ・下書きを読み返し、誤りがないか確かめる。 ・清書する。 ・出来事を表す絵を描く。 ・発表する。また、友達の発表を聞き、更に聞きたいことを質問したり、感想を伝えたりする。 ・年賀状を書く。 ※行事や季節等に関する内容については随時取り扱う。 ※年間を通して指導 各行事後など
	10	(知及技）物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力)見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりすることができる。 ・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思判表力)見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりしようとしている。 ・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む さつまいも	【物語の時間経過、文章の内容のまとまりを捉える】 ・読み聞かせを行い、内容の大体を理解することができるようにする。 ・季節に関する言葉や時間経過に気付くことができるようにする。
	20	3学期の復習 （えにっきをかこう、さつまいも） 1年間の復習 （各単元の） 年間を通して指導 （平仮名・片仮名・漢字の読み書き、言葉で伝えよう）			
年間を通して	35	(知及技）読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思判表力）絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本や易しい読みもの、タブレット等で読み聞かせを聞き、 様々なお話にふれる。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部５年（Ⅱ課程Ａ）算数科【①グループ】　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部５学年		さんすう☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養うことができる。 (学･人) ・数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	16	(知及技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かすことができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知・技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしようとしている。 (思･判･表)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 20までの整数の表し方	・10より大きいかず：10より大きい数の読み方を知る。 ・10といくつ①：10進位取り記数法の基礎となる10のまとまりと「そのほかにあといくつ」に分ける。 ・10といくつ②：10より大きい数の読み書き。 ・10より大きい数：10より大きい数を書く。
	10	(知及技）日常生活の中で時刻を読むことができる。 ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解することができる。 (思判表力)時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結びつけて表現することができる。 (学･人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）日常生活の中で時刻を読もうとしている。 ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解しようとしている。 (思判表力)時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結びつけて表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定 時刻や時間	・学校のせいかつ：「○時」の読み方、「○○：○○」の書き方を含め、時計に慣れる。 ・ながいはり、みじかいはり：時計には長針、短針があることを知る。また、長針が一周したら1時間分進むことに気づく。 ・ながいはり：10分刻みの時刻を読み取る。 ・みじかいはり：○時を読み取る。○時を表す扇形に注目する。
	10	(知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 (思判表力)身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 ・身の回りにあるものの形を図形として取られることができる。 (学･人))図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えようとしている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 (思･判･表)身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 ・身の回りにあるものの形を図形として取らえようとしている。 (主学)図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 かたちあそび	・空き缶や空き箱を積んだりしながら、形の特徴を理解できるようにする。 ・箱や容器などの面の形を写し取り、絵を描く。 ・写し取ったものを使って絵を描く。
	25	学期を通して指導　　A数と計算 ２０までの整数の表し方　　C測定 時刻や時間　　B図形 かたちあそび			

2学期	15	(知及技）数える対象を２ずつ５ずつのまとまりで数えることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知及技）数える対象を２ずつ５ずつのまとまりで数えようとしている。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 ・まとめてかぞえましょう	・２ずつかぞえましょう：指などを使い、「に」「し」「ろく」とまとまりを意識しながら学習にする。 ・５ずつかぞえましょう：５飛びの数唱や５ずつのまとまりで数える。
	12	(知及技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。 (思判表力)身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。 (学･人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較しようとしている。 (思判表力)身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定（直接比較・間接比較） ながい・みじかい	・ながい、みじかい①：基準に対して「長い」「短い」を比べる。 ・ながい、みじかい②：具体物を直接比較して「長い」「短い」が分かる。 ・ながさをくらべましょう①：片方の端をそろえて比べる。 ・ながさをくらべましょう②：3量以上の長短について、2量ずつ比べて3量以上の長短を判断する。 ・ながさをくらべましょう③：直接比較できないとの比べ方（テープに写し取る）が分かる。
	11	(知及技）お金の種類、数え方、等価関係などについて理解することができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (学･人)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）数を十を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解しようとしている。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (主学)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算 かいものをしましょう①	・お金の種類を弁別することができる（1円、5円、10円）。 ・1円硬貨10枚までの金額を数えることができる。 ・10円と1円10枚、5円と1円5枚の等価関係が分かる。 ・何枚かの十円硬貨で買えないときもう１枚出して買う。 ・値段にちょうどのお金を用意して買う。 ※校外学習にて、体験的な活動を行う。
	35	学期を通して指導　A数と計算　まとめてかぞえましょう　かいものをしましょう①　C測定（直接比較・間接比較）ながい・みじかい			
3学期	12	(知及技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かすことができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知・技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしようとしている。 (思･判･表)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 数の大小の比較	・20までの数の大小①：具体物や半具体物を活用し、数の比較を行う。 ・20までの数の大小②：半具体物を頼りに数の大小比較を行う。 ・20までの数の大小③：2位数と1位数の比較を具体物の比較で行う。 ・20までの数の大小④：数字同士で数の比較を行う。
	8	(知及技）ものともものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすることができる。 ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ることができる。 (思判表力)個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさをを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）ものともものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりしようとしている。 ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ろうとしている。 (思判表力)個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさをを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用 ・数やデータを図や記号で表そう	・ひょうをつくりましょう①②：ボウリングなどのゲームを通して、結果を記号に置き換えて表に表す。 個数に着目して表に整理する。
	15	学期を通して指導　A数と計算　数の大小の比較　Dデータの活用　数やデータを図や記号で表そう			
	6	1年間の振り返り			
留意点引継ぎ等					

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ課程-A・B）　音楽　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部５学年		音楽☆☆☆、他

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 （思判表力）音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを持つことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。 協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして楽しむことができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づいている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりしている。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に楽しく関わり、身の回りの様々な音楽に興味をもっている。 教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして楽もうとしている。	【歌唱】 ・校歌 ☆はるがきた ☆手と手と手と ・こいのぼり ☆ゆかいのまきば ☆ぼくのミックスジュース ☆にじ	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		（知及技） リズム、速度や強弱の違いに気付くことができる。 演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付くことができる。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりすることができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら器楽表現に対する思いをもつことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【器楽】 ☆かえるのがっしょう ☆わだいこをえんそうしよう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		(知及技) 声や身の回りの様々な音の特徴に気づくことができる。 簡単なリズムやパターンの特徴に気づくことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくることができる。 (思判表力) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽遊びを通して音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりすることができる。 (学･人) 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 声や身の回りの様々な音の特徴、簡単なリズムやパターンの特徴に気づくいている。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくろうとしている。 (思･判･表) 音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりすることができている。 ・曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【音楽づくり】 ☆あめの音楽をつくろう 「天気予報をお知らせします」 「あまだれ」	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。

		(知及技) 曲のリズム、速度、旋律に気付くことができる。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付くことができる。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をすることができる。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすることができる。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	(知・技) 曲のリズム、速度、旋律に気付いている。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付いている。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をしている。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりしている。 (思･判･表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【身体表現】 ☆だるまさんがおどった！ ☆たのしいね ・やっほっほ夏休み	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知識) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 （学・人） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	(知・技) リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 (思･判･表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【鑑賞】 ・月桃 ☆子犬のワルツ ・七夕	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを持つことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりしている。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【歌唱】 ☆虫のこえ ・わらべうた	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		（知及技） リズム、速度や強弱の違いに気付くことができる。 演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付くことができる。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりすることができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら器楽表現に対する思いをもつことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【器楽】 ☆わだいこをえんそうしよう ☆村まつり ☆いふうどうどう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。

2学期	28	(知及技) 声や身の回りの様々な音の特徴に気づくことができる。 簡単なリズムやパターンの特徴に気づくことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくることができる。 (思判表力) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽遊びを通して音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりすることができる。 (学･人) 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【音楽づくり】 ☆虫のがっそうたい	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		(知及技) 曲のリズム、速度、旋律に気付くことができる。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付くことができる。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をすることができる。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすることができる。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をみつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技) 思いに合った表現するために必要な技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【身体表現】 ☆あらうま ・もったいないばあさんおんど ☆エイサー ☆山ごやいっけん	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知識) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 （学・人） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	(知・技) リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づいている。 (思･判･表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【鑑賞】 ・オーケストラのがっき	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを持つことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づいている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりしている。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【歌唱】 ☆山びこごっこ ・卒業の歌	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。

3学期	18	（知及技） リズム、速度や強弱の違いに気付くことができる。 演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付くことができる。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりすることができる。 （思判表力） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら器楽表現に対する思いをもつことができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付いている。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりしている。 （思･判･表） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【器楽】 ☆ミッキーマウスマーチ	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		（知及技） 声や身の回りの様々な音の特徴に気づくことができる。 簡単なリズムやパターンの特徴に気づくことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくることができる。 （思判表力） 音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりすることができる。 （学･人） 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） ・様々な音の特徴ｙあ曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付いている。 ・音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくっている。 （思･判･表） ・音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりしている。 （主学） 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【音楽づくり】 ☆がっきでおはなししよう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		（知及技） 曲のリズム、速度、旋律に気付くことができる。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付くことができる。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をすることができる。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすることができる。 （思判表力） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 （学･人） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	（知・技） 曲のリズム、速度、旋律に気付いている。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付いている。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現している。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすしている。 （思･判･表） 簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【身体表現】 ・エイサー ・わらべうた ☆おしくらまんじゅう ・鬼のパンツ	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		（知識） 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 （学・人） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	（知・技） リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 （思･判･表） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【鑑賞】 ☆君が代	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ－Ａ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部 ５学年		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力)造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思・判・表) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	描画 〇いろいろな技法 ・霧吹き（スパッタリング） ・はじき絵（バチック技法） ・マーブリング ・デカルコマニー　など	・霧吹きや網でこすり出した模様の様子を楽しむ。 ・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 〈道具：クレヨン､絵の具、ビー玉、網、ブラシ、霧吹き、ロウ、マーブリング液、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、､新聞紙、段ボール箱、竹串、和紙、浅いバット等〉
		(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思・判・表) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	描画 〇描いてみよう ・自慢の家族 ・自画像を描こう	・いろいろな形や色を見つけ工夫して表す、描きたいものを思いつく、思いついたものを楽しく描く。 ・指や手で描いて形を見つけ工夫して表す、指や手で試しながら表したいことを考える、指や手で描くことを楽しむ。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具、カップ、液体粘土等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができている。 (思・判・表) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（工作） 〇作って飾ろう ・ちょきちょきかざり	・四つ折りや八折りで簡単な形の切り紙をする。 ・丁寧に折る方法やはさみの使い方をあらかじめ確認、練習する。 ・デザインや色を変えながら、2～3つの切り紙を作り、A3サイズに構成してトートバッグの図案をデザインする。もしくは、窓ガラスに貼って楽しむ。重ねて貼ると見え方が変わるのも発見の一つ。 〈道具：はさみ、切り紙の型等〉 〈材料：折り紙、セロテープ、コピー用紙等〉 (教科書：ずがこうさく1･2上 P12～13参考)
2学期	25	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わっている。	(知・技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わろうとしている。	描画 〇感じたこと、見たことを描こう ・読書感想画を描こう	・生活の中で見たことや感じたこと、体験したことを描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等〉
		(知及技) 写してできる形に気付き工夫して描くことができる。 (思判表力) 自分の感覚や行為を通して、どのように表すか考えたり形や色について自分のイメージを持つことができる。 (学･人) 楽しく図工の活動に取り組み、表現や工夫す刷ることの楽しさを味わうことができる。	(知・技)) 写してできる形に気付き工夫して描くことができている。 (思・判・表) 自分の感覚や行為を通して、どのように表すか考えたり形や色について自分のイメージを持つことができている。 (主学) 楽しく図工の活動に取り組み、表現や工夫す刷ることの楽しさを味わうことができている。	版画 〇写してみよう ・コログラフ ・コラージュ版画	・厚紙等に紙、布、ひも、植物の葉など様々な物を貼り、スプレーペンキでコーティングするかアルミホイルで覆うかして版を作る。 ・黒インク・プレス機で刷る。薄めに溶いた透明水彩・アクリル・インクなどで彩色し、印象の違いを確認する。 〈道具：接着剤、アルミホイルまたはスプーレーペンキ、プレス機、スポンジローラー、ぞうきん等〉 〈材料：厚紙、布、紙、ひもなど貼り付ける物、和紙、新聞紙 水性インクかアクリル絵の具等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	描画 〇感じたこと、見たことを描こう ・宿泊学習の思い出を描こう	・生活の中で見たことや感じたこと、体験したことを描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等〉

		(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形・色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料に触れ表したいことを思いついたり、表し方の面白さを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形・色などの感じに気付くことができている。 (思・判・表) 材料に触れ表したいことを思いついたり、表し方の面白さを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しんでいる。	作る（粘土） 〇ねんどでつくろう ・つるす飾り	紙粘土（ふわふわ軽い方）をちぎって団子をたくさん作る。爪楊枝に刺し、発泡スチロールにさして乾燥させ、その後水性ペンや水彩絵の具で着色。爪楊枝を抜いた穴からワイヤー（3メートルくらい）をとおし、全部通したら曲げて好みの形に仕上げる。天井からつるす。 〈道具:ペンチ、爪楊枝、水性ペン、水彩用具、爪楊枝、発泡スチロールのかたまり等〉 〈材料：ふわっと軽い紙粘土、アルミワイヤー等〉
3学期	20	(知及技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり、作品を作ったりするとともに、自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる (思判表力) 材料や、創造したことなどから表したいことを思いついたり、色や形などから自分のイメージを持つことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり、作品を作ったりするとともに、自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができている。 (思・判・表) 材料や、創造したことなどから表したいことを思いついたり、色や形などから自分のイメージを持つことができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（工作） 〇作ってあそぼう ・かみざら ころころ	・紙皿を空き箱や紙の筒に付けると、転がる形になり、それらに色付けしたり飾りを付けたりする。 〈道具：のり、はさみ、カッター、ボンド、テープ等〉 〈材料：色画用紙、新聞紙、紙皿、紙コップ、お菓子の箱等〉 (教科書：ずがこうさく1･2上 P50～50参考)
		(知及技) 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 形や色などの感じを基に，自分のイメージをもつことができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じに気付こうとしている。 (思・判・表) 形や色などの感じを基に，自分のイメージをもとうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	描画 〇協力してつくろう ・卒業式の壁面を作ろう	・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。卒業式をイメージした絵を描いたり、花などのイラストの塗り絵をしたりして張り付ける。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具、スタンプ､ローラー、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、模造紙､新聞紙等〉
		(知及技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り，自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学･人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとする。	(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付こうとしている。 (思・判・表) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り，自分の見方や感じ方を広げることができる。 (主学) つくりだす喜びを味わい、進んで鑑賞活動に取り組もうとしている。	鑑賞 〇見てみよう ・ふりかえり ・作品集づくり	・1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。作った作品集を発表し、自分や友だちの作品の良さ伝え合う。 ・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分の友だちの作品の良さを感じる。
留意点 引継ぎ等		描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）			

令和８年度　小学部５年（Ⅱ課程-A）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	５学年		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができる。（小３段階）
(思判表力)
基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階）
(学･人)
きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく運動したり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに、自分から健康に必要な事柄をしようとする。（小３段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 基本的な体つくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) 基本的な体つくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体つくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 基本的な体つくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思･判･表) 基本的な体つくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体つくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【多様な動きをつくる運動】 ・体のバランスをとる運動 ・力試しの運動 ・かけ足	【多様な動きをつくる運動】 ・後ろ歩き、横歩きなどいろいろな歩き方、リズムに合わせて行進する ・立った姿勢からリズムよくはねながら、右回り・左回りに回転など ・押し合いずもうで、重心を低くして相手を押したり、相手から押されないように踏ん張ったりする ・友達と手をつないだり肩を組んだり背中を合わせたりして、立ったり座ったりする ・無理のない速さでかけ足を３～４分程度続ける(児童の能力等に応じて適切な時間を設定)
	10	(知及技) 器械・器具を使っての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 器械・器具を使っての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思･判･表) 器械・器具を使っての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【マットを使った基本的な運動】 ・連続横転がり ・ゆりかご、前転がり、前転	【マットを使った基本的な運動】 ・手を上に上げ体をまっすぐ伸ばした状態でマットの上に寝転がり、連続してまっすぐ横転がりをする ・しゃがんだ姿勢から手で支えながら腰を上げ、体を丸めながら後頭部-背中-尻-足裏の順にマットに接して前方に回転し立ち上がる
	10	(知及技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思･判･表) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【水の中での運動】 ・バブリングやボビング ・ばた足やかえる足 ・水中ゲーム　など	【バブリングやボビング】 ・大きく息を吸ってもぐり、水中で息を止めたり吐いたりする ・息を止めてもぐり、口や鼻から少しずつ息を吐きながら水面まで跳びあがって息をまとめて吐いた後、空中ですぐに吸ってまたもぐる ・頭の上に手を挙げながら（膝を曲げて）もぐり、手をさげながら（膝を伸ばして）跳び上がる動きを繰り返す 【ばた足やかえる足】 ・壁や補助具につかまり、ももの付け根からのばた足・足の裏で水を押すかえる足

2学期	13	(知及技) 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動 きを身に付けようとしている。 (思･判･表) 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【走る運動】 ・一定の速さで走る ・30～50m程度の距離を全力で走る ・ジグザグ、Ｓ字のレーン ・リレー　など 【跳ぶ運動】 ・ライン、ラダー ・ケンパー ・ゴムひも、縄、縄とび　など	【走る運動】 ・3～4分程度の時間を一定の速さでゆっくり走る ・30～50m程度の距離を全力で走る ・ジグザグ、Ｓ字のレーン、リレーなどで走る 【跳ぶ運動】 ・ケンパー跳びで片足や両足で連続して前方に跳ぶ ・輪や段ボールなどの低い障害物を使って、走る運動と合わせながら、助走をつけて勢いよく飛び超える
	7	(知及技) 基本的な表現運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付け，表現したり踊ったりすることができる。（小３段階） (思判表力) 基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 基本的な表現運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付け，表現したり踊ったりしている。 (思･判･表) 基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【表現運動】 ・リズムと動き「ロックやサンバ」	【リズムと動き】 ・ロックやサンバなど弾んで踊れる軽快なリズムの曲（リズムに乗って，スキップなどで弾む動きを中心に，ねじる，回る，移動するなどの動きを繰り返して踊る） ・友達と手をつないだり，友達の真似をしたりして踊る ・友達と向かい合って手をつなぎ，スキップしながら回ったり，ねじったり，手を叩き合ったりして踊る
	5	(知及技) 健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身につけることができる。（小３段階） (思判表力) 健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階）	(知・技) 健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本 的な知識や技能を身につけようとしている。 (思･判･表) 健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【健康な生活】 【身体の成長】	・発熱や咳、排便の状態などについて自分から意識する ・治療や休養が必要である場合には、知らせる ・身体測定の結果や身体の変化などから、自分の身体の成長に関心をもつ ・むし歯の予防 ・健康な生活に関わる事象から課題を見付ける ・健康な生活を実現するために解決の方法を考え、それを実践すること ・自分や友達のけがや体調の変化を教師等に告げる ・病気やけがをしたときは、教師に伝え、落ち着いて簡単な手当を受ける
3学期	20	(知及技) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。 （小３段階）	(知・技) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けようとしている。 (思･判･表) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【ボールを使った基本的な運動】 ・友達とのキャッチボール ・パスやシュート ・ドリブル 【ボールを使ったゲーム】 ・シュートゲーム ・ドッジボール ・ベースボール型ゲーム 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 ・しっぽ取り ・色鬼 ・宝とり	【ボールを使ったゲーム】 ・的当てゲームを発展したシュートゲーム ・ボールを転がしたり，投げたりする円形ドッジボール ・攻めがボールを手で打ったり蹴ったりして行うベースボール型ゲーム 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 ・しっぽ取りゲーム
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部５年　道徳科（Ⅱ課程Ａ・Ｂ） 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 ５学年		

中心目標	◎人と関わりながら生活するために必要な道徳的価値の存在に気付き、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 〇自分なりにしてみたいことを見つけ、活動に取り組もうとする意欲をもつ。 〇よいこととよくないことがあることに気付き、よいとされることをしようとする意欲をもつ。など

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	①自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとする思いをもつこと。	①自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとしている。	【個性の伸長】 ①じこしょうかい ～好きなこと、苦手なこと～	①自己紹介カードを作成し、自分の好きなことや苦手なこと等を考えたり、他者に伝えたりしながら、自分の特徴に気付く。
		②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしたりすること。	②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしている。	【友情，信頼】 ②みんなで遊ぼう	②身近な大人である教師との信頼関係を築き、教師を介して他の子供と関わる。
		③友達と仲良くし、助け合うことの大切さに気付く。	③友達と仲良くするためにどうしたらいいのか気付いている。	③みんな　なかよく	③友達と「仲良くすること」「助けあうこと」「仲直りすること」などを学習する。 （平和学習と関連付ける）
		①生活の上で必要な約束やきまりの意味を考え、それらを守ろうとする気持ちを持つこと。	①約束やきまりの意味を考えたり、それらを守ることの大切さに気付いている。	【規則の尊重】 ①みんなで 守ろう	①「約束、きまりを守ること」「みんなが使う場所を大切にする」「みんなが使う物を大切にすること」を学習する。
		②経験を通して思い通りにいかない場合やよいことよくないことがあることに気付くこと。	②経験を通して思い通りにいかない場合やよいことよくないことがあることに気付こうとしている。	【善悪の判断、自律、自由と責任】 ②よいこととわるいこと	②不安定な感情の表出も受け止め、子供なりに取り組んでいる姿を認めたり、励ましたりする。よい、悪いと毅然として伝える。悪いことをしてしまった際には、傷ついた相手の気持ちを教師が代弁するなど、相手の痛みを感じられるようにする。
		③挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとすること。	③挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとしている。	【礼儀】 ③あいさつ	②教師が笑顔で温かく迎えることを通して、挨拶を通して人と関わることの心地よさや楽しさを感じられるようにする。
		④自分の気持ちに気付き、相手に伝えること。	④自分の気持ちに気付き、相手に伝えようとすること。	【相互理解、寛容】 ④平和教育	③身近に起こったこと（喧嘩など）を題材にしながら「ごめんなさい」や「ありがとう」を一緒に伝える（平和学習と関連付ける）。
		①身近な自然に気付き、動植物に優しく接する気持ちをもつこと。	①身近な自然に気付き、動植物に優しく接しようとする気持ちを持っている。	【自然愛護】 ①しぜんと なかよく	・「自然に親しむこと」 ・「動物に優しく接すること」など ※動植物を実際に見たり、触ったりして様々な感覚を直接的に体験する学習を通して学習する（生活科と関連付ける）。
2学期	13	①自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付く。	①自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付いている。	【希望と勇気、 努力と強い意志】 ①さいごまで がんばる	①係活動や学校行事等を題材にし、「やるべき事をしっかり行う」ことの学習を行う。
		①身の回りを整えることのよさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする思いをもつこと。	①身の回りを整えることのよさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする気持ちを持っている。	【節度、節制】 ①毎日を きもちよく	①②健康や安全に気を付けた生活ができるようにするための基本的な生活習慣を身に付けることを学習する。
		②規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付く。	②規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付いている。	②規則正しい生活	
		①家族など日頃お世話になっている人達に感謝の気持ちを持つこと。	①自分がいろいろな人に支えられていることに気付き、感謝の気持ちを持ち、表現している。	【感謝】 ①いつも ありがとう	①周りの人の善意に気付き、感謝できる気持ちがもてるようにする（勤労感謝の日と関連付ける）。
		②働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようとする思いを持つ。	②働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようという気持ちを持っている。	【勤労、公共の精神】 ②わたしに できること	②大掃除や分担区清掃等を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働くことについて学ぶ（勤労感謝の日と関連づける）。
3学期	9	①自分の誕生を心待ちにしていてくれた家族の思いに気付き、自分を大切にしたいという思いをもつ。	①自分の誕生を心待ちにしていてくれた家族の思いに気付き、自分を大切にしたいという思いをもっている。	【生命の尊さ】 ①大切な いのち	①自分の生まれた時の写真や話などから、自分の生命は家族や周囲の人たちに守られてきたこと、そして自らの生命を大切にしたいという気持ちを高める学習（十三祝いと関連付ける）。
		②家族など日頃お世話になっている人達に感謝の気持ちを持つこと。	②自分がいろいろな人に支えられていることに気付き、感謝の気持ちを持ち、表現している。	【感謝】 ②いつも ありがとう	②周りの人の善意に気付き、感謝できる気持ちがもてるようにする（十三祝いと関連付ける）。
		③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみを持つこと。	③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみを持とうとしている。	C【伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】 お正月、節分など	③お正月遊びや節分などの遊びを楽しめるように教材や場の工夫をする。

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ課程-A・B）　外国語活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 ５学年		Let's try!1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学･人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 (学･人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	(知・技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	あいさつをして友達になろう ごきげんいかが？ いろんな国のあいさつ	①歌 ・「Hallo　song」 ・「Goodbye　song」 ②アクティビティ ・英語のあいさつをして名刺を渡そう ・イースターエッグを探そう ・友達とご機嫌いかが？を聞き合おう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super　Simple　Song
	4	（知及技） 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	（知・技） 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	自己紹介をしよう すうじ すごろくゲーム	①歌 ・「Hallo　song」 ・「Goodbye　song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹介をしよう ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ボールを持っている人が自己紹介 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super　Simple　Song
	4	（知及技） 日本語と英語の音声と違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声と違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・好きなものはなあに？ （色、食べ物）	歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 よく聴いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs

2学期	4	（知及技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れ親しむ。 （思判表力） 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えたりする。 （学・人） なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとする。	（知及技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れようとしている。 （思判表力） 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えようとしている。 （学・人） なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとしている。	・好きなものはなあに？ （いろいろな遊び） ・ハロウィンを楽しもう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト （おばけ、魔女、くも） ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット（色、食べ物） ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs
	4	（知及技） 動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。 （思判表力） 絵を見て、なるべく一人で考えて相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりする。 （学・人） なるべく一人で考えて動きの言葉を言おうとする。	（知及技） 動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しもうとしている。 （思判表力） 絵を見て、なるべく一人で考えて相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりしようとしている。 （学・人） なるべく一人で考えて動きの言葉を言おうとしている。	動いてみよう （速く、ゆっくり）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Action song」 ・「Walking Walking」 ②アクティビティ ・だるまさんが〇〇 walk,jump,stop,sit,run,fast,slowlyを聞き分けて動く。 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「きらきら星」
	4	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （思判表力） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （思・判・表） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	クリスマスだよ	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Jinge Bell」 ・「Hello Reindeer,Goodbye Snowmon」 -Super Simple Songs- ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム～クリスマスに関する～ （リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト） ・英語でフルーツバスケット （クリスマスに関する単語） ③フォニックス ④ダンス ・「きらきら星」

3学期	4	（知及技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 （学・人） 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	（知・技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 （主・学） 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	アルファベットと仲良し（ABCD）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかるた(アルファベットカード使用) ・よく聞いて身体表現しよう （T,O,I,L,M,S,V,X,H）等 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	4	（知及技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 （学・人） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	（知・技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 （主・学） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	この人はだれ？（家族の紹介）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム【1人～複数人】 （よく聞いて、絵カードを指すゲーム） ・絵本の読み聞かせ 「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	3	（知及技） 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞いたりすることができる。 （学・人） 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとする。	（知及技） 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しもうとしている。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞こうとしたりしている。 （学・人） 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとしている。	私の1日を紹介しよう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム （カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。） ③フォニックス ④ダンス ・「１年間のダンスの中から選択」
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ－Ａ）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部５学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持とうとしている。	・今日から５年生！！ （学年・学級開き） ・１学期頑張ろう会	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		・学級目標や１学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ることができる。	・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ろうとしている。	・図書室オリエンレーション	・図書室の使い方や決まりについて知り、図書室を利用する。
		・学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	・係活動を決めよう	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・ようこそ島尻へ	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・近隣校等の友達と交流することができる。	・近隣校等の友達と交流しようとしている。	・交流学習（白川小）	・交流学習を通して、近隣校等の友達と交流する。
		・１学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・１学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・１学期頑張った会	・１学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
2学期	13	・２学期の個人目標を考えることができる。	・２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・２学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・２学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・２学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・２学期頑張った会	・２学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・冬休みの過ごし方	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。

3学期	8	・３学期の個人目標を考えることができる。	・３学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶことができる。	・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぼうとしている。	・児童会について ・児童会役員を選ぼう （学年選挙）	・児童会の取り組みを知り、立候補や演説をしたり、応援したい友達を投票で選ぶ。
		・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組もうとしていた。	・卒業おめでとう	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・３学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・３学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート）	・目標を振り返り、できたか振り返る。
		・１年間を振り返り、次の学年への期待を持つことができる。	・１年間を振り返りながら、次の学年への期待を持とうとしている。	・もうすぐ６年生	・１年間の学習や行事を振り返り、次の学年への期待を持つ。
		・春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・春休みに向けて	・春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。
留意点 引継ぎ等					

5年生

Ⅱ－B課程

令和７年度　小学部５年（Ⅱ課程）　生活科

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部５学年		文科省著作教科書　☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	カ　役割 〇かかりのしごと ・きゅうしょくをくばろう ・ポスターをはろう	【集団参加や集団内での役割】 ・積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。様々な役割があることを知り、他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。
	7	(知及技)日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力)日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学･人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技)日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表)日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇めざせ！生きものはかせ ・生きものをさがそう・かんさつしよう ・生きもののひみつはっ見！ ・生きものずかん ・つたえよう 〇草花や木のはであそぼう ・はる・なつ	【動物の飼育】 ・身近にいる昆虫、魚等を飼育し、観察をする。外敵の防止や気温の変化等に十分配慮する。 【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉を集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	3	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 〇おてつだいをしよう 〇そうじをしよう	【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【戸締まり】 ・窓の開閉や鍵の開け閉めが、いつ、どのようなときに必要なのか理解する。開閉の意味やタイミングなどを聞き、手伝いを習慣化させる。 【掃除】 ・分担された場所の掃除をする。それぞれの場所に適した掃除の方法や手順、用具の使い方などを身に付ける。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇あんぜんにくらそう ・あっ！あぶない！ 〇じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう ・「こんなときどうする？」 ～火じになったら～	【危険防止】 ･火事になったなったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・火災避難訓練 ※訓練と連携し取り組む

	4	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇しらべてみよう ・わたしたちのまち ・しょうひんはどこからきたかな	【いろいろな店】 ・絵や文字、写真などを使って地図上に表現する地域マップづくり。教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ。 【社会の様子】 ・絵や文字、写真などを使って地図上に表現する地域マップづくり。教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ。 ・自分が住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもち、およその名称などを知るとともに、自分の生活との関連について知る。
	3	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇わたしとかぞく ・かぞくをしょうかいしよう	【自分自身と家族】 ・自分自身や祖父母について、仕事や関係などにも触れて簡単に話したり紹介したりする。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇あんぜんに　くらそう ・気をつけてちょうりきぐをつかおう	【危険防止】 ･実際の道具を見たり触ったりしながら、正しい使用の仕方と誤った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気を付けるべき部分などについて考え、意見を出し合う。
	2	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	キ　手伝い・仕事 〇ホットケーキづくりをてつだおう	【手伝い】 ・簡単な調理を通して、準備、片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。
	6	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとすることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ア　基本的生活習慣 〇一人でやってみよう ・ねるときのじゅんびかたづけ ・おふろ	【ねるときのじゅんび・かたづけ】 ・就寝前や起床後に行う活動（布団を敷く、布団を畳む）。 ・就寝前（起床後）の活動を家庭における役割として位置づけ、毎日継続的に取り組むことで習慣化を図る。 【おふろ】 ・入浴の際の身体を洗う手順。体の汚れを知る。体の洗い方を知り、動きを模倣する。
	3	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学･人) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動している。 (主学) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇じぶんのものひとのもの ・ものをかりるとき ・おとしものをひろったとき	【自分の物と他人の物の区別】 ・物を適切な方法で貸し借りする。落とし物を拾ったときの対処。
	3	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇わたしのまわりの人 ・わたしのかぞく、きんじょの人	【家族・親戚・近所の人】 ・家族や親戚、近所の人々の名前を言ったり、家族の職業や身近に見られる職業がわかったりする。

学期	25	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇しょくぶつをそだてよう ・たねをまこう ・そだてよう	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。
	3	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学・人) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動している。 (主学) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ケ　きまり 〇せいかつのなかのきまり ・としょかんやこうえんなどをつかうときのきまり ・のりものをつかうときのきまり	【日常生活のきまり】 ・公共施設や公共機関を利用する際のきまり守る。非常用設備について、使用法や役割を理解する。 【マナー】 ・バスやモノレール、病院や図書館など公共の場では静かにする等のマナーを理由とともに知る。
	3	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ　安全 〇じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう ・「こんなとき、どうする？」～じしんがおきたら～	【危険防止】 ・地震になったなったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・地震火災津波避難訓練 ※訓練と連携し取り組む
	3	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学・人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇きもちをつたえよう ・いろいろな気持ち ・気持ちを込めて	【気持ちを伝える対応】 ・御礼や謝罪などの気持ちを相手に理解してもらえるよう、気持ちを込めて言う。
	3	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇草木や木のはであそぼう ・あき・ふゆ	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
3学	3	(知及技) 金銭の扱い方などの知識や技能ををを身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れることができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能ををを身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れている。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ク　金銭の扱い 〇かいもの ・どこでなにをうっているかな ・かいものにちょうせんしよう	【買い物】 ・自分で目的に応じて買い物をする。買い物に必要な言葉を使う、簡単なおつりのある買い物をする、値札を見て買い物をする、レジの場所が分かり、代金を支払う。 【自動販売機の利用】 ・簡単な自動券売機などを自分で利用する。
	4	(知及技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 〇かぜやゴムの力でうごかそう ・かぜの力でうごかそう ・ゴムの力でうごかそう	【風やゴムの力の働き】 ・風の大きさを変えると物が動く様子も変わることに気づく。（風で動く車） 【ゴムの力の働き】 ・ゴムの力の大きさを変えると物が動く様子も変わることに気づく。（発射装置とゴムの力で動く車）

学期	4	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇町ではたらく人にあいにいこう ・町のあんぜんをまもるために ・はたらく人たち	【公共施設の利用】 ・警察署や消防署、郵便局などを実際に訪問したり、見学したりして、おおよその意味を分かる。
	2	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇でんわやおきゃくさまへのたいおう ・でんわのとりつぎ ・おきゃくさまへのたいおう	【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客時に、適切に取り次ぎする。構内に設置してある電話を活用し、児童が率先して取り次ぐ。
年間を通して	60	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとすることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ア　基本的生活習慣 〇一人でやってみよう！ ・みだしなみ ・せいりせいとん ・きゅうしょくのじゅんび・かたづけ ・せんたく ・いろいろなトイレ	【身なり】袖口や襟もと、すそ等、身だしなみを整える。 【身の回りの整理】 ・靴や衣服、カバンや文具などの収納方法がわかり、整理整頓をする。 【食事】 ・給食の準備や片付けなど友達と協力して行う。 【清潔】 ・簡単な洗濯をする。 【用便】 ・いろいろな種類のトイレの鍵の使用法を知り、自分で用を足す。
	35	(知及技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動することができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動している。 (主学) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ウ　日課・予定 〇よていのかくにん ・一週間の予定 ・予定がかわったよ ・カレンダーでかくにんしよう ・いろいろなカレンダー	【日課・予定】 ・一週間程度の予定が分かり、カレンダーや予定表を見て学校や家庭の予定などに従って行動する。 ・都合により予定が変更する場合に対応する。
	35	(知及技)きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊ぶことができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技)きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊んでいる。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	エ　遊び 〇なかよくあそぼう ・なにしてあそぶ？ ・ルールをまもってあそぼう ・あそびがおわったら ・もっとたのしくできるかな	【いろいろな遊び】 ・友達を誘って何をして遊びたいか話し合う。 ・ルールのある遊びを通して、約束や勝ち負け、役割などを友達と共有する。 ・道具やルールを工夫、改善しながら、遊びをふくらませていく。 （的あてゲーム、お店屋さんごっこ、縄跳び、ボッチャ、ボウリング、椅子取りゲーム、しっぽ取りゲーム、ボール運びゲーム、玉入れなど） ・昔の文化や遊びにふれたり、遊びを通して豊かなコミュニケーションを築いたりする。 （はないちもんめ、とうりゃんせなど） 【遊具の後片付け】 ・自分から進んで準備や後片付けをし、友達を手伝う。
	28	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ　生命・自然 〇しょくぶつをそだてよう ・たねをまこう ・そだてよう	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。

令和8年度 小学部　5年（Ⅱ－Ｂ）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	小学部　５学年（④グループ）		こくご☆、こくご☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに，いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。 (思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合い，自分の思いをもつことができる。 (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力）身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表）身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	ぼくのいちにち ・起床・洗面 ・朝食・公園 ・雨・買い物 ・入浴・就寝	○起床、洗面、朝食、入浴、就寝：絵を見て、自分の経験を思い浮かべ、指さしや動き、言葉などで教師や友達に伝えようとする。 ○公園:絵を見て、児童それぞれが公園で遊んだ経験に照らし合わせ、経験した遊びや好きな遊びを指さしたり動作や言葉で表したりする。 ○雨、買い物：絵を見て、自分の経験を想起しながら、雨の日の場面には雨具を指さしたり言葉で表したりする。買い物の場面では、品物を指さしたり、店舗の方とのやり取りを動きや言葉で楽しみながら表現する。
	24	(知及技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力）身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じようとしている。 (思・判・表）身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	がっこうせいかつ ・あさのかい ・かかり ・こくご ・たいいく ・きゅうしょく ・そうじ	○あさのかい：言葉の学習、学級の日課や予定の確認、挨拶等 ○かかり：言葉の学習、やり取り、話し合い等 ○こくご：図書室、挨拶、絵本、話し合い等 ○たいいく：言葉の学習、やり取り、運動遊びやスポーツの種類等 ○きゅうしょく：言葉の学習、献立名、挨拶、会話等 ○そうじ：清掃用具の名前、言葉と行動の結び付け、言葉の学習等
2学期	15	(知及技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ，言葉が，気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力）体験したことなどについて，伝えたいことを考えることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ，言葉が，気持ちや要求を表していることを感じている。 (思・判・表）体験したことなどについて，伝えたいことを考えている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	どんなきもちかな ・ぶれぜんと ・ころんだ	・ぶれぜんと：プレゼントを「わたすーもらう」場面。場面において想起した気持ちを言葉で伝える。 ・ころんだ：「走るー転ぶ」場面。言葉と気持ち、表情記号。
	24	(知及技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	なまえなあんだ ・あいうえお ・じぶんのなまえともだちのなまえ ・どうぶつ ・おかし ・のりもの ・やさい ・せいかつ ・かお ・からだ ・かげえ	・あいうえお：母音を正しい口形での発音。口形と平仮名、発音。 ・じぶんのなまえともだちのなまえ：僕、私。友達の名前を正しい発音で発音する。 ・どうぶつ：テレビや絵本などで見ることが多い動物。 ・おかし：食べた経験があると思われるお菓子。横書きで表記。 ・のりもの：生活の中で利用したり絵本の中で見たりする身近なん乗り物。 ・やさい：給食や買い物などで見たり食べたりすることが多い野菜。 ・せいかつ：家庭等において見たり使ったりしている家電。 ・かお：人の顔の名称。 ・からだ：人の体の各部の名称。 ・かげえ：実物や絵本等でみたことがあるであろう動物や昆虫、魚を題材にした影絵。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。

3学期	12	(知及技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力）文字に興味をもち、書こうとすること。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知及技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ろうとしている。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ろうとしている。 (思判表力）文字に興味をもち、書こうとしている。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	かいてみよう	○書いて表現することへの興味・関心を高めながら、書くことに親しみ、運筆への基本動作を身に着けていく。 ○伝え合う手段として文字があることに気付き、教師が文字を書く様子を見ようとしたり、身の回りにある様々な文字に対して指差しをしたりして、児童の文字への興味が徐々に高まっていく。 ○なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。
	9	(知及技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思判表力）教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 (思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て，登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学）言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ひらがなをよんでみよう ・ごじゅうおん ・あいうえお～わをん	・ごじゅうおん：あいうえお五十音。 ・あいうえお～わをん：各文字を冒頭にもつ身近なものの名前を絵と平仮名によって示している。
年間を通して	44	(知及技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学）言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おはなしの世界 ・絵本 ・パネルシアター ・ペープサート　等	○様々な「おはなし」の読み聞かせに注目し、絵本、紙芝居、 ペープサート、写真等に興味をもつ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度　小学部　5年（Ⅱ課程B）算数科②グループ　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部　5学年（②グループ）		文科省著作教科書　☆☆、☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養うことができる。 (学･人) ・数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	19	(知及技）加法が用いられる合併や増加等の場合について理解ができる。 ・加法が用いられている場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 (思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	（知及技）加法が用いられる合併や増加等の場合について理解している。 ・加法が用いられている場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 (思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 いくつといくつ①②③④ ・いくつといくつ⑤⑥ ・10はいくつといくつ（☆☆） 合併と増加 10までの数の加法	・あわせていくつ：「あわせて」が分かる。（具体物を操作しながら）二つの集合を合わせた集合の要素の個数を求める演算について分かる。 ・ふえるといくつ：「ふえると」等の加法の言葉が分かる。 ・しきをつくりましょう：「＋」「＝」の記号の意味が分かる。 ・10までの数のたしざん：1位数と1位数との繰り上がりのない加法計算の仕方が分かる。加法の式を読んで、加法が用いられる具体的な場面を表す。
	16	(知及技）減法が用いられる求残や減少等の場合について理解できる。 ・減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 (思判表力))日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知及技）減法が用いられる求残や減少等の場合について理解している。 ・減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしようとしている。 (思判表力))日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 求残 10までの数の減法	・のこりはいくつ①②：「減らす」など具体的な操作を通して用語の使い方や減少を意識する。 ・ちがいはいくつ：具体的な操作を通して二つの数の「どちらが」「いくつ」多いか少ないかの違いに着目したり用語を使ったりする。 ・しきをつくりましょう：「−」「＝」の記号の意味が分かる。引き算の場面を式に表す。 ・10までの数のひきざん：1位数と1位数との繰り下がりのない減法計算の仕方が分かる。減法が用いられる具体的な場面を表す。
	6	(知及技）前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 (思判表力)身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。 (学･人)図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表そうとしている。 (思判表力)身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えようとしている。 (主学)図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 ものの位置を表す言葉	・まえとうしろ①②：自分を中心とした位置について理解する。 ・上と下：基準となる物の「上」と「下」について理解する。 ・中とそと：中と外の位置関係に気づく。 ・右、左：右と左を理解する。
	7	(知及技）具体物を分配したり等分したりすることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知及技）具体物を分配したり等分したりしようとしている。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 分配	・おなじかずにわけましょう（ふたりでわけましょう）：具体物が一つずつ分ける。 ・おなじかずにわけましょう①：具体物を一つずつ分ける。等分したことが分かる。 ・おなじかずにわけましょう②：2等分、4等分したり、一つを等分したりする。
	16	(知及技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かすことができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知・技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしようとしている。 (思･判･表)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 20までの整数の表し方	・10より大きいかず：10より大きい数の読み方を知る。 ・10といくつ①：10進位取り記数法の基礎となる10のまとまりと「そのほかにあといくつ」に分ける。 ・10といくつ②：10より大きい数の読み書き。 ・10より大きい数：10より大きい数を書く。

2学期	5	(知及技）数える対象を２ずつ５ずつのまとまりで数えることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知及技）数える対象を２ずつ５ずつのまとまりで数えようとしている。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 ・まとめてかぞえましょう	・２ずつかぞえましょう：指などを使い、「に」「し」「ろく」とまとまりを意識しながら学習にする。 ・５ずつかぞえましょう：５飛びの数唱や５ずつのまとまりで数える。
	10	(知及技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。 (思判表力)身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。 (学･人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較しようとしている。 (思判表力)身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定（直接比較・間接比較） ながい・みじかい	・ながい、みじかい①：基準に対して「長い」「短い」を比べる。 ・ながい、みじかい②：具体物を直接比較して「長い」「短い」が分かる。 ・ながさをくらべましょう①：片方の端をそろえて比べる。 ・ながさをくらべましょう②：3量以上の長短について、2量ずつ比べて3量以上の長短を判断する。 ・ながさをくらべましょう③：直接比較できないとの比べ方（テープに写し取る）が分かる。
	14	(知及技）日常生活の中で時刻を読むことができる。 ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解することができる。 (思判表力)時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結びつけて表現することができる。 (学･人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）日常生活の中で時刻を読もうとしている。 ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解しようとしている。 (思判表力)時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結びつけて表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定 時刻や時間	・学校のせいかつ：「○時」の読み方、「○○：○○」の書き方を含め、時計に慣れる。 ・ながいはり、みじかいはり：時計には長針、短針があることを知る。また、長針が一周したら1時間分進むことに気づく。 ・ながいはり：10分刻みの時刻を読み取る。 ・みじかいはり：○時を読み取る。○時を表す扇形に注目する。
	7	(知及技）お金の種類、数え方、等価関係などについて理解することができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (学･人)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）数を十を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解しようとしている。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (主学)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算 かいものをしましょう①	・お金の種類を弁別することができる（1円、5円、10円）。 ・1円硬貨10枚までの金額を数えることができる。 ・10円と1円10枚、5円と1円5枚の等価関係が分かる。 ・何枚かの十円硬貨で買えないときもう１枚出して買う。 ・値段にちょうどのお金を用意して買う。 ※校外学習にて、体験的な活動を行う。
3学期	14	(知及技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かすことができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知・技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしようとしている。 (思･判･表)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 数の大小の比較	・20までの数の大小①：具体物や半具体物を活用し、数の比較を行う。 ・20までの数の大小②：半具体物を頼りに数の大小比較を行う。 ・20までの数の大小③：2位数と1位数の比較を具体物の比較で行う。 ・20までの数の大小④：数字同士で数の比較を行う。
	11	(知及技）ものとものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすることができる。 ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ることができる。 (思判表力)個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。 (学･人)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさをを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）ものとものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりしようとしている。 ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ろうとしている。 (思判表力)個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさをを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用 ・数やデータを図や記号で表そう	・ひょうをつくりましょう①②：ボウリングなどのゲームを通して、結果を記号に置き換えて表に表す。個数に着目して表に整理する。
	15	(知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 (思判表力)身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 ・身の回りにあるものの形を図形として取られることができる。 (学･人))図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えようとしている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 (思･判･表)身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 ・身の回りにあるものの形を図形として取らえようとしている。 (主学)図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 いろいろなかたち①②（☆☆） かたちあそび	・空き缶や空き箱を積んだりしながら、形の特徴を理解できるようにする。 ・箱や容器などの面の形を写し取り、絵を描く。 ・写し取ったものを使って絵を描く。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ課程-A・B）　音楽　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部５学年		音楽☆☆☆、他

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 （思判表力）音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを持つことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。 協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして楽しむことができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づいている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりしている。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に楽しく関わり、身の回りの様々な音楽に興味をもっている。 教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして楽もうとしている。	【歌唱】 ・校歌 ☆はるがきた ☆手と手と手と ・こいのぼり ☆ゆかいのまきば ☆ぼくのミックスジュース ☆にじ	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		（知及技） リズム、速度や強弱の違いに気付くことができる。 演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付くことができる。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりすることができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら器楽表現に対する思いをもつことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【器楽】 ☆かえるのがっしょう ☆わだいこをえんそうしよう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		(知及技) 声や身の回りの様々な音の特徴に気づくことができる。 簡単なリズムやパターンの特徴に気づくことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくることができる。 (思判表力) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽遊びを通して音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりすることができる。 (学･人) 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 声や身の回りの様々な音の特徴、簡単なリズムやパターンの特徴に気づくいている。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくろうとしている。 (思･判･表) 音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりすることができている。 ・曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【音楽づくり】 ☆あめの音楽をつくろう 「天気予報をお知らせします」 「あまだれ」	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。

		(知及技) 曲のリズム、速度、旋律に気付くことができる。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付くことができる。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をすることができる。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすることができる。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	(知・技) 曲のリズム、速度、旋律に気付いている。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付いている。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をしている。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりしている。 (思･判･表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【身体表現】 ☆だるまさんがおどった！ ☆たのしいね ・やっほっほ夏休み	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知識) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 （学・人） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	(知・技) リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 (思･判･表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【鑑賞】 ・月桃 ☆子犬のワルツ ・七夕	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを持つことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりしている。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【歌唱】 ☆虫のこえ ・わらべうた	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		（知及技） リズム、速度や強弱の違いに気付くことができる。 演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付くことができる。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりすることができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら器楽表現に対する思いをもつことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【器楽】 ☆わだいこをえんそうしよう ☆村まつり ☆いふうどうどう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。

2学期	28	(知及技) 声や身の回りの様々な音の特徴に気づくことができる。 簡単なリズムやパターンの特徴に気づくことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくることができる。 (思判表力) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽遊びを通して音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりすることができる。 (学･人) 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【音楽づくり】 ☆虫のがっそうたい	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		(知及技) 曲のリズム、速度、旋律に気付くことができる。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付くことができる。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をすることができる。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすることができる。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をみつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技) 思いに合った表現するために必要な技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【身体表現】 ☆あらうま ・もったいないばあさんおんど ☆エイサー ☆山ごやいっけん	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知識) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 （学・人） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	(知・技) リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づいている。 (思･判･表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【鑑賞】 ・オーケストラのがっき	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを持つことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づいている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりしている。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【歌唱】 ☆山びこごっこ ・卒業の歌	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。

3学期	18	（知及技） リズム、速度や強弱の違いに気付くことができる。 演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付くことができる。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりすることができる。 （思判表力） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら器楽表現に対する思いをもつことができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付いている。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりしている。 （思･判･表） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【器楽】 ☆ミッキーマウスマーチ	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		（知及技） 声や身の回りの様々な音の特徴に気づくことができる。 簡単なリズムやパターンの特徴に気づくことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくることができる。 （思判表力） 音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりすることができる。 （学･人） 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） ・様々な音の特徴ｙあ曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付いている。 ・音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくっている。 （思･判･表） ・音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくかについて思いをもったりしている。 （主学） 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【音楽づくり】 ☆がっきでおはなししよう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		（知及技） 曲のリズム、速度、旋律に気付くことができる。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付くことができる。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をすることができる。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすることができる。 （思判表力） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 （学･人） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	（知・技） 曲のリズム、速度、旋律に気付いている。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付いている。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現している。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすしている。 （思･判･表） 簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【身体表現】 ・エイサー ・わらべうた ☆おしくらまんじゅう ・鬼のパンツ	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		（知識） 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 （学・人） 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	（知・技） リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 （思･判･表） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【鑑賞】 ☆君が代	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ－Ｂ）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部 ５学年		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力)造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる. (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思・判・表) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	描画 〇いろいろな技法 ・霧吹き（スパッタリング） ・はじき絵（バチック技法） ・マーブリング ・デカルコマニー　など	・霧吹きや網でこすり出した模様の様子を楽しむ。 ・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 〈道具：クレヨン､絵の具、ビー玉、網、ブラシ、霧吹き、ロウ、マーブリング液、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、､新聞紙、段ボール箱、竹串、和紙、浅いバット等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができている。 (思・判・表) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 〇描いてみよう ・自慢の家族 ・自画像を描こう 工作 〇好きな絵や写真を貼ってみよう ・コラージュ	・好きなイラストを選んだり、好きな場所の写真を撮ったりしたものを好きなように貼り付ける。 ・貼る場所や重ね方を自分なに工夫する。 〈道具：のり、ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：イラスト、写真、画用紙、色画用紙、新聞紙等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができている。 (思・判・表) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（工作） 〇作って飾ろう ・ちょきちょきかざり	・四つ折りや八折りで簡単な形の切り紙をする。 ・丁寧に折る方法やはさみの使い方をあらかじめ確認、練習する。 ・デザインや色を変えながら、2~3つの切り紙を作り、A3サイズに構成してトートバッグの図案をデザインする。もしくは、窓ガラスに貼って楽しむ。重ねて貼ると見え方が変わるのも発見の一つ。 〈道具：はさみ、切り紙の型等〉 〈材料：折り紙、セロテープ、コピー用紙等〉 (教科書：ずがこうさく1･2上 P12~13参考)
2		(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わっている。	(知・技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わろうとしている。	描画 〇感じたこと、見たことを描こう ・読書感想画を描こう	・生活の中で見たことや感じたこと、体験したことを描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等〉
		(知及技) 写してできる形に気付き工夫して描くことができる。 (思判表力) 自分の感覚や行為を通して、どのように表すか考えたり形や色について自分のイメージを持つことができる。 (学･人) 楽しく図工の活動に取り組み、表現や工夫す刷ることの楽しさを味わうことができる。	(知・技)) 写してできる形に気付き工夫して描くことができている。 (思・判・表) 自分の感覚や行為を通して、どのように表すか考えたり形や色について自分のイメージを持つことができている。 (主学) 楽しく図工の活動に取り組み、表現や工夫す刷ることの楽しさを味わうことができている。	版画 〇写してみよう ・コログラフ ・コラージュ版画	・厚紙等に紙、布、ひも、植物の葉など様々な物を貼り、スプレーペンキでコーティングするかアルミホイルで覆うかして版を作る。 ・黒インク・プレス機で刷る。薄めに溶いた透明水彩・アクリル・インクなどで彩色し、印象の違いを確認する。 〈道具：接着剤、アルミホイルまたはスプーレーペンキ、プレス機、スポンジローラー、ぞうきん等〉 〈材料：厚紙、布、紙、ひもなど貼り付ける物、和紙、新聞紙 水性インクかアクリル絵の具等〉

学期	25	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	描画 〇感じたこと、見たことを描こう ・宿泊学習の思い出を描こう	・生活の中で見たことや感じたこと、体験したことを描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して､素材の特徴や形・色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料に触れ表したいことを思いついたり、表し方の面白さを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して､素材の特徴や形・色などの感じに気付くことができている。 (思・判・表) 材料に触れ表したいことを思いついたり、表し方の面白さを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しんでいる。	作る（粘土） 〇ねんどでつくろう ・つるす飾り	・紙粘土（ふわふわ軽い方）をちぎって団子をたくさん作る。爪楊枝に刺し、発泡スチロールにさして乾燥させ、その後水性ペンや水彩絵の具で着色。爪楊枝を抜いた穴からワイヤー（3メートルくらい）をとおし、全部通したら曲げて好みの形に仕上げる。天井からつるす。 〈道具:ペンチ、爪楊枝、水性ペン、水彩用具、爪楊枝、発泡スチロールのかたまり等〉 〈材料：ふわっと軽い紙粘土、アルミワイヤー等〉
3学期	20	(知及技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり､作品を作ったりするとともに、自分の感覚や行為を通して､形や色などの感じに気付くことができる (思判表力) 材料や､創造したことなどから表したいことを思いついたり、色や形などから自分のイメージを持つことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり､作品を作ったりするとともに、自分の感覚や行為を通して､形や色などの感じに気付くことができている。 (思・判・表) 材料や､創造したことなどから表したいことを思いついたり、色や形などから自分のイメージを持つことができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（工作） 〇作ってあそぼう ・まるめて・ちぎって・やぶいて・はって （くしゅくしゅぎゅぎゅ）	・破れにくい大きな紙をくしゅくしゅして好きな形にしたり、飾りを付けたりする。 〈道具：のり、はさみ、カッター、ボンド、テープ等〉 〈材料：花紙、折り紙、ひも等〉
		(知及技) 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 形や色などの感じを基に，自分のイメージをもつことができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じに気付こうとしている。 (思・判・表) 形や色などの感じを基に，自分のイメージをもとうとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	描画 〇協力してつくろう ・卒業式の壁面を作ろう	・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。卒業式をイメージした絵を描いたり、花などのイラストの塗り絵をしたりして張り付ける。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具、スタンプ、ローラー、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、模造紙､新聞紙等〉
		(知及技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り，自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学･人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとする。	(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見る、手で触れるなどして形や色などの違いに気付こうとしている。 (思・判・表) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り，自分の見方や感じ方を広げることができる。 (主学) つくりだす喜びを味わい、進んで鑑賞活動に取り組もうとしている。	鑑賞 〇見てみよう ・ふりかえり ・作品集づくり	・1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。作った作品集を発表し、自分や友だちの作品の良さ伝え合う。 ・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分の友だちの作品の良さを感じる。
留意点 引継ぎ等		描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）			

令和８年度　小学部５年（Ⅱ課程-B）　体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部　５学年（②グループ）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。 (思判表力)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	（知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【体つくりの運動】	【体つくりの運動】 ・曲に合わせて部分的に動きを模倣したり、教師の支援を受けながら、体を動かす。 ・ストレッチをして、体を伸ばしたり、緊張を緩めたりする。 ・車いすやウォーカー等で自分で進んだり、教師と一緒に進んだりしながら早い動きや風を感じる。 ・コースに沿って進む。 ・物を握ったり、手を添えて落ちないようにしたりしながら進む。 ・合図を聞き、集合場所を意識し、一人、または教師と一緒に向かう。 ・伝承遊びや集団による運動
	10	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【ボールを使った運動やゲーム】	【ボールを使った基本的な運動】 ・大小や素材の異なる様々なボールをつかむ、放す、転がす、当てるなどの簡単な操作をする。 ・ボールを前後左右などにいる友達や教師に渡す。 ・ボールの動きを中止、追視し、手や足で触れる。 【ボールを使ったゲーム】 ・友達や目標（目印やもの）などに向かってボールを転がしたり、投げたり、当てたりする。 ・風船バレー、ドッジボール、他
	10	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【水の中での運動】	【水の中での基本的な運動】 ・プールの中で、教師の支援を受けながら浮いたり上下左右に揺れたりしながら、水の抵抗を感じる。 ・水に慣れ、リラックスした状態の心地よさや楽しさを感じる。 ・手足を動かしたり、体を動したりする。 ・水中で友達とふれ合ったり、水をかけたり、浮いているものを掴んだりする。 ・プールでの活動を通して感じたことを言葉や表情などで教師や友達に伝える。 【水中ゲーム】 ・じゃんけん、にらめっこ、宝さがし、輪くぐり 【簡単なきまり】 ・教師の話を聞き、約束を守る。 ・決まりを守って楽しく遊ぶ。
2学期	13	(知及技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。 (思判表力)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な表現運動をしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する	【表現運動】	【題材と動き】 ・空、海、風など想像が広がる題材(大空を自由に飛び回る様子や、海の中を深く潜ったり泳いだり波に揺 られたりする様子、風に吹かれていろいろな動きをしながら舞う様子などを自由に表現すること。） ･リズムダンス･道具を使った表現・模倣、他

期	13	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすることができる。 (思判表力)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすることができる。	知・技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとする。 (思･判･表)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っての基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器械・器具を使っての運動】	【固定施設を使った基本的な運動】 ・ジャンピングボードやエアートランポリンに手をついたり、肘をのせて体を支えたりしながら、体の上下や弾力を感じ取る運動を行う。 ・ガタガタ道･30㎝ハードル･トンネル潜り･キャスターボード、他
3学期	19	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【ボールを使った運動やゲーム】	【ボールを使ったゲーム】 ・自力、または補助具などを使用しながら、ボールを操作する。 ・ボッチャ、車いすサッカー、他
年間を通して		(知及技） 　健康や身体の変化について知ることができる。（小学部３段階Gア） (思判表力） 　健康な生活に必要な事柄について工夫することができる。（小学部３段階Gイ）	(知及技） 　健康や身体の変化について知ろうとしている。 (思判表力） 　健康な生活に必要な事柄について工夫しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体の成長】 【健康な生活】	【身体の成長】 ・身体の成長の変化を知ろう 【健康な生活】 ・虫歯予防 ・体調の変化を知らせよう､他
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部５年　道徳科（Ⅱ課程Ａ・Ｂ） 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 ５学年		

中心目標	◎人と関わりながら生活するために必要な道徳的価値の存在に気付き、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 〇自分なりにしてみたいことを見つけ、活動に取り組もうとする意欲をもつ。 〇よいこととよくないことがあることに気付き、よいとされることをしようとする意欲をもつ。など

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	①自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとする思いをもつこと。	①自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとしている。	【個性の伸長】 ①じこしょうかい ～好きなこと、苦手なこと～	①自己紹介カードを作成し、自分の好きなことや苦手なこと等を考えたり、他者に伝えたりしながら、自分の特徴に気付く。
		②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしたりすること。	②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしている。	【友情，信頼】 ②みんなで遊ぼう	②身近な大人である教師との信頼関係を築き、教師を介して他の子供と関わる。
		③友達と仲良くし、助け合うことの大切さに気付く。	③友達と仲良くするためにどうしたらいいのか気付いている。	③みんな　なかよく	③友達と「仲良くすること」「助けあうこと」「仲直りすること」などを学習する。 （平和学習と関連付ける）
		①生活の上で必要な約束やきまりの意味を考え、それらを守ろうとする気持ちを持つこと。	①約束やきまりの意味を考えたり、それらを守ることの大切さに気付いている。	【規則の尊重】 ①みんなで 守ろう	①「約束、きまりを守ること」「みんなが使う場所を大切にする」「みんなが使う物を大切にすること」を学習する。
		②経験を通して思い通りにいかない場合やよいことよくないことがあることに気付くこと。	②経験を通して思い通りにいかない場合やよいことよくないことがあることに気付こうとしている。	【善悪の判断、自律、自由と責任】 ②よいこととわるいこと	②不安定な感情の表出も受け止め、子供なりに取り組んでいる姿を認めたり、励ましたりする。よい、悪いと毅然として伝える。悪いことをしてしまった際には、傷ついた相手の気持ちを教師が代弁するなど、相手の痛みを感じられるようにする。
		③挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとすること。	③挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとしている。	【礼儀】 ③あいさつ	②教師が笑顔で温かく迎えることを通して、挨拶を通して人と関わることの心地よさや楽しさを感じられるようにする。
		④自分の気持ちに気付き、相手に伝えること。	④自分の気持ちに気付き、相手に伝えようとすること。	【相互理解、寛容】 ④平和教育	③身近に起こったこと（喧嘩など）を題材にしながら「ごめんなさい」や「ありがとう」を一緒に伝える（平和学習と関連付ける）。
		①身近な自然に気付き、動植物に優しく接する気持ちをもつこと。	①身近な自然に気付き、動植物に優しく接しようとする気持ちを持っている。	【自然愛護】 ①しぜんと なかよく	・「自然に親しむこと」 ・「動物に優しく接すること」など ※動植物を実際に見たり、触ったりして様々な感覚を直接的に体験する学習を通して学習する（生活科と関連付ける）。
2学期	13	①自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付く。	①自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付いている。	【希望と勇気、 努力と強い意志】 ①さいごまで がんばる	①係活動や学校行事等を題材にし、「やるべき事をしっかり行う」ことの学習を行う。
		①身の回りを整えることのよさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする思いをもつこと。	①身の回りを整えることのよさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする気持ちを持っている。	【節度、節制】 ①毎日を きもちよく	①②健康や安全に気を付けた生活ができるようにするための基本的な生活習慣を身に付けることを学習する。
		②規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付く。	②規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付いている。	②規則正しい生活	
		①家族など日頃お世話になっている人達に感謝の気持ちを持つこと。	①自分がいろいろな人に支えられていることに気付き、感謝の気持ちを持ち、表現している。	【感謝】 ①いつも ありがとう	①周りの人の善意に気付き、感謝できる気持ちがもてるようにする（勤労感謝の日と関連付ける）。
		②働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようとする思いを持つ。	②働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようという気持ちを持っている。	【勤労、公共の精神】 ②わたしに できること	②大掃除や分担区清掃等を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働くことについて学ぶ（勤労感謝の日と関連づける）。
3学期	9	①自分の誕生を心待ちにしていてくれた家族の思いに気付き、自分を大切にしたいという思いをもつ。	①自分の誕生を心待ちにしていてくれた家族の思いに気付き、自分を大切にしたいという思いをもっている。	【生命の尊さ】 ①大切な いのち	①自分の生まれた時の写真や話などから、自分の生命は家族や周囲の人たちに守られてきたこと、そして自らの生命を大切にしたいという気持ちを高める学習（十三祝いと関連付ける）。
		②家族など日頃お世話になっている人達に感謝の気持ちを持つこと。	②自分がいろいろな人に支えられていることに気付き、感謝の気持ちを持ち、表現している。	【感謝】 ②いつも ありがとう	②周りの人の善意に気付き、感謝できる気持ちがもてるようにする（十三祝いと関連付ける）。
		③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみを持つこと。	③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみを持とうとしている。	C【伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】 お正月、節分など	③お正月遊びや節分などの遊びを楽しめるように教材や場の工夫をする。

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ課程-A・B）　外国語活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 ５学年		Let's try!1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学･人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 (学･人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	(知・技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	あいさつをして友達になろう ごきげんいかが？ いろんな国のあいさつ	①歌 ・「Hallo　song」 ・「Goodbye　song」 ②アクティビティ ・英語のあいさつをして名刺を渡そう ・イースターエッグを探そう ・友達とご機嫌いかが？を聞き合おう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super　Simple　Song
	4	（知及技） 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	（知・技） 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	自己紹介をしよう すうじ すごろくゲーム	①歌 ・「Hallo　song」 ・「Goodbye　song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹介をしよう ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ボールを持っている人が自己紹介 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super　Simple　Song
	4	（知及技） 日本語と英語の音声と違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声と違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・好きなものはなあに？ （色、食べ物）	歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 よく聴いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs

2学期	4	（知及技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れ親しむ。 （思判表力） 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えたりする。 （学・人） なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとする。	（知及技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れようとしている。 （思判表力） 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えようとしている。 （学・人） なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとしている。	・好きなものはなあに？ （いろいろな遊び） ・ハロウィンを楽しもう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト （おばけ、魔女、くも） ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット（色、食べ物） ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs
	4	（知及技） 動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。 （思判表力） 絵を見て、なるべく一人で考えて相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりする。 （学・人） なるべく一人で考えて動きの言葉を言おうとする。	（知及技） 動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しもうとしている。 （思判表力） 絵を見て、なるべく一人で考えて相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりしようとしている。 （学・人） なるべく一人で考えて動きの言葉を言おうとしている。	動いてみよう （速く、ゆっくり）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Action song」 ・「Walking Walking」 ②アクティビティ ・だるまさんが〇〇 walk,jump,stop,sit,run,fast,slowlyを聞き分けて動く。 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「きらきら星」
	4	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （思判表力） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （思・判・表） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	クリスマスだよ	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Jinge Bell」 ・「Hello Reindeer,Goodbye Snowmon」 -Super Simple Songs- ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム～クリスマスに関する～ （リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト） ・英語でフルーツバスケット （クリスマスに関する単語） ③フォニックス ④ダンス ・「きらきら星」

3学期	4	（知及技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 （学・人） 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	（知・技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 （主・学） 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	アルファベットと仲良し（ABCD）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかるた(アルファベットカード使用) ・よく聞いて身体表現しよう （T,O,I,L,M,S,V,X,H）等 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	4	（知及技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 （学・人） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	（知・技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 （主・学） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	この人はだれ？（家族の紹介）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム【1人～複数人】 （よく聞いて、絵カードを指すゲーム） ・絵本の読み聞かせ 「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	3	（知及技） 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞いたりすることができる。 （学・人） 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとする。	（知及技） 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しもうとしている。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞こうとしたりしている。 （学・人） 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとしている。	私の1日を紹介しよう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム （カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。） ③フォニックス ④ダンス ・「１年間のダンスの中から選択」
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　５年（Ⅱ－Ａ）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部５学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持とうとしている。	・今日から５年生！！ （学年・学級開き） ・１学期頑張ろう会	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		・学級目標や１学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ることができる。	・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ろうとしている。	・図書室オリエンレーション	・図書室の使い方や決まりについて知り、図書室を利用する。
		・学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	・係活動を決めよう	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・ようこそ島尻へ	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・近隣校等の友達と交流することができる。	・近隣校等の友達と交流しようとしている。	・交流学習（白川小）	・交流学習を通して、近隣校等の友達と交流する。
		・１学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・１学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・１学期頑張った会	・１学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
2学期	13	・２学期の個人目標を考えることができる。	・２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・２学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・２学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・２学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・２学期頑張った会	・２学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・冬休みの過ごし方	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。

3学期	8	・３学期の個人目標を考えることができる。	・３学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶことができる。	・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぼうとしている。	・児童会について ・児童会役員を選ぼう （学年選挙）	・児童会の取り組みを知り、立候補や演説をしたり、応援したい友達を投票で選ぶ。
		・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組もうとしていた。	・卒業おめでとう	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・３学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・３学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート）	・目標を振り返り、できたか振り返る。
		・１年間を振り返り、次の学年への期待を持つことができる。	・１年間を振り返りながら、次の学年への期待を持とうとしている。	・もうすぐ６年生	・１年間の学習や行事を振り返り、次の学年への期待を持つ。
		・春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・春休みに向けて	・春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。
留意点 引継ぎ等					

6年生

Ⅱ－A課程

令和８年度 小学部６年（Ⅱ課程A・B） 生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部　6学年		文科省著作教科書　☆☆、☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わりに気付くとともに，生活に必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや，身近な人々，社会及び自然と自分との関わりについて理解し，考えたことを表現することができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	カ　役割 「かいをひらこう」 ・新入生を祝う会をひらこう ・かいでつかうものをつくろう ・じゅんびをしよう ・さあ本ばん	【集団の参加や集団内での役割】 ・新転入生を迎える会等、積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。 ・他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。
	2	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「きせつのずかん」 ・はるのずかん	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ィ　安全 「気をつけることはなにかな」 「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう」 ・こんなときどうする？～火じになったら～	【危険防止】 ･火事になったなったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・火災避難訓練 ※訓練と連携し取り組む
	3	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしている。	ケ　きまり 「がっこうのきまり」 ・きまりについてそうだんしよう 「せいかつのきまり」 ・火じやきんきゅうのときにつかうもの	【学校のきまり】 ・必要に応じて簡単なきまりを相談してつくる。 【生活のきまり】 ・学校内や身近な地域において、私たちの命や生活を守るために設置された非常用設備の役割や存在を知る。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ィ　安全 「あんぜんに　くらそう」 ・気をつけてちょうりきぐをつかおう	【危険防止】 ･実際の道具を見たり触ったりしながら、正しい使用の仕方と謝った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気を付けるべき部分などについて考え、意見を出し合う。

	2	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている	キ　手伝い・仕事 「ピザトーストづくりを手つだおう」	【手伝い】 ・簡単な調理を通して、準備,片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。
	3	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「空と天気」 ・たいようと月 ・空と天気	【空と天気の変化と生活】 ・天気予報や台風などの情報に関心をもつ。 ・太陽の出没の方角や満ち欠けなどを観察する。
	4	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇町ではたらく人にあいにいこう ・町のあんぜんをまもるために ・はたらく人たち	【公共施設の利用】 ・警察署や消防署、郵便局などを実際に訪問したり、見学したりして、おおよその意味を分かる。
	3	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「きせつのずかん」 ・なつのずかん	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	2	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしている。	オ　人との関わり 「はなしてみよう」 ・見ききしたことやあそんだことを先生や友だちと話し合おう	【身近な人との関わり】 ・自分自身や家族のほかに親戚等について簡単に話したり紹介したりする。 ・休日、見聞きしたことや遊んだ事を教師や友達と話し合う。 ・写真等を見ながらその時の様子を説明する。
	2	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり，活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々，社会に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり，活用したりしようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 「しらべてみよう」 ・こくみんのしゅく日について ・こくみんのしゅく日のしゅるい	【社会の様子】 ・国民の祝日のおよその意味を調べ、カレンダーを制作する。
	4	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ア　基本的生活習慣 「一人でやってみよう」 ・ねるときのじゅんびかたづけ ・おふろ	【ねるときのじゅんび・かたづけ】 ・就寝前や起床後に行う活動（布団を敷く、布団を畳む）。 ・就寝前（起床後）の活動を家庭における役割として位置づけ、毎日継続的に取り組むことで習慣化を図る。 【おふろ】 ・入浴の際の身体を洗う手順。体の汚れを知る。体の洗い方を知り、動きを模倣する。

	2	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしている。	ケ　きまり 「マナーをまもって気もちよく」	【マナー】 ・バスやモノレール、病院や図書館など公共の場では静かにする等のマナーを理由とともに知る。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	イ　安全 「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう」 ・「こんなとき、どうする？」～じしんがおきたら～ 「さいがいにそなえて」 ・いろいろなさいがい ・あんぜんにひなんする	【危険防止】 ･地震になったなったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・地震火災津波避難訓練 ※訓練と連携し取り組む ・避難場所の確認や非常用持ち出し袋についてなどを確認する。 ※防災の日と合わせて指導するのも良い。
2学期 28	2	(知及技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり，それらを表現しようとすることができる。 (学･人) 自然に積極的に関わったり，意欲と自信を持って学んだり，その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に積極的に関わったり，意欲と自信を持って学んだり，その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 「もののおもさ」（☆☆） ・おもさくらべ（てんびん） ・いろいろなはかり	【物と重さ】 ・天秤を使って重さを比べる。 ・いろいろなはかりを使って重さを量る。
	3	(知及技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活の中で，ものの仕組みや働きが分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活の中で，ものの仕組みや働きが分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 「もののかたちとおもさ」	【物と重さ】 ・物は形が変わっても重さは変わらないことに気づく。例えば、粘土などの身の回りにあるものを広げたり、丸めたりするなどして形を変え、手ごたえなどの体感をもとにしながら重さの違いを調べたり、天秤やはかりで量って調べたりする。
	2	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「きせつのずかん」 ・あきのずかん	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	5	(知及技) 金銭の扱い方などの知識や技能をを身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能をを身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ク　金銭の扱い 「おこづかいをもらったら」 「かいもの」 ・いろいろなおかねのはらいかたがあるね	【金銭の扱い】 ・日常生活では、金銭が必要なことが分かり、金銭の種類ごとに分類して数えたり、必要に応じて両替をしたりすることに慣れる。無駄遣いをしないことや遣い道を考えて遣うこと、必要に応じて銀行などを活用する。 【買い物】 ・自分で目的に応じて買い物をする。買い物に必要な言葉を使う、簡単なおつりのある買い物をする、値札を見て買い物をする、レジの場所が分かり、代金を支払う。 【自動販売機の利用】 ・簡単な自動券売機などを自分で利用する。
	4	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり，活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々，社会に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり，活用したりしようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 「町ではたらく人にあいにいこう」 ・のりものにのろう ・校がいがくしゅうにいこう	【交通機関の利用】 ・日常的に利用しているモノレールやバスなどの切符を自動券売機などで買う。 ・目的地までそれらを確実に利用する。 ・交通機関が遅延した際の対応方法、校外学習時の目的地までの交通機関を知る。 【公共施設の利用】 ・警察署、消防署などを訪問したり見学したりして社会の一員としての利用の仕方を知る。

3学期 16	5	(知及技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	カ　役割 「ちいきのぎょうじ」 ・おまつりでおみせをひらこう ・おまつりのあとかたづけをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・低学年を招いてお店やさんごっこをしたり、1月の学習成果発表会等で保護者や来校者向けにお店をだしたりなど、もてなす側を体験する。 ・積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。 ・他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。
	4	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇でんわやおきゃくさまへのたいおう ・でんわのとりつぎ ・おきゃくさまへのたいおう	【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客時に、適切に取り次ぎする。構内に設置してある電話を活用し、児童が率先して取り次ぐ。
	4	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「きせつのずかん」 ・ふゆのずかん	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	3	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている	キ　手伝い・仕事 「手げいにチャレンジ」	【手伝い】 ・簡単な製作活動を通して、準備, 片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。
年間を通して	35	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ア　基本的生活習慣 「一人でやってみよう！」 ・みだしなみ ・せいりせいとん ・きゅうしょくのじゅんび・かたづけ ・せんたく ・いろいろなトイレ	【身なり】袖口や襟もと、すそ等、身だしなみを整える。 【身の回りの整理】 ・靴や衣服、カバンや文具などの収納方法がわかり、整理整頓をする。 【食事】 ・給食の準備や片付けなど友達と協力して行う。 【清潔】 ・簡単な洗濯をする。 【用便】 ・いろいろな種類のトイレの鍵の使用法を知り、自分で用を足す。
	35	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ィ　安全 「あんぜんに　くらそう」 ・気をつけてどうぐをつかおう ・あっ！あぶない！	【危険防止】 ･実際の道具を見たり触ったりしながら、正しい使用の仕方と謝った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気を付けるべき部分などについて考え、意見を出し合う。 ・赤信号の横断歩道など、危険が生じる場面でどのような行動をとればよいか考えたり、意見を出し合ったりして、危険回避や対処の方法について話し合う。
	35	(知及技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	ウ　日課・予定 「よていのかくにん」 ・一週間の予定 ・予定がかわったよ ・カレンダーでかくにんしよう ・いろいろなカレンダー	【日課・予定】 ・一週間程度の予定が分かり、カレンダーや予定表を見て学校や家庭の予定などに従って行動する。 ・都合により予定が変更する場合に対応する。

	35	(知及技) きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊ぶことができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊ぼうとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしようとしている。	エ　遊び 「なかよくあそぼう」 ・なにしてあそぶ？ ・ルールをまもってあそぼう ・あそびがおわったら ・もっとたのしくできるかな	【いろいろな遊び】 ・友達を誘って何をして遊びたいか話し合う。 ・ルールのある遊びを通して、約束や勝ち負け、役割などを友達と共有する。 ・道具やルールを工夫、改善しながら、遊びをふくらませていく。 （的あてゲーム、お店屋さんごっこ、縄跳び、ボッチャ、ボウリング、椅子取りゲーム、しっぽ取りゲーム、ボール運びゲーム、玉入れなど） ・昔の文化や遊びにふれたり、遊びを通して豊かなコミュニケーションを築いたりする。 （はないちもんめ、とうりゃんせなど） 【遊具の後片付け】 ・自分から進んで準備や後片付けをし、友達を手伝う。
	35	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「しょくぶつをそだてよう」 ・たねをまこう ・そだてよう ・しょくぶつのようすをつたえよう ・たねをとろう	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。
留意点 引き継ぎ等					

令和８年度　小学部６年（Ⅱ課程A）　国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小学部６学年（トーマスグループ）		文科省著作教科書　☆☆☆　一般図書（絵本等）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。 (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。 (学･人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) 姿勢や口形に気をつけて話すことができる。 ・正しい姿勢で音読することができる。 (思判表力)挨拶などの決まった言い方を使うことができる。 ・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技) 姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 ・正しい姿勢で音読をしようとしている。 (思判表力)挨拶などの決まった言い方を使おうとしている。 ・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く話す かんげい会	・歓迎会について知り、会を進めるのあたり必要な事柄について話し合う。 ・自己紹介の内容（名前・趣味など）を確認する。 ・司会、歓迎のことば、自己紹介など文字におこす。 ・役割に沿って練習を行う。 ・相手に伝わる声の大きさや声を出すときの姿勢等について知る。
	13	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。 (思判表力) 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学･人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (思・判・表) 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む パーティーをしよう	【おおよそを捉え、あらましを話す】【音読や劇】 ・読み聞かせを聞く。 ・登場人物になったつもりで音読する。 ・同じ行で始まる言葉集めを行う。
	20	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。 出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学･人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思・判・表) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとしている。 書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 文をかこう	【簡単な文の記述・構成】 ・文節ごとに区切ったカードを並び替えて文を作ったり、完成した文を見本にして書く。 ・身近な事柄を表す絵や写真を見て、簡単な文章を作る。 ・文を書き、相互に発表し合う。・助詞を抜いた文を読んで、当てはまる助詞を考える。 ・文を読んで、絵や写真を選択する。 ・文を書き、相互に発表し合う。 ・主語や述語など、一部が抜けた文に入る語句を考え、文を完成させる。 ・毛筆を使っての書初めを体験する。
	10	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む 花	【物語の時間経過・文章の内容のまとまりを捉える】 （図書に親しむ・図書の活用） ・読み聞かせを行う ・内容の大体を捉える。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方、漢字の読み方を知る。 ・学校周辺で花などを探し、図鑑等で名前等を調べる。
	10	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学･人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思・判・表) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む のりもの	【物語の時間経過・文章の内容のまとまりを捉える】 （図書に親しむ・図書の活用） ・読み聞かせを行う ・内容の大体を捉える。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方、漢字の読み方を知る。 ・身近な乗り物を調べ、発表する。

	16	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。 ・物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 ・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 ・目的に合った筆記具を選び、書くことができる。 (思判表力)身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めることができる。 ・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えることができる。 ・見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 ・文などに対して感じたことを伝えることができる。 (学･人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 ・物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 ・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 ・目的にあった筆記具を選び、書こうとしている。 (思判表力)身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めようとしている。 ・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えようとしている。 ・見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとしている。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 ・文などに対して感じたことを伝えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 手がみをかこう	【文字を書く】 ・行事等の中で手紙を通して事柄や思いを書き表す機会がないか考える。 ・手紙に書く内容や具体的な書き方を考える。 ・下書きをする。 ・清書をする。 ・暑中見舞いを書く。 ※行事や季節等に関する内容については随時取り扱う。
2学期	16	(知及技）姿勢や口形に気を付けて話すことができる。 (思判表力)相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。 ・登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思判表力)相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 ・登場人物になったつもりで、音読したり演じようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む 三びきの子ぶた	【音読や劇】【絵本の読解】 【感じたことや経験したことを話す】 【おおよそを捉え、あらましを話す】 ・読み聞かせを聞く。 ・場面ごとに演じる。 ・役に分かれて音読する。 ・劇遊びをする。
	16	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。 ・物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 ・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力)身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めることができる。 ・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えることができる。 ・見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 ・文などに対して感じたことを伝えることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 ・物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 ・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思判表力)身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めようとしている。 ・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えようとしている。 ・見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとしている。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 ・文などに対して感じたことを伝えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く えにっきをかこう	【簡単な文章の記述・構成】 ・学校生活等を振り返り、絵日記の題材を決める。 ・書きたい内容の具体的な出来事を詳しく思い出す。 ・具体的な出来事の中から、伝えたい出来事を選ぶ。 ・「始め→中→終わり」等の構成になるように整理する。 ・下書きをする。 ・下書きを読み返し、誤りがないか確かめる。 ・清書する。 ・出来事を表す絵を描く。 ・発表する。また、友達の発表を聞き、更に聞きたいことを質問したり、感想を伝えたりする。 ・年賀状を書く。 ※行事や季節等に関する内容については随時取り扱う。
	16	(知及技）昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力)絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ることができる。 ・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 ・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技）昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思判表力)絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ろうとしている。 ・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 ・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む ブレーメンのまちのおはなし	【物語の時間経過、文章の内容のまとまりを捉える】 【絵本の読解】【感じたことや経験したことを話す】 ・読み聞かせを行う。 ・場面ごとに、出来事や登場人物に関する発問をする。 ・時間的な順序に気付くことができるようにする。

3学期	6	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力)日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思判表力)・日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む かんばんをよもう	【文字・文を読む】 ・教科書の挿絵を基に、どのような行動が求められているのか考える。 ・挿絵に示されている文字を読み、挿絵から読み取った内容と文字が書き表している内容を合わせ、理解を深める。 ・校内外にある立て札、標識を探し、それらが求めている行動について考えたりする。 ・ローマ字の読み方に触れる。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	6	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力)挨拶などの決まった言い方を使うことができる。 ・日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思判表力)挨拶などの決まった言い方を使おうとしている。 ・日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す かいもの	・買い物がうまくできている場面とそうでない場面を提示し、何が違うのか考える。 ・慣用的な言い方を知る。 ・ロールプレイをする。
	15	(知及技）物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力)日常生活で必要な語句や文、看板を読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 ・登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思判表力)日常生活で必要な語句や文、看板を読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 ・登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む ペープサートをつくろう	【音読や劇】 ・ペープサートの劇を鑑賞する。 ・「じゅんびしよう」を読み、必要な物を準備する。 ・「つくろう」の四つの手順に沿ってペープサートを制作する。 ・「げきをしよう」のページを読み、劇へとつなげる。 ・相手に伝わるような発音や声の大きさ等を考える。
	9	(知及技）物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力)見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりすることができる。 ・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思判表力)見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりしようとしている。 ・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む さつまいも	【物語の時間経過、文章の内容のまとまりを捉える】 ・読み聞かせを行い、内容の大体を理解することができるようにする。 ・季節に関する言葉や時間経過に気付くことができるようにする。
年間を通して	15	(知及技）日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学･人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技）)日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書こうとしている。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く かん字をよもう・かこう	【文字・文を書く】 ・書くときの姿勢や筆記具の持ち方を確かめる。 ・漢字を書写する。また、見本と比較し誤りがある場合は修正する。 ・毛筆を使っての書初めを体験する。 ・実態に応じて、学級や個別で取り組むようにする。
	34	(知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 (学･人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする.	(知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思判表力) 絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本や易しい読みもの、タブレット等で読み聞かせを聞き、様々なお話にふれる。 ・「読書月間」等の機会を活用して、図書室を利用したり、本に親しむ機会を設定する。

留意点引継等

令和８年度　小学部６年（Ⅱ課程）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部６学年　トーマスグループ		文科省著作教科書　さんすう☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
(知及技）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養うことができる。 (学･人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。	

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	(知及技) 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解できる。 加法が用いられている場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 (思判表力) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 (学･人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする。	(知・技) 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解している。 加法が用いられている場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 (主学) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 合併と増加 10までの数の加法	・あわせていくつ：「あわせて」が分かる。（具体物を操作しながら）二つの集合を合わせた集合の要素の個数を求める演算について分かる。 ・ふえるといくつ：「ふえると」等の加法の言葉が分かる。 ・しきをつくりましょう：「＋」「＝」の記号の意味が分かる。 ・10までの数のたしざん：1位数と1位数との繰り上がりのない加法計算の仕方が分かる。加法の式を読んで、加法が用いられる具体的な場面を表す。
	16	(知及技) 減法が用いられる求残や減少等の場合について理解できる。 減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 (思判表力) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 (学･人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 減法が用いられる求残や減少等の場合について理解している。 減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしようとしている。 (思判表力) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 (主学) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 求残 10までの数の減法	・のこりはいくつ①②：「減らす」など具体的な操作を通して用語の使い方や減少を意識する。 ・ちがいはいくつ：具体的な操作を通して二つの数の「どちらが」「いくつ」多いか少ないかの違いに着目したり用語を使ったりする。 ・しきをつくりましょう：「－」「＝」の記号の意味が分かる。引き算の場面を式に表す。 ・10までの数のひきざん：1位数と1位数との繰り下がりのない減法計算の仕方が分かる。減法が用いられる具体的な場面を表す。
	8	(知及技) 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。 (学･人) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表そうとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えようとしている。 (主学) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 ものの位置を表す言葉	・まえとうしろ①②：自分を中心とした位置について理解する。 ・上と下：基準となる物の「上」と「下」について理解する。 ・中とそと：中と外の位置関係に気づく。 ・右、左：右と左を理解する。
	6	(知及技) 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。 (思判表力) 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。 (学･人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習にとりくんでいる。	(知・技) 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較しようとしている。 (思・判・表) 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現しようとしている。 (主学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定 （直接比較・間接比較） ながい・みじかい （任意単位による比較） ながさをくらべましょう	・ながい、みじかい①：基準に対して「長い」「短い」を比べる。 ・ながい、みじかい②：具体物を直接比較して「長い」「短い」が分かる。 ・ながさをくらべましょう①：片方の端をそろえて比べる。 ・ながさをくらべましょう②：3量以上の長短について、2量ずつ比べて3量以上の長短を判断する。 ・ながさをくらべましょう③：直接比較できないとの比べ方（テープに写し取る）が分かる。
2学期	12	(知及技）加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・1位数と1位数との加法の計算ができる。 ・1位数と2位数との和が20までの加法の計算ができる。 (思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知及技）加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・1位数と1位数との加法の計算をしている。 (思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 20までのかずのたしざん	・20までのかずのたしざん①1位数と1位数の繰り上がりのある加法。加数または被加数を分解して計算する。 ・20までのかずのたしざん②：1位数と2位数の加法。 ・20までのかずのたしざん：1位数と1位数の繰り上がりのある加法、和が20までの1位数と2位数の加法。
	9	(知及技）減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・20までの数の範囲で減法の計算ができる。 (思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知及技）減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・20までの数の範囲で減法の計算をしている。 (思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 20までのかずのひきざん	・20までのかずのひきざん：繰り下がりのない2位数-1位数。 ・しきをつくってけいさんしましょう：20までの数の範囲で、繰り下がりのない式を表す。
	21	(知及技) ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。 具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 (思判表力) 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 身の回りにあるものの形を図形として取られることができる。 (学･人) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えようとしている。 具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 (思･判･表) 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 身の回りにあるものの形を図形として取らえようとしている。 (主学) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 ・かたちあそび ・いろいろなかたち	・空き缶や空き箱を積んだりしながら、形の特徴を理解できるようにする。 ・箱や容器などの面の形を写し取り、絵を描く。 ・写し取ったものを使って絵を描く。 ・しかくをつくろう①：図形としての形に着目する（４つの辺と4つの角があるのは四角）。 ・しかくをつくろう②：正方形と長方形の区別。 ・さんかくをつくろう：図形を構成、分解するという操作、また、図形の変化への着目。 ・かたちづくり：色版などを活用し、図形についての感覚を豊かにする。
	20	(知及技) 日常生活の中で時刻を読むことができる。 時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解することができる。 (思判表力) 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結びつけて表現することができる。 (学･人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) 日常生活の中で時刻を読もうとしている。 時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解しようとしている。 (思・判・表) 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結びつけて表現しようとしている。 (主学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定 時刻や時間	・学校のせいかつ：「○時」の読み方、「○○：○○」の書き方を含め、時計に慣れる。 ・ながいはり、みじかいはり：時計には長針、短針があることを知る。また、長針が一周したら1時間分進むことに気づく。 ・ながいはり：10分刻みの時刻を読み取る。 ・みじかいはり：○時を読み取る。○時を表す扇形に注目する。 ・ごぜん、ごご：具体的な場面と結びつけながら正午を基準とする区別の理解を進める。 ・あさ、ひる、よる：時刻に応じて「朝」「昼」「夜」と呼ぶことが分かる。

	16	(知及技)長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較することができる。 (思判表力)身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。 (学･人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技)長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較している。 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較している。 (思判表力)身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現しようとしている。 (学･人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定 長さ、広さ、かさなどの量を比較しよう	・かさをくらべましょう：2量や3量を直接比較や別の容器に移して（任意単位）比べる。 ・ふとさをくらべましょう：周の長さや断面で太さについて考える。 ・ひろい、せまいととおい、ちかい：シート等を活用し、「広い」「狭い」等の言葉について基準と比較する考えを用いて使う。
	8	(知及技) お金の種類、数え方、等価関係などについて理解することができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (学･人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) 数を十を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解しようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算 かいものをしましょう① 金銭の価値	・お金の種類を弁別することができる（1円、5円、10円）。 ・1円硬貨10枚までの金額を数えることができる。 ・10円と1円10枚、5円と1円5枚の等価関係が分かる。 ・何枚かの十円硬貨で買えないときもう１枚出して買う。 ・値段にちょうどのお金を用意して買う。 ※校外学習にて、体験的な活動を行う。
3学期	17	(知及技）100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすることができる。 ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について数え、学習や生活で生かすことができる。 (学･人)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知及技）100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解している。 ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりしている。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について数え、学習や生活で生かそうとしている。 (主学)数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 100までの整数の表し方 数の大小の比較	・大きなかずのかきかた①：10個ずつのまとまりと「あといくつ」に分けて数え、その数を言えるようにする。 ・大きなかずのかきかた②：21以上の数について読んだり書いたりする。 ・じゅんばんにならべましょう①：20までの数を順序正しく並べる。 ・じゅんばんにならべましょう②：30までの数列を理解し数唱する。 ・じゅんばんにならべましょう③：100までの数列を理解し、数唱する。
	14	(知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 ・傾斜をつくると角ができることを理解できる。 (思判表力)身の回りにあるものから、いろりろな形を見付けたり、舞台物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現することができる。 (学･人)図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 ・傾斜をつくると角ができることを理解している。 (思判表力)身の回りにあるものから、いろりろな形を見付けたり、舞台物を用いて形を作ったり分解している。 ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現している。 (学･人)図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んで	B図形 ・角の大きさ	・かどをさがしましょう：身の回りから、直角を探す。 ・いろいろな大きさのかく①：角の大きさを変化させる活動（ビー玉転がし等）を通して、角を変化させる事が出来ることに気づく。 ・いろいろな大きさのかく②：形としての角と大きさとしての角について理解する。
	13	(知及技) ものとものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすることができる。 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ることができる。 (思判表力) 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。 (学･人) 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさをを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) ものとものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりしようとしている。 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ろうとしている。 (思・判・表) 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現しようとしている。 (主学) 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさをを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用 ・数やデータを図や記号で表そう ・データを用いた大小・多少の比較	・ひょうをつくりましょう①②：ボウリングなどのゲームを通して、結果を記号に置き換えて表に表す。 個数に着目して表に整理する。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　6年　音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部6年（Ⅱ-A・B課程）		音楽

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付ける。 (思判表力) 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむことができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 思いに合った表現をするために必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 思いに合った表現するために必要な技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・うたってみよう （校歌、学年の歌、季節の歌など） ・楽しくおどろう （学年のダンス、手話ソングなど） 「うみ」「かたつむり」「春がきた」	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知及技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・きこう　みよう （パネルシアター、ペープサート、行事の歌、季節の歌、手遊び動画、日本の歌、外国の歌など）	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		(知及技) リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくことができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 (思･判･表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の雰囲気を感じてみよう ・音楽に合わせて体を動かそう ・リズムを打ってみよう ・伝統的な音楽や楽器について学ぼう 「きらきらぼし」「こいぬのマーチ」など	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする

2学期	28	(知及技) 思いに合った体の動きで表現するために必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 思いに合った体の動きで表現するために必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・うたってみよう ・楽しくおどろう 「虫のこえ」「夕やけこやけ」など	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知及技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・きこう　みよう （パネルシアター、ペープサート、行事の歌、季節の歌、手遊び動画、日本の歌、外国の歌など）	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける
		(知及技) 声や身の回りの様々な音の特徴、簡単なリズム・パターンの特徴を生み出す面白さなどと関わって気付くことができる。 (思判表力) 曲のリズムや速度、旋律について気付くことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 声や身の回りの様々な音の特徴、簡単なリズム・パターンの特徴を生み出す面白さなどと関わって気付こうとしている。 (思・判・表) 曲のリズムや速度、旋律について気付こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の雰囲気を感じてみよう ・音楽に合わせて体を動かそう ・リズムを打ってみよう ・伝統的な音楽や楽器について学ぼう 「エイサー」「山の音楽家」など	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 ・簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする。
3学期	18	(知及技) 思いにあった歌い方で歌うために必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりできる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 思いにあった歌い方で歌うために必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしようとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・うたってみよう （校歌、学年の歌、季節の歌など） ・楽しくおどろう （学年のダンス、手話ソングなど） 「日のまる」「ひらいたひらいた」「かくれんぼ」など	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知及技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・きこう　みよう （パネルシアター、ペープサート、行事の歌、季節の歌、手遊び動画、日本の歌、外国の歌など）	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける

		(知及技) リズム、速度や強弱の違いや演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくことができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) リズム、速度や強弱の違いや演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 (思･判･表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の雰囲気を感じてみよう ・音楽に合わせて体を動かそう ・リズムを打ってみよう ・伝統的な音楽や楽器について学ぼう 「エイサー」「鬼のパンツ」など	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 ・簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ課程）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部６年生		小３段階

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などを意識して、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力) 表したいこと思い付いたり，表し方を考えたりして、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったり見方を広げたりすることができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、自分でイメージをもって形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 〇いろいろな技法 ・はじき絵（パチック技法） ・にじみ絵 ・デカルコマニー ・フロッタージュ　など	・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 ・半分に折った画用紙の間に破産だ紐などをひっぱてできる模様を楽しむ。 ・ 〈道具：クレヨン､絵の具、ロウ、マーブリング液、のり、はさみ、等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、､新聞紙、段ボール箱、竹串、和紙、浅いバット等〉
		(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 〇描いてみよう ・自慢の家族 ・自分や友達の絵を描こう	・いろいろな形や色を見つけ工夫して表す、描きたいものを思いつく、思いついたものを楽しく描く。 ・指や手で描いて形を見つけ工夫して表す、指や手で試しながら表したいことを考える、指や手で描くことを楽しむ。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具、カップ、液体粘土等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付くこと。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（工作） 〇にょきにょきとびだせ	・袋をふくらませる仕組みから、思いついたものを作る。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料：色画用紙、新聞紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物等〉 (教科書：ずがこうさく1･2上 P56～57 参考)
		(知及技) 自分の感覚や行為を通して､形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料や､感じた事、創造したことから表したいことを思いついたり、形や色などの感じを基に自分のイメージを持つことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 自分の感覚や行為を通して､形や色などの感じに気付いている。 (思判表力) 材料や､感じた事、創造したことから表したいことを思いついたり、形や色などの感じを基に自分のイメージを持つことができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむことができている。	描画 〇はさみのアート	・はさみを使って（色）画用紙を自由に切る。それを画用紙にレイアウトし、何が見えてくるか観察。 ・イメージがわいてきたら、それをもっと強調できるよう加筆する。イメージがなかなかつかめないときは、目玉シールを使って、形の特長を生かした顔に見立てて遊ぶ。最後に絵に名前をつける。 〈道具：はさみ、のり、水性ペン〉 〈材料：色画用紙、画用紙、目玉シールなど〉 (教科書：ずがこうさく1･2下 P36～37 参考)
2学期	25	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりしようとしている。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 〇感じたこと、見たことを描こう ・校外学習行ってきたよ ・修学旅行行ってきたよ ・おはなしかられうまれたよ	・生活の中で見たことや感じたこと、体験したことを描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができている。 (思判表力) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（染色など） 〇Tシャツを作ろう ・Tシャツを染めよう ・ロゴを考えよう	・宿泊学習用の学年Tシャツを制作する。 〈道具：染色液、転写シートなど〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくろうとしている。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（立体） 〇粘土で作ろう ・面シーサー	・沖縄の伝統工芸の一つにヤチムンがあることを学ぶ。 ・見本のシーサーを手掛かりに、オリジナルのシーサーを作る 〈道具：絵の具、筆、板、竹串等〉 〈材料：紙粘土、粘土、等〉 ※粘土をやく場合には美術科と要調整※
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくろうとしている。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	版画 〇パラエティー紙版画	・様々な厚みの紙、素材を好きな形に切って貼り合わせる。 ・自分の顔や、好きなものをイメージして貼り合わせていく。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ 〈材料：画用紙、クレープ紙、プチプチマット、段ボール、自然物等〉
3学期	20	(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形などの感じに気付くことができる (思判表力) 形の感じから自分のイメージを持ったり、表したいことを思いついたりすることができる。表し方の面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人)楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形などの感じに気付くことができている。 (思判表力) 形の感じから自分のイメージを持ったり、表したいことを思いついたりすることができる。表し方の面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができている。 (学・人) 造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（粘土） 〇ねんどでつくろう ・動物や食べ物	・好きな動物や生き物の形をイメージし、形に表す。 ・好きな食べ物、料理の形をイメージして作り、皿や弁当箱に入れて仕上げる。紙粘土なら、着色も楽しめる。 〈道具：粘土板、へら・型類、切り糸等〉 〈材料：紙粘土や油粘土〉
		(知及技) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。基本的な材料や用具を使って工夫して制作活動ができる。 (思判表力) 形や色の感じを基に自分のイメージを持ったり、表し方の面白さを感じ取ったりすることができる。⑤⑩ (学・人共同制作を通して、友達との表現の違いなどを楽しむ事ができる。	(知及技) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。基本的な材料や用具を使って工夫して制作活動ができている。 (思判表力) 形や色の感じを基に自分のイメージを持ったり、表し方の面白さを感じ取ったりすることができている。 (主学) 共同制作を通して、友達との表現の違いなどを楽しむ事ができている。	作る（工作・造形） 〇協力して作ろう ・卒業式壁画 ・卒業制作	卒業式を迎える気持ち、卒業生を送る気持ちを改めて見つめる。壁画全体のイメージを把握し、テーマを確認する。自分たちが制作する部分と全体との関係を把握する。
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 自分たちの作品や、日常生活の中にあるものなどの形や色。表し方の面白さなどについて，感じ取り，自分の見方や感じ方を広げること。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 自分たちの作品や、日常生活の中にあるものなどの形や色。表し方の面白さなどについて，感じ取り，自分の見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	鑑賞 〇見てみよう ・ふりかえり ・絵画鑑賞	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しみみることができる。

留意点 引継ぎ等	描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）

令和８年度　小学部６年（Ⅱ課程A）　体育科　年間指導

単位数／配当時数	児童生徒	担当者
2/70	小学部６学年	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに健康な生活ができる。（小３段階） (思判表力) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことやとができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく運動したり、場や用具の安全に気を付けた健康に必要な事柄をしようとする。（小３段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名
1学期	5	(知及技) 基本的な体つくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) 基本的な体つくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体つくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 基本的な体つくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思･判･表) 基本的な体つくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体つくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【多様な動きをつくる運動】 ・体のバランスをとる運動 ・力試しの運動 ・かけ足
	10	(知及技) 器械・器具を使っての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 器械・器具を使っての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思･判･表) 器械・器具を使っての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【マットを使った基本的な運動】 ・連続横転がり ・ゆりかご、前転がり、前転
	10	(知及技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思･判･表) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【水の中での運動】 ・バブリングやボビング ・ばた足やかえる足 ・水中ゲーム　など

2学期	13	(知及技) 　走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) 　走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) 　きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 　走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動 きを身に付けようとしている。 (思･判･表) 　走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) 　きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【走る運動】 ・一定の速さで走る ・30～50m程度の距離を全力で走る ・ジグザグ、S字のレーン ・リレー　など 【跳ぶ運動】 ・ライン、ラダー ・ケンパー ・ゴムひも、縄、縄とび　など
	7	(知及技) 　基本的な表現運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付け，表現したり踊ったりすることができる。（小３段階） (思判表力) 　基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) 　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（小３段階）	(知・技) 　基本的な表現運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付け，表現したり踊ったりしている。 (思･判･表) 　基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) 　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【表現運動】 ・リズムと動き「ロックやサンバ」
	5	(知及技) 　健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身につけることができる。（小３段階） (思判表力) 　健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階）	(知・技) 　健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本 的な知識や技能を身につけようとしている。 (思･判･表) 　健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【健康な生活】 【身体の成長】
3学期	20	(知及技) 　ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けることができる。（小３段階） (思判表力) 　ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（小３段階） (学･人) 　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。 （小３段階）	(知・技) 　ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けようとしている。 (思･判･表) 　ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) 　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【ボールを使った基本的な運動】 ・友達とのキャッチボール ・パスやシュート ・ドリブル 【ボールを使ったゲーム】 ・シュートゲーム ・ドッジボール ・ベースボール型ゲーム 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 ・しっぽ取り ・色鬼 ・宝とり
留意点 引継ぎ等				

:計画

教科書／副教材

:、健康や身体の変化について知り、

›気付いたことなどを他者に伝えるこ

:りしようとするとともに、自分から

単元・題材の活動内容
【多様な動きをつくる運動】 ・後ろ歩き、横歩きなどいろいろな歩き方、リズムに合わせて行進する ・立った姿勢からリズムよくはねながら、右回り・左回りに回転など ・押し合いずもうで、重心を低くして相手を押したり、相手から押されないように踏ん張ったりする ・友達と手をつないだり肩を組んだり背中を合わせたりして、立ったり座ったりする ・無理のない速さでかけ足を３～４分程度続ける(児童の能力等に応じて適切な時間を設定)
【マットを使った基本的な運動】 ・手を上に上げ体をまっすぐ伸ばした状態でマットの上に寝転がり、連続してまっすぐ横転がりをする ・しゃがんだ姿勢から手で支えながら腰を上げ、体を丸めながら後頭部-背中-尻-足裏の順にマットに接して前方に回転し立ち上がる
【バブリングやボビング】 ・大きく息を吸ってもぐり、水中で息を止めたり吐いたりする ・息を止めてもぐり、口や鼻から少しずつ息を吐きながら水面まで跳びあがって息をまとめて吐いた後、空中ですぐに吸ってまたもぐる ・頭の上に手を挙げながら（膝を曲げて）もぐり、手をさげながら（膝を伸ばして） 跳び上がる動きを繰り返す 【ばた足やかえる足】 ・壁や補助具につかまり、ももの付け根からのばた足・足の裏で水を押すかえる足

【走る運動】
・3～4分程度の時間を一定の速さでゆっくり走る
・30～50m程度の距離を全力で走る
・ジグザグ、S字のレーン、リレーなどで走る
【跳ぶ運動】
・ケンパー跳びで片足や両足で連続して前方に跳ぶ
・輪や段ボールなどの低い障害物を使って、走る運動と合わせながら、助走をつけて勢いよく飛び超える

【リズムと動き】
・ロックやサンバなど弾んで踊れる軽快なリズムの曲（リズムに乗って，スキップなどで弾む動きを中心に，ねじる，回る，移動するなどの動きを繰り返して踊る）
・友達と手をつないだり，友達の真似をしたりして踊る
・友達と向かい合って手をつなぎ，スキップしながら回ったり，ねじったり，手を叩き合ったりして踊る

・発熱や咳、排便の状態などについて自分から意識する
・治療や休養が必要である場合には、知らせる
・身体測定の結果や身体の変化などから、自分の身体の成長に関心をもつ
・むし歯の予防
・健康な生活に関わる事象から課題を見付ける
・健康な生活を実現するために解決の方法を考え、それを実践すること
・自分や友達のけがや体調の変化を教師等に告げる
・病気やけがをしたときは、教師に伝え、落ち着いて簡単な手当を受ける

【ボールを使ったゲーム】
・的当てゲームを発展したシュートゲーム
・ボールを転がしたり，投げたりする円形ドッジボール
・攻めがボールを手で打ったり蹴ったりして行うベースボール型ゲーム
【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】
・しっぽ取りゲーム

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ課程）　特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部６学年(Ⅱ-A・B)		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	･よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的･多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとする思いをもつ	・自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとしている	【個性の伸長】 ・じこしょうかい ～好きなこと、苦手なこと～ ・みんなのいいところ	・自己紹介カードを作成し、自分の好きなことや苦手なこと等を考えたり、他者に伝えたりしながら、自分の特徴に気付く ・友達の「良いところ探し」をし、お互いに伝えあうことで、自分の特徴に気付く
	4	・周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとする気持ちをもつ ・友達と仲良くし、助け合うことの大切さに気付く	・教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしている ・友達と仲良くするためにどうしたらいいのか気付いている	【友情、信頼】 ・みんなで 遊ぼう ・みんな なかよく	・遊び等を通して、身近な大人である教師との信頼関係を築き、教師を介して他の子供と関わること ・友達と「仲良くすること」「助けあうこと」「仲直りすること」などを学習 （平和学習と関連付ける）
	3	・日々に生活経験の中で生きていることの素晴らしさを感じ取り、生命を大切にしようとする気持ちをもつ	・日々に生活経験の中で生きていることの素晴らしさを感じ取り、生命を大切にしようとする気持ちをもっている	【生命の尊さ】 ・大切な いのち	・当たり前のことで見過ごしがちな「生きている証」を実感する 例）体にはぬくもりがあり、心臓の鼓動が規則的に続いている・夜はぐっすり眠り、朝は元気に起きている・おいしく朝食が食べられる・学校に来てみんなを楽しく活動できる　など （平和学習や誕生日などを関連する）
	3	・よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする思いを持つ	・よいと思うことを進んで行うことの大切さに気付いている ・してはならないことは、しないようにしようとする気持ちを持っている	【善悪の判断、 自律、自由と責任】 ・よいこととわるいこと	・よいことと悪いことを区別すること ・「よいと思うことを進んで行う」 ・「してはならないことはしない」を学習
2学期	4	・生活の上で必要な約束やきまりの意味を考え、それらを守ろうとする気持ちを持つ	・約束やきまりの意味を考えたり、それらを守ることの大切さに気付いている。 ・日頃の自分の生活を振り返ったり、みんなで使う物や場所を大切に使おうとする気持ちをもっている	【規則の尊重】 ・みんなで 守ろう	・「約束、きまりを守ること」 ・「みんなが使う場所を大切にする」 ・「みんなが使う物を大切にすること」を学習 （校外学習と関連付ける）
	3	・自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付く	・自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付いている	【希望と勇気、 努力と強い意志】 ・さいごまで がんばる	・係活動や学校行事等を題材にし、「やるべき事をしっかり行う」ことの学習を行う
	4	・家族など日頃お世話になっている人達に感謝の気持ちを持つこと	・自分がいろいろな人に支えられていることに気付き、感謝の気持ちを持ち、表現している	【感謝】 ・いつも ありがとう	・周りの人の善意に気付き、感謝できる気持ちがもてるようにする （勤労感謝の日と関連付ける）
	3	・身近な自然に気付き、動植物に優しく接する気持ちをもつ	・身近な自然に気付き、動植物に優しく接しようとする気持ちを持っている	【自然愛護】 ・しぜんと なかよく	・「自然に親しむこと」 ・「動物に優しく接すること」など ※動植物を実際に見たり、触ったりして様々な感覚を直接的に体験する学習を通して学習 （修学旅行と関連付ける）
3学期	4	・身の回りを整えることのよさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする思いをもつ ・規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付く	・身の回りを整えることのよさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする気持ちを持っている ・規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付いている	【節度、節制】 ・毎日を きもちよく ・規則正しい生活	・健康や安全に気を付けた生活ができるようにするための基本的な生活習慣を身に付けることを学習
	3	・働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようとする思いを持つ	・働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようという気持ちを持っている	【勤労、公共の精神】 ・わたしに できること	・大掃除や分担区清掃等を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働くことについて学ぶ。

令和８年度 小学部６年（Ⅱ課程）　外国語活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 ６学年		Let's try!1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 (思判表力)　身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学･人)　外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 (学･人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	(知・技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	あいさつをして友達になろう ごきげんいかが？ いろんな国のあいさつ	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・英語のあいさつをして名刺を渡そう ・イースターエッグを探そう ・友達とご機嫌いかが？を聞き合おう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super Simple Song
	4	(知及技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	(知・技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	自己紹介をしよう すうじ すごろくゲーム	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹介をしよう ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ボールを持っている人が自己紹介 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super Simple Song
	4	(知及技) 曜日、の言い方を知り、曜日を訪ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の好きな曜日を言ったり、さまざまな手段を用いて伝え合うことができる。 (学･人) 教師の支援を受けて、曜日を英語で話そうとする。	(知及技) 曜日、の言い方を知り、曜日を訪ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思判表力) 自分の好きな曜日を言ったり、さまざまな手段を用いて伝え合おうとしている。 (学･人) 教師の支援を受けて、曜日を英語で話そうとしている。	今日は何曜日？ 天気？ 何月？	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「Days Of The Weak Song」 Super Simple Song ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する ・３ヒントゲーム ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「head Shoulders Needs&Toes」 Super Simple Song
	4	(知及技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) クイズを出したり答えたりし合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	(知・技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) クイズを出したり答えたりし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	これなあに？ （身の回りのモノ）	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「what's this?Song」Grit for kids ②アクティビティ ・英語のあいさつをして名刺を渡そう ・イースターエッグを探そう ・友達とご機嫌いかが？を聞き合おう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super Simple Song

2学期	4	（知及技） 日本語と英語の音声と違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声と違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・好きなものはなあに？ （色、食べ物）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 よく聴いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs
	4	（知及技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れ親しむ。 （思判表力） 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えたりする。 （学・人） なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとする。	（知及技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れようとしている。 （思判表力） 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えようとしている。 （学・人） なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとしている。	・好きなものはなあに？ （いろいろな遊び） ・ハロウィンを楽しもう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト （おばけ、魔女、くも） ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット（色、食べ物） ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs
	3	（知及技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 （学・人） 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	（知・技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 （主・学） 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	アルファベットと仲良し （ABCD）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかるた(アルファベットカード使用) ・よく聞いて身体表現しよう （T,O,I,L,M,S,V,X,H）等 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	3	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （思判表力） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （思・判・表） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	クリスマスだよ	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム （カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。） ③フォニックス ④ダンス ・「１年間のダンスの中から選択」
3学期	3	（知及技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 （学・人） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	（知・技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 （主・学） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	この人はだれ？ （家族の紹介）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム【1人～複数人】 （よく聞いて、絵カードを指すゲーム） ・絵本の読み聞かせ 「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	3	（知及技） 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞いたりすることができる。 （学・人） 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとする。	（知及技） 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しもうとしている。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞こうとしたりしている。 （学・人） 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとしている。	私の1日を紹介しよう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム （カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。） ③フォニックス ④ダンス ・「１年間のダンスの中から選択」

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ課程）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部６学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持とうとしている。	・今日から６年生！！ （学年・学級開き） ・１学期頑張ろう会	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		・学級目標や１学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と１学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ることができる。	・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ろうとしている。	・図書室オリエンテーション	・図書室の使い方や決まりについて知り、図書室を利用する。
		・学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	・係活動を決めよう	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・ようこそ島尻へ	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・中学部の授業に参加することができる。	・中学部の授業に参加しようとしている。	・中学部体験	中学部の教室や特別教室等にて、中学生と一緒に授業に参加する。
		・近隣校等の友達と交流することができる。	・近隣校等の友達と交流しようとしている。	・交流学習（白川小）	・交流学習を通して、近隣校等の友達と交流する。
		・１学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・１学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・１学期頑張った会	・１学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
2学期	10	・２学期の個人目標を考えることができる。	・２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・２学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・公共施設での体験や分担された係活動についての見通しを持ち、準備することができる。	・公共施設での体験や分担された係活動についての見通しを持ち、準備しようとしている。	・修学旅行に向けて	修学旅行に向けて、公共施設での体験や分担された係活動についての見通しを持ち、準備する。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・中学部の授業に参加することができる。	・中学部の授業に参加しようとしている。	・中学部体験	中学部の教室や特別教室等にて、中学生と一緒に授業に参加する。

		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・２学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・２学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・２学期頑張った会	・２学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・冬休みの過ごし方	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
３学期	10	・３学期の個人目標を考えることができる。	・３学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶことができる。	・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぼうとしている。	・児童会について ・児童会役員を選ぼう （学年選挙）	・児童会の取り組みを知り、立候補や演説をしたり、応援したい友達を投票で選ぶ。
		・３学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・３学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート）	・目標を振り返り、できたか振り返る。
		・卒業式に向けて見通しを持ち、準備することができる。	・卒業式に向けて見通しを持ち、準備しようとしている。	・卒業式に向けて	・卒業式に向けて見通しを持ち、練習したり準備したりする。
		・１年間を振り返り、中学生への期待を持つことができる。	・１年間を振り返りながら、中学生への期待を持とうとしている。	・もうすぐ中学生	・１年間の学習や行事を振り返り、中学生への期待を持つ。
		・春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・春休みに向けて	・春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。
留意点 引継ぎ等					

6年生

Ⅱ－B課程

令和８年度 小学部６年（Ⅱ課程A・B） 生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部　6学年		文科省著作教科書　☆☆、☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わりに気付くとともに，生活に必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや，身近な人々，社会及び自然と自分との関わりについて理解し，考えたことを表現することができる。 (学･人)自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	カ　役割 「かいをひらこう」 ・新入生を祝う会をひらこう ・かいでつかうものをつくろう ・じゅんびをしよう ・さあ本ばん	【集団の参加や集団内での役割】 ・新転入生を迎える会等、積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。 ・他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。
	2	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「きせつのずかん」 ・はるのずかん	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ィ　安全 「気をつけることはなにかな」 「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう」 ・こんなときどうする？～火じになったら～	【危険防止】 ･火事になったなったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・火災避難訓練 ※訓練と連携し取り組む
	3	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしている。	ケ　きまり 「がっこうのきまり」 ・きまりについてそうだんしよう 「せいかつのきまり」 ・火じやきんきゅうのときにつかうもの	【学校のきまり】 ・必要に応じて簡単なきまりを相談してつくる。 【生活のきまり】 ・学校内や身近な地域において、私たちの命や生活を守るために設置された非常用設備の役割や存在を知る。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ィ　安全 「あんぜんに　くらそう」 ・気をつけてちょうりきぐをつかおう	【危険防止】 ･実際の道具を見たり触ったりしながら、正しい使用の仕方と謝った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気を付けるべき部分などについて考え、意見を出し合う。

	2	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている	キ　手伝い・仕事 「ピザトーストづくりを手つだおう」	【手伝い】 ・簡単な調理を通して、準備,片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。
	3	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「空と天気」 ・たいようと月 ・空と天気	【空と天気の変化と生活】 ・天気予報や台風などの情報に関心をもつ。 ・太陽の出没の方角や満ち欠けなどを観察する。
	4	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇町ではたらく人にあいにいこう ・町のあんぜんをまもるために ・はたらく人たち	【公共施設の利用】 ・警察署や消防署、郵便局などを実際に訪問したり、見学したりして、おおよその意味を分かる。
	3	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「きせつのずかん」 ・なつのずかん	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	2	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしている。	オ　人との関わり 「はなしてみよう」 ・見ききしたことやあそんだことを先生や友だちと話し合おう	【身近な人との関わり】 ・自分自身や家族のほかに親戚等について簡単に話したり紹介したりする。 ・休日、見聞きしたことや遊んだ事を教師や友達と話し合う。 ・写真等を見ながらその時の様子を説明する。
	2	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり，活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々，社会に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり，活用したりしようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 「しらべてみよう」 ・こくみんのしゅく日について ・こくみんのしゅく日のしゅるい	【社会の様子】 ・国民の祝日のおよその意味を調べ、カレンダーを制作する。
	4	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ア　基本的生活習慣 「一人でやってみよう」 ・ねるときのじゅんびかたづけ ・おふろ	【ねるときのじゅんび・かたづけ】 ・就寝前や起床後に行う活動（布団を敷く、布団を畳む）。 ・就寝前（起床後）の活動を家庭における役割として位置づけ、毎日継続的に取り組むことで習慣化を図る。 【おふろ】 ・入浴の際の身体を洗う手順。体の汚れを知る。体の洗い方を知り、動きを模倣する。

	2	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしている。	ケ　きまり 「マナーをまもって気もちよく」	【マナー】 ・バスやモノレール、病院や図書館など公共の場では静かにする等のマナーを理由とともに知る。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	イ　安全 「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう」 ・「こんなとき、どうする？」～じしんがおきたら～ 「さいがいにそなえて」 ・いろいろなさいがい ・あんぜんにひなんする	【危険防止】 ･地震になったなったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・地震火災津波避難訓練 ※訓練と連携し取り組む ・避難場所の確認や非常用持ち出し袋についてなどを確認する。 ※防災の日と合わせて指導するのも良い。
2学期 28	2	(知及技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり，それらを表現しようとすることができる。 (学･人) 自然に積極的に関わったり，意欲と自信を持って学んだり，その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に積極的に関わったり，意欲と自信を持って学んだり，その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 「もののおもさ」（☆☆） ・おもさくらべ（てんびん） ・いろいろなはかり	【物と重さ】 ・天秤を使って重さを比べる。 ・いろいろなはかりを使って重さを量る。
	3	(知及技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活の中で，ものの仕組みや働きが分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活の中で，ものの仕組みや働きが分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしている。	シ　ものの仕組みと働き 「もののかたちとおもさ」	【物と重さ】 ・物は形が変わっても重さは変わらないことに気づく。例えば、粘土などの身の回りにあるものを広げたり、丸めたりするなどして形を変え、手ごたえなどの体感をもとにしながら重さの違いを調べたり、天秤やはかりで量って調べたりする。
	2	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「きせつのずかん」 ・あきのずかん	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	5	(知及技) 金銭の扱い方などの知識や技能をを身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能をを身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ク　金銭の扱い 「おこづかいをもらったら」 「かいもの」 ・いろいろなおかねのはらいかたがあるね	【金銭の扱い】 ・日常生活では、金銭が必要なことが分かり、金銭の種類ごとに分類して数えたり、必要に応じて両替をしたりすることに慣れる。無駄遣いをしないことや遣い道を考えて遣うこと、必要に応じて銀行などを活用する。 【買い物】 ・自分で目的に応じて買い物をする。買い物に必要な言葉を使う、簡単なおつりのある買い物をする、値札を見て買い物をする、レジの場所が分かり、代金を支払う。 【自動販売機の利用】 ・簡単な自動券売機などを自分で利用する。
	4	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり，活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 身近な人々，社会に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり，活用したりしようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 「町ではたらく人にあいにいこう」 ・のりものにのろう ・校がいがくしゅうにいこう	【交通機関の利用】 ・日常的に利用しているモノレールやバスなどの切符を自動券売機などで買う。 ・目的地までそれらを確実に利用する。 ・交通機関が遅延した際の対応方法、校外学習時の目的地までの交通機関を知る。 【公共施設の利用】 ・警察署、消防署などを訪問したり見学したりして社会の一員としての利用の仕方を知る。

3学期 16	5	(知及技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学･人) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	カ　役割 「ちいきのぎょうじ」 ・おまつりでおみせをひらこう ・おまつりのあとかたづけをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・低学年を招いてお店やさんごっこをしたり、1月の学習成果発表会等で保護者や来校者向けにお店をだしたりなど、もてなす側を体験する。 ・積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。 ・他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。
	4	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをすることができる。 (学･人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ　人との関わり 〇でんわやおきゃくさまへのたいおう ・でんわのとりつぎ ・おきゃくさまへのたいおう	【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客時に、適切に取り次ぎする。構内に設置してある電話を活用し、児童が率先して取り次ぐ。
	4	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「きせつのずかん」 ・ふゆのずかん	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	3	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている	キ　手伝い・仕事 「手げいにチャレンジ」	【手伝い】 ・簡単な製作活動を通して、準備, 片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。
年間を通して	35	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ア　基本的生活習慣 「一人でやってみよう！」 ・みだしなみ ・せいりせいとん ・きゅうしょくのじゅんび・かたづけ ・せんたく ・いろいろなトイレ	【身なり】袖口や襟もと、すそ等、身だしなみを整える。 【身の回りの整理】 ・靴や衣服、カバンや文具などの収納方法がわかり、整理整頓をする。 【食事】 ・給食の準備や片付けなど友達と協力して行う。 【清潔】 ・簡単な洗濯をする。 【用便】 ・いろいろな種類のトイレの鍵の使用法を知り、自分で用を足す。
	35	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	ィ　安全 「あんぜんに　くらそう」 ・気をつけてどうぐをつかおう ・あっ！あぶない！	【危険防止】 ･実際の道具を見たり触ったりしながら、正しい使用の仕方と謝った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気を付けるべき部分などについて考え、意見を出し合う。 ・赤信号の横断歩道など、危険が生じる場面でどのような行動をとればよいか考えたり、意見を出し合ったりして、危険回避や対処の方法について話し合う。
	35	(知及技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	ウ　日課・予定 「よていのかくにん」 ・一週間の予定 ・予定がかわったよ ・カレンダーでかくにんしよう ・いろいろなカレンダー	【日課・予定】 ・一週間程度の予定が分かり、カレンダーや予定表を見て学校や家庭の予定などに従って行動する。 ・都合により予定が変更する場合に対応する。

	35	(知及技) きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊ぶことができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊ぼうとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしようとしている。	エ　遊び 「なかよくあそぼう」 ・なにしてあそぶ？ ・ルールをまもってあそぼう ・あそびがおわったら ・もっとたのしくできるかな	【いろいろな遊び】 ・友達を誘って何をして遊びたいか話し合う。 ・ルールのある遊びを通して、約束や勝ち負け、役割などを友達と共有する。 ・道具やルールを工夫、改善しながら、遊びをふくらませていく。 （的あてゲーム、お店屋さんごっこ、縄跳び、ボッチャ、ボウリング、椅子取りゲーム、しっぽ取りゲーム、ボール運びゲーム、玉入れなど） ・昔の文化や遊びにふれたり、遊びを通して豊かなコミュニケーションを築いたりする。 （はないちもんめ、とうりゃんせなど） 【遊具の後片付け】 ・自分から進んで準備や後片付けをし、友達を手伝う。
	35	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現することができる。 (学･人) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	サ　生命・自然 「しょくぶつをそだてよう」 ・たねをまこう ・そだてよう ・しょくぶつのようすをつたえよう ・たねをとろう	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。
留意点 引き継ぎ等					

令和8年度　小学部６年（Ⅱ課程Ｂ）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	小学部６学年		こくご☆　こくご☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思判表力) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学･人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	60	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おはなしの世界 ・絵本 ・パネルシアター ・ペープサート　等	○様々な「おはなし」の読み聞かせに注目し、絵本、紙芝居、ペープサート、写真等に興味をもつ。 ○「読書月間」等の機会を活用して、自分の好きな絵本を探したり見たりする。 ○暑中見舞いや年賀状を書く。
1学期	10	(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じようとしている。 (思・判・表) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	がっこうせいかつ ・あさのかい ・かかり ・こくご ・たいいく ・きゅうしょく ・そうじ	・あさのかい：言葉の学習、学級の日課や予定の確認、挨拶等 ・かかり：言葉の学習、やり取り、話し合い等 ・こくご：図書室、挨拶、絵本、話し合い等 ・たいいく：言葉の学習、やり取り、運動遊びやスポーツの種類等 ・きゅうしょく：言葉の学習、献立名、挨拶、会話等 ・そうじ：清掃用具の名前、言葉と行動の結び付け、言葉の学習等
	10	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動することができる。 (学･人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表) 絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	しるし	○場面の構成：廊下に貼ってある体育館の絵カードや「→」の記号を見ながら、体育館へ移動する。体育館へ到着し、遊ぶ。絵カードに従って片づける。先生が「○」で評価する。 ○登場人物を真似て教師とやりとりをする、絵カード等を選択して自分の意思を伝える等の活動へつなげていく。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	10	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学･人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じとろうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	ほっとけーき	○『おいしそうに出来上がったホットケーキ』→『フライパンを用意したり、卵を割ったり、粉をかき混ぜたりしている様子』→『ホットケーキが焼きあがる様子』→『出来上がったホットケーキをテーブルに運ぶ様子』 ○絵を通して、伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表したり、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現する。
	5	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学･人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	くまさんくまさん	○くまさんと子供が出会い、握手をしたり一緒に跳躍したりして遊び、「さようなら」と挨拶をしてお別れをする。 ○児童がくまさん役になり、教師からの呼びかけに応じたり、いろいろな動作を一緒にしたりすることで、話を楽しみながらその内容を大まかに把握する。

2学期	5	(知及技) ・読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) ・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) ・読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) ・言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	あなたはだあれ	○男の子が野原で、犬、猫、豚、あひる、牛の順に出会い、最後に皆で並んで歩いていく。 ○シルエットの動物が何であるか、絵に注目して名称を当てる。難しければ、ヒント（鳴き声など）を提示してイメージを膨らませる。
	10	(知及技) 身近な人との会話を通して，物の名前や動作など，いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思判表力) 簡単な指示や説明を聞き，その指示等に応じた行動をすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 身近な人との会話を通して，物の名前や動作など，いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 (思・判・表) 簡単な指示や説明を聞き，その指示等に応じた行動をしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	おはなしできるかな ・おでかけ ・かいもの ・あそび ・たまご	・おでかけ：母親と一緒に電車に乗って外出する様子。どこに出かけたのかを想像を膨らませて考える。 ・かいもの：保護者から頼まれた品物を買ってくる様子。お店で買ったものを想像し言葉にする。 ・あそび：児童が友達と一緒に遊ぶ様子。したい遊びを選んだり日頃楽しんでいる遊びを伝えたりする。 ・たまご：卵を使った調理。何ができるか想像する。
	10	(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ，言葉が，気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力) 体験したことなどについて，伝えたいことを考えることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ，言葉が，気持ちや要求を表していることを感じている。 (思・判・表) 体験したことなどについて，伝えたいことを考えている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	どんなきもちかな ・ぷれぜんと ・ころんだ	・ぷれぜんと：プレゼントを「わたすーもらう」場面。場面において想起した気持ちを言葉で伝える。 ・ころんだ：「走るー転ぶ」場面。言葉と気持ち、表情記号。
3学期	10	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・はる ・なつ ・あき ・ふゆ	○春：遠くに雪の残っている山々を臨む菜の花畑を、楽しそうに駆け抜けていく子供たちを表現した風景。 ○夏：砂浜で遊んだり海で泳いだりしている子供たちなど、夏の海を表現した風景。 ○秋：紅葉で燃えるような山々、野原で枯れ葉を舞わせて遊ぶ子供たちなどを表現した風景。 ○冬：白銀の世界の中をスキーやスノーボードで滑り降りていく子供、山の麓で雪だるまを作っている子供など、冬の山を表現した風景。 ○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付け
	10	(知及技) ・いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力) ・文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人) ・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知及技) ・いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ろうとしている。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ろうとしている。 (思判表力) ・文字に興味をもち、書こうとしている。 (学・人) ・言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	かいてみよう ・かいてみよう１ ・かいてみよう２ ・かいてみよう３ ・かいてみよう４	文字を書くことへの興味・関心を育てつつ、筆記具の正しい持ち方を知ったり、運筆など筆記具の扱いに慣れて、いろいろな線を書いたりすることができるようになるような活動を行う。 ・かいてみよう１：黒板にいろいろな線を書いて楽しむ。画用紙にクレヨンやフェルトペンで線を引いたり、絵を描いたりして楽しむ。 ・かいてみよう２：魚、葉っぱ、いちご、みかんにフェルトペンや色鉛筆で塗り絵をする。 ・かいてみよう３：大小の雲と、大小の傘の絵。雲と傘の間に雨が降っているのを模倣して、縦方向の線をイメージして書く。 ・かいてみよう４：蛇口につながったホースとプールの絵。ホースの先からプールに向かって、横方向の線をイメージして書く。 ・毛筆を使っての書初めの体験をする。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度　小学部６年（Ⅱ-B課程）　算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	小学部６年		さんすう☆　さんすう☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力，判断力，表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに，日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学･人) 　数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・ものとものとを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものとものとを対応させて配ろうとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・おなじまーくは，どれでしょう ・じぶんのまーくは，どこでしょう ・みんなに　くばりましょう	【おなじまーくは，どれでしょう／じぶんのまーくは，どこでしょう】 　特別な物（自分のもの）を他と見分ける。 【みんなに　くばりましょう】 　一人に一つのもの，一つのものに他の一つのものを対応する。
	24	(知及技) ・分割した絵カードを組み合わせることができる。 ・関連深い絵カードを組み合わせることができる。 (思判表力) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりすることができる。 (学･人) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・分割した絵カードを組み合わせようとしている。 ・関連深い絵カードを組み合わせようとしている。 (思･判･表) ・ものとものとを関連付けることに注意を向け，ものの属性に注目し，仲間であることを判断したり，表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・あわせましょう①② ・なかまをあつめましょう	【あわせましょう①②】 　切り離した絵のそれぞれの絵カードから情報を読み取り，読み取った情報を基に，一枚の絵を完成させる。 【なかまをあつめましょう】 　身近でなじみのある食べ物を集める，動物を集めるなど，指定された属性の中で，関連深い絵カードを集める。
2学期	28	(知及技) ・形が同じものを選ぶことができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・形が同じものを選ぼうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持とうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・おなじかたちを，みつけましょう ・おなじかたちを，えらびましょう	【おなじかたちを，みつけましょう】 　①形を捉える。 　②形が同じであると認識する。 【おなじかたちを，えらびましょう】 　①形を捉える。 　②形が同じであると判断する。 　③同じ形を選択する。
	28	(知及技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表すことができる。 ・５までの範囲で数唱をすることができる。 ・３までの範囲で具体物を取ることができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表そうとしている。 ・５までの範囲で数唱をしようとしている。 ・３までの範囲で具体物を取ろうとしている。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・いち，に，たくさん ・いち，に，さん，し，ご ・とりましょう	【いち，に，たくさん】 　①左右の手に一つずつ具体物を持ち，それでもまだ両手には持てないほどの具体物がある状況，自分の手では持てないほどの量があることを体感する。 　②「１個，２個，たくさん」と表現することに気付く。 【いち，に，さん，し，ご】 　５までの範囲で数を唱える。 【とりましょう】 　３までの数の具体物を取る。
3学期	18	(知及技) ・似ている二つのものを結びつけることができる。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。 ・同じもの同士の集合作りをすることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持つことができる。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かすことができる。 (学･人) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・似ている二つのものを結びつけようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせようとしている。 ・同じもの同士の集合を作ろうとしている。 (思･判･表) ・ものの属性に着目し，様々な情報から同質なものや類似したものに気付き，日常生活の中で関心を持とうとしている。 ・ものとものとの関係に注意を向け，ものの属性に気付き，関心をもって対応しながら，表現する仕方を見つけ出し，日常生活で生かそうとしている。 (主学) ・図形に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・にているものを，みつけましょう ・そろえましょう ・おなじかたちを，あつめましょう	【にているものを，みつけましょう】 　①形をおおまかに捉える。 　②形が同じであるか，同じでないかを区別する。 　③似ていることを捉える。 【そろえましょう】 　①様々な刺激の中から，ものとものとを関連付けるために必要な情報として，形を取り出す。 　②仲間であることを判断する。 　③対にすることでそれを表現する。 【おなじかたちを，あつめましょう】 　①形に着目する。 　②形を捉える。 　③同じ形と認識する。 　④同じ形を選択し，一つのところに集める。
	18	(知及技) ・対応させてものを配ることができる。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かすことができる。 (学･人) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・対応させてものを配ろうとしている。 ・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことに気付くことができる。 (思･判･表) ・数詞とものの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き，算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・まーくに，あわせて，ならべましょう ・ぜんぶ「さん」	【まーくに，あわせて，ならべましょう】 　ボウリングのピンを準備する場面を捉え，マークを手掛かりに，必要な数のピンを置く（配る）。 【ぜんぶ「さん」】 　様々な具体物やイラストなどを操作する，指差すなどの動きを伴う活動を通して，形や色が違う具体物でも数が変わらないこと，間隔や置き方などの位置が変わっても数が変わらないことに気付く。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　6年　音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部6年（Ⅱ-A・B課程）		音楽

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付ける。 (思判表力) 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。 (学･人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむことができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 思いに合った表現をするために必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 思いに合った表現するために必要な技能を身に付けようとしている。 (思･判･表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・うたってみよう （校歌、学年の歌、季節の歌など） ・楽しくおどろう （学年のダンス、手話ソングなど） 「うみ」「かたつむり」「春がきた」	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知及技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思･判･表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・きこう　みよう （パネルシアター、ペープサート、行事の歌、季節の歌、手遊び動画、日本の歌、外国の歌など）	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		(知及技) リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくことができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 (思･判･表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の雰囲気を感じてみよう ・音楽に合わせて体を動かそう ・リズムを打ってみよう ・伝統的な音楽や楽器について学ぼう 「きらきらぼし」「こいぬのマーチ」など	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする

2学期	28	(知及技) 思いに合った体の動きで表現するために必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 思いに合った体の動きで表現するために必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・うたってみよう ・楽しくおどろう 「虫のこえ」「夕やけこやけ」など	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知及技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・きこう　みよう （パネルシアター、ペープサート、行事の歌、季節の歌、手遊び動画、日本の歌、外国の歌など）	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける
		(知及技) 声や身の回りの様々な音の特徴、簡単なリズム・パターンの特徴を生み出す面白さなどと関わって気付くことができる。 (思判表力) 曲のリズムや速度、旋律について気付くことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 声や身の回りの様々な音の特徴、簡単なリズム・パターンの特徴を生み出す面白さなどと関わって気付こうとしている。 (思・判・表) 曲のリズムや速度、旋律について気付こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の雰囲気を感じてみよう ・音楽に合わせて体を動かそう ・リズムを打ってみよう ・伝統的な音楽や楽器について学ぼう 「エイサー」「山の音楽家」など	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 ・簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする。
3学期	18	(知及技) 思いにあった歌い方で歌うために必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりできる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 思いにあった歌い方で歌うために必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしようとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・うたってみよう （校歌、学年の歌、季節の歌など） ・楽しくおどろう （学年のダンス、手話ソングなど） 「日のまる」「ひらいたひらいた」「かくれんぼ」など	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知及技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・きこう　みよう （パネルシアター、ペープサート、行事の歌、季節の歌、手遊び動画、日本の歌、外国の歌など）	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける

		(知及技) リズム、速度や強弱の違いや演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくことができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつことができる。 (学･人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) リズム、速度や強弱の違いや演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 (思･判･表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の雰囲気を感じてみよう ・音楽に合わせて体を動かそう ・リズムを打ってみよう ・伝統的な音楽や楽器について学ぼう 「エイサー」「鬼のパンツ」など	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにづくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 ・簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ課程）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部６年生		小３段階

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などを意識して、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力) 表したいこと思い付いたり，表し方を考えたりして、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったり見方を広げたりすることができる。 (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、自分でイメージをもって形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 〇いろいろな技法 ・はじき絵（パチック技法） ・にじみ絵 ・デカルコマニー ・フロッタージュ　など	・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 ・半分に折った画用紙の間に破産だ紐などをひっぱてできる模様を楽しむ。 ・ 〈道具：クレヨン､絵の具、ロウ、マーブリング液、のり、はさみ、等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、､新聞紙、段ボール箱、竹串、和紙、浅いバット等〉
		(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくろうとしている。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 〇描いてみよう ・自慢の家族 ・自分や友達の絵を描こう	・いろいろな形や色を見つけ工夫して表す、描きたいものを思いつく、思いついたものを楽しく描く。 ・指や手で描いて形を見つけ工夫して表す、指や手で試しながら表したいことを考える、指や手で描くことを楽しむ。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具、カップ、液体粘土等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付くこと。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（工作） 〇にょきにょきとびだせ	・袋をふくらませる仕組みから、思いついたものを作る。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料：色画用紙、新聞紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物等〉 (教科書：ずがこうさく1･2上 P56～57 参考)
		(知及技) 自分の感覚や行為を通して､形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料や､感じた事、創造したことから表したいことを思いついたり、形や色などの感じを基に自分のイメージを持つことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 自分の感覚や行為を通して､形や色などの感じに気付いている。 (思判表力) 材料や､感じた事、創造したことから表したいことを思いついたり、形や色などの感じを基に自分のイメージを持つことができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむことができている。	描画 〇はさみのアート	・はさみを使って（色）画用紙を自由に切る。それを画用紙にレイアウトし、何が見えてくるか観察。 ・イメージがわいてきたら、それをもっと強調できるよう加筆する。イメージがなかなかつかめないときは、目玉シールを使って、形の特長を生かした顔に見立てて遊ぶ。最後に絵に名前をつける。 〈道具：はさみ、のり、水性ペン〉 〈材料：色画用紙、画用紙、目玉シールなど〉 (教科書：ずがこうさく1･2下 P36～37 参考)
2学期	25	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりしようとしている。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと，思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 〇感じたこと、見たことを描こう ・校外学習行ってきたよ ・修学旅行行ってきたよ ・おはなしかられうまれたよ	・生活の中で見たことや感じたこと、体験したことを描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン､絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができている。 (思判表力) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（染色など） 〇Tシャツを作ろう ・Tシャツを染めよう ・ロゴを考えよう	・宿泊学習用の学年Tシャツを制作する。 〈道具：染色液、転写シートなど〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い，工夫して絵をかいたり，作品をつくろうとしている。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（立体） 〇粘土で作ろう ・面シーサー	・沖縄の伝統工芸の一つにヤチムンがあることを学ぶ。 ・見本のシーサーを手掛かりに、オリジナルのシーサーを作る 〈道具：絵の具、筆、板、竹串等〉 〈材料：紙粘土、粘土、等〉 ※粘土をやく場合には美術科と要調整※
		(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくったりすること。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 身近な材料や用具を使い，かいたり，形をつくろうとしている。 (思判表力) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たこと思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	版画 〇パラエティー紙版画	・様々な厚みの紙、素材を好きな形に切って貼り合わせる。 ・自分の顔や、好きなものをイメージして貼り合わせていく。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ 〈材料：画用紙、クレープ紙、プチプチマット、段ボール、自然物等〉
3学期	20	(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形などの感じに気付くことができる (思判表力) 形の感じから自分のイメージを持ったり、表したいことを思いついたりすることができる。表し方の面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人)楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形などの感じに気付くことができている。 (思判表力) 形の感じから自分のイメージを持ったり、表したいことを思いついたりすることができる。表し方の面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができている。 (学・人) 造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（粘土） 〇ねんどでつくろう ・動物や食べ物	・好きな動物や生き物の形をイメージし、形に表す。 ・好きな食べ物、料理の形をイメージして作り、皿や弁当箱に入れて仕上げる。紙粘土なら、着色も楽しめる。 〈道具：粘土板、へら・型類、切り糸等〉 〈材料：紙粘土や油粘土〉
		(知及技) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。基本的な材料や用具を使って工夫して制作活動ができる。 (思判表力) 形や色の感じを基に自分のイメージを持ったり、表し方の面白さを感じ取ったりすることができる。⑤⑩ (学・人共同制作を通して、友達との表現の違いなどを楽しむ事ができる。	(知及技) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。基本的な材料や用具を使って工夫して制作活動ができている。 (思判表力) 形や色の感じを基に自分のイメージを持ったり、表し方の面白さを感じ取ったりすることができている。 (主学) 共同制作を通して、友達との表現の違いなどを楽しむ事ができている。	作る（工作・造形） 〇協力して作ろう ・卒業式壁画 ・卒業制作	卒業式を迎える気持ち、卒業生を送る気持ちを改めて見つめる。壁画全体のイメージを把握し、テーマを確認する。自分たちが制作する部分と全体との関係を把握する。
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 自分たちの作品や、日常生活の中にあるものなどの形や色。表し方の面白さなどについて，感じ取り，自分の見方や感じ方を広げること。 (学･人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付こうとしている。 (思判表力) 自分たちの作品や、日常生活の中にあるものなどの形や色。表し方の面白さなどについて，感じ取り，自分の見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	鑑賞 〇見てみよう ・ふりかえり ・絵画鑑賞	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しみみることができる。

留意点 引継ぎ等	描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）

令和８年度　小学部6年（Ⅱ課程B）　体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部6学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。 (思判表力)基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。 (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体つくり運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・体つくり運動	【多様な動きをつくる運動遊び】 ・車イスの動きを生かし、その場で右回り・左回りに方向転換をする. ・車イスを操作しながら、ゆっくり進む・速く進むなどスピードに変化をつけて移動したり、決められたラインの上をまっすぐ進んだりする。 ・コース上に描かれた大きな円に沿って、右回り・左回りにこいだり、進んだり、止まったりする。 ・大きさや重さの異なるボールを、両手で持ち上げたり、ひざの上で支えたり、前に押し出したりする。
	8	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしようとしている。 (思･判･表)水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとしている。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・水の中での運動	【水につかっての水かけっこやまねっこ遊び】 ・水につかって様々な動物（アヒル、カニ、カエル、ワニなど）の真似をしながら、腰やひざを伸ばして一直線の姿勢になり手足を使って進む運動をする。 ・自ら水を頭や顔にかけたり、お互いにかけ合ったりする運動をする。 ・基本的な運動を行う中で、その楽しさや心地よく感じたことを言葉や表情、ジェスチャーなどで教師に知らせたり、友達に伝えたりする。 【簡単なきまり】 ・約束を踏まえ、友達と一緒にけがをしないよう注意して活動する。
	8	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすることができる。（ (思判表力)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしようとする。 (思･判･表)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っての基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・器械・器具を使っての運動	【固定施設を使った基本的な運動】 ジャンピングボードやエアートランポリンに手をついたり、肘をのせて体を支えたりしながら、体の上下や弾力を感じ取る運動を行う。 【マットを使った基本的な運動】 職員の補助のもと、マット上で上体の前後の傾きを感じたり、体を丸める・伸ばす動きを体験する。 【低鉄棒を使った基本的な運動】 鉄棒を両手で握り、腕で体を支えたり、軽く押したりしながら運動を楽しむ。 【低い跳び箱を使った基本的な運動】 ・教師の補助のもと、跳び箱上にまたいで座ったり、手を使用して移動したりする。
	12	(知及技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。（小2段階） (思判表力)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（小2段階） (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとすることができる。（小2段階）	(知・技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしようとする。 (思･判･表)基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・表現運動	【リズムと動き】 ・手足を曲げ伸ばししたり、上下に動かしたりして自由に踊ること。 ・音楽やリズムに合わせて体を揺らしたり、体をねじるなどの運動をする。（軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲）

2学期	12	(知及技）教師の支援を受けながら、車いすでの前進・方向転換・速度調整など、基本的な移動の運動に楽しく取り組むことができる。 (思判表力)車いすでの移動に慣れ、スピードの変化・動き方の違い・コース取りなどで感じた楽しさや気づきを、言葉・表情・合図などで表現することができる。 (学･人)安全に参加できる簡単なきまりを守り、友だちと順番を守ったり、合図で動いたりしながら、車いすでの移動運動に進んで参加しようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、車いすでの前進・方向転換・速度調整など、基本的な移動の運動をしようとする。 (思･判･表)車いすでの移動に慣れ、スピードの変化・動き方の違い・コース取りなどで感じた楽しさや気づきを、言葉・表情・合図などで表現しようとする。 (主学)安全に参加できる簡単なきまりを守り、友だちと順番を守ったり、合図で動いたりしながら、車いすでの移動運動に進んで参加しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・走・跳の運動	【走る運動】 ・折り返しのリレーなどで，教師や友達と手のひらを向けてタッチするなどをする。 ・一定距離の走行、コーン回避、ゆるやかなスロープを使った移動、軽い段差越えの練習 など） ・スタートの合図を待つ、停止線で止まる、友だちの動きを見て協力する。 【乗り越える運動】 ・低い障害物や凸凹などを使い、車イスで乗り越えて障害物を通過する。
3学期	19	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・ボールを使った運動 ・ゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・転がす，投げる，当てる，捕る，打つ，蹴る，止めるなどの簡単なボール操作をする。 ・先生や友達にボールを転がしたり，投げたり，先生や友達が転がしたり，投げたりしたボールを止めたり，捕ったりする。 ・先生や友達とボールの蹴り合いをする。 【ボールを使ったゲーム】 ・ねらったところにボールを転がしたり，投げたり，蹴ったりして的に当てたり得点したりする。 ・先生や友達にボールを手渡したり投げたりしてゴールにボールを運ぶ。 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 一人鬼，手つなぎ鬼，子増やし鬼
年間を通して	5	(知及技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 (学･人)教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとすることができる。	(知・技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をしようとする。 (思･判･表)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えようとする。 (主学))教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・保健	【健康な生活に必要な事柄に慣れる】 「進んで行動をしよう」 ・授業に必要な事柄を自ら行う 「落ち着いて身体測定や健康診断を受けよう」 ・事前学習、練習 【感じたことを他者に伝える】 「自分の体調を伝えよう」 言葉や絵カード、サイン等を利用して、痛い部位を伝える。
留意点引継ぎ等					

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ-B課程）　特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部６学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	･よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的･多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとする思いをもつ	・自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとしている	【個性の伸長】 ・じこしょうかい ～好きなこと、苦手なこと～ ・みんなのいいところ	・自己紹介カードを作成し、自分の好きなことや苦手なこと等を考えたり、他者に伝えたりしながら、自分の特徴に気付く ・友達の「良いところ探し」をし、お互いに伝えあうことで、自分の特徴に気付く
	4	・周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとする気持ちをもつ ・友達と仲良くし、助け合うことの大切さに気付く	・教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしている ・友達と仲良くするためにどうしたらいいのか気付いている	【友情、信頼】 ・みんなで 遊ぼう ・みんな なかよく	・遊び等を通して、身近な大人である教師との信頼関係を築き、教師を介して他の子供と関わること ・友達と「仲良くすること」「助けあうこと」「仲直りすること」などを学習 （平和学習と関連付ける）
	3	・日々に生活経験の中で生きていることの素晴らしさを感じ取り、生命を大切にしようとする気持ちをもつ	・日々に生活経験の中で生きていることの素晴らしさを感じ取り、生命を大切にしようとする気持ちをもっている	【生命の尊さ】 ・大切な いのち	・当たり前のことで見過ごしがちな「生きている証」を実感する 例）体にはぬくもりがあり、心臓の鼓動が規則的に続いている・夜はぐっすり眠り、朝は元気に起きている・おいしく朝食が食べられる・学校に来てみんなを楽しく活動できる　など （平和学習や誕生日などを関連ける）
	3	・よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする思いを持つ	・よいと思うことを進んで行うことの大切さに気付いている ・してはならないことは、しないようにしようとする気持ちを持っている	【善悪の判断、 自律、自由と責任】 ・よいこととわるいこと	・よいことと悪いことを区別すること ・「よいと思うことを進んで行う」 ・「してはならないことはしない」を学習
2学期	4	・生活の上で必要な約束やきまりの意味を考え、それらを守ろうとする気持ちを持つ	・約束やきまりの意味を考えたり、それらを守ることの大切さに気付いている。 ・日頃の自分の生活を振り返ったり、みんなで使う物や場所を大切に使おうとする気持ちをもっている	【規則の尊重】 ・みんなで 守ろう	・「約束、きまりを守ること」 ・「みんなが使う場所を大切にする」 ・「みんなが使う物を大切にすること」を学習 （校外学習と関連付ける）
	3	・自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付く	・自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付いている	【希望と勇気、 努力と強い意志】 ・さいごまで がんばる	・係活動や学校行事等を題材にし、「やるべき事をしっかり行う」ことの学習を行う
	4	・家族など日頃お世話になっている人達に感謝の気持ちを持つこと	・自分がいろいろな人に支えられていることに気付き、感謝の気持ちを持ち、表現している	【感謝】 ・いつも ありがとう	・周りの人の善意に気付き、感謝できる気持ちがもてるようにする （勤労感謝の日と関連付ける）
	3	・身近な自然に気付き、動植物に優しく接する気持ちをもつ	・身近な自然に気付き、動植物に優しく接しようとする気持ちを持っている	【自然愛護】 ・しぜんと なかよく	・「自然に親しむこと」 ・「動物に優しく接すること」など ※動植物を実際に見たり、触ったりして様々な感覚を直接的に体験する学習を通して学習 （修学旅行と関連付ける）
3学期	4	・身の回りを整えることのよさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする思いをもつ ・規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付く	・身の回りを整えることのよさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする気持ちを持っている ・規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付いている	【節度、節制】 ・毎日を きもちよく ・規則正しい生活	・健康や安全に気を付けた生活ができるようにするための基本的な生活習慣を身に付けることを学習
	3	・働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようとする思いを持つ	・働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようという気持ちを持っている	【勤労、公共の精神】 ・わたしに できること	・大掃除や分担区清掃等を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働くことについて学ぶ。

令和８年度 小学部６年（Ⅱ課程）　外国語活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 ６学年		Let's try!1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 (思判表力)　身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学･人)　外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 (学･人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	(知・技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	あいさつをして友達になろう ごきげんいかが？ いろんな国のあいさつ	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・英語のあいさつをして名刺を渡そう ・イースターエッグを探そう ・友達とご機嫌いかが？を聞き合おう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super Simple Song
	4	(知及技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	(知・技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	自己紹介をしよう すうじ すごろくゲーム	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹介をしよう ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ボールを持っている人が自己紹介 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super Simple Song
	4	(知及技) 曜日、の言い方を知り、曜日を訪ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の好きな曜日を言ったり、さまざまな手段を用いて伝え合うことができる。 (学･人) 教師の支援を受けて、曜日を英語で話そうとする。	(知及技) 曜日、の言い方を知り、曜日を訪ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思判表力) 自分の好きな曜日を言ったり、さまざまな手段を用いて伝え合おうとしている。 (学･人) 教師の支援を受けて、曜日を英語で話そうとしている。	今日は何曜日？ 天気？ 何月？	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「Days Of The Weak Song」 Super Simple Song ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する ・３ヒントゲーム ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「head Shoulders Needs&Toes」 Super Simple Song
	4	(知及技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) クイズを出したり答えたりし合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	(知・技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) クイズを出したり答えたりし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	これなあに？ （身の回りのモノ）	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「what's this?Song」Grit for kids ②アクティビティ ・英語のあいさつをして名刺を渡そう ・イースターエッグを探そう ・友達とご機嫌いかが？を聞き合おう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super Simple Song

2学期	4	（知及技） 日本語と英語の音声と違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声と違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・好きなものはなあに？ （色、食べ物）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 よく聴いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs
	4	（知及技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れ親しむ。 （思判表力） 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えたりする。 （学・人） なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとする。	（知及技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れようとしている。 （思判表力） 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えようとしている。 （学・人） なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとしている。	・好きなものはなあに？ （いろいろな遊び） ・ハロウィンを楽しもう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト （おばけ、魔女、くも） ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット（色、食べ物） ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs
	3	（知及技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 （学・人） 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	（知・技） 身の回りには活字体の文字で表されているものがることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 （主・学） 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	アルファベットと仲良し （ABCD）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかるた(アルファベットカード使用) ・よく聞いて身体表現しよう （T,O,I,L,M,S,V,X,H）等 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	3	（知及技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （思判表力） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （思・判・表） 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主・学） 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	クリスマスだよ	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム （カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。） ③フォニックス ④ダンス ・「１年間のダンスの中から選択」
3学期	3	（知及技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 （学・人） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	（知・技） 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表） 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 （主・学） 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	この人はだれ？ （家族の紹介）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム【1人～複数人】 （よく聞いて、絵カードを指すゲーム） ・絵本の読み聞かせ 「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	3	（知及技） 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞いたりすることができる。 （学・人） 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとする。	（知及技） 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しもうとしている。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞こうとしたりしている。 （学・人） 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとしている。	私の1日を紹介しよう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム （カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。） ③フォニックス ④ダンス ・「１年間のダンスの中から選択」

令和８年度 小学部　６年（Ⅱ課程）　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部６学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持とうとしている。	・今日から６年生！！ （学年・学級開き） ・１学期頑張ろう会	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		・学級目標や１学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と１学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ることができる。	・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ろうとしている。	・図書室オリエンテーション	・図書室の使い方や決まりについて知り、図書室を利用する。
		・学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	・係活動を決めよう	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・ようこそ島尻へ	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・中学部の授業に参加することができる。	・中学部の授業に参加しようとしている。	・中学部体験	中学部の教室や特別教室等にて、中学生と一緒に授業に参加する。
		・近隣校等の友達と交流することができる。	・近隣校等の友達と交流しようとしている。	・交流学習（白川小）	・交流学習を通して、近隣校等の友達と交流する。
		・１学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・１学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・１学期頑張った会	・１学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
2学期	10	・２学期の個人目標を考えることができる。	・２学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・２学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・公共施設での体験や分担された係活動についての見通しを持ち、準備することができる。	・公共施設での体験や分担された係活動についての見通しを持ち、準備しようとしている。	・修学旅行に向けて	修学旅行に向けて、公共施設での体験や分担された係活動についての見通しを持ち、準備する。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・中学部の授業に参加することができる。	・中学部の授業に参加しようとしている。	・中学部体験	中学部の教室や特別教室等にて、中学生と一緒に授業に参加する。

		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・２学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・２学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・２学期頑張った会	・２学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・冬休みの過ごし方	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
３学期	10	・３学期の個人目標を考えることができる。	・３学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・１学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶことができる。	・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぼうとしている。	・児童会について ・児童会役員を選ぼう （学年選挙）	・児童会の取り組みを知り、立候補や演説をしたり、応援したい友達を投票で選ぶ。
		・３学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・３学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート）	・目標を振り返り、できたか振り返る。
		・卒業式に向けて見通しを持ち、準備することができる。	・卒業式に向けて見通しを持ち、準備しようとしている。	・卒業式に向けて	・卒業式に向けて見通しを持ち、練習したり準備したりする。
		・１年間を振り返り、中学生への期待を持つことができる。	・１年間を振り返りながら、中学生への期待を持とうとしている。	・もうすぐ中学生	・１年間の学習や行事を振り返り、中学生への期待を持つ。
		・春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・春休みに向けて	・春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。
留意点 引継ぎ等					

訪問教育
4年生
Ⅱ－B課程

令和８年度 小学部訪問　生活科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
22	訪問学級４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常のケアや触覚刺激を体験することができる。 (思判表力)快・不快を反応で示すことができる。 (学･人)生活場面で落ち着いて過ごすことができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	5	(知及技) 教師や身の回りの人に気づき教師と一緒に簡単な挨拶などをすることができる。 (思判表力) 教師や身の回りの人に気づき、感じたことを身体の動き等で伝えることができる。 (学･人) 教師や身の回りの人に関心をもって学習活動に参加することができる。	(知・技) 教師や身の回りの人に気づき教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (思･判･表) 教師や身の回りの人に気づき、感じたことを身体の動き等で伝えようとしている。 (主学) 教師や身の回りの人に関心をもって学習活動に参加しようとしている。	「先生や友達と仲良くなろう、お話しよう」 （小学部1段階　人との関わり） ・教師や友達と遊ぼう	・始まりの会、終わりの会をする。 ・スクーリング、リモートで交流する。 ・スクーリングに参加したり、交換ノートなどでお互いの様子を伝えたりする。
	4	(知及技) 身の回りの遊びに気づき、友達や教師と同じ場所で遊ぶことができる。 (思判表力) 身の回りの遊びに気づき、感じたことを身体の動き等で伝えることができる。 (学･人) 教師や友達の働きかけを受け入れ、安定した気持ちで遊ぶことができる。	(知及技) 身の回りの遊びに気づき、友達や教師と一緒に遊ぼうとしている。 (思判表力) 身の回りの遊びに気づき、感じたことを身体の動き等で伝えようとしている。 (主学) 教師や友達の働きかけを受け入れ、安定した気持ちで遊ぼうとしている。	「楽しく遊ぼう」 （小学部1段階　遊び） ・水遊び ・シャボン玉遊び ・新聞紙遊び」 ・感触遊び	・感触遊びをする ・簡単な玩具遊びをする。 ・教師と一緒に関わって遊ぶ。
	5	(知及技) 身の回りにある生命や自然に気づき、教師と一緒に見たり、触れたりできる。 (思判表力) 身の回りの遊びに気づき、感じたことを身体の動き等で伝えることができる。 (学･人) 教師の働きかけを受け入れ、安定した気持ちで活動ことができる。	(知及技) 身の回りにある生命や自然に気づき、教師と一緒に見たり、触れたり使用としている。 (思判表力) 身の回りの遊びに気づき、感じたことを身体の動き等で伝えようとしている。 (主学) 教師の働きかけを受け入れ、安定した気持ちで活動しようとている。	「季節を感じよう」 （小学部1段階　生命・自然）	・季節の草花等の観察する （触る、見る、匂いをする等） ・近所を散策し、風や光、匂い、環境音等を感じる
	4	(知及技) 簡単な日課に気づき、教師と一緒に行動することができる。 (思判表力) 簡単な日課に気づき、感じたことを伝えることができる。 (学･人) 身の回りの簡単な日課に関心を持ち、自ら活動に向かおうとすることができる。	(知及技) 簡単な日課に気づき、教師と一緒に行動しようとしている。 (思判表力) 簡単な日課に気づき、感じたことを伝えようとしている。 (主学) 身の回りの簡単な日課に関心を持ち、自ら活動に向かおうとしている。	「今日は何をするのかな」 （小学部1段階　日課予定） ・はじまるよ。おわるよ。 ・きょうのべんきょう	・今日の学習や次の学習予定について教師の話を聞く。
	4	(知及技) 身の回にあるの社会の仕組みや公共施設に気づき教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (思判表力) 身の回にあるの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心を持つことができる。 (学･人) 教師や身の回りの人に関心をもって学習活動に参加することができる。	(知及技) 身の回にあるの社会の仕組みや公共施設に気づき教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (思判表力) 身の回にあるの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心を持つことができる。 (学･人) 身の回りの簡単な日課に関心を持ち、自ら活動に向かおうとしている。	「校外学習にさんかしよう」 ・校外学習 ・スクーリング	・教師や保護者と一緒に校外学習に参加する。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部訪問　国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
28	訪問学４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)絵本や音声を聞き、音や声に気づくことができる。 (思判表力)好きな音や声に反応を示すことができる。 (学･人)読み聞かせに落ち着いて参加することができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	10	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 絵本などを見て、示された身近な事象や生き物などに気づき、注目することができる。 (学･人) 言葉で表すことやその良さを感じることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思･判･表) 絵本などを見て、示された身近な事象や生き物などに気づき、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じようとしている。	「お話を楽しもう」 小学部1段階　(読むこと) ・絵本をみよう ・パネルシアターをみよう ・ペープサートでたのしもう	①児童の実態にあった絵本の読み聞かせを行う。 ②季節や行事にあわせて、読み聞かせを行う。 ③絵本やパネルシアターやペープサート等、色々なお話遊びをする。
	15	(知及技) 身近な人の話しかけに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人からの話しかけに注目したり、応じたり答えたりすることができる。 (学･人) 言葉で表すことやその良さを感じることができる。	(知及技) 身近な人の話しかけに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思判表力) 身近な人からの話しかけに注目したり、応じたり答えたりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じようとしている。	「お話をしよう」 小学部1段階　A聞くこと・話すこと ・始まりの会、終わりの会 ・各活動の中で （授業のこと、体のこと、経験したこと等） ・お話遊び	①先生の話を聞く。 ②自分の話したいことや気持ち等を伝える。 ③お話遊びを通して、具体物に触れたり、言葉を動作化したりする。
	3	(知及技) 様々な筆記用具に気づき、触れることができる。 (思判表力) 色々な筆記用具で書けることに気づき、教師と一緒に書くことができる。 (学･人) 筆記用具で書く楽しさを感じることができる。	(知及技) 様々な筆記用具に気づき、触れようとしている。 (思判表力) 色々な筆記用具で書けることに気づき、教師と一緒に書こうとしている。 (主学) 筆記用具で書く楽しさを感じようとしている。	「書いてみよう」 小学部1段階　B書くこと ・暑中見舞いを書こう ・年賀状を書こう ・書き初めをしよう	１学期 ・教師と一緒に暑中見舞いをかく。 ２学期 ・教師と一緒に年賀状をかく。 ３学期 ・教師と一緒に書き初めをする。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部訪問　算数科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
13	訪問学級４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)一つと複数の違いを音や感触の刺激で体験することができる。 (思判表力)刺激の変化に反応を示すことができる。 (学･人)支援により活動に落ち着いて参加できる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	13	(知及技) 具体物に気づいて指を指したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 (思判表力) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学･人) 対象物に気づき、活動に関心を持って取り組むことができる。	(知・技) 具体物に気づいて指を指したり、つかもうとしたり、目で追ったりしようとしている。 (思･判･表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えようとしている。 (主学) 対象物に気づき、活動に関心を持って取り組もうとしている。	「遊んでみよう」 ・音遊び ・光遊び ・振動遊び ・ボール遊び ・目隠し遊び ・ひっぱりっこ遊び ・重さ遊び	操作が簡単で変化が分かりやすい遊具で遊ぶ。 ・押すと音がでる遊具で遊ぶ。 ・押すと光る遊具で遊ぶ。 ・押すと振動する遊具で遊ぶ。 ・ボールを転がす遊具で遊ぶ。 （ある・ない） ・物を布でかくしたり、払ったりする（いないいないばー遊び） （長い・短い） ・紐をひっぱって物が動く遊び。 （重い・軽い） ・身近な物を持ってみる。　　など
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部訪問　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
16	訪問学級４学年		音楽☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)音の有無や強弱を体験することができる。 (思判表力)音が鳴ったときに心拍等で反応することができる。 (学･人)音楽活動に安心して参加することができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気づくことができる。 (思判表力) 音や音楽を味わいながら聴くことができる。 (学･人) 進んで音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気づこうとしている。 (思･判･表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	○音楽を楽しもう 表現 「音楽遊び」（リズム遊び） 「歌唱」「鑑賞」（校歌、こいのぼり、おかあさん、はななのおやこ、雨ふりくまのこ等） 「器楽」（きらきら星、おおきなたいこ等） 「音楽づくり」（リズム遊び） 「身体表現」（ミュージックケア、ふれあい体操など	表現 ①音や音楽に合わせて声を出したり、教師と一緒に楽器を鳴らしたりする。 ②音や音楽を聴いて、教師と一緒に身体を動かす。 ③音や音楽に合わせて教師が身体に触れあい（マッサージやタッピング、シフォンスカーフ等）を感じる。 鑑賞 ①季節や行事等に関する音楽を聴く。 ②簡単な（聴きやすい）楽器の音楽を聴く。
2学期	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気づくことができる。 (思判表力) 音や音楽を味わいながら聴くことができる。 (学･人) 進んで音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気づこうとしている。 (思･判･表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	○音楽を楽しもう 表現 「音楽遊び」（リズム遊び） 「歌唱」「鑑賞」（さんぽ、どんぐりころころ、やきいもグーチーパー、クリスマスソング等） 「器楽」（きらきら星、クリスマスソング等） 「音楽づくり」（リズム遊び） 「身体表現」（ミュージックケア、ふれあい体操など	表現 ①音や音楽に合わせて声を出したり、教師と一緒に楽器を鳴らしたりする。 ②音や音楽を聴いて、教師と一緒に身体を動かす。 ③音や音楽に合わせて教師が身体に触れあい（マッサージやタッピング、シフォンスカーフ等）を感じる。 鑑賞 ①季節や行事等に関する音楽を聴く。 ②簡単な（聴きやすい）楽器の音楽を聴く。
3学期	4	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気づくことができる。 (思判表力) 音や音楽を味わいながら聴くことができる。 (学･人) 進んで音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気づこうとしている。 (思･判･表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	○音楽を楽しもう 表現 「音楽遊び」（リズム遊び） 「歌唱」「鑑賞」（お正月、鬼のパンツ、うれしいひなまつり、卒業式の歌等） 「器楽」（あったかいね等） 「音楽づくり」（リズム遊び） 「身体表現」（ミュージックケア、ふれあい体操など	表現 ①音や音楽に合わせて声を出したり、教師と一緒に楽器を鳴らしたりする。 ②音や音楽を聴いて、教師と一緒に身体を動かす。 ③音や音楽に合わせて教師が身体に触れあい（マッサージやタッピング、シフォンスカーフ等）を感じる。 鑑賞 ①季節や行事等に関する音楽を聴く。 ②簡単な（聴きやすい）楽器の音楽を聴く。
留意点引継ぎ等					

令和８年度 小学部訪問　図画工作科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
16	訪問学級４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 素材に触れ、感触を体験する。 (思判表力)触れた素材に反応を示す。 (学･人)感触遊びに安心して参加できる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間をとおして	16	(知及技) 身の回りの自然物などに教師と一緒に触れながらかく、切る、ぬる、はるなどができる。 (思判表力) 身近な材料や取り組んでいるものの様子をみたり、仕上がった自分の作品をみたりすることができる。 (学･人) 教師と一緒に表したり見たりする活動に取り組むことができる。	(知・技) 身の回りの自然物などに教師と一緒に触れながらかく、切る、ぬる、はるなどしようとしている。 (思･判･表) 身近な材料や取り組んでいるものの様子をみたり、仕上がった自分の作品をみたりしようとしている。 (主学) 教師と一緒に表したり見たりする活動に取り組もうとしている。	「さわってみよう」 ・身近な草 ・野菜 ・果物 ・紙粘土 ・絵の具 ・スライム ・水風船 ・紙 ・布など 「つくってみよう」 ・誕生日表 ・こいのぼり ・七夕 ・ハロウィン ・年賀状 ・カレンダー 「色水で遊ぼう」 ・マーブリング ・色水遊び 「墨遊び」 ・書き初め 「おえかき」 ・iPadでのお絵かき 「みてみよう」 ○感触遊び ・絵の具、のり、	＜表現＞ 感触遊び ・身近な物を見たり、さわったりなどする。 造形遊び ・身近な物を切ったり、ぬったり、貼ったり、並べ　たりなどする。 色水で遊ぼう ・マーブリングの￥で色の広がる様子を見る。 墨遊び ・墨の匂いや色に気づき、教師と一緒に書き初めをする。 IPadでお絵かき ・iPadの画面にタッチして、色や音を感じながら絵を書く。 ＜鑑賞＞ ・自分が触れた物の様子を見る。 ・自分や友達の作品を見る。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部訪問　体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
5	訪問学級４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。 (思判表力)体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学･人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動することができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	5	(知及技) 教師と一緒に手足を動かしたり、身近な遊具を使ったりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 教師と一緒に手足を動かしたり、身近な遊具を使ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学･人) 簡単な合図や指示に従って、運動遊びをすることができる。	(知・技) 教師と一緒に手足を動かしたり、身近な遊具を使ったりして楽しく体を動かそうとしている。 (思･判･表) 教師と一緒に手足を動かしたり、身近な遊具を使ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、運動遊びをしようとしている。	「体ほぐしの運動」 ・リフレッシュ体操 ・ふれあい体操 ・リトミック ・絵本からの体操 「器具・器具を使っての遊び」 ・ブランコでの揺れ遊び ・エアートランポリン 水遊び」 ・水遊び 「ボール遊び」 ・風船遊び ・音の鳴るボール遊び 「表現遊び」 ・ミュージックケアなど	・体操をする。 リフレッシュ体操、ふれあい体操 ・簡単なリトミックをする。 絵本「できるかな」を参考に （手足の上げ下げ、体を揺らす等） 簡単な合図・・「〇〇君～さわるよ～」など ・機能訓練室での、ブランコでの横揺れを感じて遊ぶ。 ・エアートランポリンの縦揺れを感じる。 ・水を触ってみよう ・水風船で遊ぼう。 ・温かいお湯を触ってみよう。 ・風船であそぶ ・ボールを転がして遊ぶ。 ・ひものをひっぱる。 簡単な合図や指示 「なげてね」「たたいてね」、「せーの」等のかけ声 ・リフレッシュ体操、ふれあい体操
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部訪問　道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2	訪問学級４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	・家族等身近な人との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	2	・教師とのふれあいや関わりに心地よさを感じ、安心感を持って過ごすことができる。 ・他の子どもの存在に気づき、興味や関心を持つことができる。	・教師や友達とのふれあいや関わりで心拍数や酸素濃度が安定する様子が見られる。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・信頼、友情	・一人一人の思いや欲求、感情を受け止めてもらいながら、応答的に関わってもらう。 ・学年の子どもとICTや直接交流をする機会を設けることで、肌にふれたり、直に見たり、感じたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和８年度 小学部訪問　外国語活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2	訪問学級４学年		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)英語の歌や絵本の音声を聞き、音や声に気づくことができる。 (思判表力)英語の歌や絵本の音声を聞き、好きな音や声に反応を示すことができる。 (学･人)外国語活動に落ち着いて参加することができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	2	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができるようにする。 (思判表力) 英語の歌や外国の行事等、なじみのある語などを聞き、感じたことを自分のできる方法で表現できるようにする。 (学･人) 英語の歌や日常生活になじみのある語に注目しようとする態度を養う。	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力） 英語の歌や外国の行事等、なじみのある語などを聞き、感じたことを自分のできる方法で表現しようとしている。 (学･人) 英語の歌や日常生活になじみのある語に注目しようとしている。	「聞いてみよう」 ・英語の歌を聴こう ・英語に絵本を見よう 「見てみよう」 ・英語の歌の動画を見ながら歌ってみよう。 「感じてみよう」 ・外国語の行事（例：ハロウィン、クリスマスなど）に参加し、外国の文化に触れよう。	・教師と一緒に英語の歌を聞いたり英語の絵本を見たりして楽しむ。 ・英語の歌などを聞き、音声やリズムを楽しむ。 ・外国の歌動画を見ながら、歌を歌おう。 ・外国の行事に触れよう。参加しよう。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 小学部訪問　特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
6	訪問学級　４学年		ICT機器等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		○人と関わりながら心地よさや喜びを感じ、安心感を持って過ごそうとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	・新しい先生や友達を知る。	・新しい教室、先生、友達を知ろうとしている。	・進級おめでとう ・新転入生を迎える会	・新しい先生や友達の写真を見たり、動画を見たりする。
		・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げることができる。	・自然に触れようとしたり、公共施設を利用しようとしたりしている。	・校外学習	・公園や公共施設を利用する上でのルールや決まりを確認し、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりする。
		・スクーリングを通して学校の友達と交流することができる。 ・友達の発表を聞くことができる。 ・１学期を振り返り、頑張ったこと、楽しかったことを教師と一緒に発表することができる。	・スクーリングを通して学校の友達と交流しようとしている。 ・友達の発表を聞こうとしている。 ・教師と一緒に１学期を振り返し、頑張ったことを発表しようとしている。	・スクーリング ・学年集会（学級発表） ・１学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・学校の友達に向け、自己紹介用紙を作製する。 ・学校での学習の内容について知る。 ・スクーリングに参加する。 ・自分の学級を紹介する。友達の発表を聞く。 ・１学期を振り返る。写真等から選び、頑張ったことを発表する。 ・夏休みの約束や宿題等について知る。
2学期	2	・２学期の行事や活動を知り、期待感を持つことができる。 ・スクーリングを通して学校の友達と交流することができる。	・新学期の行事や活動を知る。期待感を持とうとしている。 ・スクーリングを通して学校の友達と交流しようとしている。	・２学期頑張ろう会 ・目標を立てよう ・スクーリング ・校外学習	・新学期の行事や活動を知る。期待感を持つ。 ・学校での学習の内容について知る。 ・スクーリングに参加する。
		・他学年の発表を見ることができる。 ・運動会について知り，期待感を持つことができる。 ・運動会を振り返る。 ・２学期を振り返る。	・運動会について知り，期待感を持とうとしている。 ・写真や動画を見て教師と一緒に運動会を振り返ろうとしている。 ・写真や動画を見て教師と一緒に2学期を振り返ろうとしている。	・交流学習 ・学部集会（ハッピータイム） ・運動会 ・校外学習 ・２学期頑張った会	・自分たちの学年を、教師と一緒に他学年の友達に発表する。 ・他学年の発表を見る。 ・運動会の日程や内容について知り，期待感を持つ。 ・写真や動画を見て運動会をふりかえ瑠。 ・写真や動画を見て２学期を振り返る。
3学期	2	・３学期の行事や活動を知り、期待感を持つことができる。 ・児童会について知り、活動への関心を持つことができる。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げることができる。	・３学期の行事や活動を知ろうとしている。期待感を持とうとしている。 ・児童会について知り活動への関心を持とうとしている。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用しようとしている。	・３学期頑張ろう会 ・目標を立てよう ・児童会役員選挙 ・校外学習	・３学期の行事や活動を知る。 ・児童会について知り活動への関心を持つ。 ・児童会選挙の日程や方法について知り、投票をする。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げる。
		・スクーリングを通して学校の友達と交流することができる。 ・卒業する先輩や幼稚部の友達を知り、祝うことができる。 ・１年間を振り返り進級への期待を持つことができる。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いすることができる。	・スクーリングを通して学校の友達と交流しようとしている。 ・卒業する先輩や幼稚部の友達を知り、祝おうとしている。 ・写真屋動画で１年間をを振り返ろうとしている。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いしようとしている。	・交流学習 ・６年生を送る会 ・３学期頑張った会	・学校での学習の内容について知る。 ・スクーリングに参加する。 ・卒業する先輩や幼稚部の友達を知り、祝う。 ・教師と一緒に１年間を振り返り頑張ったことを発表する。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いする。
留意点 引継ぎ等					